

平成 30 年度

会津若松市子ども・子育て支援事業計画策定
に係るニーズ調査の報告

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査設計	1
4. 回収結果	1
5. 注意事項	1
第2章 調査結果（未就学児童の保護者）	4
1. 住まいの地区	4
2. 子どもの年齢	5
3. 養育している子どもの数	5
4. 調査票の回答者	6
5. 配偶関係	6
6. 子育てを主に行っている人	7
7. 公的制度（生活保護/児童扶養手当/ひとり親家庭医療費助成事業/就学援助） の利用状況	8
8. 世帯収入（ひと月あたり）	8
9. 子育てに日常的に関わっている人（施設）	9
10. 子育てに影響すると思われる環境	10
11. 子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無	10
12. 子育てについて気軽に相談できる先	11
13. 子育てに関する不安や負担の有無	13
14. 子育てに関して不安や負担に思う理由	13
15. 【母親】子どもと過ごす時間（平日）	15
16. 【母親】子どもと過ごす時間（休日）	16
17. 【母親】子どもと過ごす時間数をどのように感じているか	17
18. 【父親】子どもと過ごす時間（平日）	18
19. 【父親】子どもと過ごす時間（休日）	19
20. 【父親】子どもと過ごす時間数をどのように感じているか	20
21. 理想と考える子どもの人数	21
22. 実際、持とうとしている（持っている）子どもの人数	22
23. 理想的と考える人数の子どもを持たない・持たない理由	23
24. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」 の優先度（希望）	25
25. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」 の優先度（現実）	25
26. 【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」 の優先度（希望）	26

27.	【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）	26
28.	【母親】現在の就労状況	27
29.	【母親】就労日数（ひと月あたり）	28
30.	【父親】現在の就労状況	29
31.	【父親】就労日数（ひと月あたり）	30
32.	【母親】フルタイムへの転換希望の有無	31
33.	【父親】フルタイムへの転換希望の有無	32
34.	【母親】就労したい希望	32
35.	【父親】就労したい希望	33
36.	定期的な教育・保育事業（幼稚園や保育所など）の利用について	33
37.	希望した保育サービスを利用できているか	34
38.	【月曜日～金曜日】定期的に利用している教育・保育事業	34
39.	【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の利用日数／1週あたり	35
40.	【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の利用時間数／1日あたり	35
41.	【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の開始時間	36
42.	【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の終了時間	36
43.	【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の利用日数／1週あたり	37
44.	【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の利用時間数／1日あたり	37
45.	【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の開始時間	38
46.	【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の終了時間	38
47.	【月曜日～金曜日】定期的に利用している教育・保育事業の場所	39
48.	【月曜日～金曜日】定期的に利用している理由	39
49.	【月曜日～金曜日】定期的に利用していない理由	40
50.	【月曜日～金曜日】定期的に利用したいと考える事業	40
51.	【月曜日～金曜日】現在、利用している、していないにかかわらず、定期的に幼稚園、認可保育所、認定こども園などの事業を利用したいと考えた際、幼稚園の利用を強く希望するか	41
52.	【月曜日～金曜日】教育・保育事業を利用したい場所	41
53.	利用している地域子育て支援拠点事業等	42
54.	地域子育て支援拠点事業について、利用したいもしくは日数を増やしたいという希望	42
55.	【事業の利用状況】①家庭教育に関する学級・講座	43
56.	【事業の利用状況】②家庭児童相談室	43
57.	【事業の利用状況】③子育て世代包括支援センター	43
58.	【事業の利用状況】④教育相談室	44
59.	【事業の利用状況】⑤保育所、認定こども園、幼稚園の園庭等の解放	44
60.	【事業の利用状況】⑥地域子育て支援センター	44
61.	【事業の利用状況】⑦児童館	45

62.	【事業の利用状況】⑧認定こども園	45
63.	【事業の利用状況】⑨特定保育	45
64.	【事業の利用状況】⑩ファミリー・サポート・センター	46
65.	【事業の利用状況】⑪夜間急病センター	46
66.	【事業の利用状況】⑫休日当番医制事業	46
67.	【事業の利用状況】⑬障がい児相談支援・障がい福祉サービス	47
68.	【事業の利用状況】⑭子育て支援チラシ	47
69.	【事業の利用状況】⑮市政だより、市のホームページ	47
70.	【事業の利用状況】⑯虐待が心配な場合の市への通報制度	48
71.	【事業の利用状況】⑰子ども未来基金助成事業	48
72.	【事業の利用状況】⑱生活保護、児童扶養手当、就学援助	48
73.	【土曜日】定期的な教育・保育事業の利用希望	49
74.	【日曜日・祝日】定期的な教育・保育事業の利用希望	49
75.	教育・保育事業をたまに利用したい理由	50
76.	幼稚園または認定こども園の幼稚園機能部分を利用している方の、長期休み中（夏休み・冬休みなど）の教育・保育事業の利用希望	50
77.	病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことはあるか	51
78.	利用できなかった場合の対処方法	51
79.	事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか	52
80.	病児・病後児を預ける場合の、望ましい事業形態	52
81.	病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由	53
82.	「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか	54
83.	「休んで見ることは難しい」と思う理由	55
84.	不定期に利用している事業（私用、親の通院、不定期の就労等の目的）	56
85.	不定期の事業を利用していない理由	57
86.	不定期に事業を利用する必要があるか	58
87.	不定期に事業を利用したい理由	58
88.	子どもを預ける場合の、望ましい事業形態	59
89.	保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか	59
90.	保護者に用事があった場合の対処方法	60
91.	親族・知人にみてもらう場合の困難度	60
92.	小学校の放課後に過ごさせたい場所（1～3年生）	61
93.	小学校の放課後に過ごさせたい場所（4～6年生）	61
94.	【母親】子どもが生まれたとき、育児休業を取得したか	62
95.	【母親】育児休業を取得していない理由	63
96.	【父親】子どもが生まれたとき、育児休業を取得したか	64
97.	【父親】育児休業を取得していない理由	65
98.	育児休業給付の支給、保険料が免除になる仕組みについて	67
99.	【母親】育児休業取得後の職場復帰状況（予定含む）	68

100.	【父親】 育児休業取得後の職場復帰状況（予定含む）	68
101.	【母親】 復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか	69
102.	【父親】 復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか	69
103.	【母親】 「希望」より早く復帰した理由	70
104.	【父親】 「希望」より早く復帰した理由	71
105.	【母親】 「希望」より遅く復帰した理由	72
106.	【父親】 「希望」より遅く復帰した理由	72
107.	【母親】 職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか	73
108.	【父親】 職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか	73
109.	【母親】 短時間勤務制度を利用しなかった理由	74
110.	【父親】 短時間勤務制度を利用しなかった理由	75
111.	【母親】 子どもが1歳になるまで育児休業を取得するか	76
112.	【父親】 子どもが1歳になるまで育児休業を取得するか	76
113.	【天気の良い時】 遊び場として利用する施設・場所	77
114.	【天気の良い時】 施設・場所の利用料	78
115.	【天気の良い時】 所要移動時間	79
116.	【天気が悪い時】 遊び場として利用する施設・場所	80
117.	【天気が悪い時】 施設・場所の利用料	81
118.	【天気が悪い時】 所要移動時間	82
119.	遊び場を利用する時や探す際に困る・困ったこと	83
120.	有料の子どもの遊び場の利用希望	85
121.	負担してもよい金額	86
122.	遊び場の近くや施設内にあればよいと思う施設	87
123.	子育ての環境や支援に関してご意見（一部抜粋）	89
第3章 調査結果（小学生の保護者）		92
1.	子どもが通学している学校	92
2.	子どもの学年	93
3.	調査票の回答者	93
4.	公的制度（生活保護/児童扶養手当/ひとり親家庭医療費助成事業/就学援助）の利用状況	94
5.	世帯収入（ひと月あたり）	94
6.	子育てに関する不安や負担の有無	95
7.	子育てに関して不安や負担に思う理由	96
8.	【母親】 子どもと過ごす時間（平日）	98
9.	【母親】 子どもと過ごす時間（休日）	99
10.	【母親】 /子どもと過ごす時間数をどのように感じているか	100
11.	【父親】 子どもと過ごす時間（平日）	101
12.	【父親】 子どもと過ごす時間（休日）	102
13.	【父親】 /子どもと過ごす時間数をどのように感じているか	103

14.	理想と考える子どもの人数	104
15.	実際、持とうとしている（持っている）子どもの人数	105
16.	理想的と考える人数の子どもを持ってない・持たない理由	106
17.	【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）	108
18.	【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）	109
19.	【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）	110
20.	【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）	111
21.	子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無	112
22.	子育てについて気軽に相談できる先	113
23.	【事業の利用状況】①家庭教育に関する学級・講座	115
24.	【事業の利用状況】②家庭児童相談室	115
25.	【事業の利用状況】③子育て世代包括支援センター	115
26.	【事業の利用状況】④教育相談室	116
27.	【事業の利用状況】⑤保育所、認定こども園、幼稚園の園庭等の開放	116
28.	【事業の利用状況】⑥地域子育て支援センター	116
29.	【事業の利用状況】⑦児童館	117
30.	【事業の利用状況】⑧認定こども園	117
31.	【事業の利用状況】⑨特定保育	117
32.	【事業の利用状況】⑩ファミリー・サポート・センター	118
33.	【事業の利用状況】⑪夜間急病センター	118
34.	【事業の利用状況】⑫休日当番医制事業	118
35.	【事業の利用状況】⑬障がい児相談支援・障がい福祉サービス	119
36.	【事業の利用状況】⑭子育て支援チラシ	119
37.	【事業の利用状況】⑮市政だより、市のホームページ	119
38.	【事業の利用状況】⑯虐待が心配な場合の市への通報制度	120
39.	【事業の利用状況】⑰子ども未来基金助成事業	120
40.	【事業の利用状況】⑱生活保護、児童扶養手当、就学援助	120
41.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】自宅	121
42.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】自宅	122
43.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】祖父母宅や友人・知人宅	123
44.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】祖父母宅や友人・知人宅	124
45.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団	125
46.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団	126
47.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】児童館	127
48.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】児童館	128

49.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】放課後子ども教室.....	129
50.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】放課後子ども教室.....	130
51.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】こどもクラブ.....	131
52.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】こどもクラブ.....	132
53.	【放課後に過ごす場所／現在の状況】ファミリー・サポート・センター.....	133
54.	【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】ファミリー・サポート・センター..	133
55.	学校が休みの日（夏休みなどを含む）に過ごす場所／現在の状況.....	134
56.	学校が休みの日（夏休みなどを含む）に過ごす場所／保護者としての思い.....	136
57.	会津若松市の子育て支援事業について.....	138
58.	充実させるべき事業.....	139
59.	子育ての環境や支援に関してご意見（一部抜粋）.....	144
第4章	調査結果（中学生及び高校生）.....	146
1.	住まいの地区（地域）.....	146
2.	性別.....	147
3.	家族構成.....	147
4.	気軽に相談できる人（場所）の有無.....	148
5.	気軽に相談できる先.....	149
6.	【過ごし方】平日の放課後.....	151
7.	【過ごし方】学校が休みの日.....	153
8.	【勉強する場所】平日の放課後.....	155
9.	【勉強する場所】学校が休みの日.....	156
10.	【居場所への満足度】平日の放課後.....	157
11.	【居場所への満足度】学校が休みの日.....	158
12.	【自分の周りがあるとよい場所】平日の放課後.....	159
13.	【自分の周りがあるとよい場所】学校が休みの日.....	160
14.	【居場所があるとよい機能・サービス】平日の放課後.....	161
15.	【居場所があるとよい機能・サービス】学校が休みの日.....	163
16.	自分の周りがあるとよい場所での過ごし方.....	165
17.	平日の放課後や学校が休みの日の居場所づくりへの意見（一部抜粋）.....	166

第1章 調査の概要

1. 調査目的

会津若松市内の子ども・子育て支援に関する現状と課題の把握を行い、次期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたっての基礎資料作成を目的とする。

2. 調査対象

平成30年11月時点において、会津若松市に居住する児童の保護者、中学生及び高校生について、次のとおり対象とした。

- (1) 未就学児童の保護者 4,347件
- (2) 小学生児童の保護者 2,026件
- (3) 中学生及び高校生 1,463件

3. 調査設計

- (1) 調査方法 郵送調査。学校を通じての配付・回収
- (2) 調査期間 平成30年11月～平成31年1月
- (3) 調査機関 株式会社東京商工リサーチ 郡山支店

4. 回収結果

本調査の回収結果は次のとおり。回収件数及び回収率は、各調査における調査票自体の件数及び対象数に占める割合を示している。

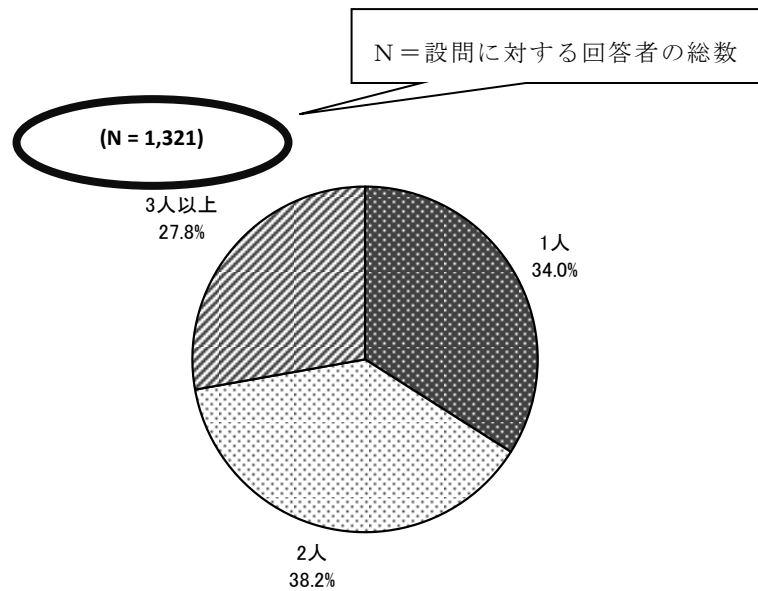
- (1) 未就学児童の保護者
回収件数 1,591件 / 回収率 36.6%
- (2) 小学生児童の保護者
回収件数 1,667件 / 回収率 82.3%
- (3) 中学生および高校生
回収件数 1,442件 / 回収率 98.6%

5. 注意事項

- (1) 図表中の「N」(Number of casesの略)は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数となる。
- (2) 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。そのため、合計した値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問についても、設問に対する回答者の総数(=当該設問全体の回答件数)を基数(N)とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。回答は2つ以上ありうるため、合計は100%を超えることがある。
- (4) 各設問において、特に記載のない限り無回答は除外して集計している。

【例：「N」について】

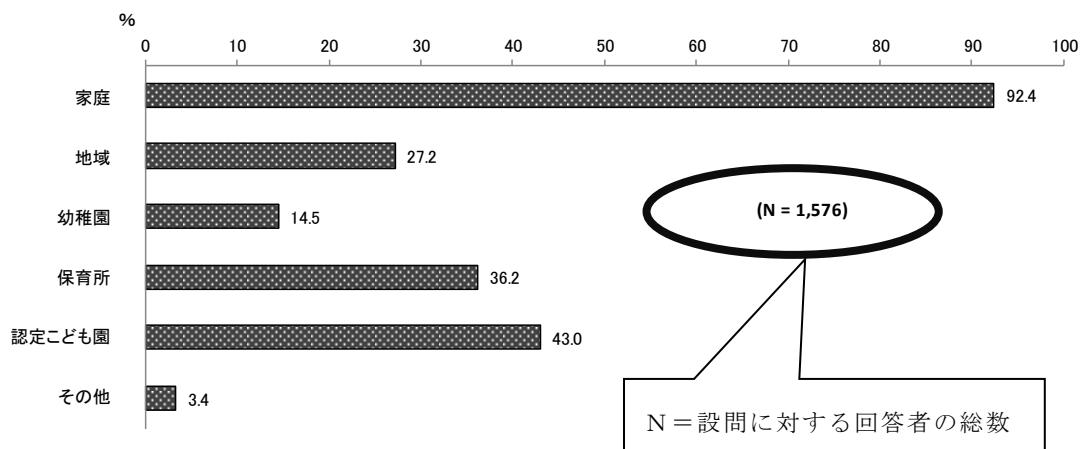
図表中の「N」（Number of cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となる。



【例：複数回答の設問について】

複数回答の設問について、当該設問全体の回答件数を基数（N）とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。

例えば、下記のグラフにおいて、回答者 1,576 人のうちの 92.4%（1,457 人）が「家庭」と回答したことを示している。複数回答を可としているため、各選択肢において回答者の重複がありうる。



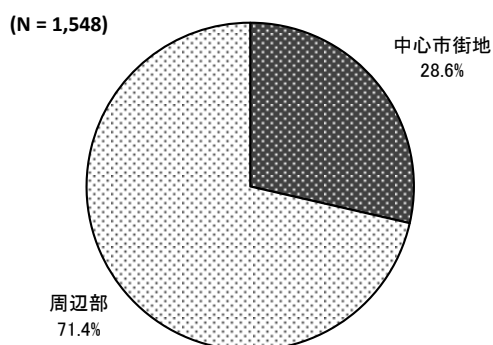
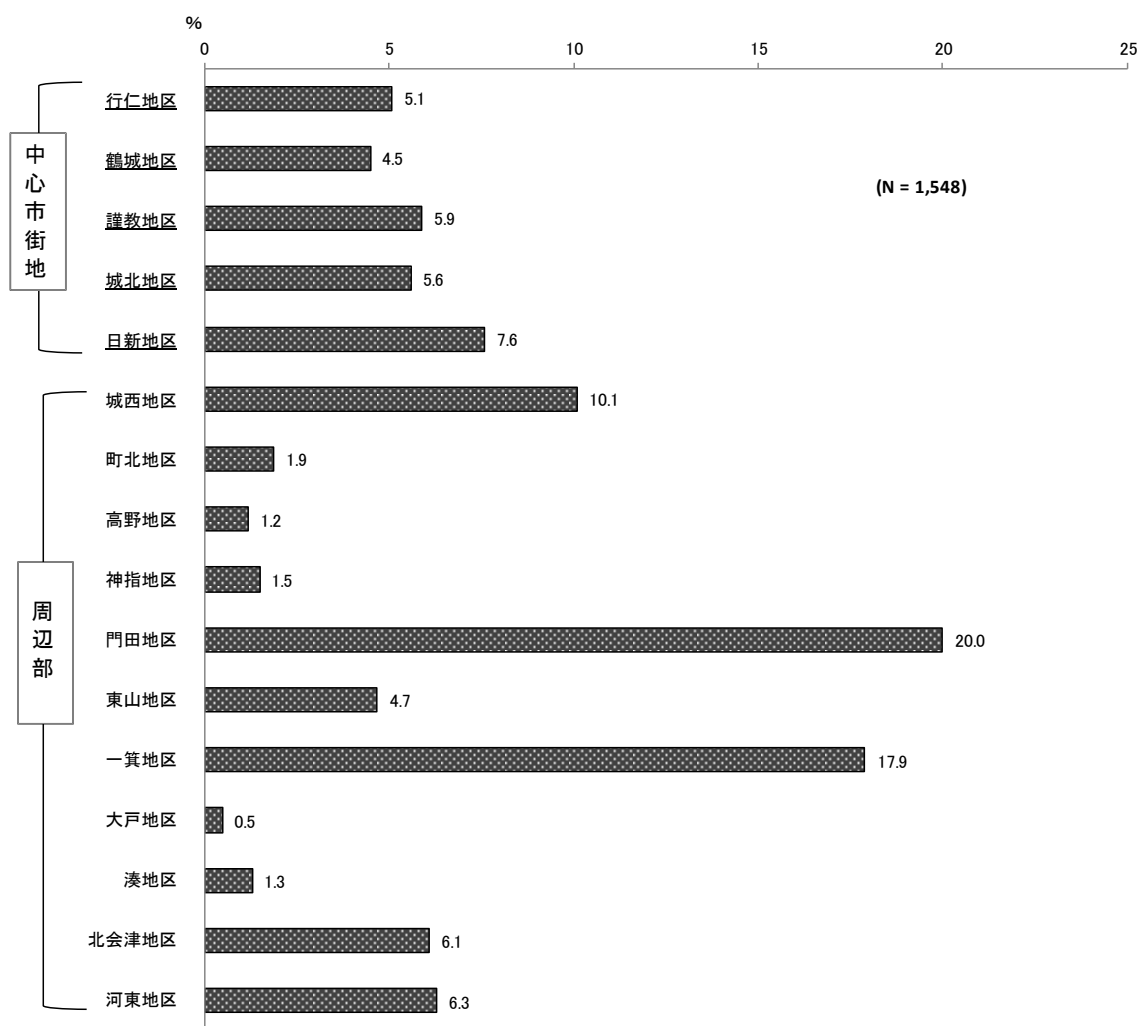
第2章 調査結果（未就学児童の保護者）

1. 住まいの地区

「門田地区」が20.0%と最も高く、次いで「一箕地区」が17.9%、「城西地区」が10.1%となっている。

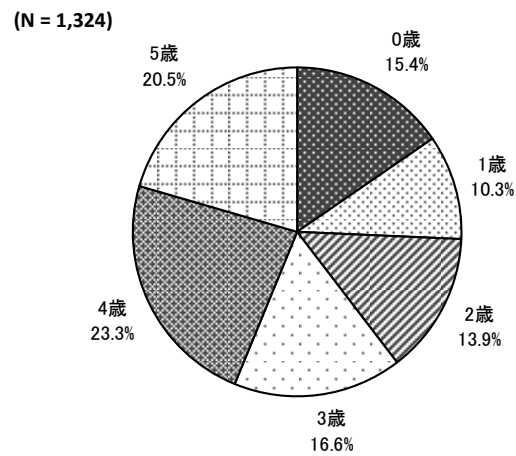
地区別にみたとき、「中心市街地」は28.6%、「周辺部」は71.4%であった。（※）

（※）本章において、グラフ中の地区名に下線のある行仁地区、鶴城地区、謹教地区、城北地区、日新地区の5地区を「中心市街地」とし、それ以外の地区を「周辺部」として集計している。



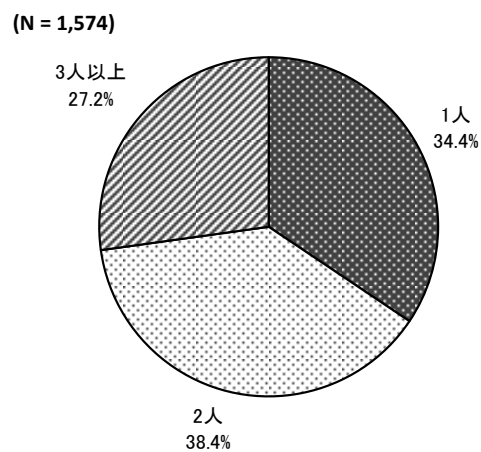
2. 子どもの年齢

「4歳」が23.3%と最も高く、次いで「5歳」が20.5%、「3歳」が16.6%となっている。

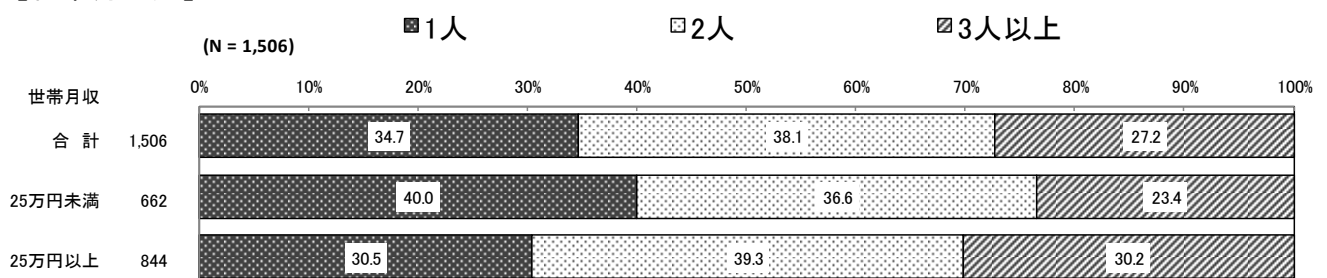


3. 養育している子どもの数

「2人」が38.4%と最も高く、次いで「1人」が34.4%、「3人以上」が27.2%となっている。
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯においては、「1人」の割合が25万円以上の世帯と比べて10ポイント近く高くなっている。

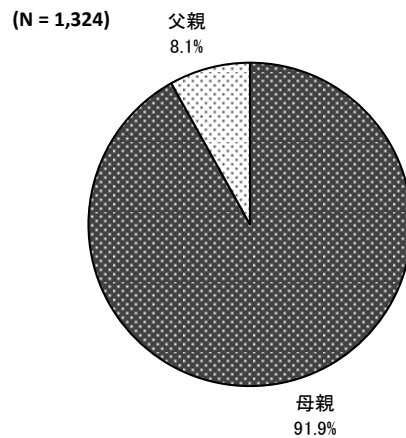


【世帯月収別】



4. 調査票の回答者

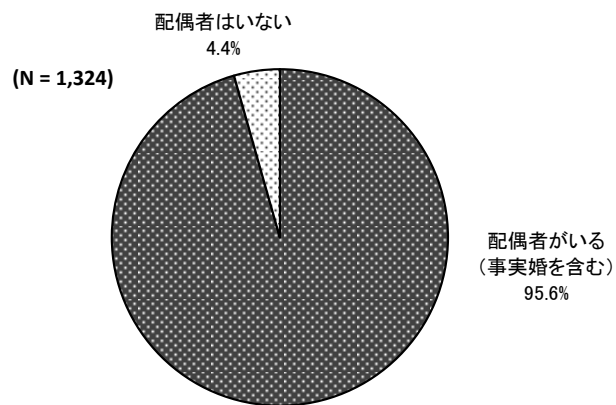
「母親」が91.9%と最も高く、「父親」が8.1%となった。



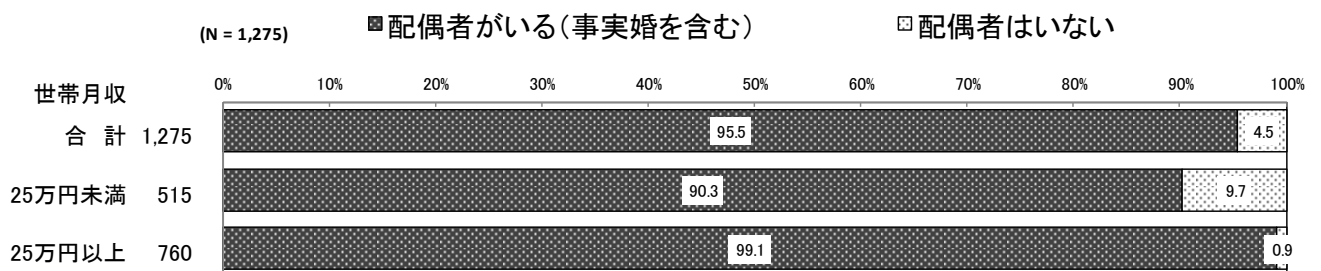
5. 配偶関係

「配偶者がいる（事実婚を含む）」は95.6%、「配偶者はいない」は4.4%であった。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において、「配偶者はいない」と回答した割合がおよそ1割を占めている。



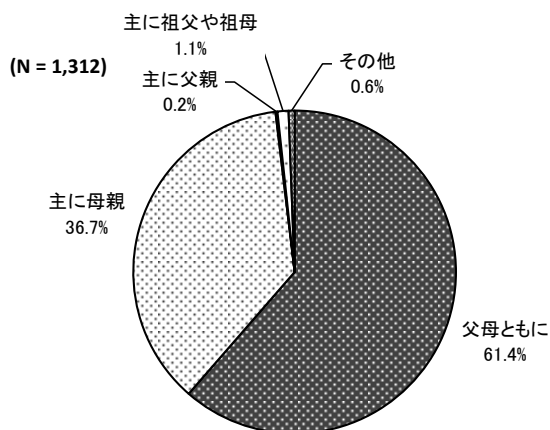
【世帯月収別】



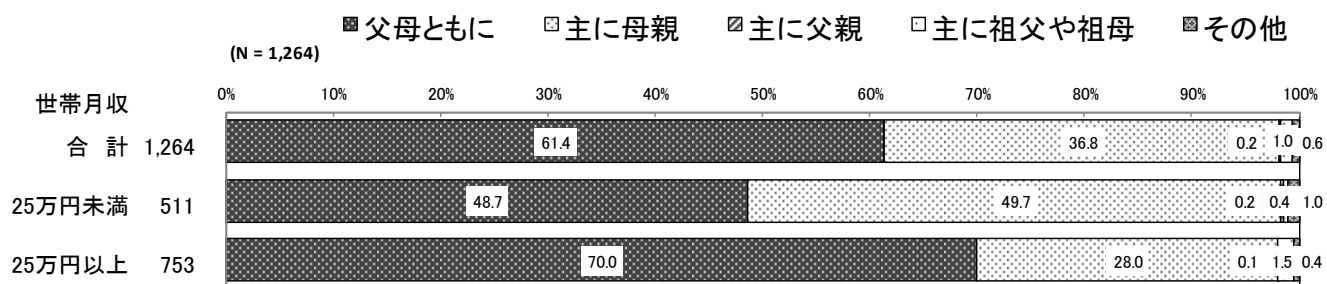
6. 子育てを主に行っている人

「父母ともに」が 61.4%と最も高く、次いで「主に母親」が 36.7%、「主に祖父や祖母」が 1.1%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において、「主に母親」と回答した割合が 5 割近くを占めており、25 万円以上の世帯と比べて 20 ポイント以上高くなっている。



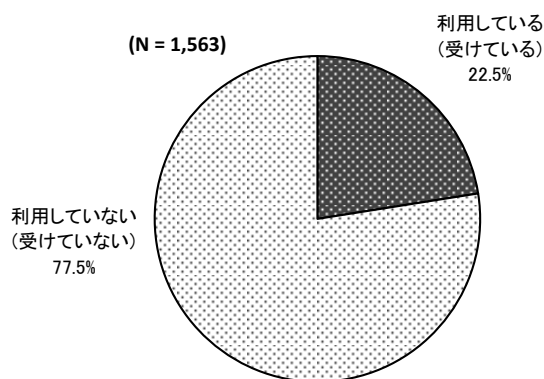
【世帯月収別】



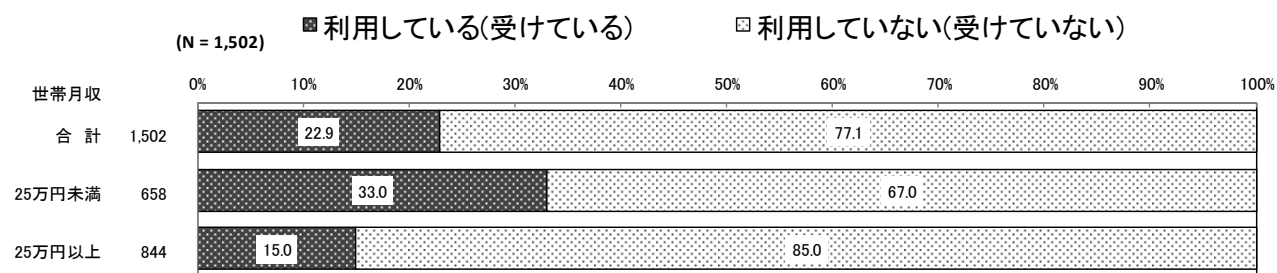
7. 公的制度（生活保護/児童扶養手当/ひとり親家庭医療費助成事業/就学援助）の利用状況

「利用している(受けている)」は 22.5%、「利用していない(受けていない)」は 77.5%であった。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において、「利用している(受けている)」の割合が3割以上を占めており、25万円以上の世帯に比べ高くなっている。

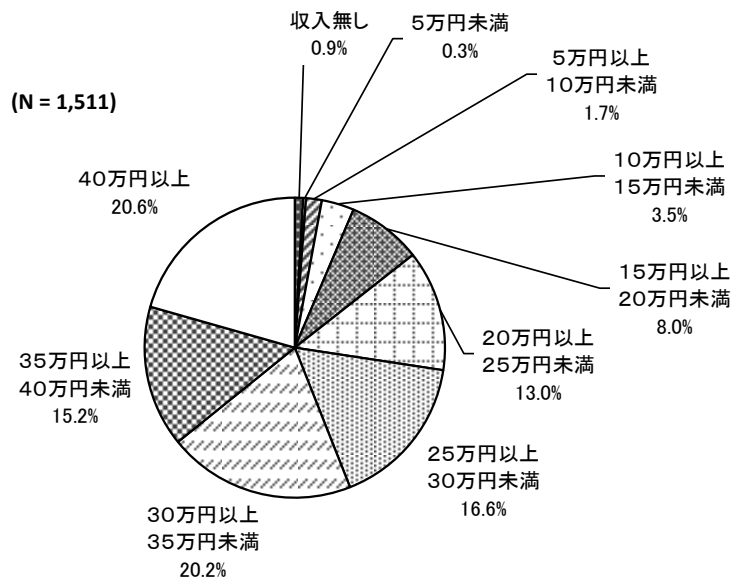


【世帯月収別】



8. 世帯収入（ひと月あたり）

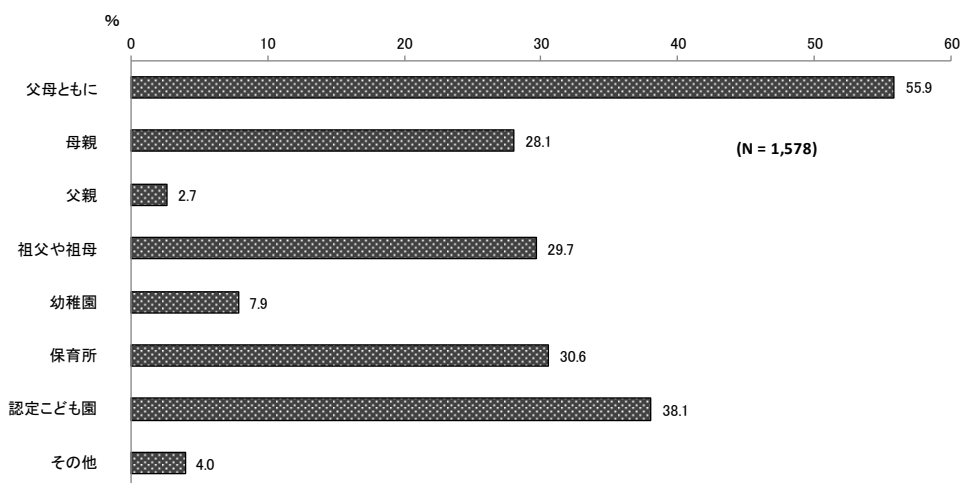
「40万円以上」が 20.6%と最も高く、次いで「30万円以上 35万円未満」が 20.2%、「25万円以上 30万円未満」が 16.6%となっている。



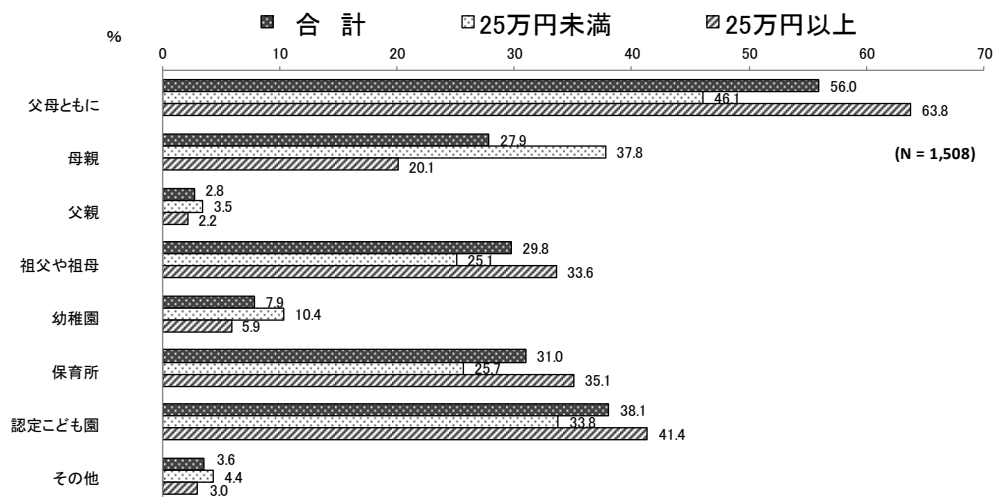
9. 子育てに日常的に関わっている人（施設）

「父母ともに」が 55.9%と最も高く、次いで「認定こども園」が 38.1%、「保育所」が 30.6%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において、「母親」の割合が 4 割近くとなっているのに対し、25 万円以上の世帯では 2 割程度となっている。また、25 万円以上の世帯では「父母ともに」の割合について、25 万円未満の世帯より 20 ポイント近く高くなっている。

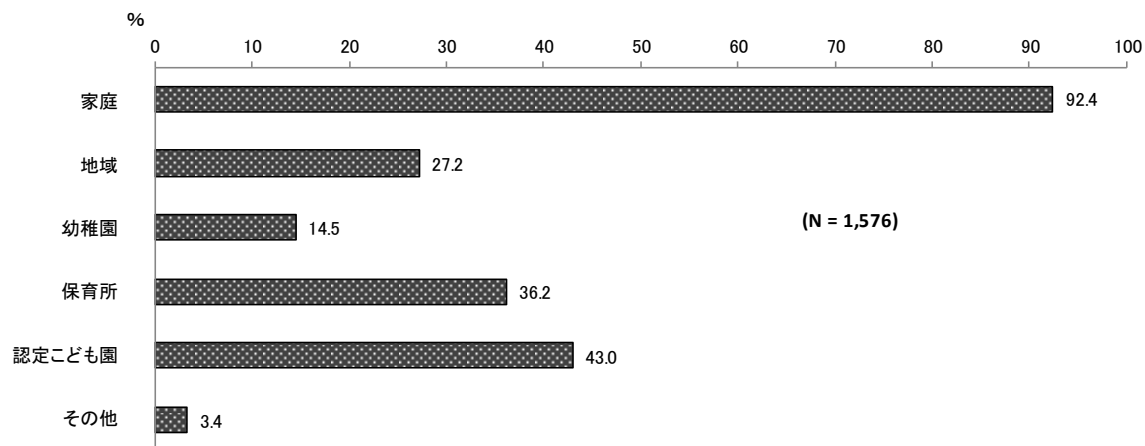


【世帯月収別】



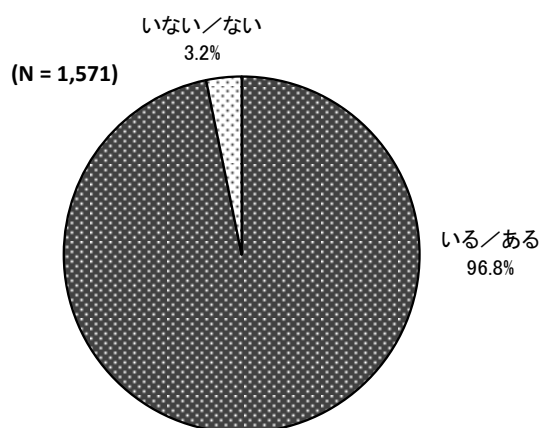
10. 子育てに影響すると思われる環境

「家庭」が 92.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が 43.0%、「保育所」が 36.2%となっている。



11. 子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無

「いる／ある」が 96.8%を占める結果となった。子育てを行っている家庭のほとんどで、気軽に相談できる人もしくは場所があることがわかった。

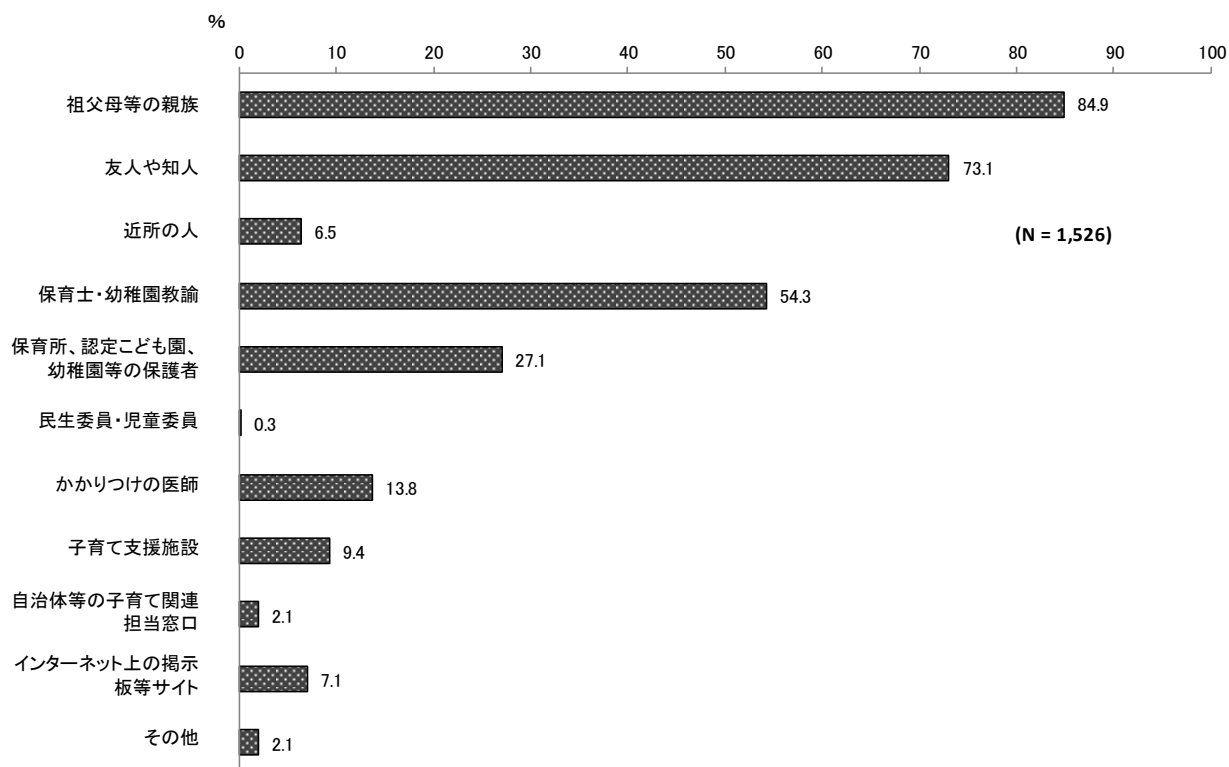


12. 子育てについて気軽に相談できる先

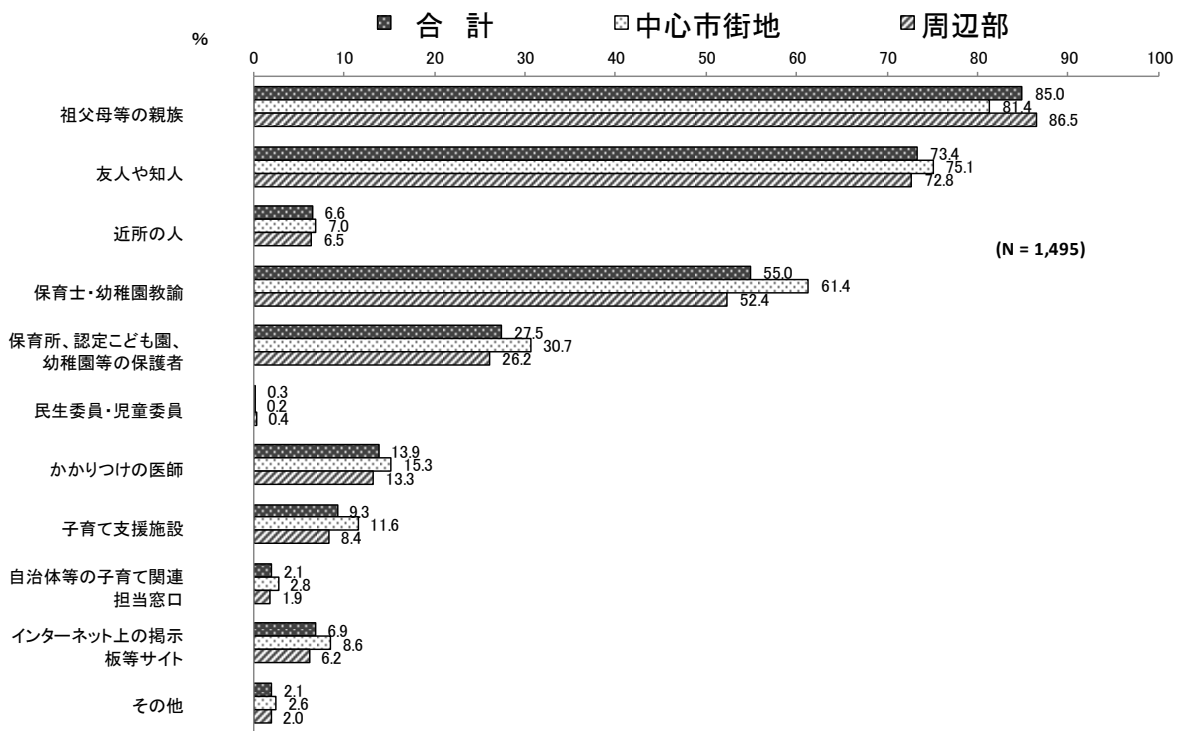
「祖父母等の親族」が84.9%と最も高く、次いで「友人や知人」が73.1%、「保育士・幼稚園教諭」が54.3%となっている。

地区別で見たとき、中心市街地において「保育士・幼稚園教諭」の割合が61.4%となっており、周辺部よりも9ポイント高くなっている。

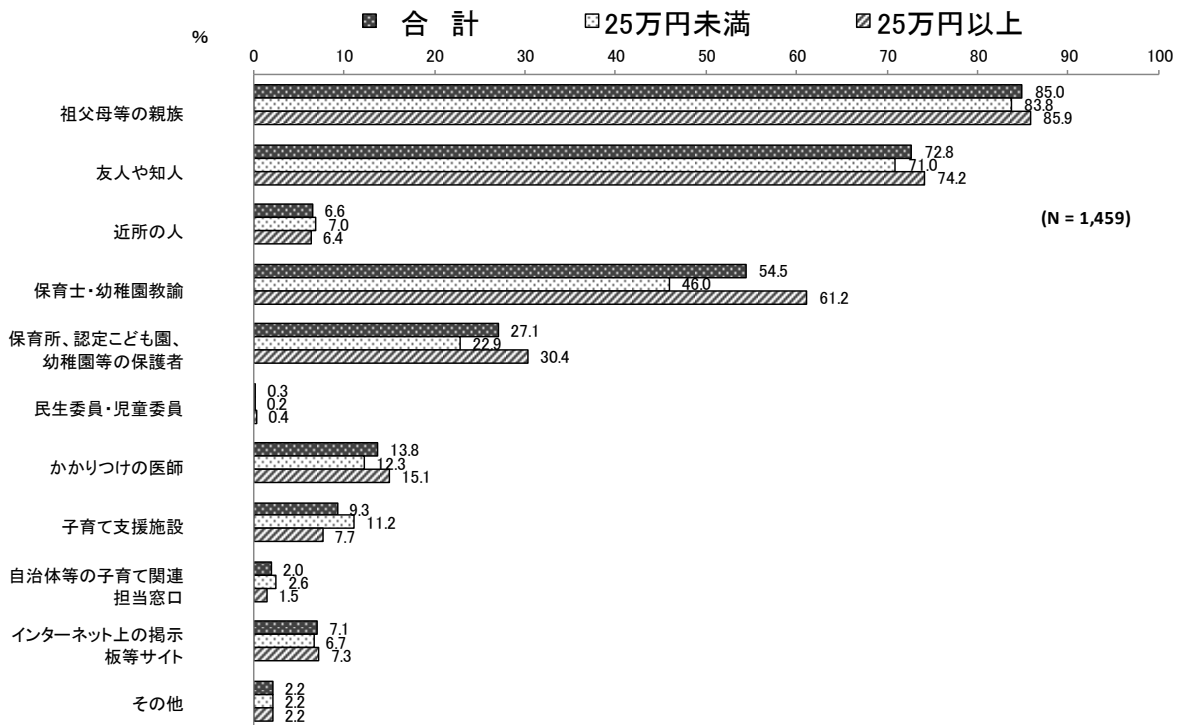
世帯月収別で見たとき、25万円以上の世帯において、「保育士・幼稚園教諭」が6割以上と、25万円未満の世帯の回答割合よりも15ポイント以上高くなっている。



【地区別】

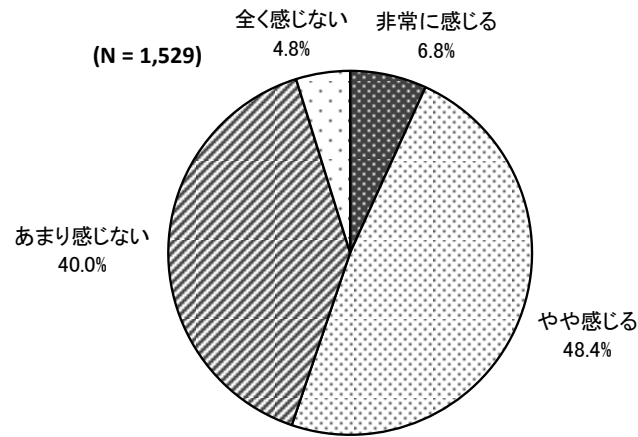


【世帯月収別】



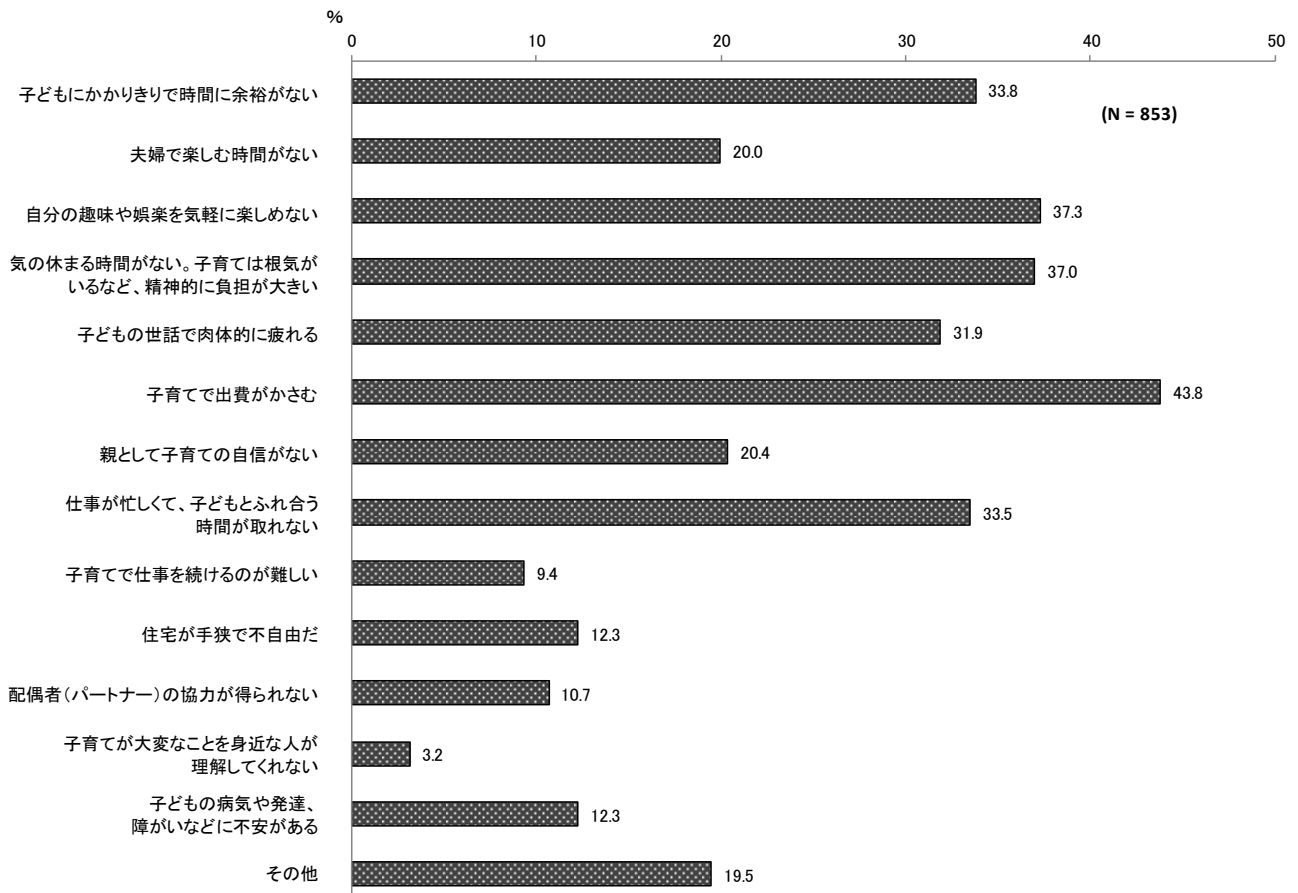
13. 子育てに関する不安や負担の有無

「やや感じる」が 48.4%と最も高く、次いで「あまり感じない」が 40.0%、「非常に感じる」が 6.8%となっている。

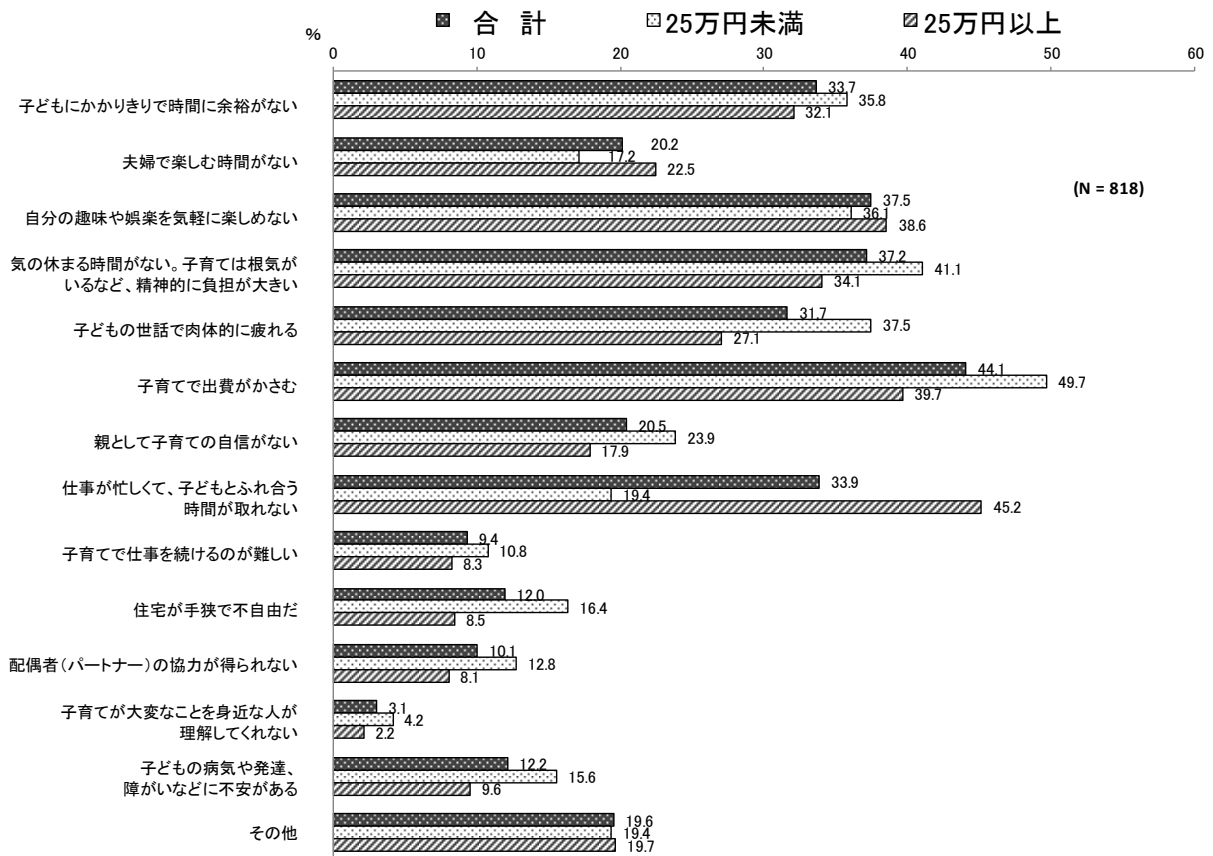


14. 子育てに関して不安や負担に思う理由

「子育てで出費がかさむ」が 43.8%と最も高く、次いで「自分の趣味や娯楽を気軽に楽しめない」が 37.3%、「気の休まる時間がない。子育ては根気がいるなど、精神的に負担が大きい」が 37.0%となっている。



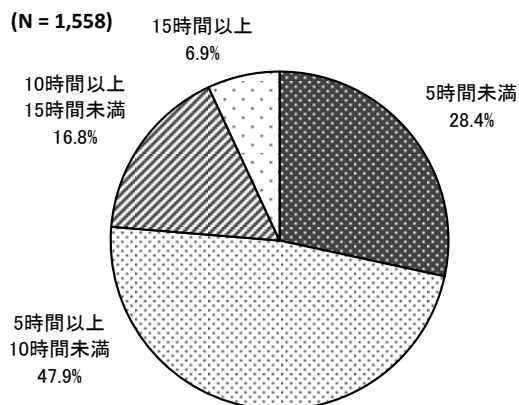
【世帯月収別】



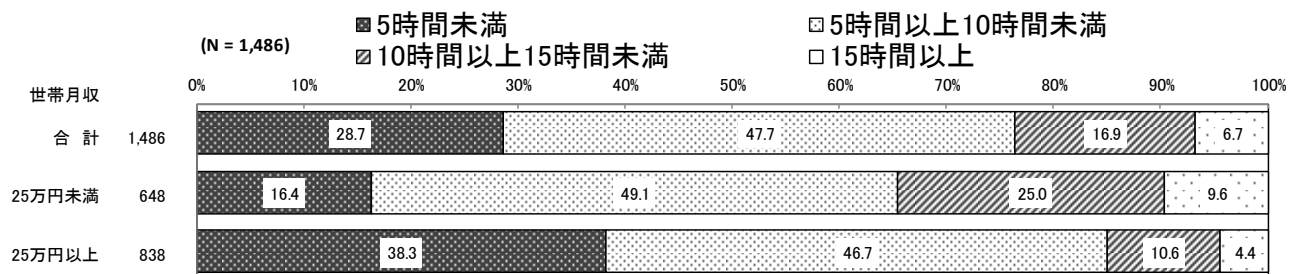
15. 【母親】子どもと過ごす時間（平日）

「5 時間以上 10 時間未満」が 47.9%と最も高く、次いで「5 時間未満」が 28.4%、「10 時間以上 15 時間未満」が 16.8%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円以上の世帯では「5 時間未満」が 4 割近くを占めているのに対し、25 万円未満の世帯では 1 割台となっている。一方で、25 万円未満の世帯では「10 時間以上 15 時間未満」が 2 割以上であるのに対し、25 万円以上の世帯では 1 割程度となっている。

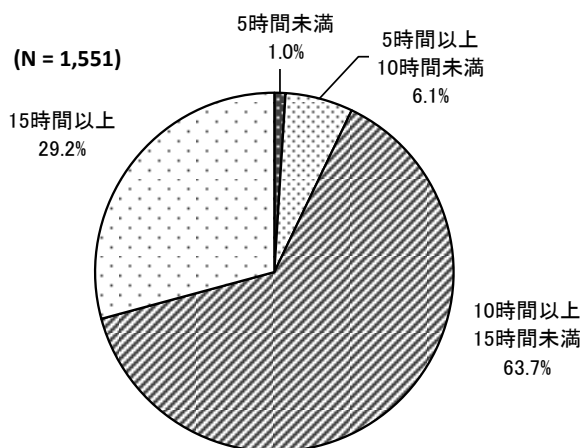


【世帯月収別】

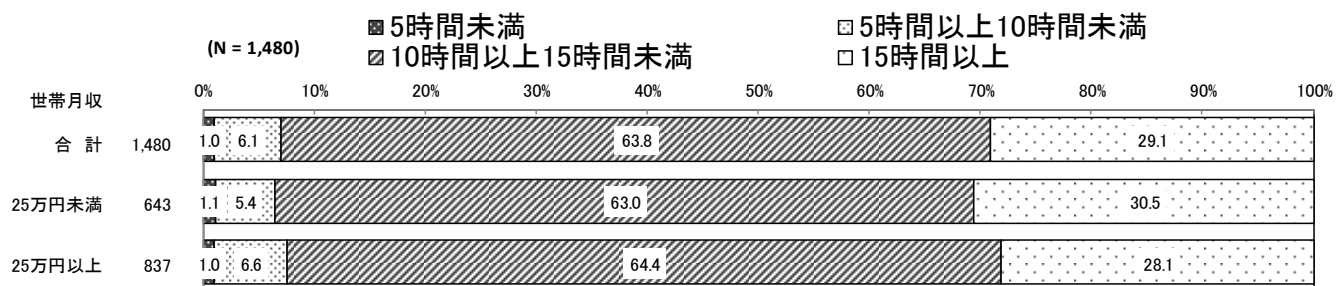


16. 【母親】子どもと過ごす時間（休日）

「10 時間以上 15 時間未満」が 63.7%と最も高く、次いで「15 時間以上」が 29.2%、「5 時間以上 10 時間未満」が 6.1%となっている。



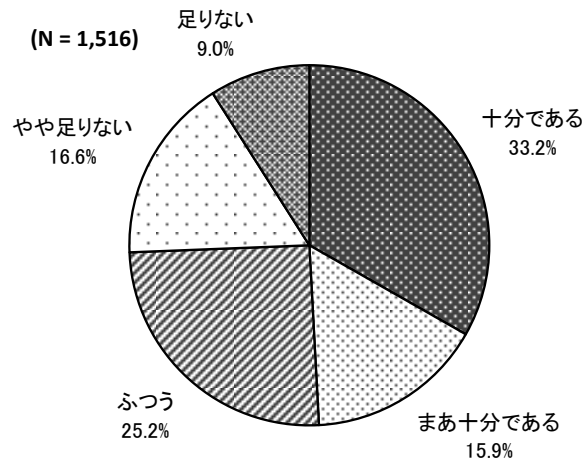
【世帯月収別】



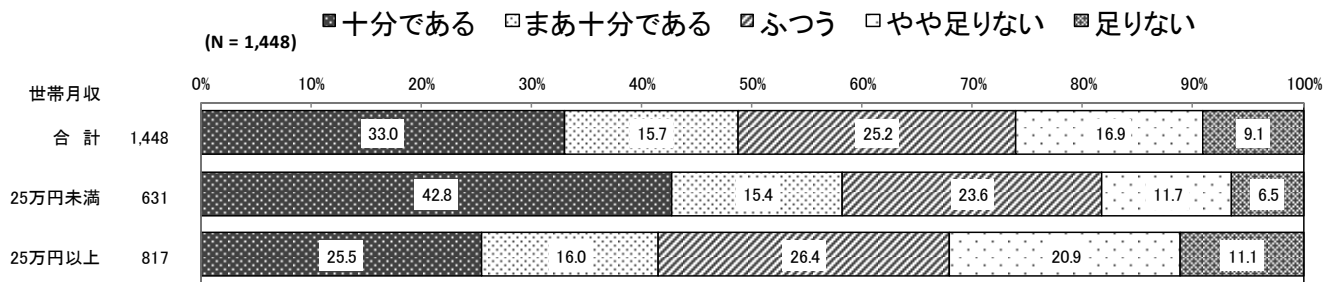
17. 【母親】子どもと過ごす時間数をどのように感じているか

「十分である」が 33.2%と最も高く、次いで「ふつう」が 25.2%、「やや足りない」が 16.6%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯で「十分である」が4割以上を占めており、25万円以上の世帯よりも17ポイント程度上回っている。

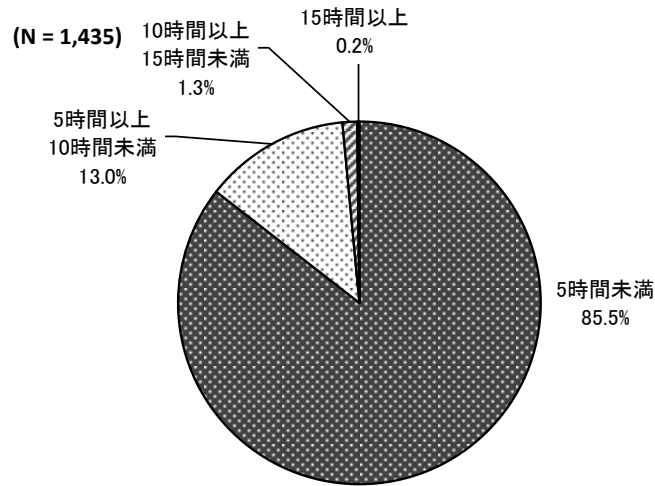


【世帯月収別】

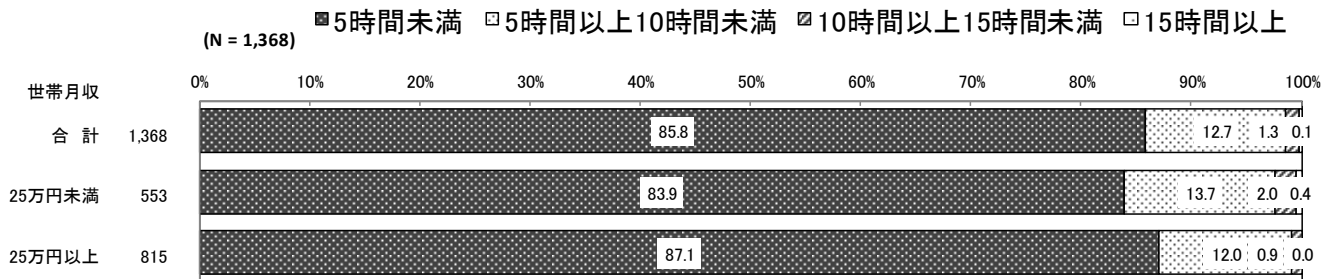


18. 【父親】子どもと過ごす時間（平日）

「5時間未満」が85.5%と最も高く、次いで「5時間以上10時間未満」が13.0%、「10時間以上15時間未満」が1.3%となっている。

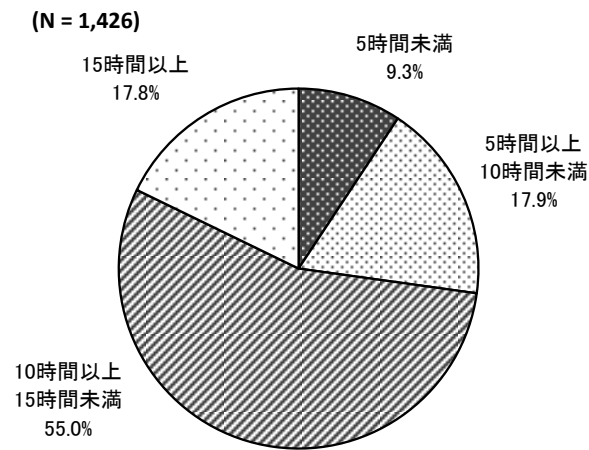


【世帯月収別】

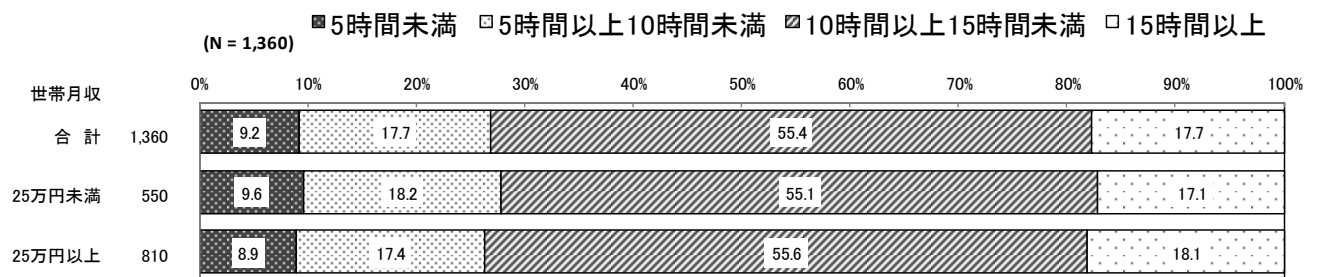


19. 【父親】子どもと過ごす時間（休日）

「10 時間以上 15 時間未満」が 55.0%と最も高く、次いで「5 時間以上 10 時間未満」が 17.9%、「15 時間以上」が 17.8%となっている。

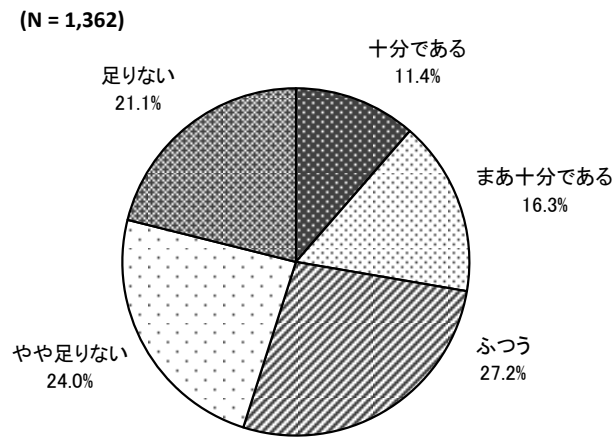


【世帯月収別】

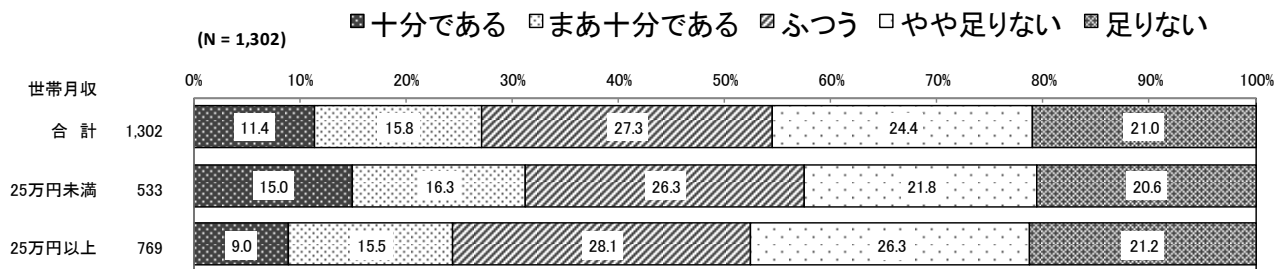


20. 【父親】子どもと過ごす時間数をどのように感じているか

「ふつう」が 27.2%と最も高く、次いで「やや足りない」が 24.0%、「足りない」が 21.1%となっている。

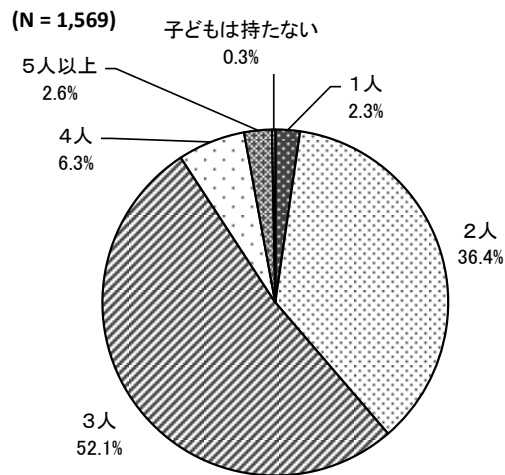


【世帯月収別】

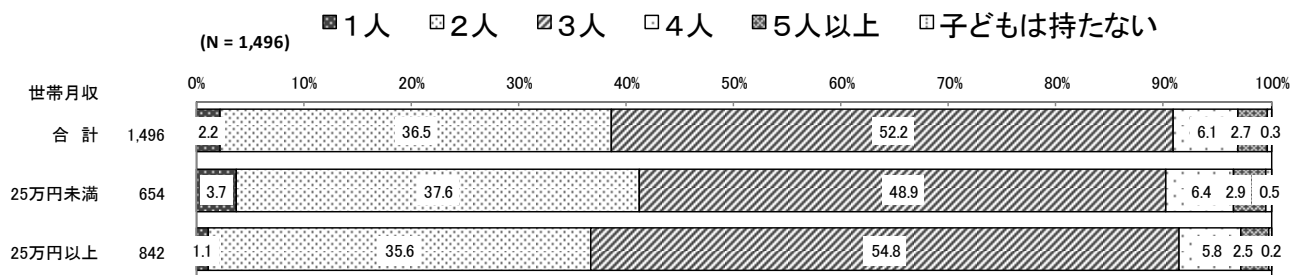


21. 理想と考える子どもの人数

「3人」が52.1%と最も高く、次いで「2人」が36.4%、「4人」が6.3%となっている。

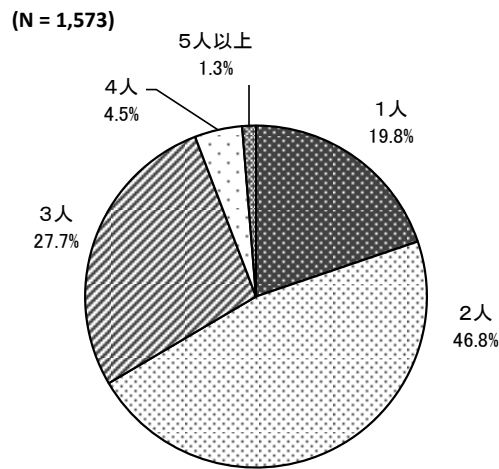


【世帯月収別】

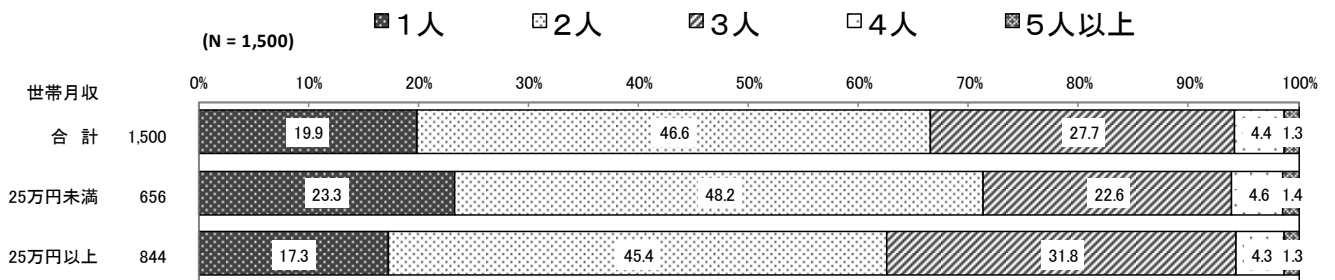


22. 実際、持とうとしている（持っている）子どもの人数

「2人」が46.8%と最も高く、次いで「3人」が27.7%、「1人」が19.8%となっている。



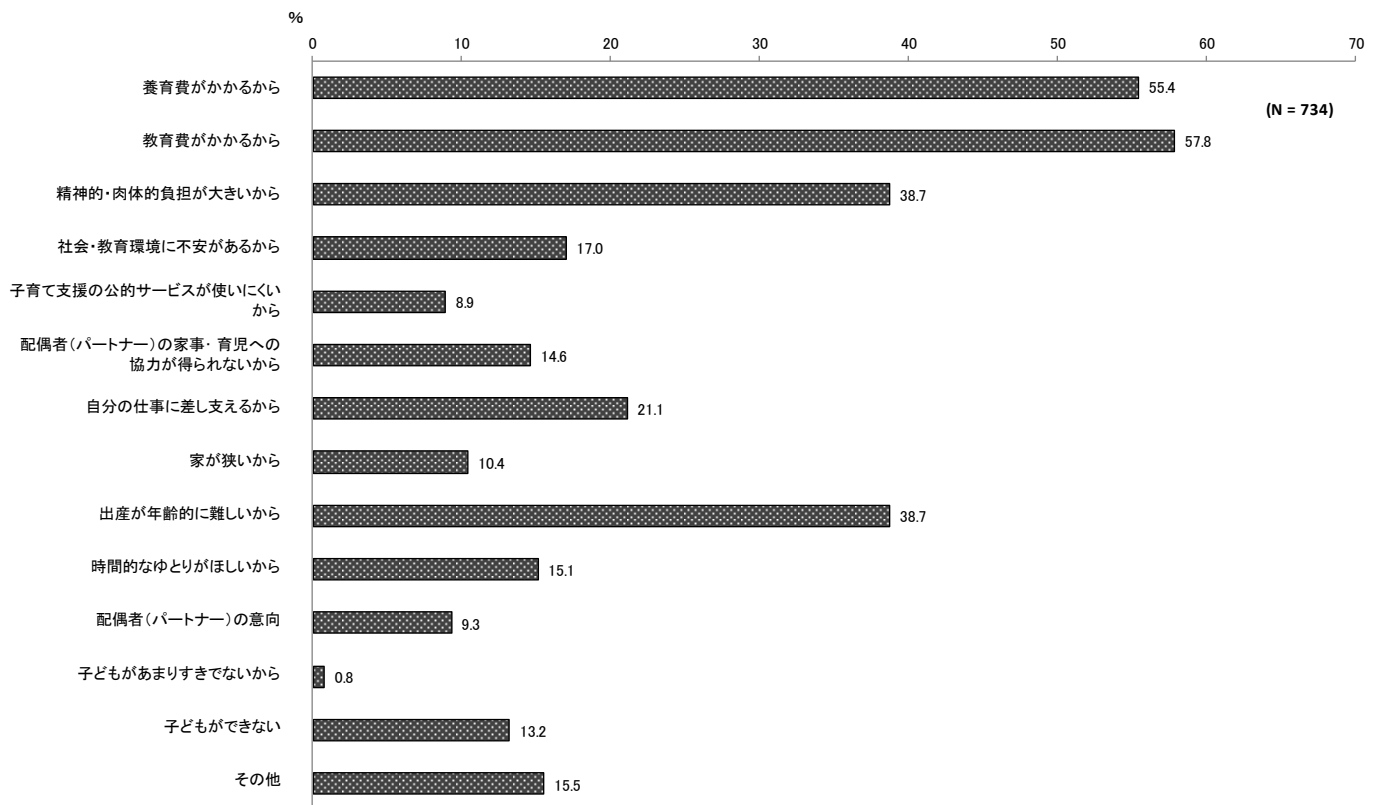
【世帯月収別】



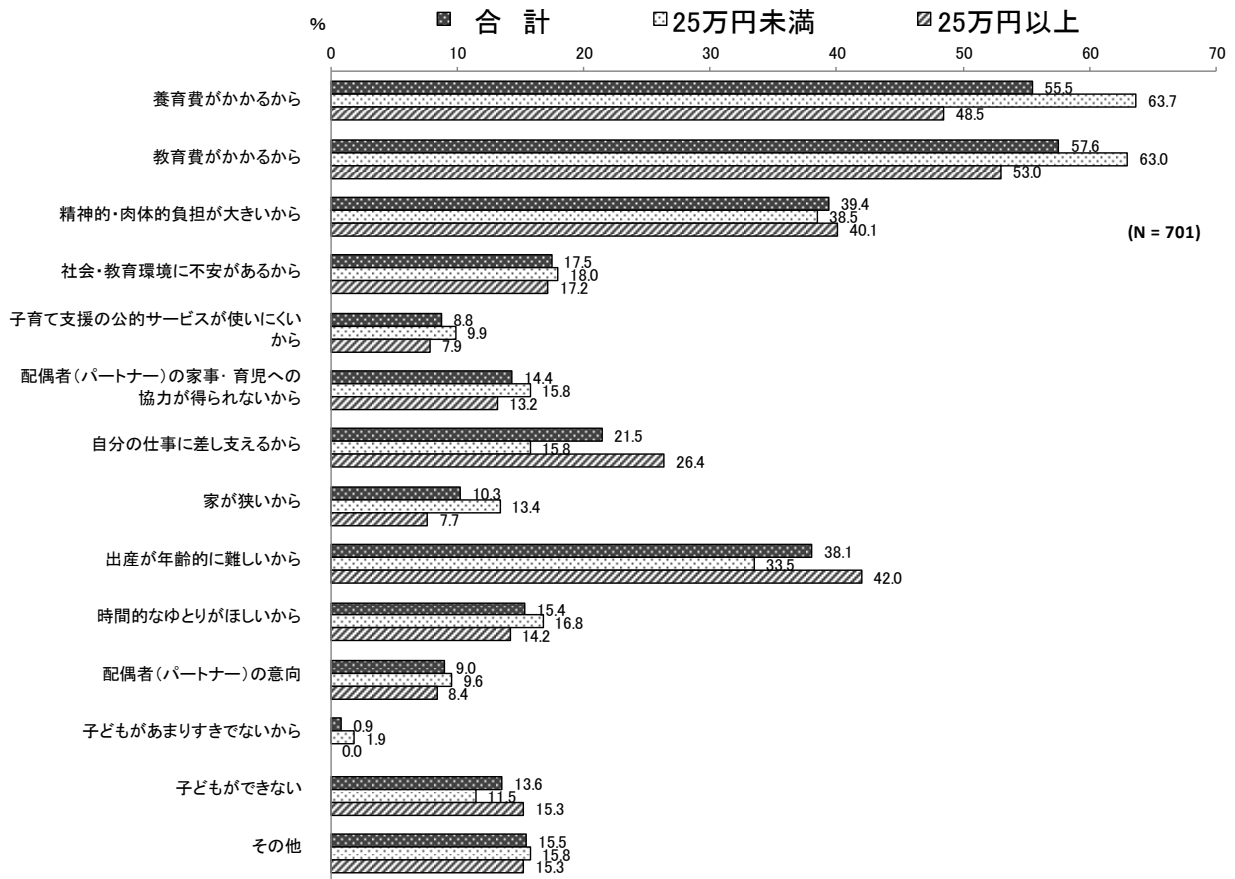
23. 理想的と考える人数の子どもを持たない・持たない理由

「教育費がかかるから」が 57.8%と最も高く、次いで「養育費がかかるから」が 55.4%、「精神的・肉体的負担が大きいから」及び「出産が年齢的に難しいから」が同率で 38.7%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において「教育費がかかるから」及び「養育費がかかるから」は 6 割以上となっており、25 万円以上の世帯と比べて 10 ポイント以上高くなっている。

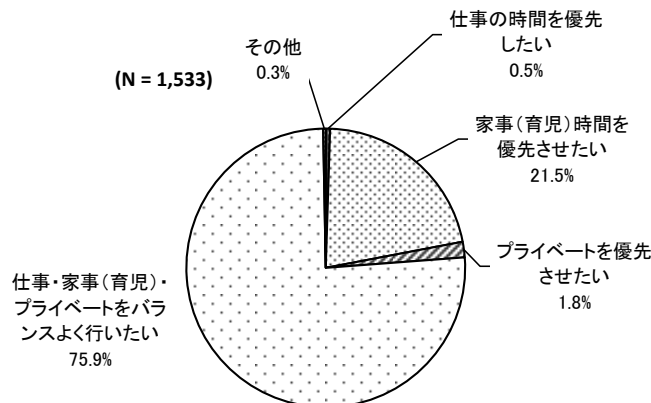


【世帯月収別】



24. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）

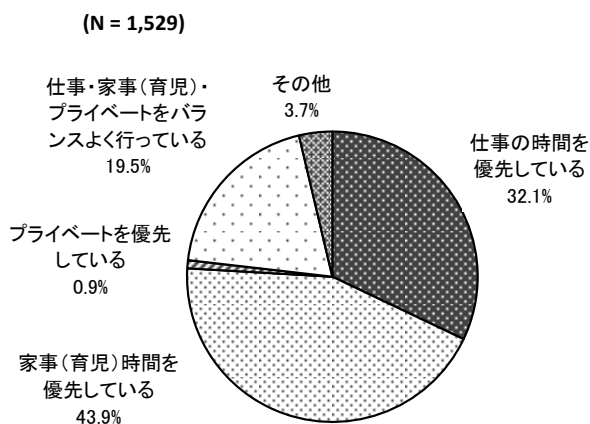
「仕事・家事（育児）・プライベートをバランスよく行いたい」が 75.9%と最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先させたい」が 21.5%、「プライベートを優先させたい」が 1.8%となっている。



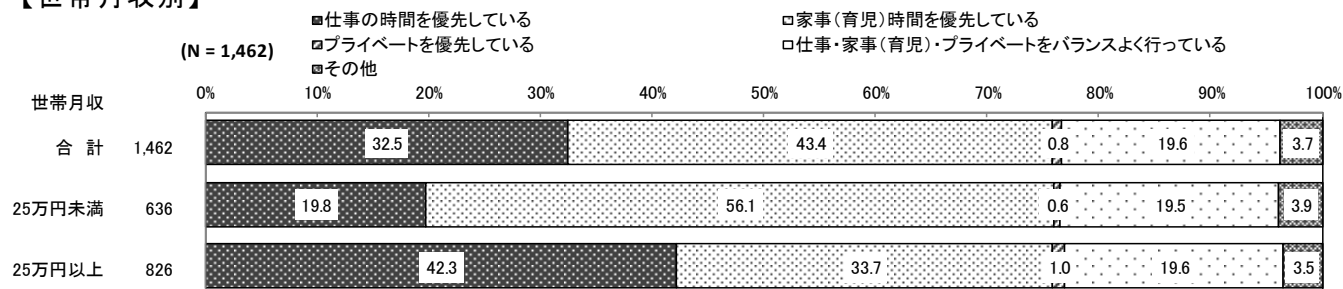
25. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）

「家事（育児）時間を優先している」が 43.9%と最も高く、次いで「仕事の時間を優先している」が 32.1%、「仕事・家事（育児）・プライベートをバランスよく行っている」が 19.5%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯では「家事（育児）時間を優先している」が 5割以上を占めているのに対し、25万円以上の世帯では「仕事の時間を優先している」が 4割以上を占めており、「家事（育児）・プライベートをバランスよく行っている」はどちらも 2割程度となっている。

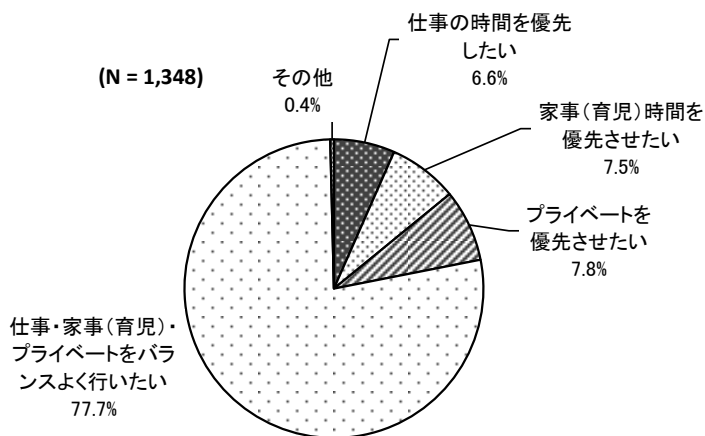


【世帯月収別】



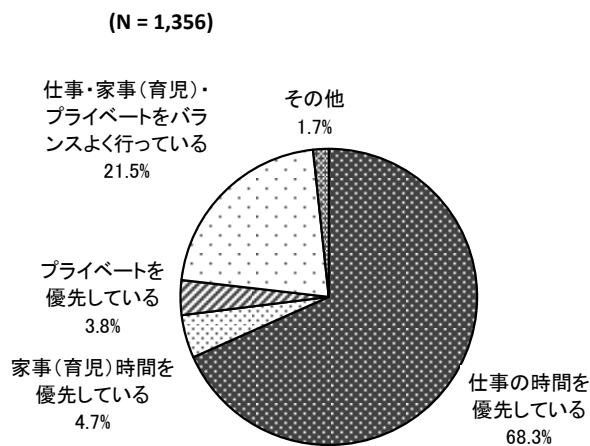
26. 【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）

「仕事・家事（育児）・プライベートをバランスよく行いたい」が 77.7%と最も高く、次いで「プライベートを優先させたい」が 7.8%、「家事（育児）時間を優先させたい」が 7.5%となっている。

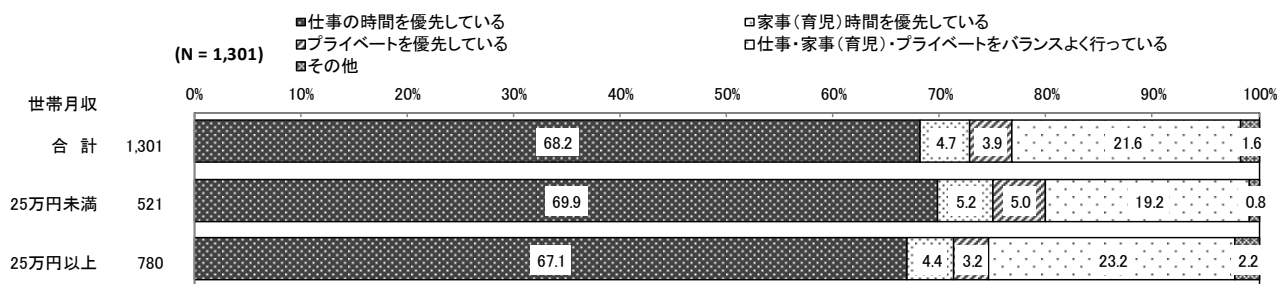


27. 【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）

「仕事の時間を優先している」が 68.3%と最も高く、次いで「仕事・家事（育児）・プライベートをバランスよく行っている」が 21.5%、「家事（育児）時間を優先している」が 4.7%となっている。



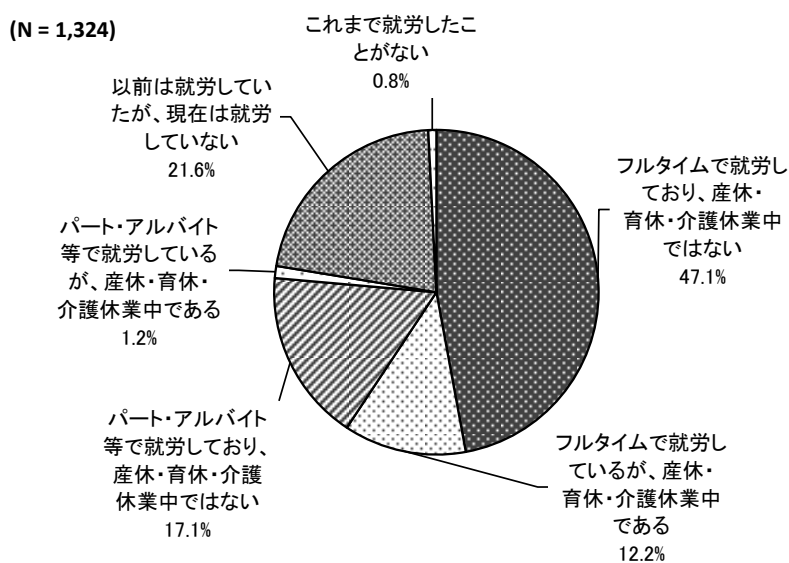
【世帯月収別】



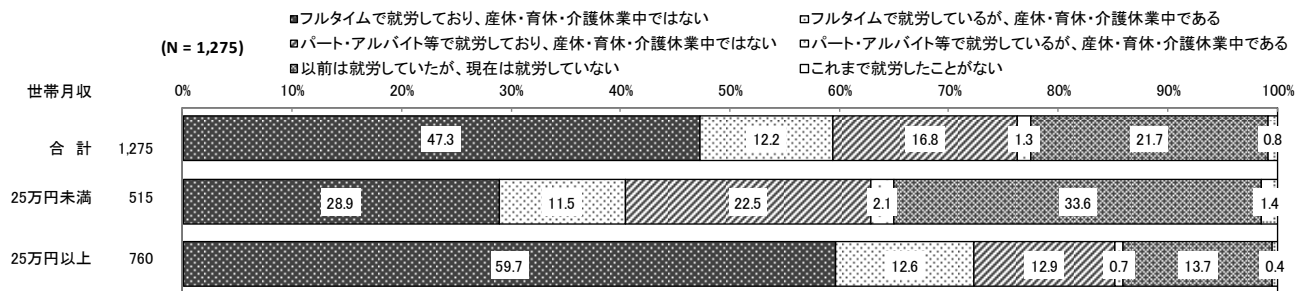
28. 【母親】現在の就労状況

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 47.1%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 21.6%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 17.1%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円以上の世帯において「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」はほぼ6割を占めている一方、25万円未満の世帯においては3割弱となっており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」も3割以上を占めている。



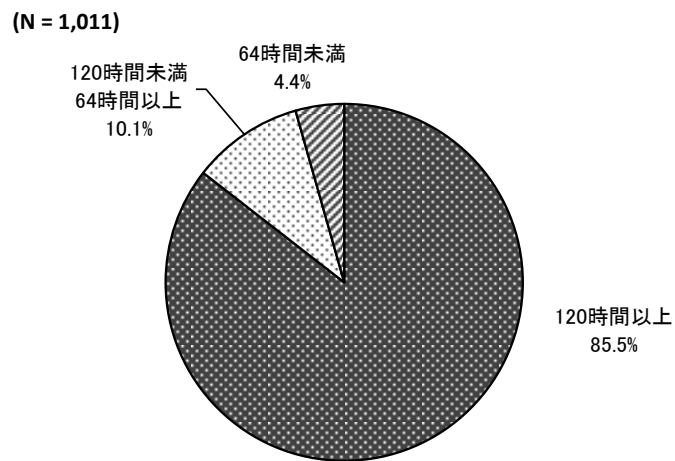
【世帯月収別】



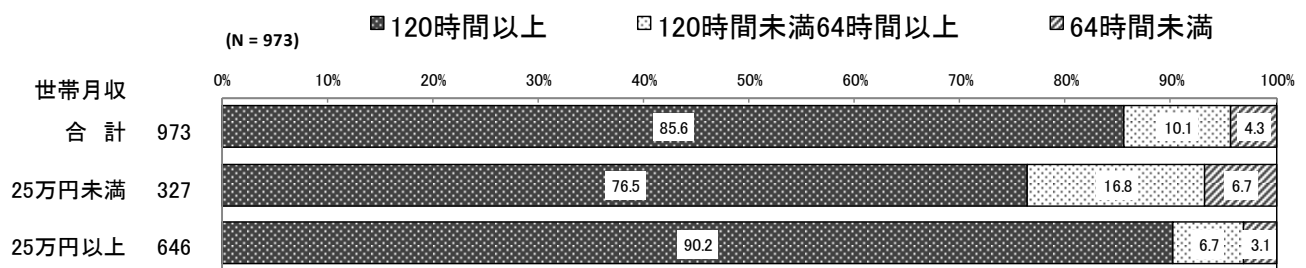
29. 【母親】就労日数（ひと月あたり）

「120 時間以上」が 85.5%と最も高く、次いで「120 時間未満 64 時間以上」が 10.1%、「64 時間未満」が 4.4%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において「120 時間未満 64 時間以上」の割合が 25 万円以上の世帯と比べて 10.1 ポイント上回っている。

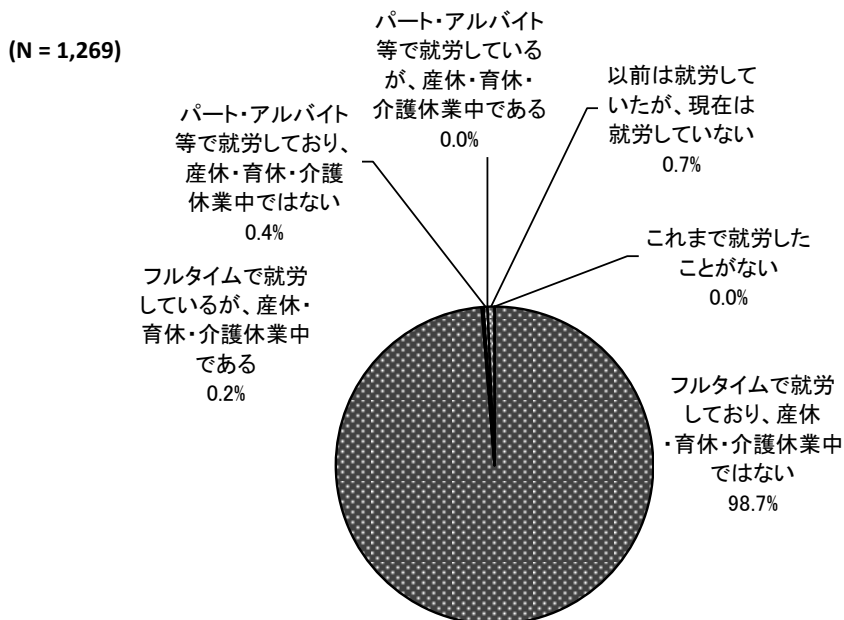


【世帯月収別】

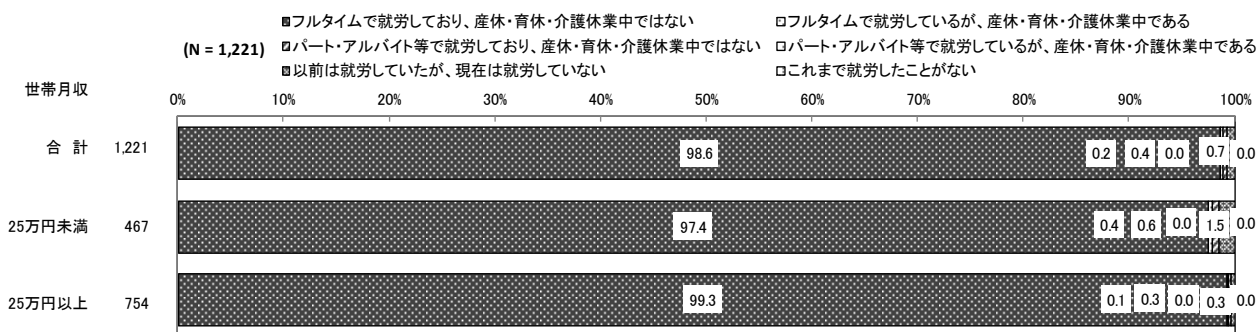


30. 【父親】現在の就労状況

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 98.7%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.7%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 0.4%となっている。

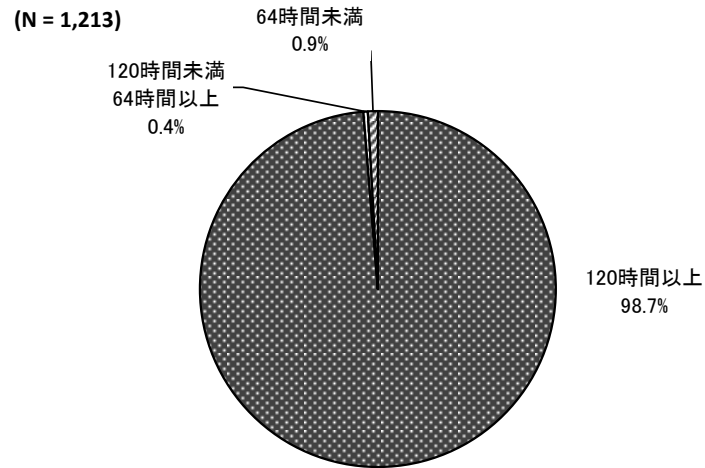


【世帯月収別】

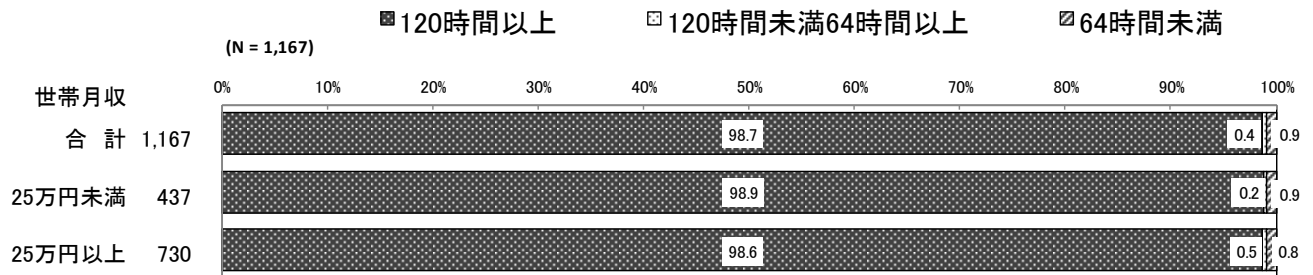


31. 【父親】就労日数（ひと月あたり）

「120 時間以上」が 98.7%と最も高く、次いで「64 時間未満」が 0.9%、「120 時間未満 64 時間以上」が 0.4%となっている。子育て家庭のほとんどで、父親は「120 時間以上」就労していることがわかった。



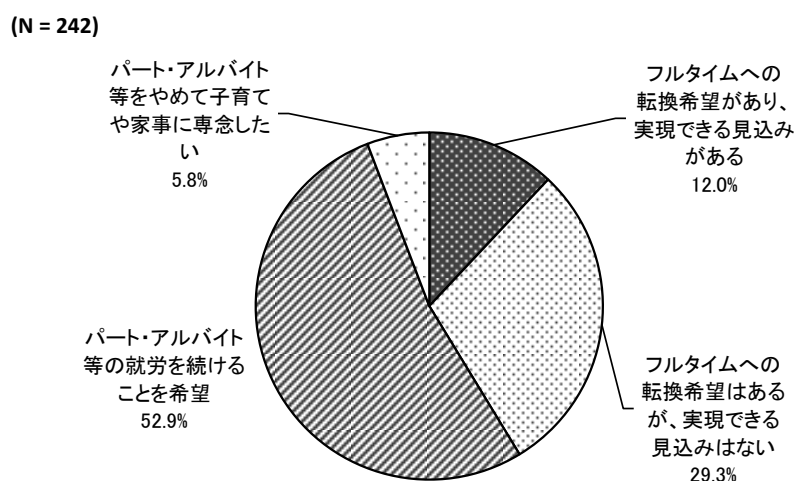
【世帯月収別】



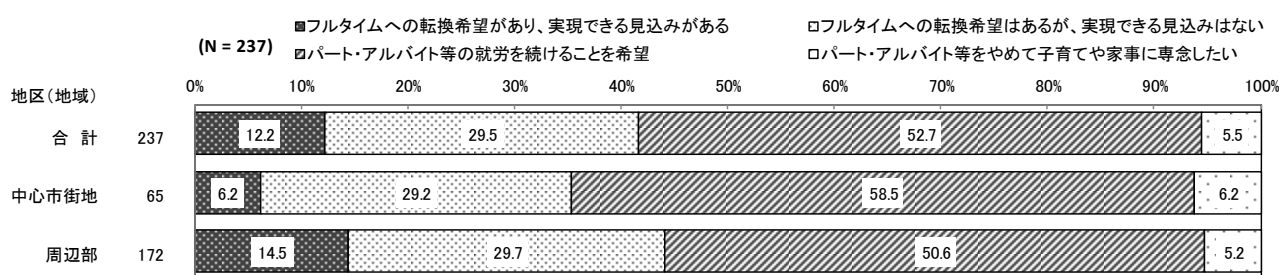
32. 【母親】フルタイムへの転換希望の有無

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 29.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.0%となっている。

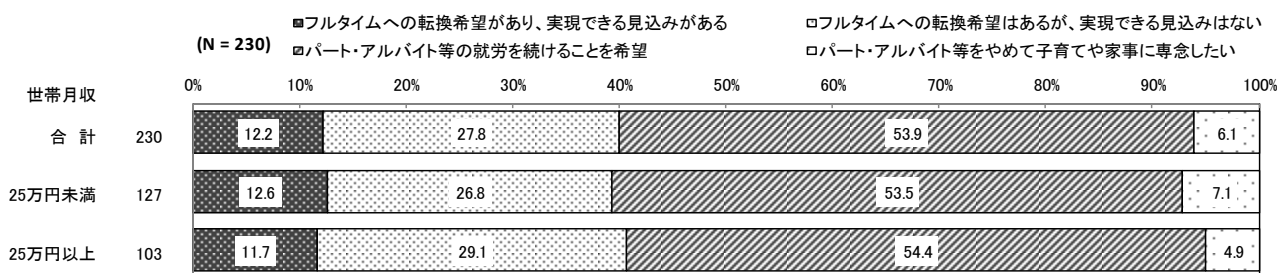
地区別にみたとき、中心市街地において「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 6 割近くを占める一方、周辺部では 5 割程度にとどまり、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が、中心市街地よりも 8.3 ポイント高くなっている。



【地区別】



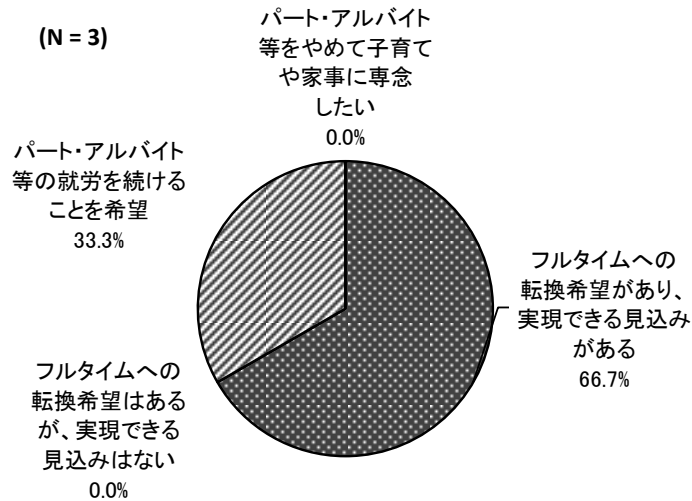
【世帯月収別】



33. 【父親】フルタイムへの転換希望の有無

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 66.7%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 33.3%となっている。

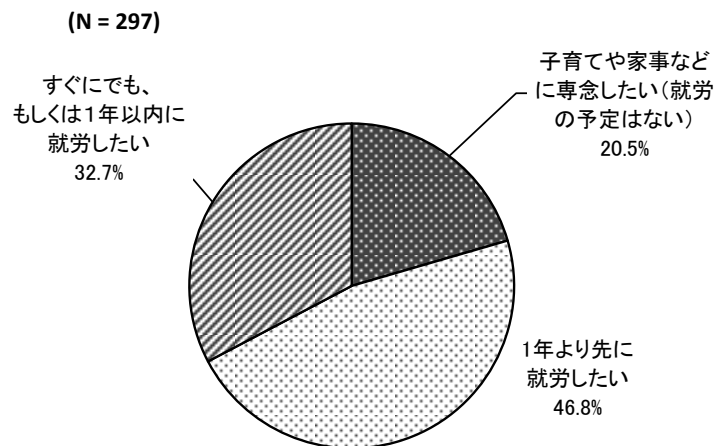
対象者数が非常に少ないため、属性別の傾向については割愛する。



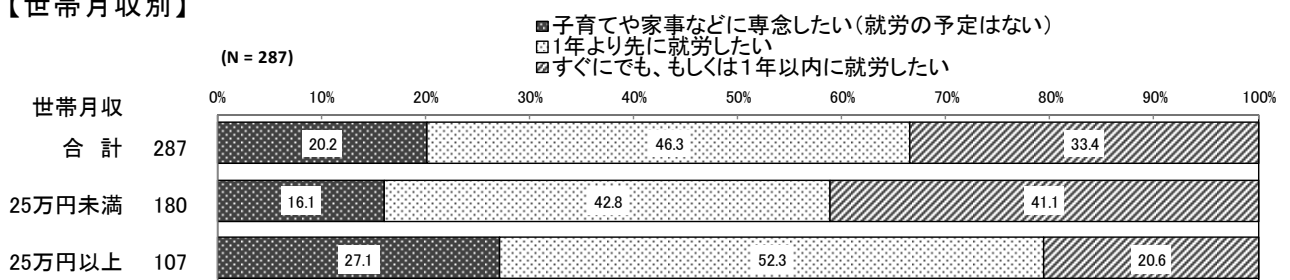
34. 【母親】就労したい希望

「1年より先に就労したい」が 46.8%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 32.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 20.5%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4割以上を占めており、25万円以上の世帯を20ポイント以上上回っている。

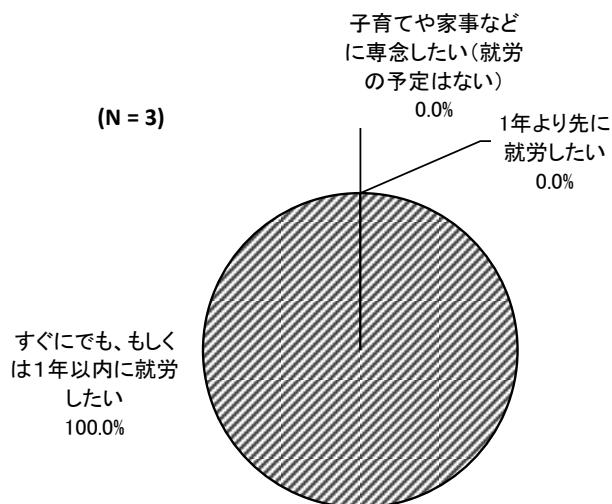


【世帯月収別】



35. 【父親】就労したい希望

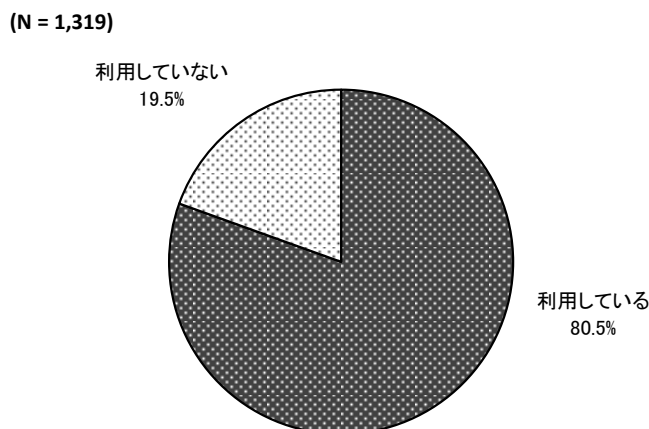
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が回答のすべてを占めた。



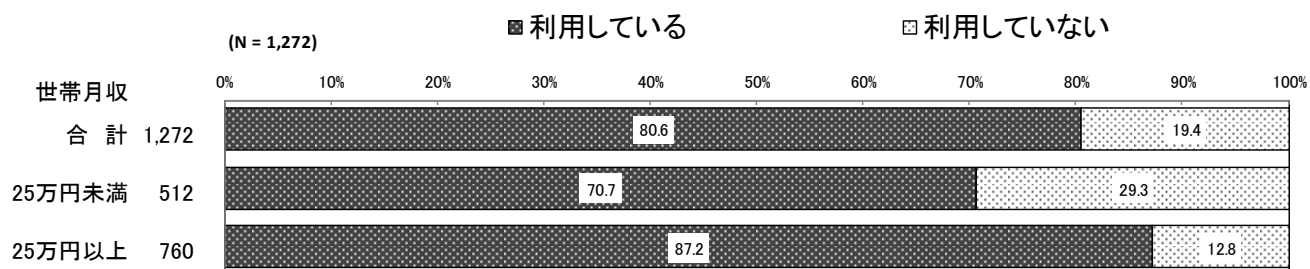
36. 定期的な教育・保育事業（幼稚園や保育所など）の利用について

「利用している」は80.5%、「利用していない」は19.5%であった。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「利用していない」が3割近くを占めた。

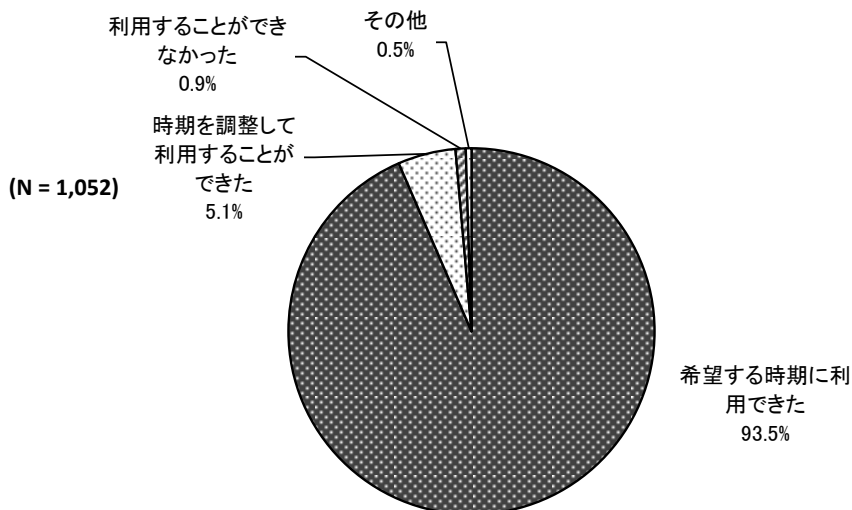


【世帯月収別】



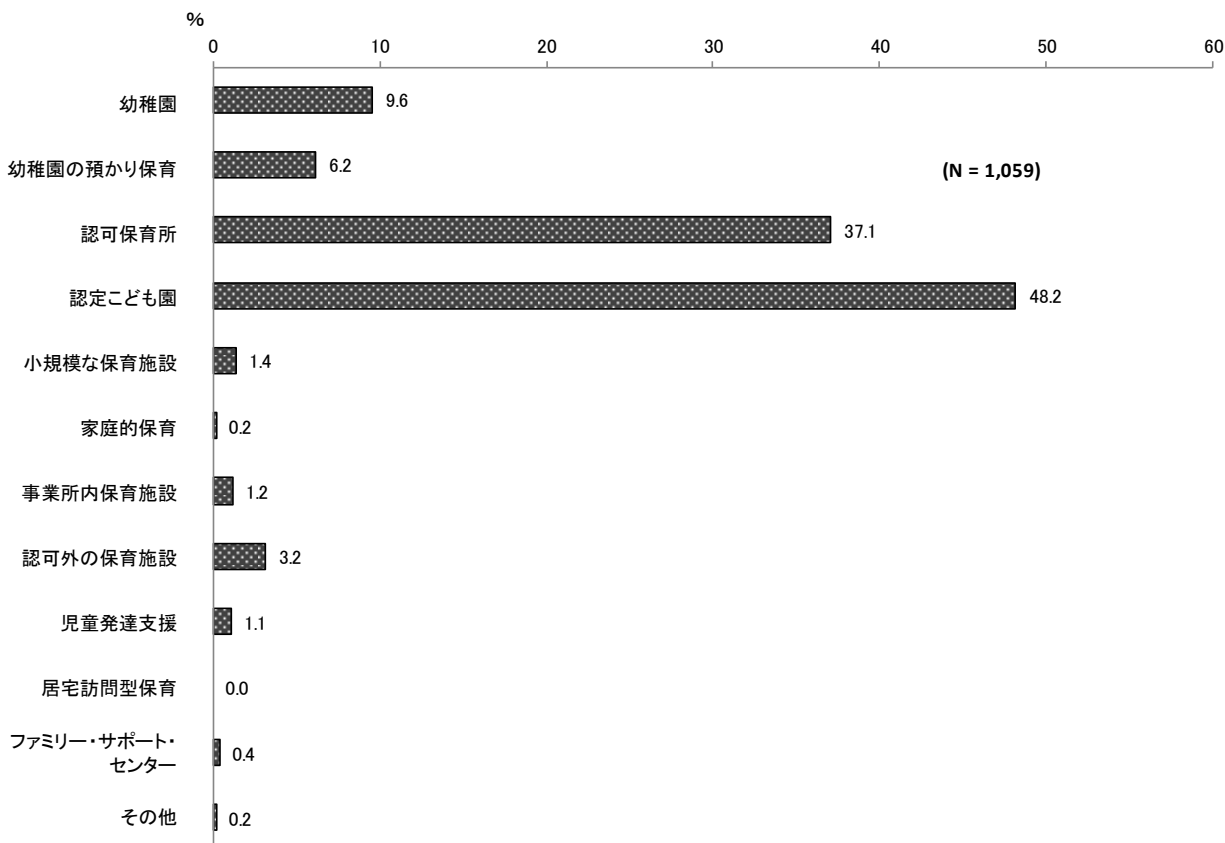
37. 希望した保育サービスを利用できているか

「希望する時期に利用できた」が 93.5%と最も高く、次いで「時期を調整して利用することができた」が 5.1%、「利用することができなかった」が 0.9%となっている。



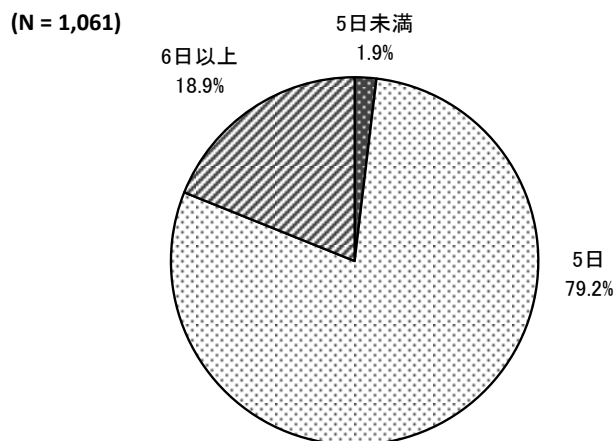
38. 【月曜日～金曜日】定期的に利用している教育・保育事業

「認定こども園」が 48.2%と最も高く、次いで「認可保育所」が 37.1%、「幼稚園」が 9.6%となっている。



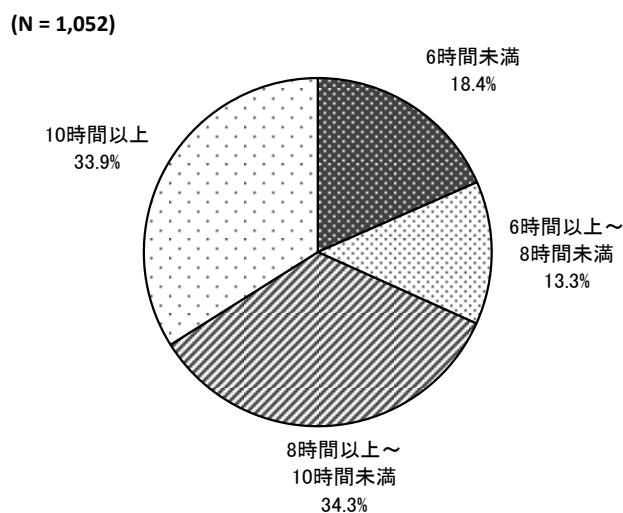
39. 【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の利用日数／1週あたり

「5日」が79.2%と最も高く、次いで「6日以上」が18.9%となっている。



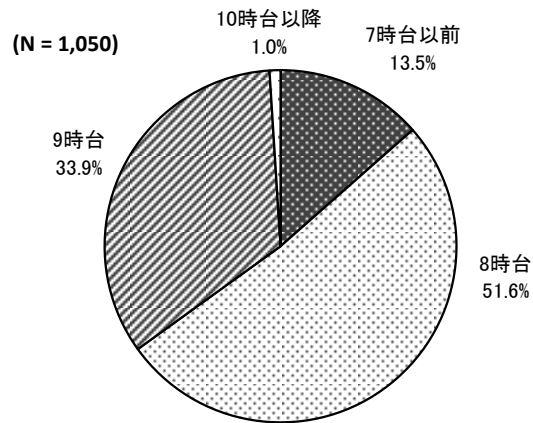
40. 【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の利用時間数／1日あたり

「8時間以上～10時間未満」が34.3%と最も高く、次いで「10時間以上」が33.9%、「6時間以上～8時間未満」が13.3%となっている。



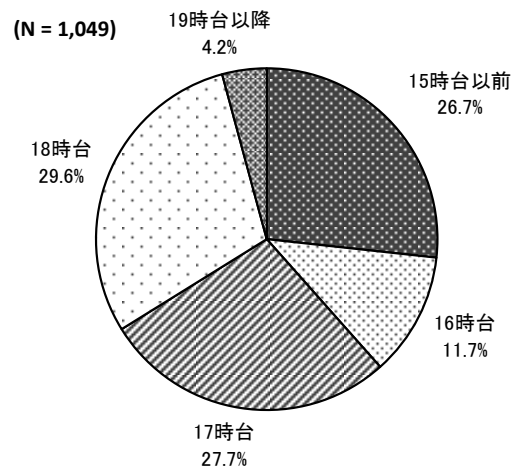
41. 【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の開始時間

「8時台」が51.6%と最も高く、次いで「9時台」が33.9%、「7時台以前」が13.5%となっている。



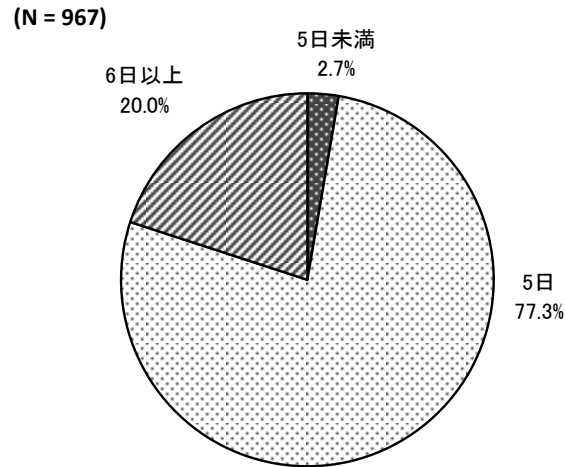
42. 【月曜日～金曜日】現在定期的に利用している教育・保育事業の終了時間

「18時台」が29.6%と最も高く、次いで「17時台」が27.7%、「15時台以前」が26.7%となっている。



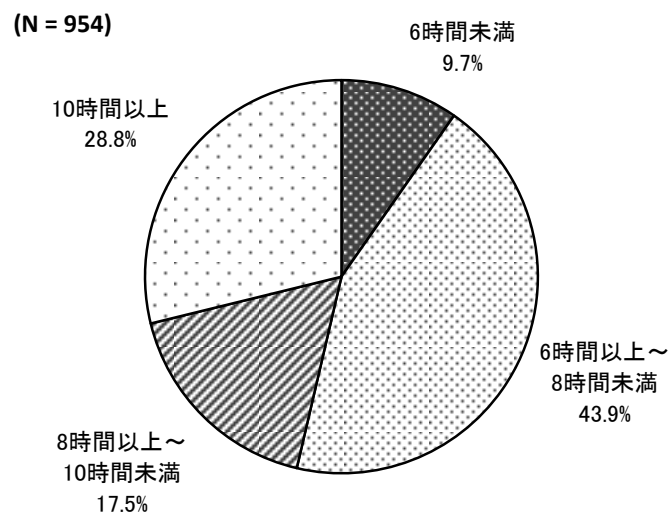
43. 【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の利用日数／1週あたり

「5日」が77.3%と最も高く、次いで「6日以上」が20.0%となっている。



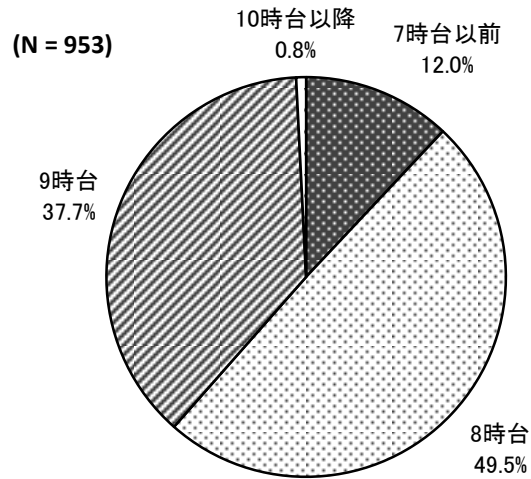
44. 【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の利用時間数／1日あたり

「6時間以上～8時間未満」が43.9%と最も高く、次いで「10時間以上」が28.8%、「8時間以上～10時間未満」が17.5%となっている。



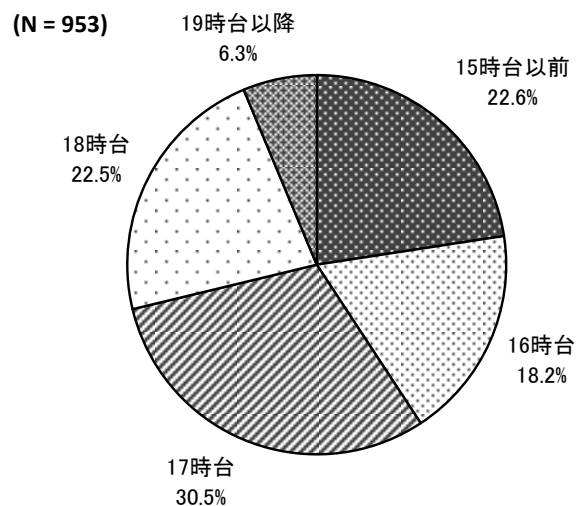
45. 【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の開始時間

「8時台」が49.5%と最も高く、次いで「9時台」が37.7%、「7時台以前」が12.0%となっている。



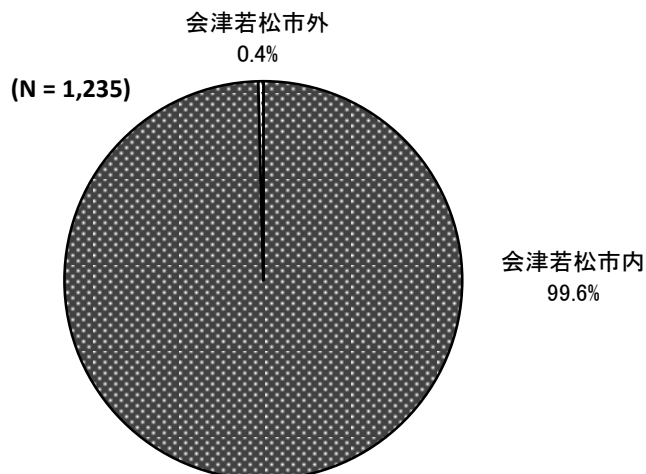
46. 【月曜日～金曜日】希望する教育・保育事業の終了時間

「17時台」が30.5%と最も高く、次いで「15時台以前」が22.6%、「18時台」が22.5%となっている。



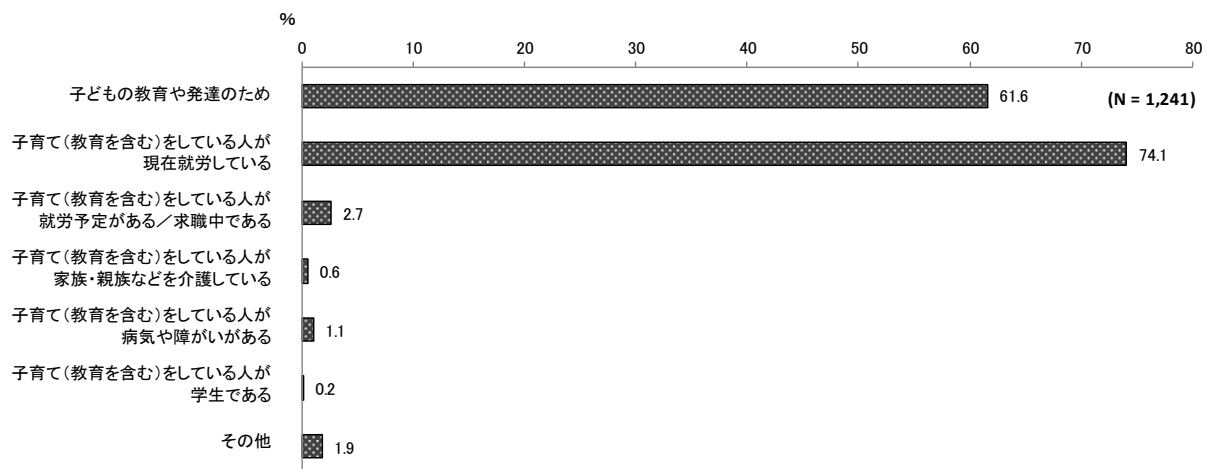
47. 【月曜日～金曜日】定期的に利用している教育・保育事業の場所

「会津若松市内」は 99.6%、「会津若松市外」は 0.4%であった。
ほとんどの家庭において、会津若松市内において教育・保育事業を利用していることがわかった。



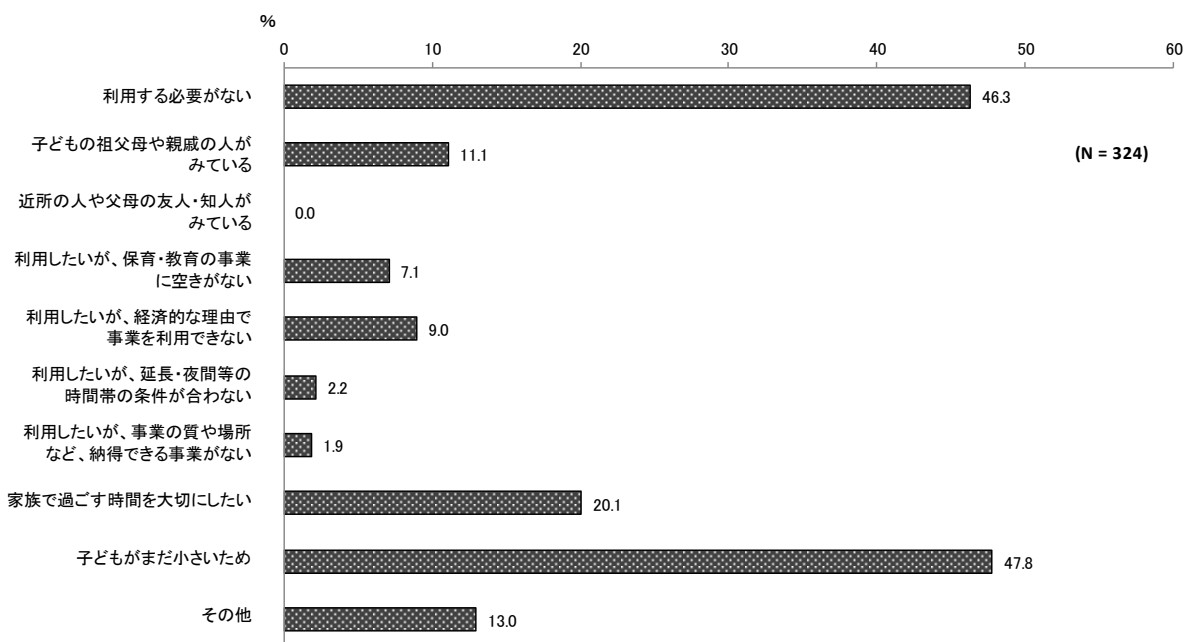
48. 【月曜日～金曜日】定期的に利用している理由

「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が 74.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 61.6%、「子育て（教育を含む）をしている人が就労予定がある／求職中である」が 2.7%となっている。



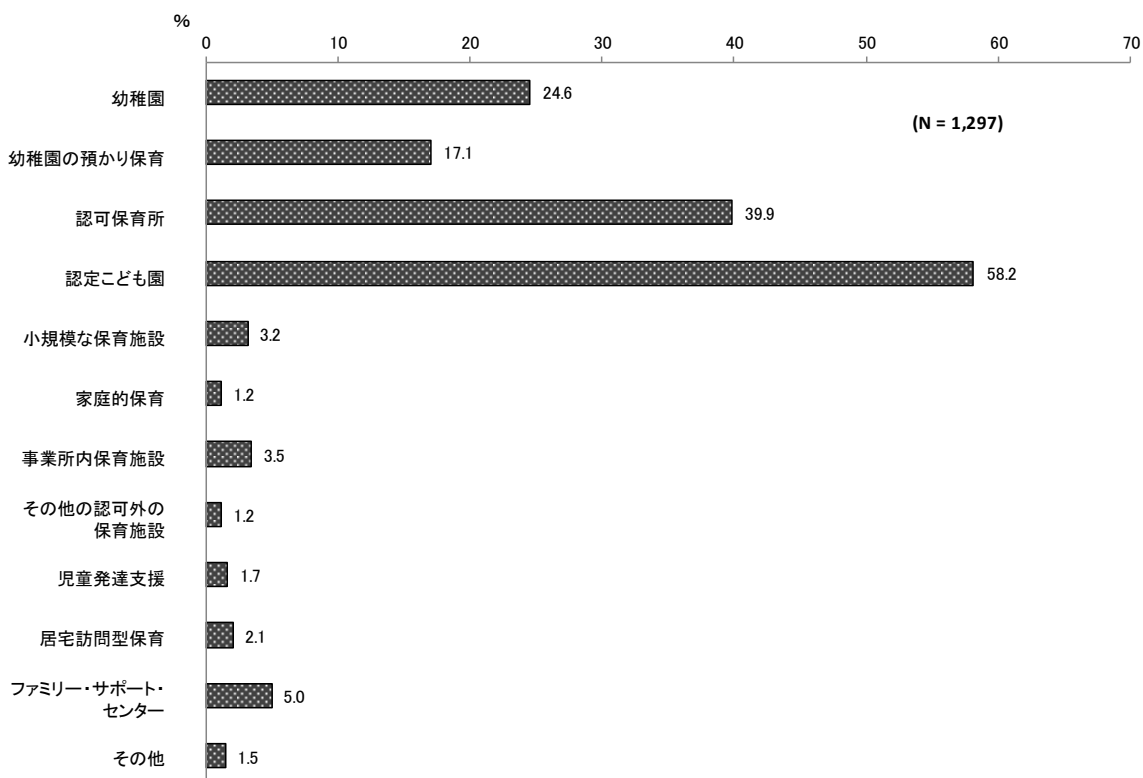
49. 【月曜日～金曜日】定期的に利用していない理由

「子どもがまだ小さいため」が47.8%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が46.3%、「家族で過ごす時間を大切にしたい」が20.1%となっている。



50. 【月曜日～金曜日】定期的に利用したいと考える事業

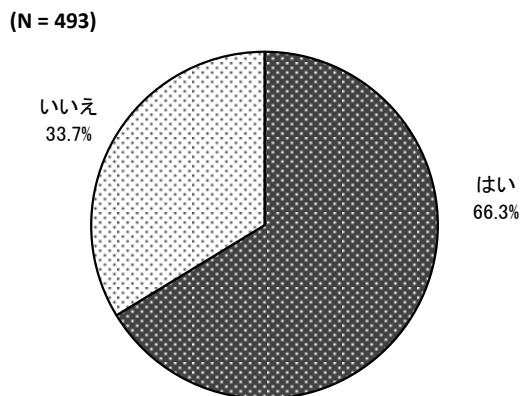
「認定こども園」が58.2%と最も高く、次いで「認可保育所」が39.9%、「幼稚園」が24.6%となっている。



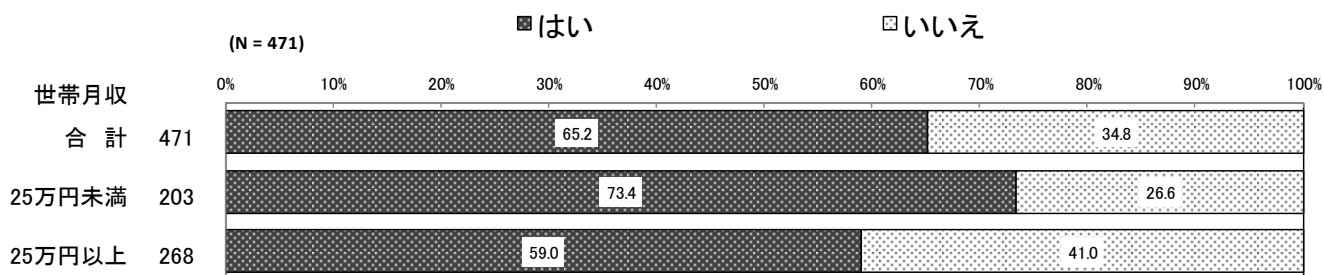
51. 【月曜日～金曜日】現在、利用している、していないにかかわらず、定期的に幼稚園、認可保育所、認定こども園などの事業を利用したいと考えた際、幼稚園の利用を強く希望するか

「はい」は66.3%、「いいえ」は33.7%であった。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯で「はい」が7割以上となっており、25万円以上の世帯におけるおよそ6割を上回っている。



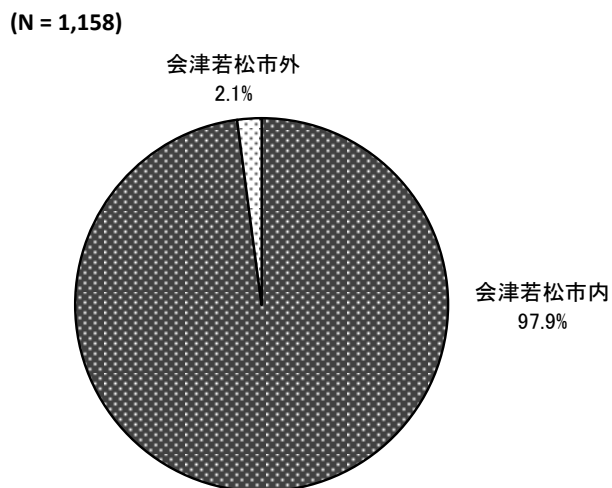
【世帯月収別】



52. 【月曜日～金曜日】教育・保育事業を利用したい場所

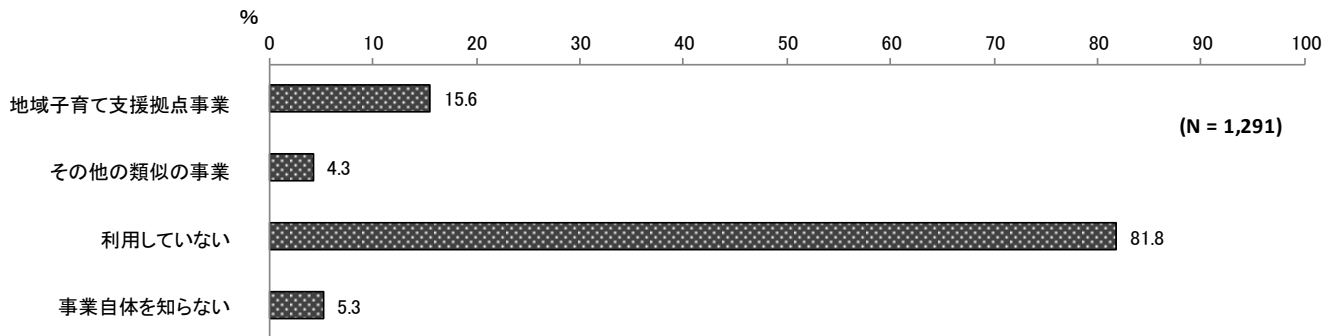
「会津若松市内」は97.9%、「会津若松市外」は2.1%であった。

ほとんどの家庭において、会津若松市内での教育・保育事業を望んでいることがわかった。



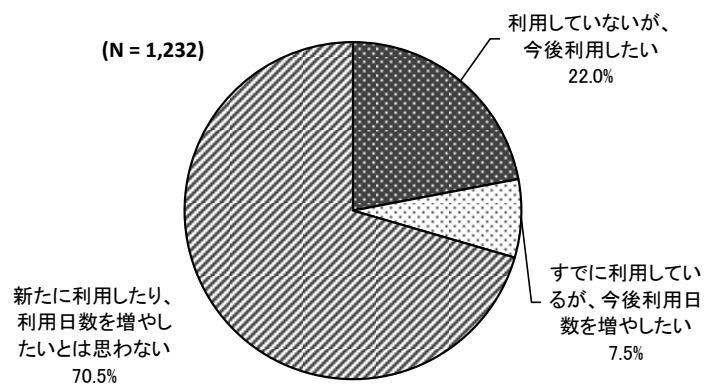
53. 利用している地域子育て支援拠点事業等

「利用していない」が 81.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が 15.6%、「事業自体を知らない」が 5.3%となっている。



54. 地域子育て支援拠点事業について、利用したいもしくは日数を増やしたいという希望

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 70.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 22.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 7.5%となっている。

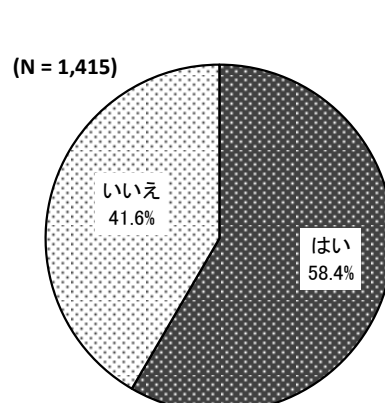
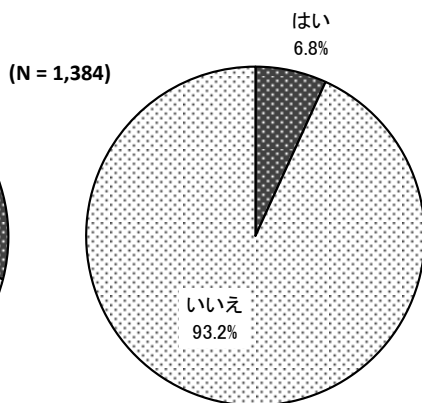
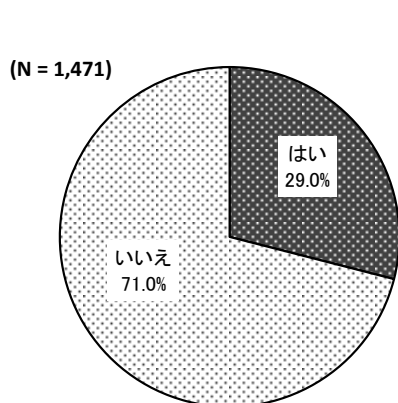


55. 【事業の利用状況】①家庭教育に関する学級・講座

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

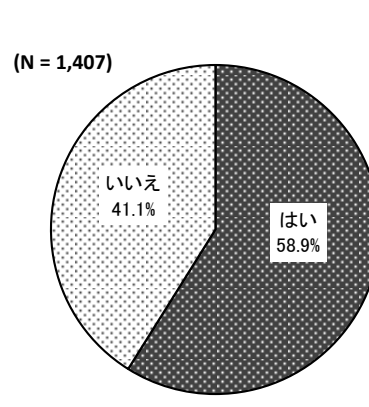
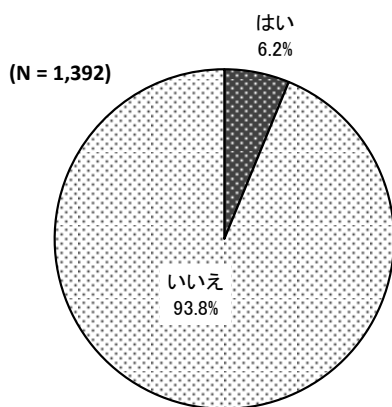
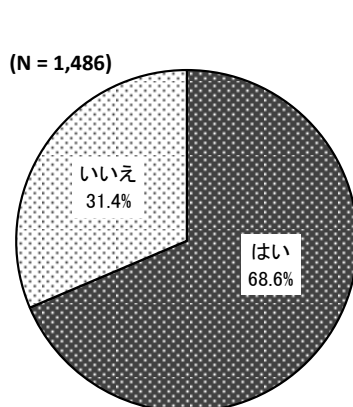


56. 【事業の利用状況】②家庭児童相談室

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

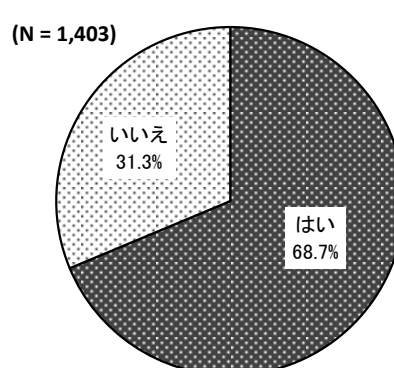
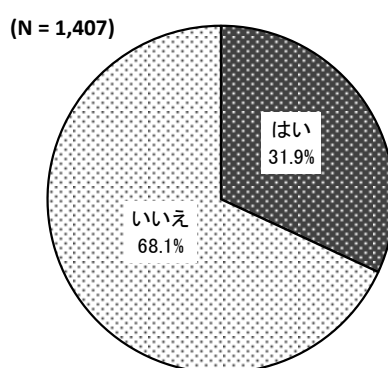
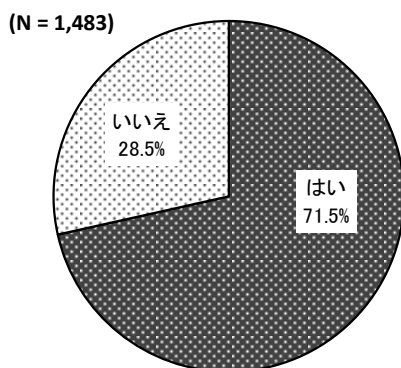


57. 【事業の利用状況】③子育て世代包括支援センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

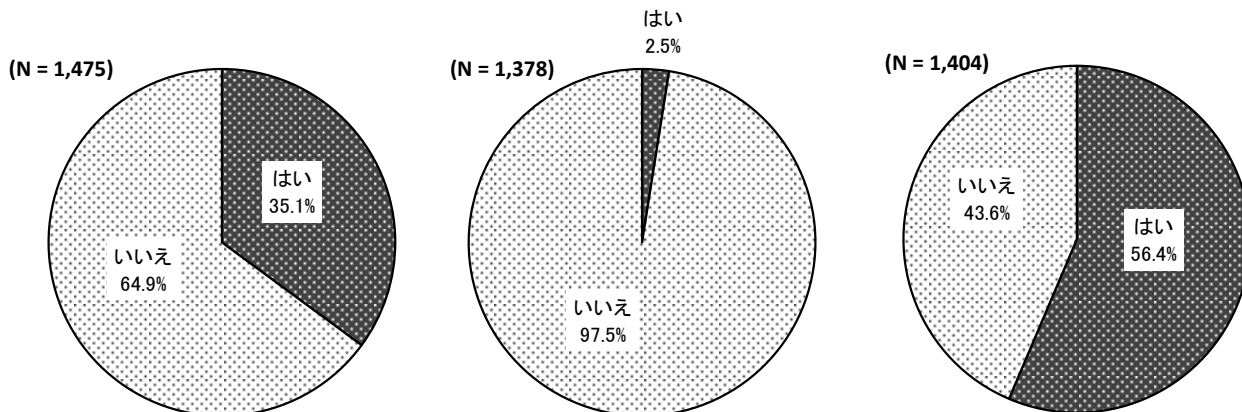


58. 【事業の利用状況】④教育相談室

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

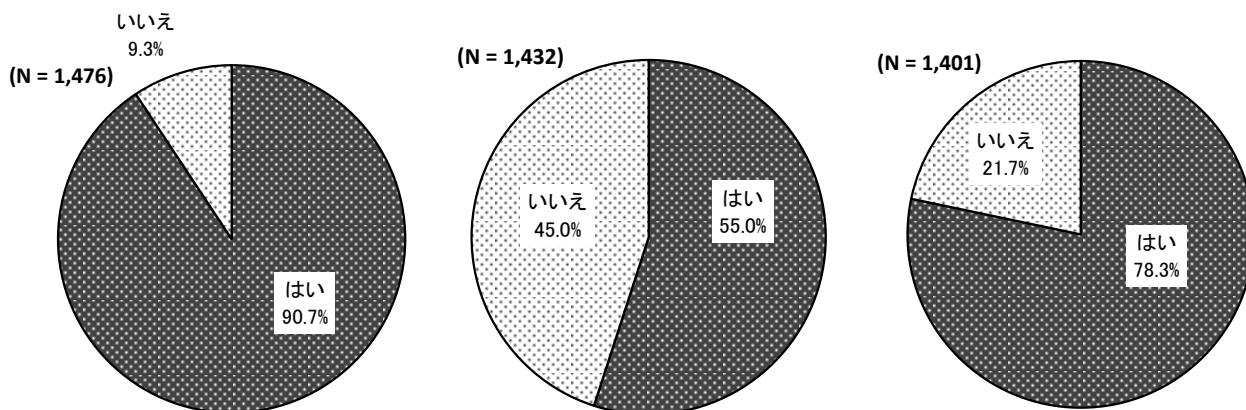


59. 【事業の利用状況】⑤保育所、認定こども園、幼稚園の園庭等の解放

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

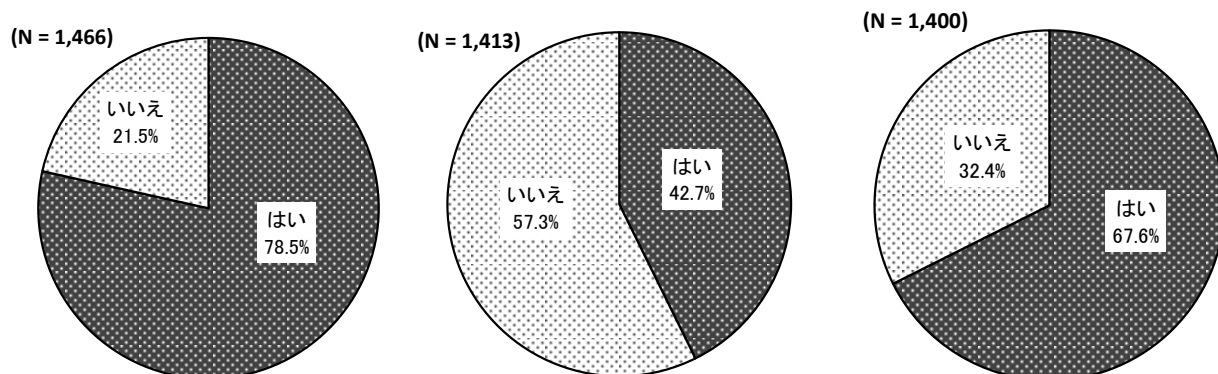


60. 【事業の利用状況】⑥地域子育て支援センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】



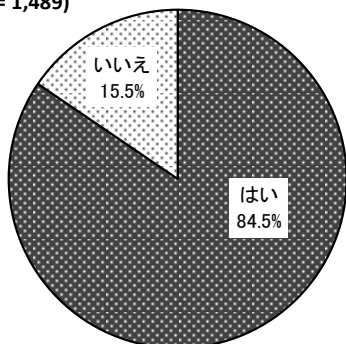
61. 【事業の利用状況】⑦児童館

【A 知っている】

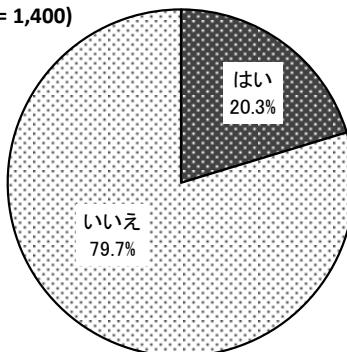
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

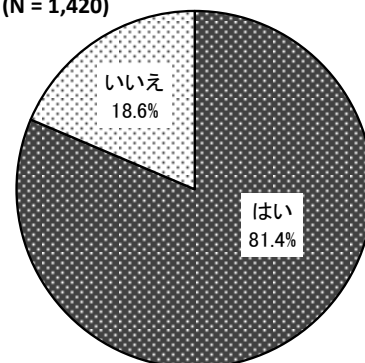
(N = 1,489)



(N = 1,400)



(N = 1,420)



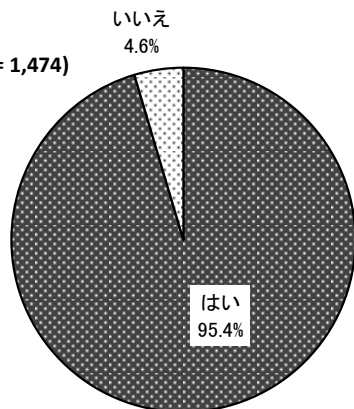
62. 【事業の利用状況】⑧認定こども園

【A 知っている】

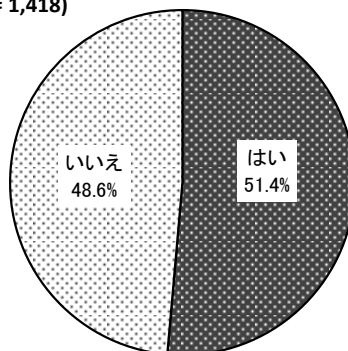
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

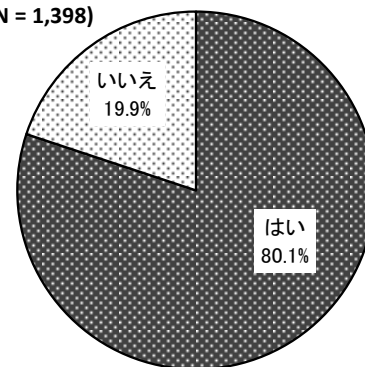
(N = 1,474)



(N = 1,418)



(N = 1,398)



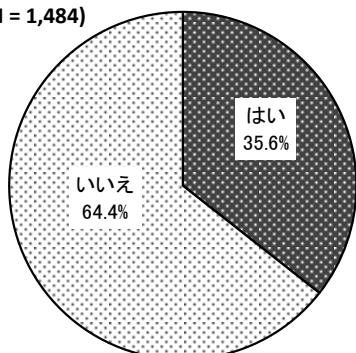
63. 【事業の利用状況】⑨特定保育

【A 知っている】

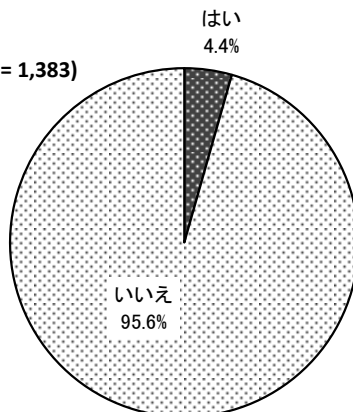
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

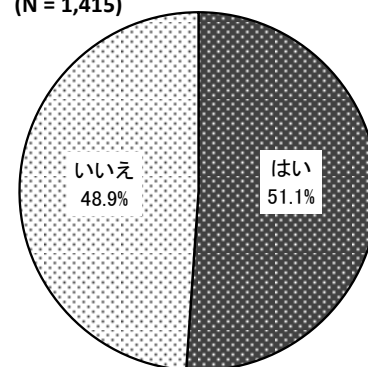
(N = 1,484)



(N = 1,383)



(N = 1,415)

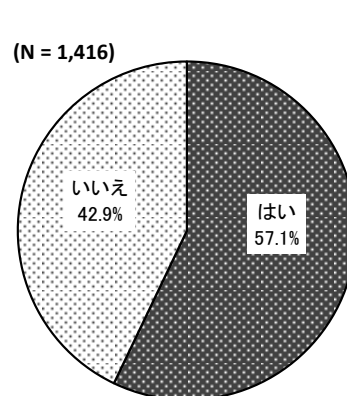
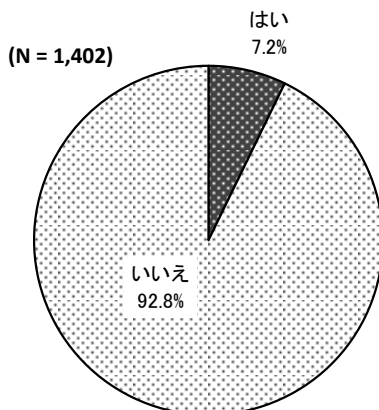
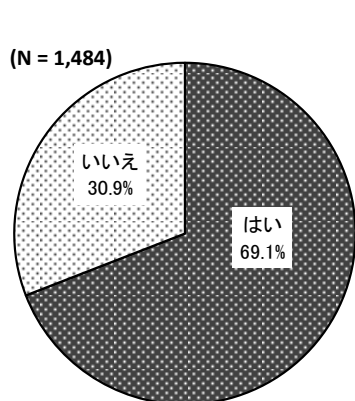


64. 【事業の利用状況】⑩ファミリー・サポート・センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

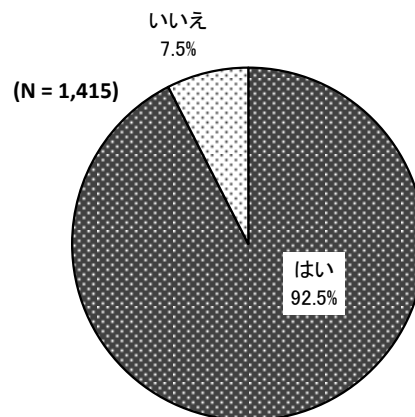
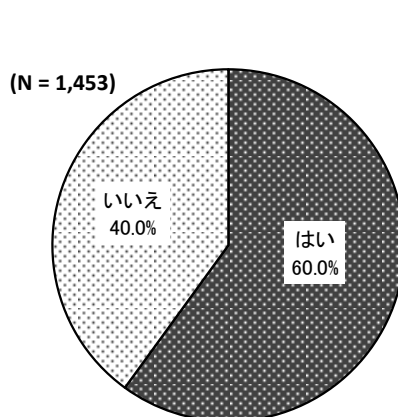
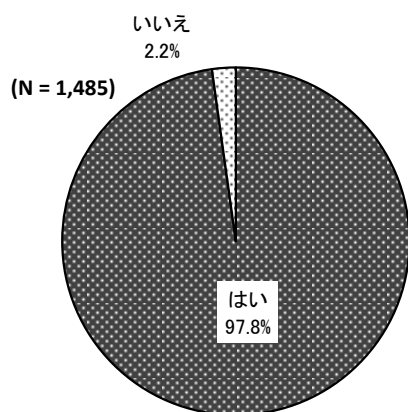


65. 【事業の利用状況】⑪夜間急病センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

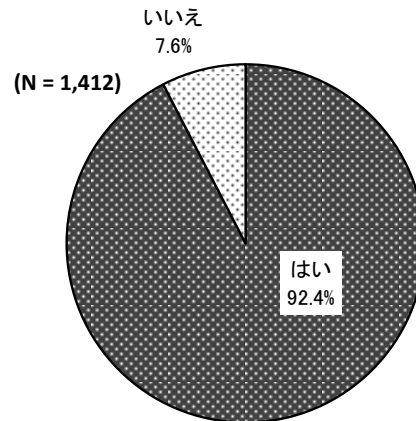
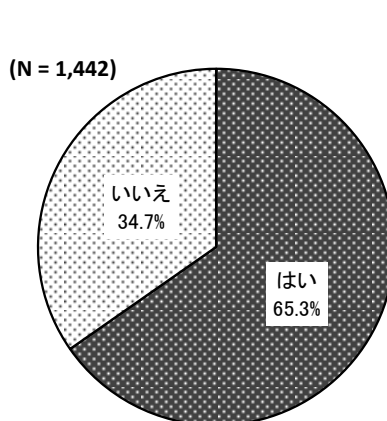
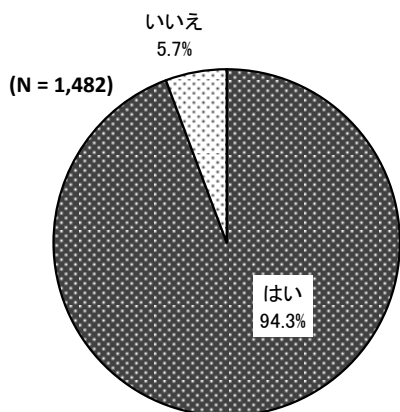


66. 【事業の利用状況】⑫休日当番医制事業

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

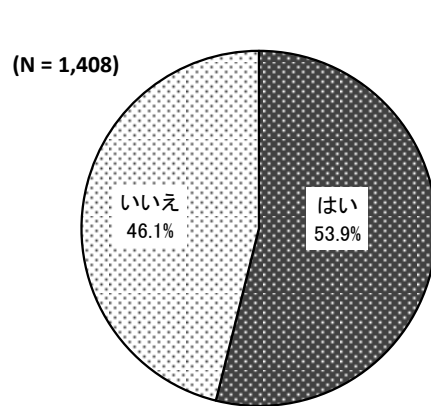
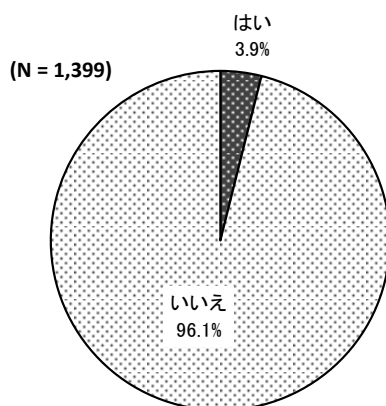
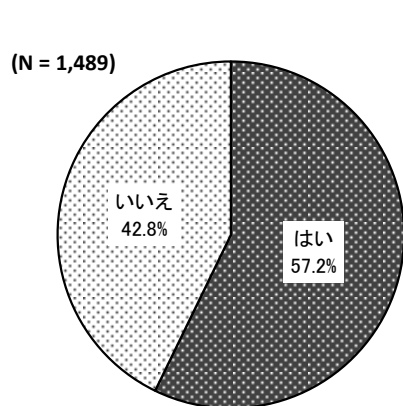


67. 【事業の利用状況】⑬障がい児相談支援・障がい福祉サービス

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

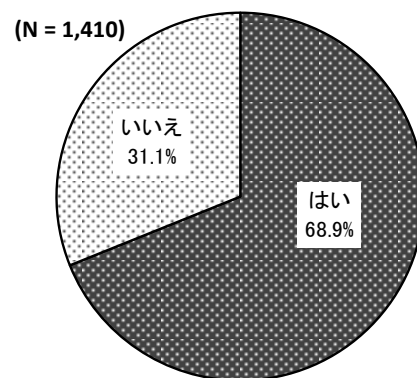
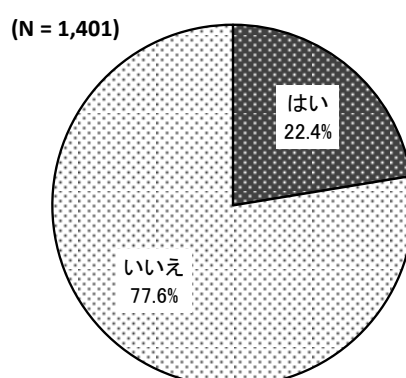
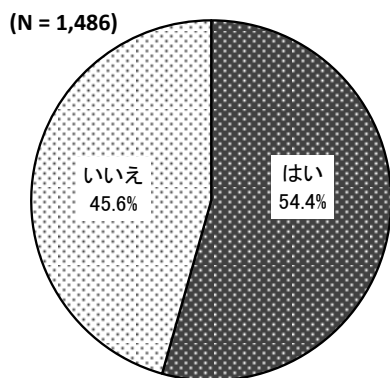


68. 【事業の利用状況】⑭子育て支援チラシ

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

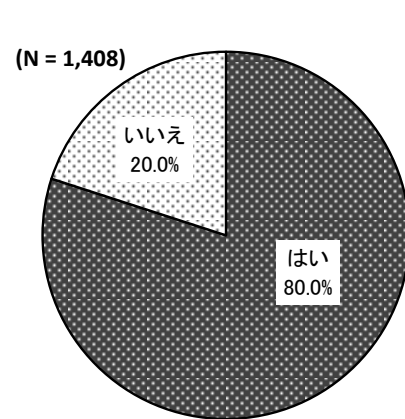
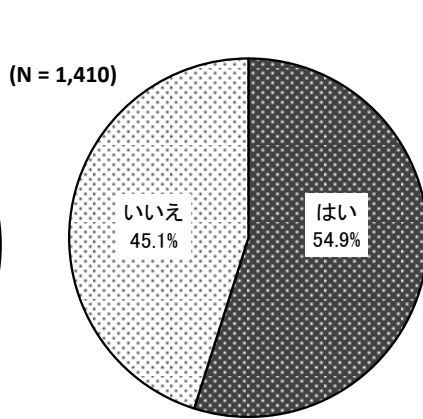
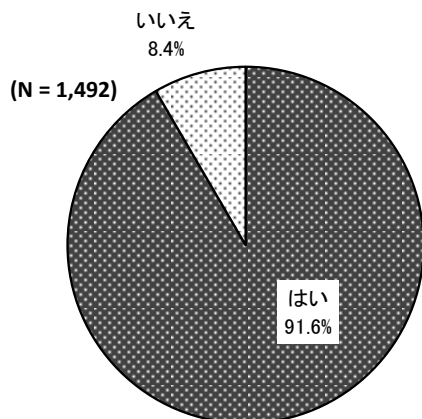


69. 【事業の利用状況】⑮市政だより、市のホームページ

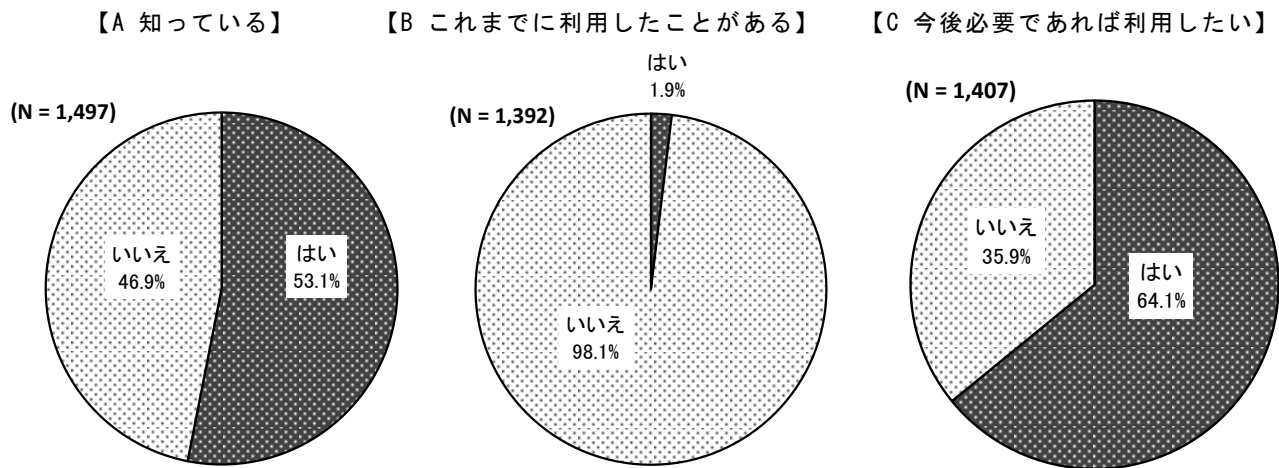
【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

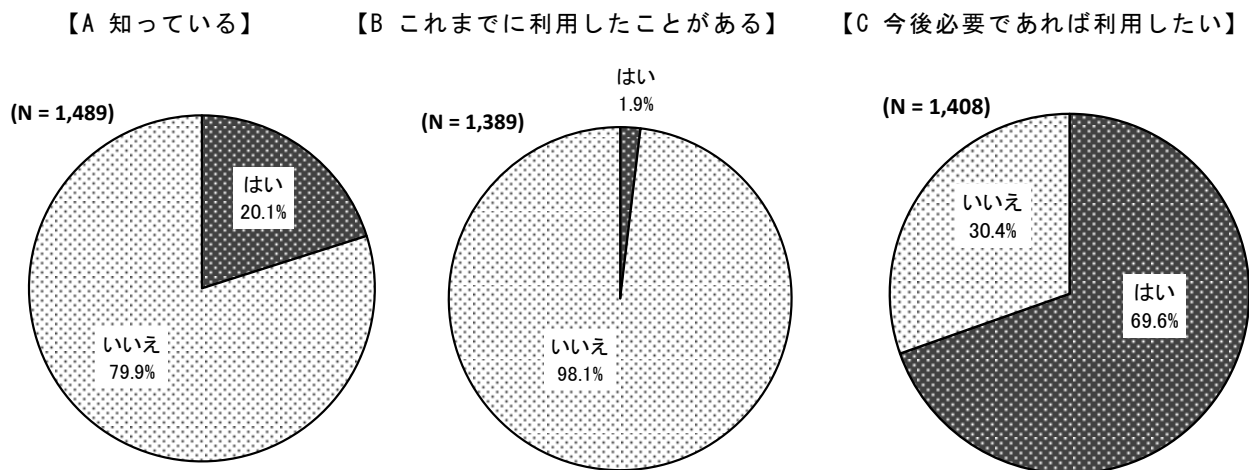
【C 今後必要であれば利用したい】



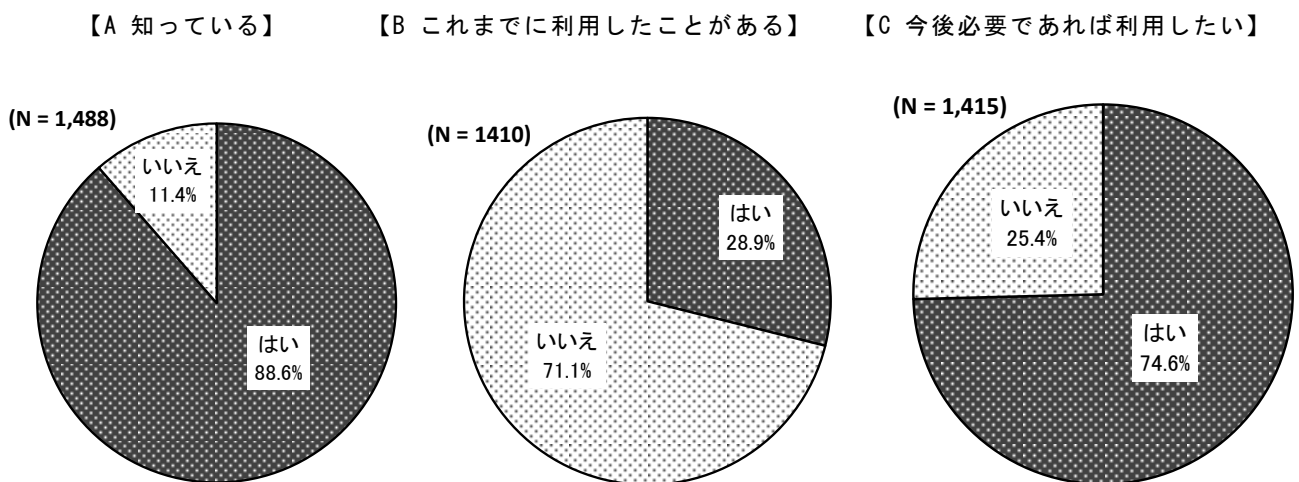
70. 【事業の利用状況】⑩虐待が心配な場合の市への通報制度



71. 【事業の利用状況】⑪子ども未来基金助成事業

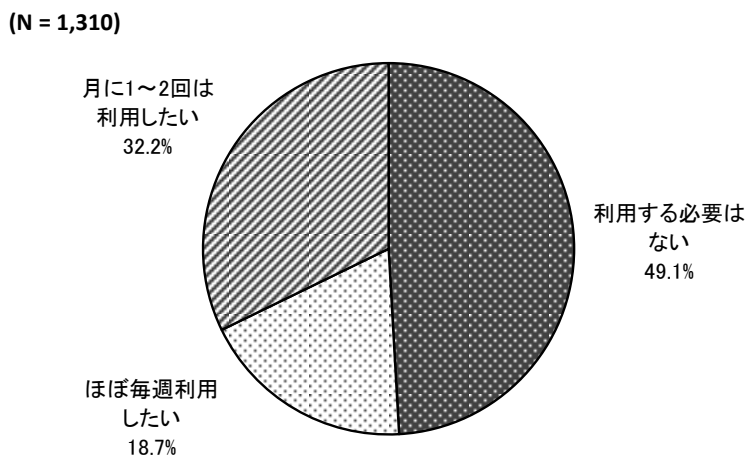


72. 【事業の利用状況】⑫生活保護、児童扶養手当、就学援助



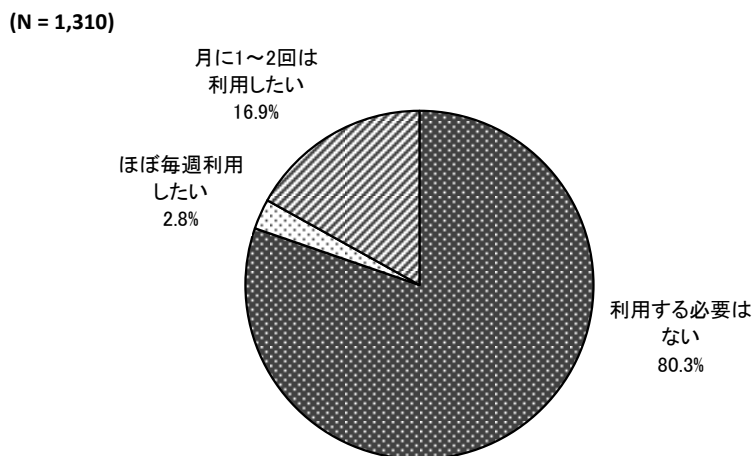
73. 【土曜日】 定期的な教育・保育事業の利用希望

「利用する必要はない」が 49.1%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 32.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 18.7%となっている。



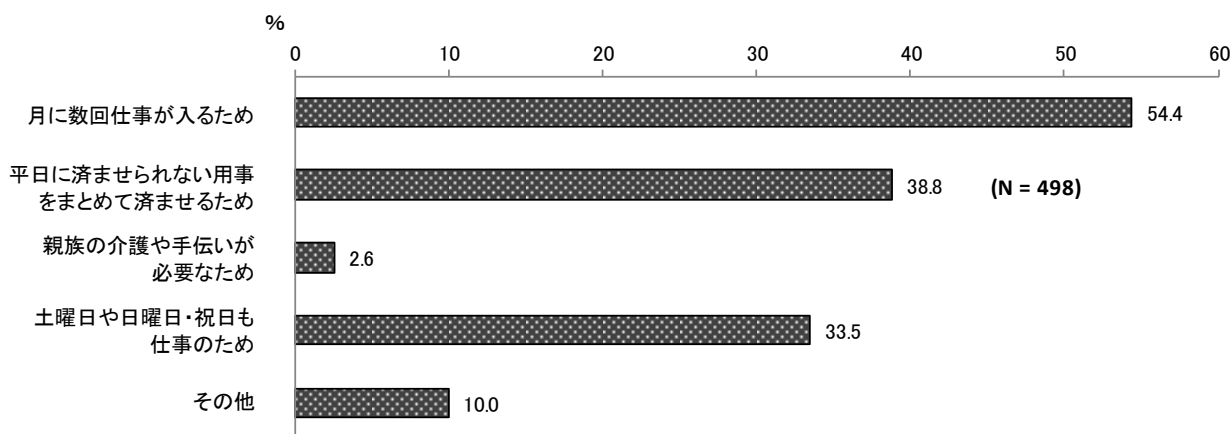
74. 【日曜日・祝日】 定期的な教育・保育事業の利用希望

「利用する必要はない」が 80.3%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.8%となっている。



75. 教育・保育事業をたまに利用したい理由

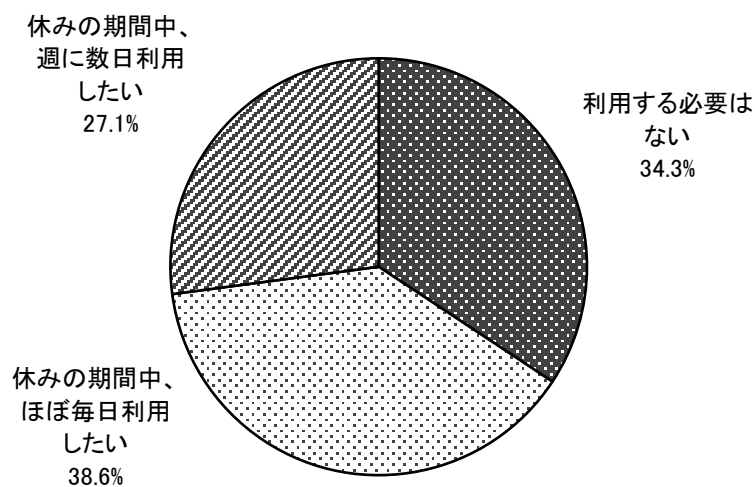
「月に数回仕事が入るため」が 54.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 38.8%、「土曜日や日曜日・祝日も仕事のため」が 33.5%となっている。



76. 幼稚園または認定こども園の幼稚園機能部分を利用している方の、長期休み中（夏休み・冬休みなど）の教育・保育事業の利用希望

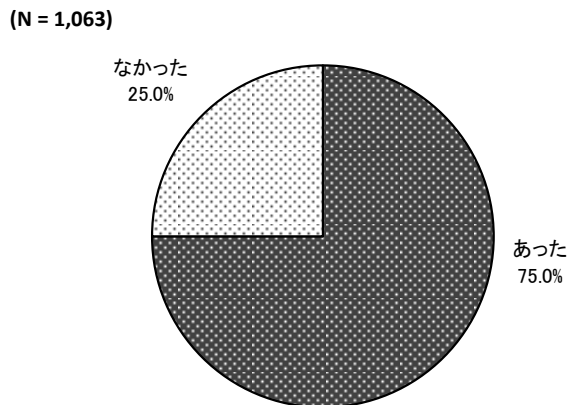
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 38.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 34.3%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 27.1%となっている。

(N = 536)



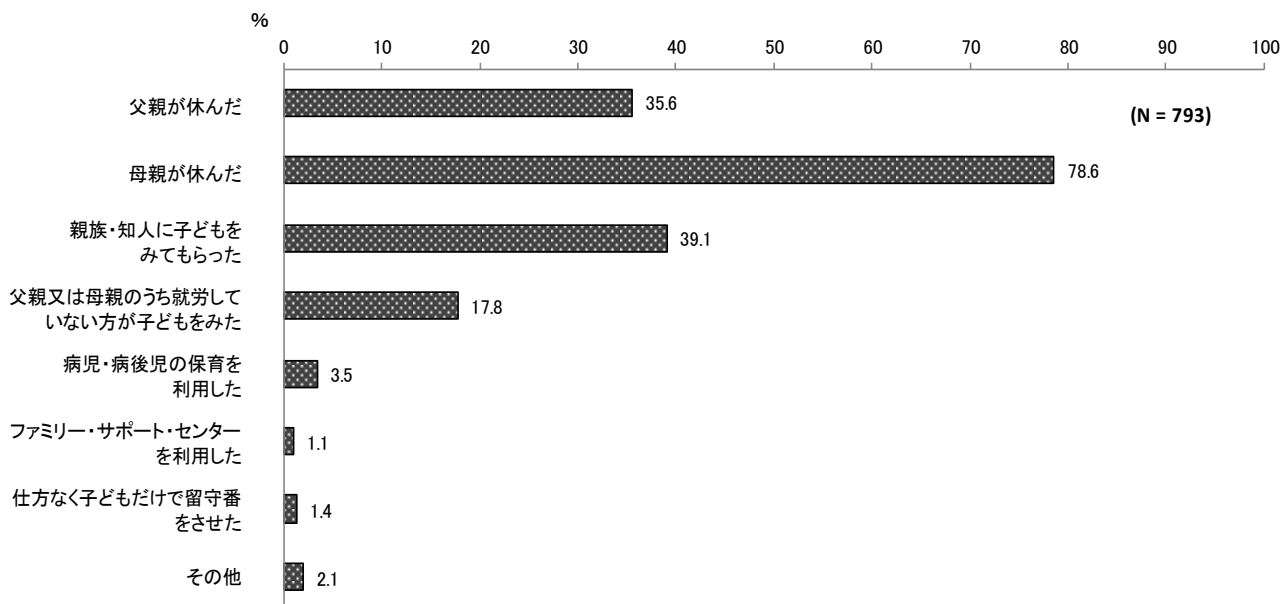
77. 病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことはあるか

「あった」は75.0%、「なかった」は25.0%であった。



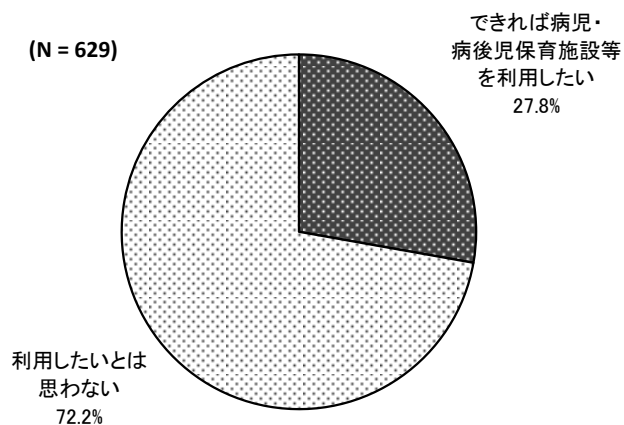
78. 利用できなかった場合の対処方法

「母親が休んだ」が78.6%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が39.1%、「父親が休んだ」が35.6%となっている。



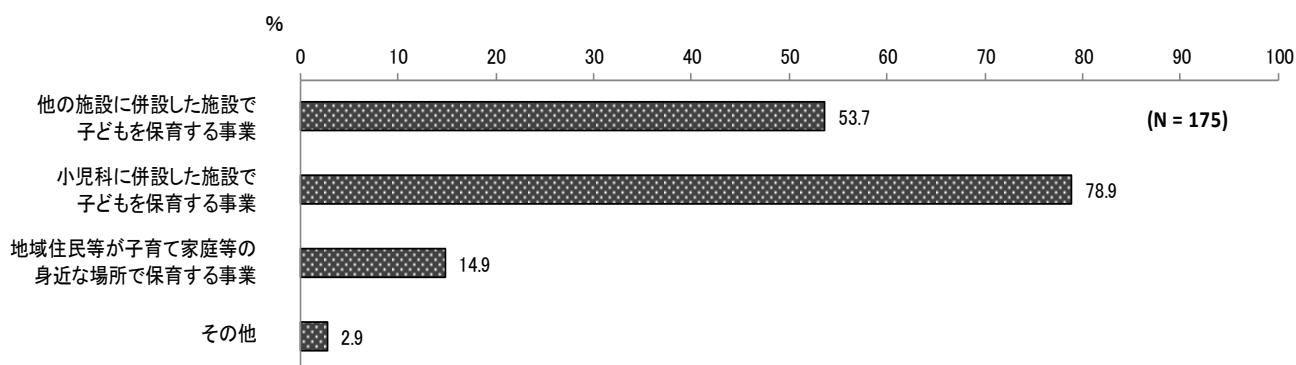
79. 事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 27.8%、「利用したいとは思わない」は 72.2%であった。



80. 病児・病後児を預ける場合の、望ましい事業形態

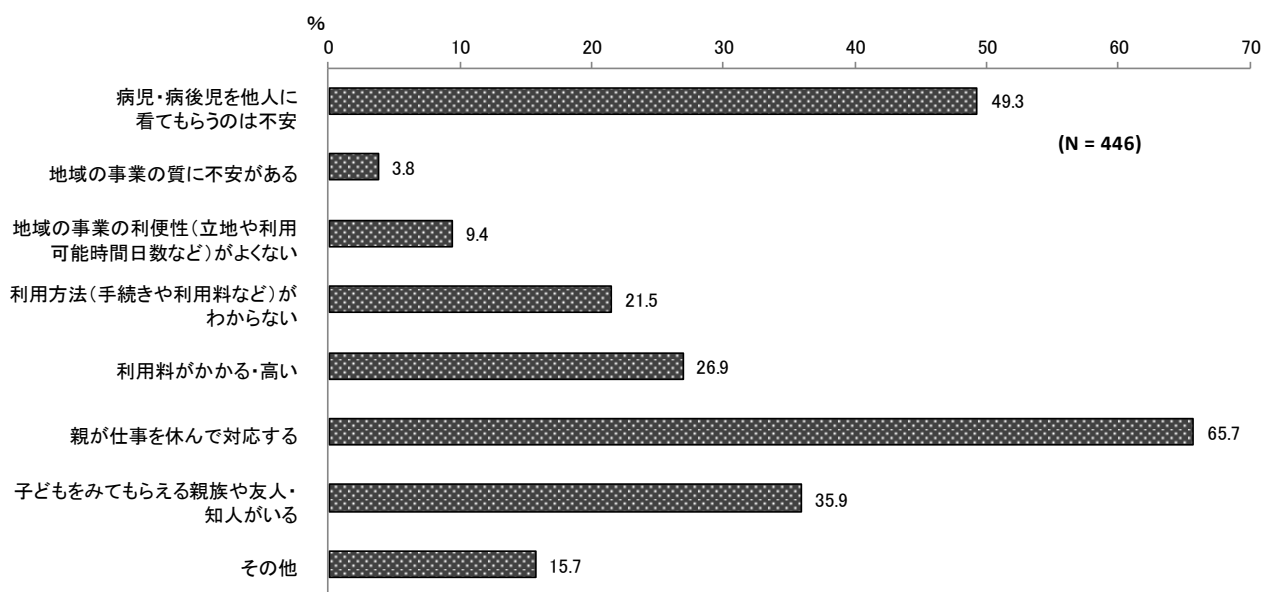
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 78.9%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 53.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 14.9%となっている。



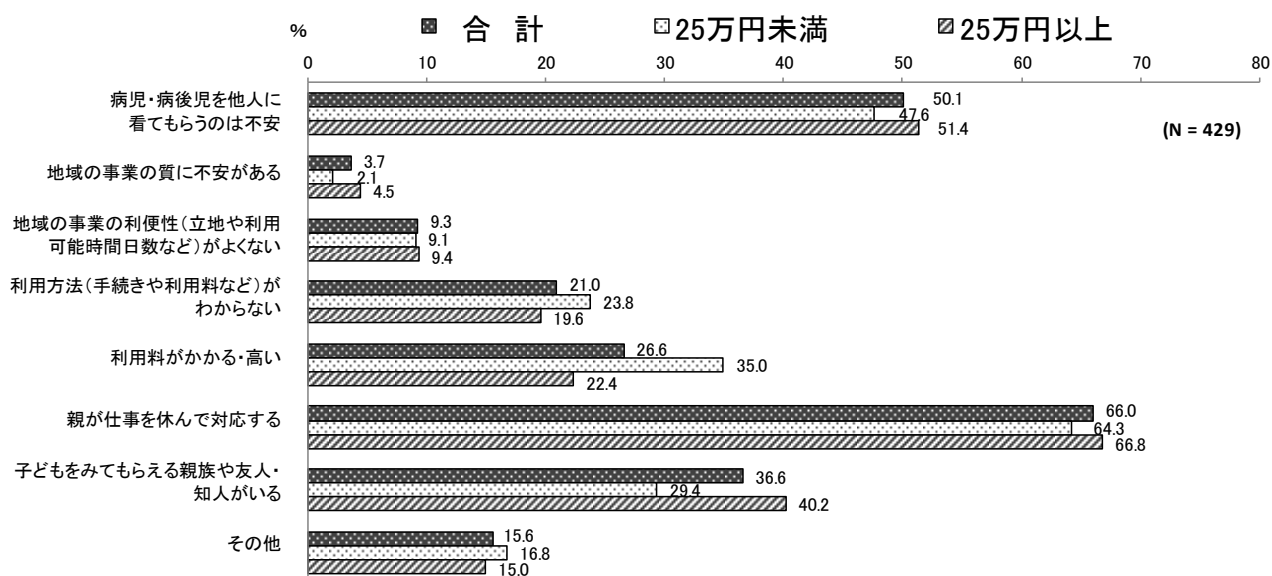
81. 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

「親が仕事を休んで対応する」が 65.7%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が 49.3%、「子どもをみてもらえる親族や友人・知人がいる」が 35.9%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において「利用料がかかる・高い」が 3 割以上となっており、25 万円以上の世帯よりも 10 ポイント以上高くなっている。一方、25 万円以上の世帯では「子どもをみてもらえる親族や友人・知人がいる」が 4 割以上となっており、25 万円未満の世帯と比べ 10 ポイント以上高くなっている。

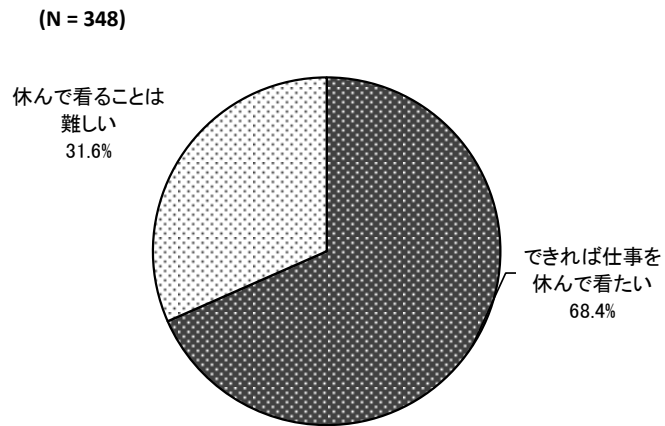


【世帯月収別】



82. 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

「できれば仕事を休んで看たい」は 68.4%、「休んで看るとは難しい」は 31.6%であった。



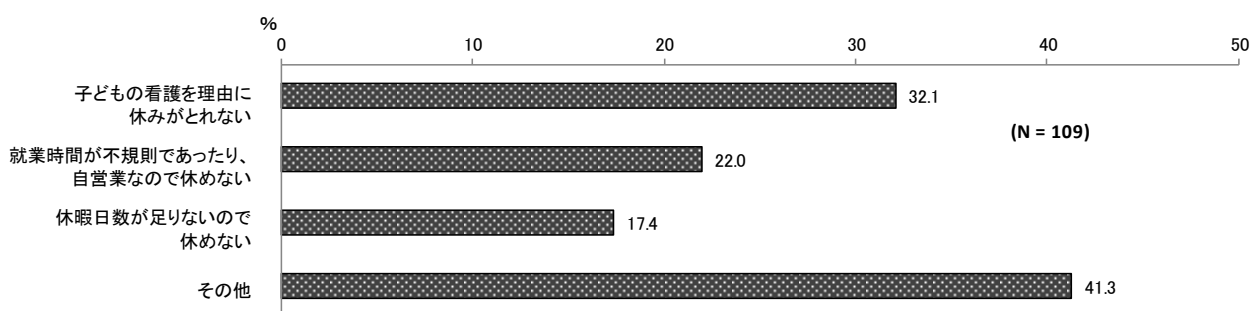
83. 「休んで見ることは難しい」と思う理由

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 32.1%、次いで「就業時間が不規則であったり、自営業なので休めない」が 22.0%となっている。なお、「その他」は 41.3%となった。

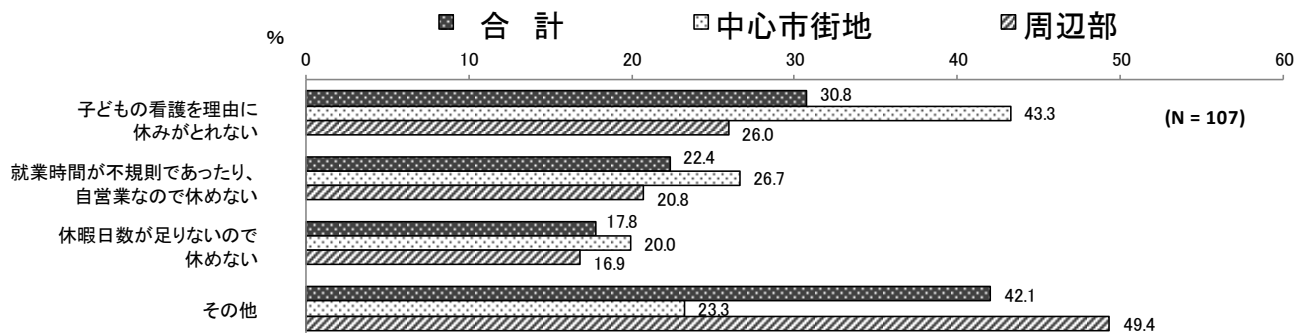
「その他」の回答については、「業務都合や人手不足により、仕事を休むことができない」といった内容がほとんどであった。

地区別にみたとき、中心市街地において「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 43.3%となっており、周辺部の 26.0%を 17.3 ポイント上回っている。

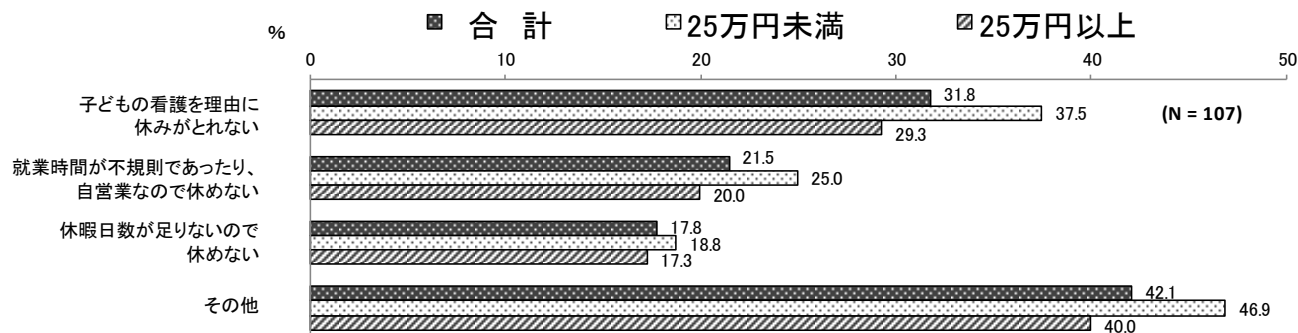
世帯月収別にみたときも同様に、25 万円未満の世帯において「子どもの看護を理由に休みがとれない」の回答割合が高くなっている。



【地区別】



【世帯月収別】



【「その他」の内訳（一部抜粋）】

【仕事に関すること】

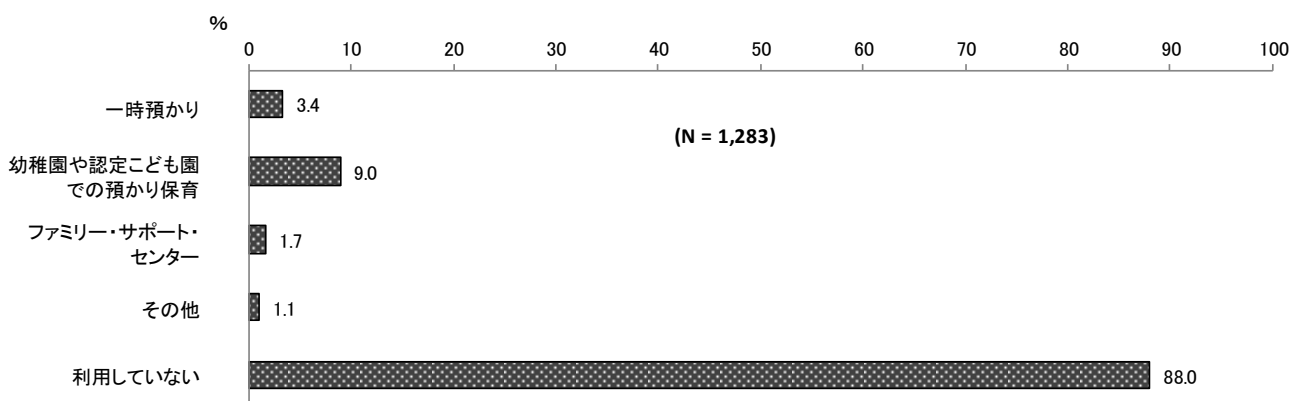
- ・自分の代替がない。
- ・職場に迷惑がかかる。
- ・専門職で業務を代わられる人がいないため都合がつけられないと休めない。休みが数日続くと業務が滞るので連休できない。
- ・代わりを探す時間がないので、休めない（仕事は教員）。
- ・大体遅刻扱いになるので給金が減る。会社に迷惑がかかる。
- ・シフト制での勤務のため急な変更が難しいため。
- ・担当する仕事が終わらない。
- ・職場の人数が少ないため、1人休むと他の人への負担が大きい。
- ・職場の人手不足のため。
- ・多忙で休みがとれない。
- ・休んだ時の仕事の影響度が大きい。
- ・職場の都合で、人手不足になる日は休めない。
- ・休みがとりづらい。「仕事にならない」と怒られる。
- ・自分が担当している仕事がある。
- ・職場で担当している業務や会議があると休めないため。
- ・休みがとりづらい会社だから。
- ・業務上急に休むことが難しい。

【家庭環境に関すること】

- ・父親が単身赴任中であるため。
- ・1人親なので休んだ分、翌月の生活費が減ってしまうのが厳しい。

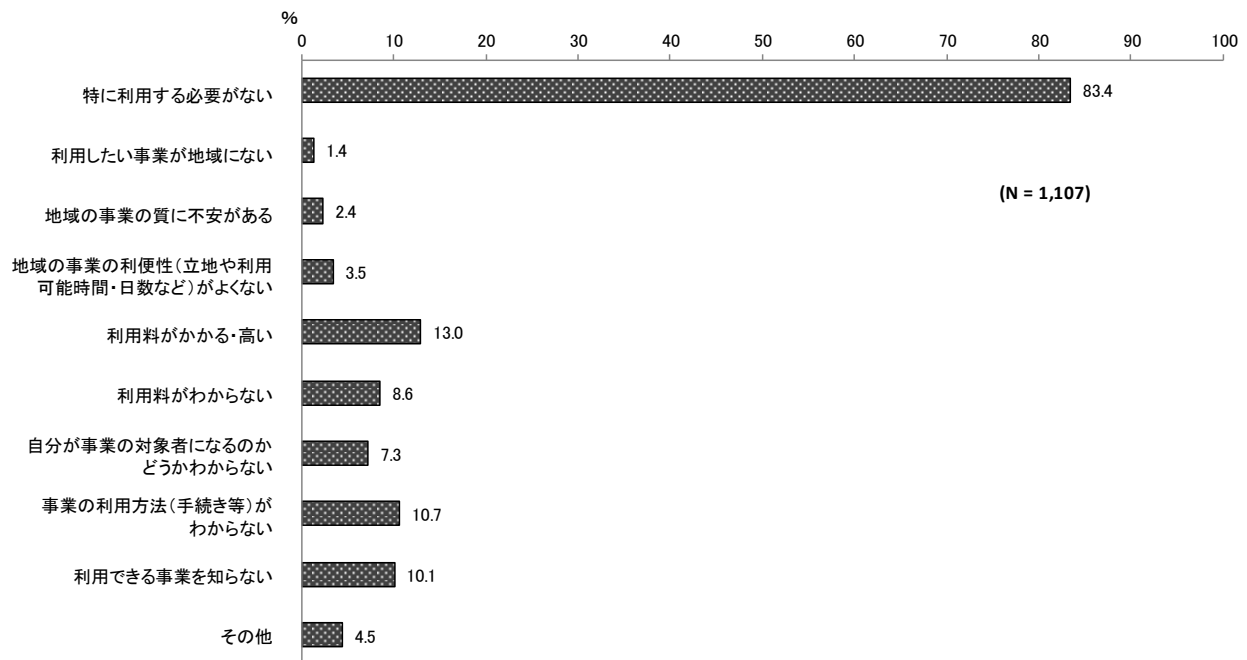
84. 不定期に利用している事業（私用、親の通院、不定期の就労等の目的）

「利用していない」が 88.0%と最も高く、次いで「幼稚園や認定こども園での預かり保育」が 9.0%、「一時預かり」が 3.4%となっている。



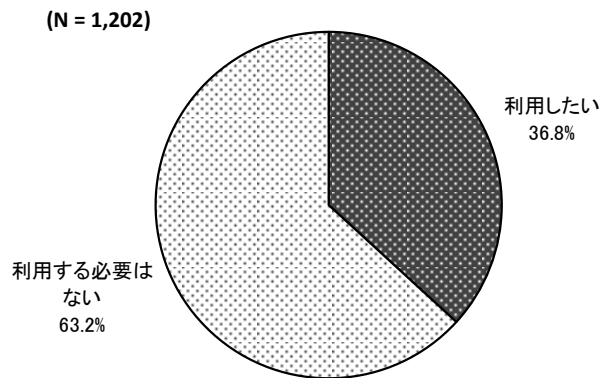
85. 不定期の事業を利用していない理由

「特に利用する必要がない」が 83.4%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 13.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 10.7%となっている。



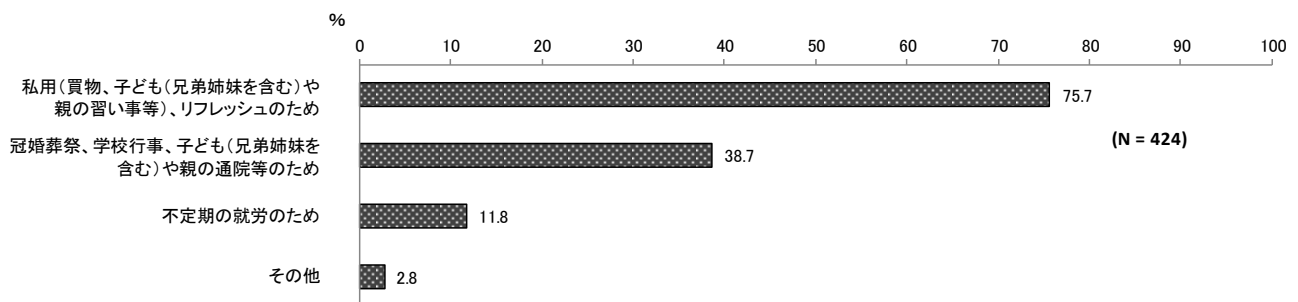
86. 不定期に事業を利用する必要があるか

「利用したい」は36.8%、「利用する必要はない」は63.2%であった。



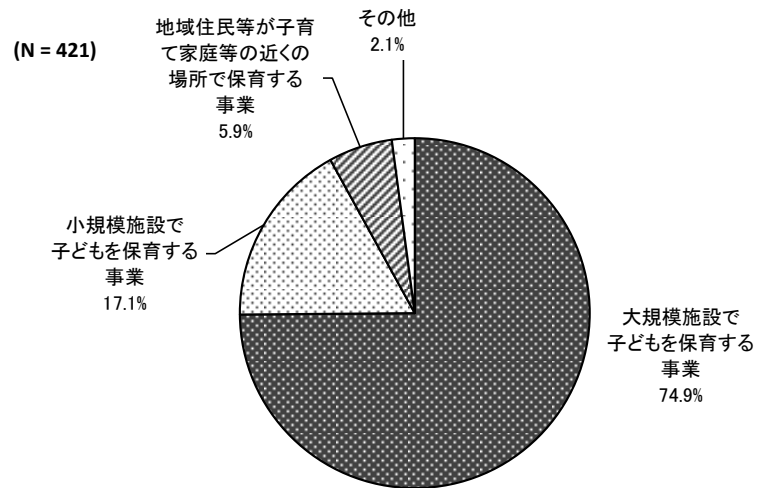
87. 不定期に事業を利用したい理由

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュのため」が75.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等のため」が38.7%、「不定期の就労のため」が11.8%となっている。



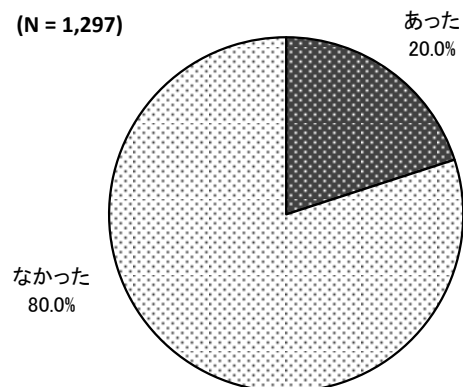
88. 子どもを預ける場合の、望ましい事業形態

「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園、保育所等）」が 74.9%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点事業等）」が 17.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 5.9%となっている。



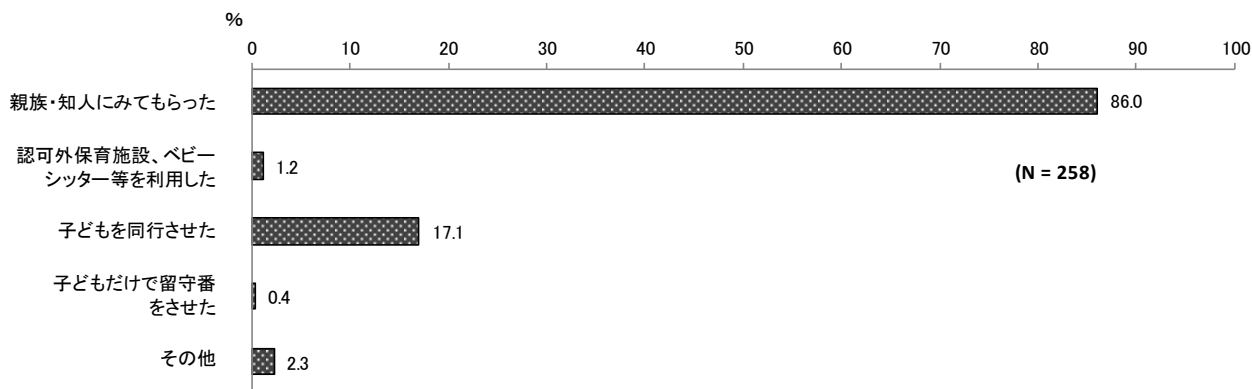
89. 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

「あった」は 20.0%、「なかった」は 80.0%であった。



90. 保護者に用事があった場合の対処方法

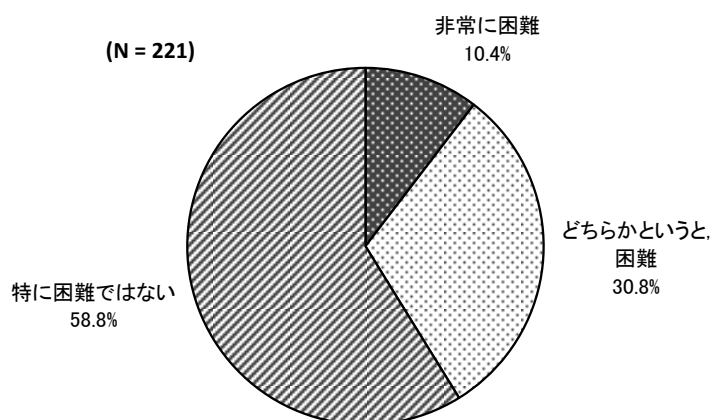
「親族・知人にみてもらった」が 86.0%と最も高く、次いで「子どもを同行させた」が 17.1%、「その他」が 2.3%となっている。



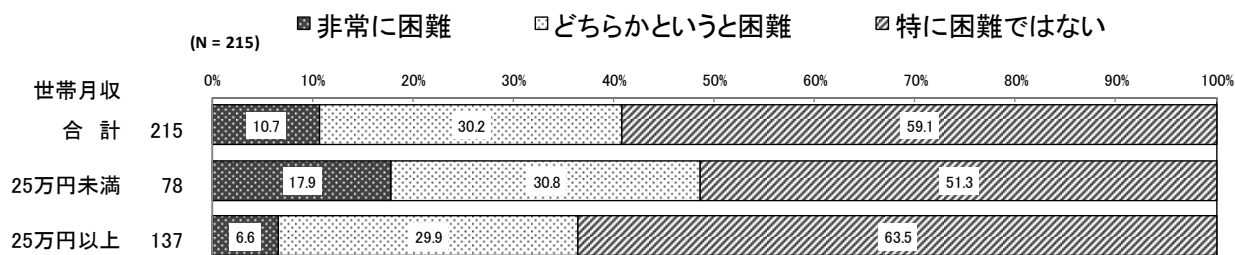
91. 親族・知人にみてもらう場合の困難度

「特に困難ではない」が 58.8%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」が 30.8%、「非常に困難」が 10.4%となっている。

世帯月収別にみたとき、「非常に困難」と「どちらかというと困難」を合わせた割合は、25万円未満の世帯の方が、25万円以上の世帯よりも高くなっている。

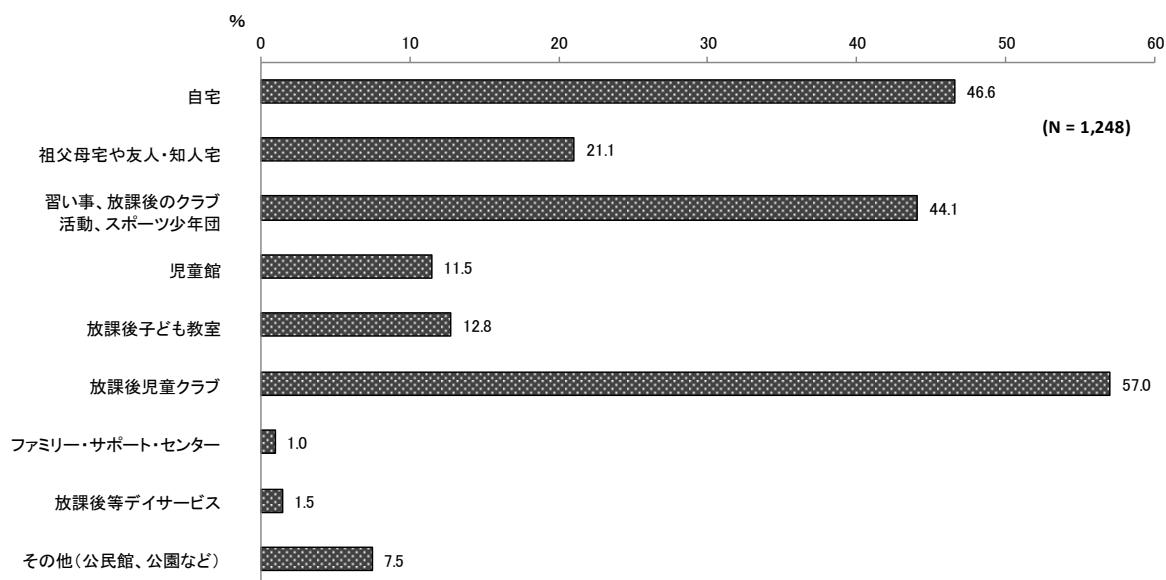


【世帯月収別】



92. 小学校の放課後に過ごさせたい場所（1～3年生）

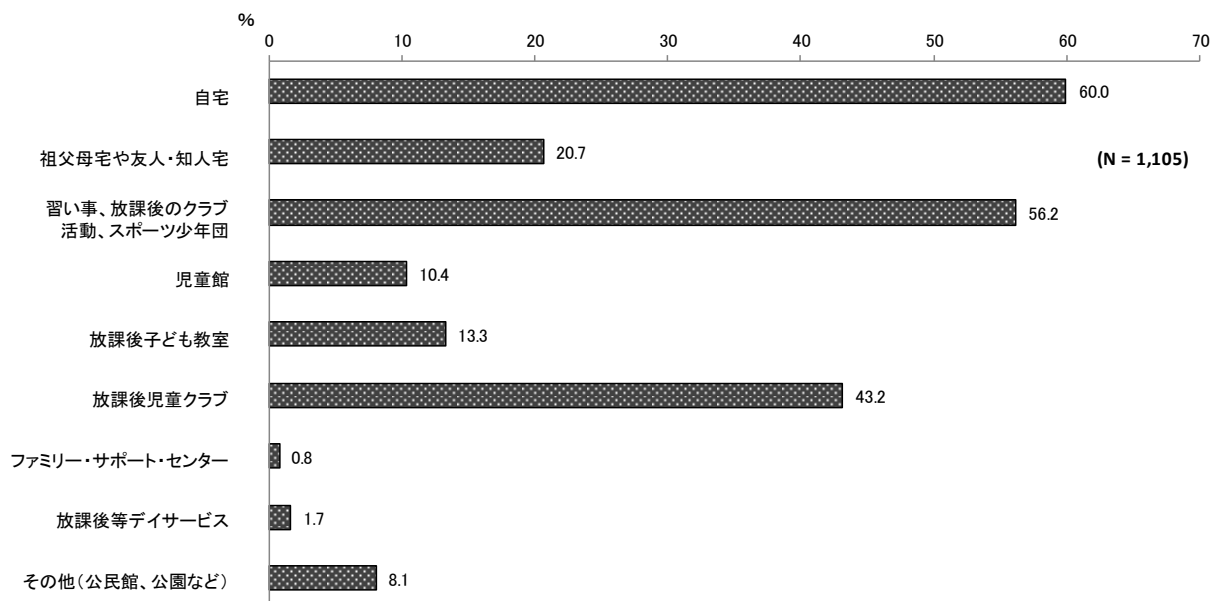
「放課後児童クラブ」が57.0%と最も高く、次いで「自宅」が46.6%、「習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団」が44.1%となっている。



93. 小学校の放課後に過ごさせたい場所（4～6年生）

「自宅」が60.0%と最も高く、次いで「習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団」が56.2%、「放課後児童クラブ」が43.2%となっている。

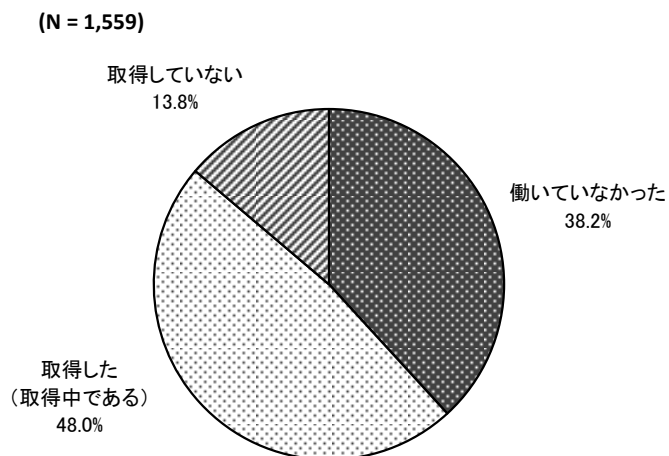
1～3年生では最も高かった「放課後児童クラブ」は3位となった。



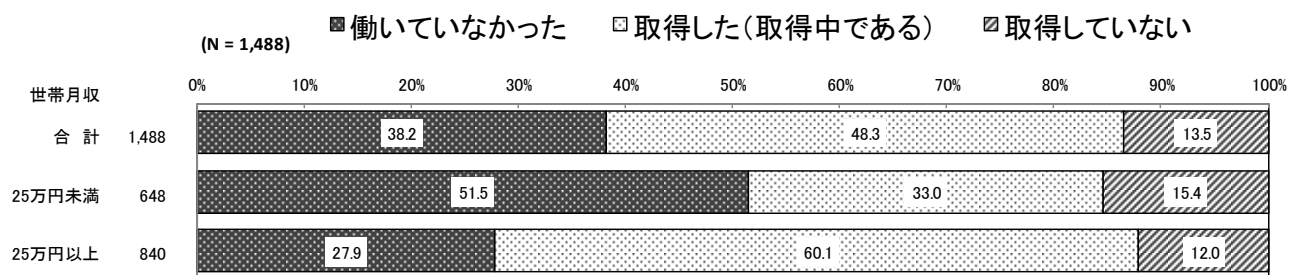
94. 【母親】子どもが生まれたとき、育児休業を取得したか

「取得した（取得中である）」が48.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」が38.2%、「取得していない」が13.8%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「働いていなかった」が5割以上を占めている。



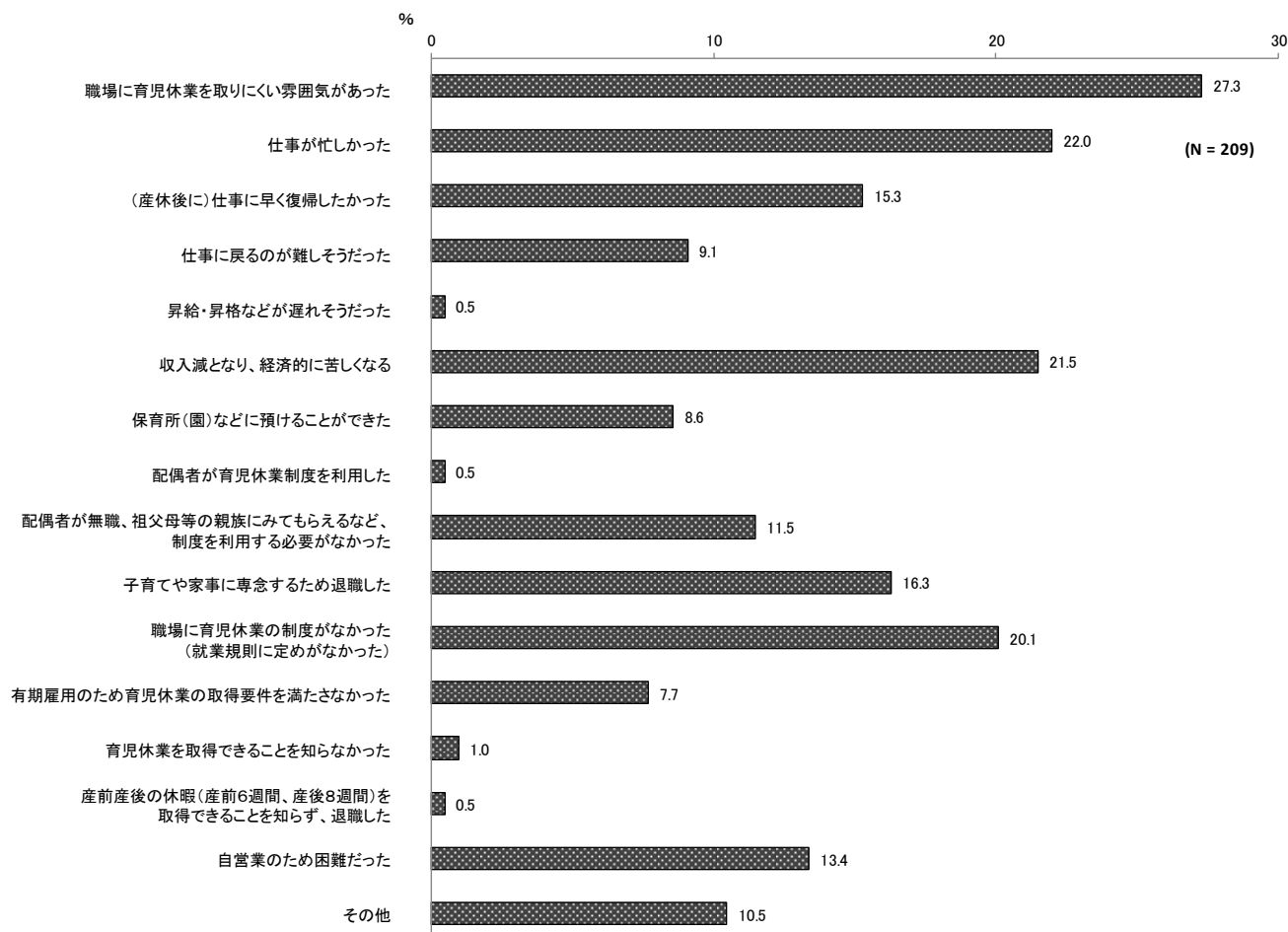
【世帯月収別】



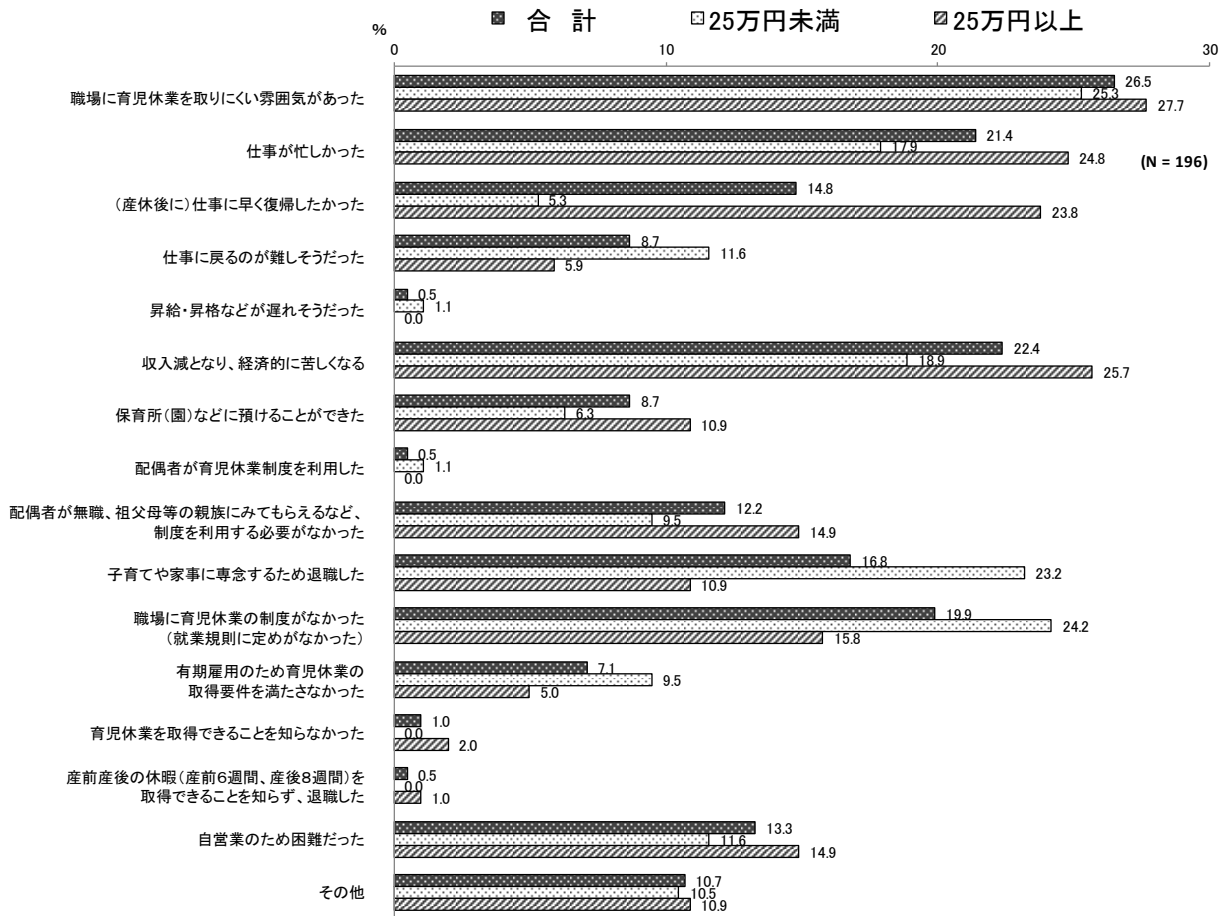
95. 【母親】育児休業を取得していない理由

「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が27.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が22.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が21.5%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「子育てや家事に専念するため退職した」が23.2%となっており、25万円以上の世帯よりも12.3ポイント高くなっている。25万円以上の世帯においては、「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」が23.8%となっており、25万円未満の世帯よりも18.5ポイント高くなっている。

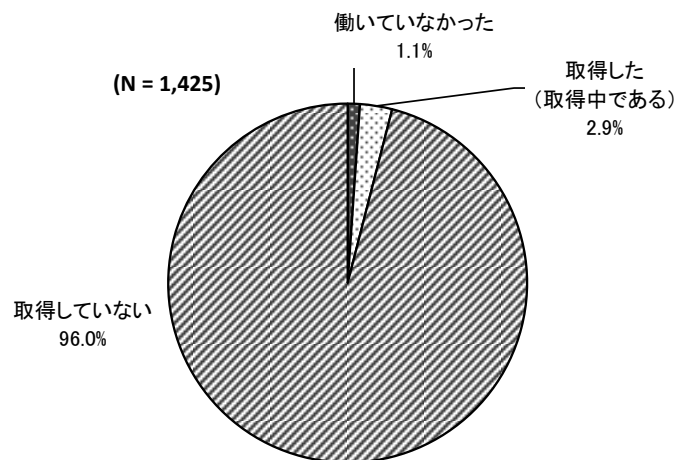


【世帯月収別】



96. 【父親】子どもが生まれたとき、育児休業を取得したか

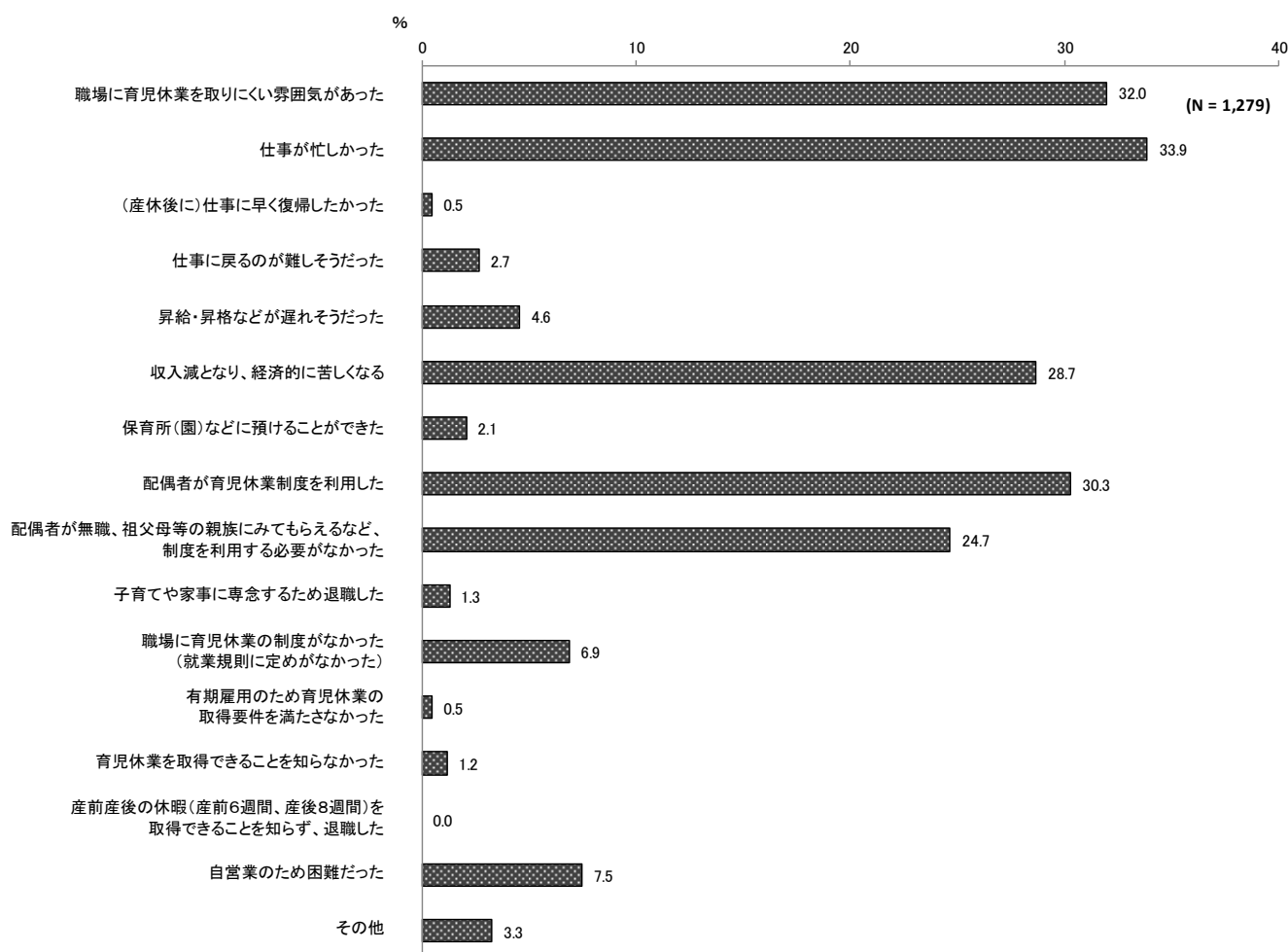
「取得していない」が96.0%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が2.9%、「働いていなかった」が1.1%となっている。



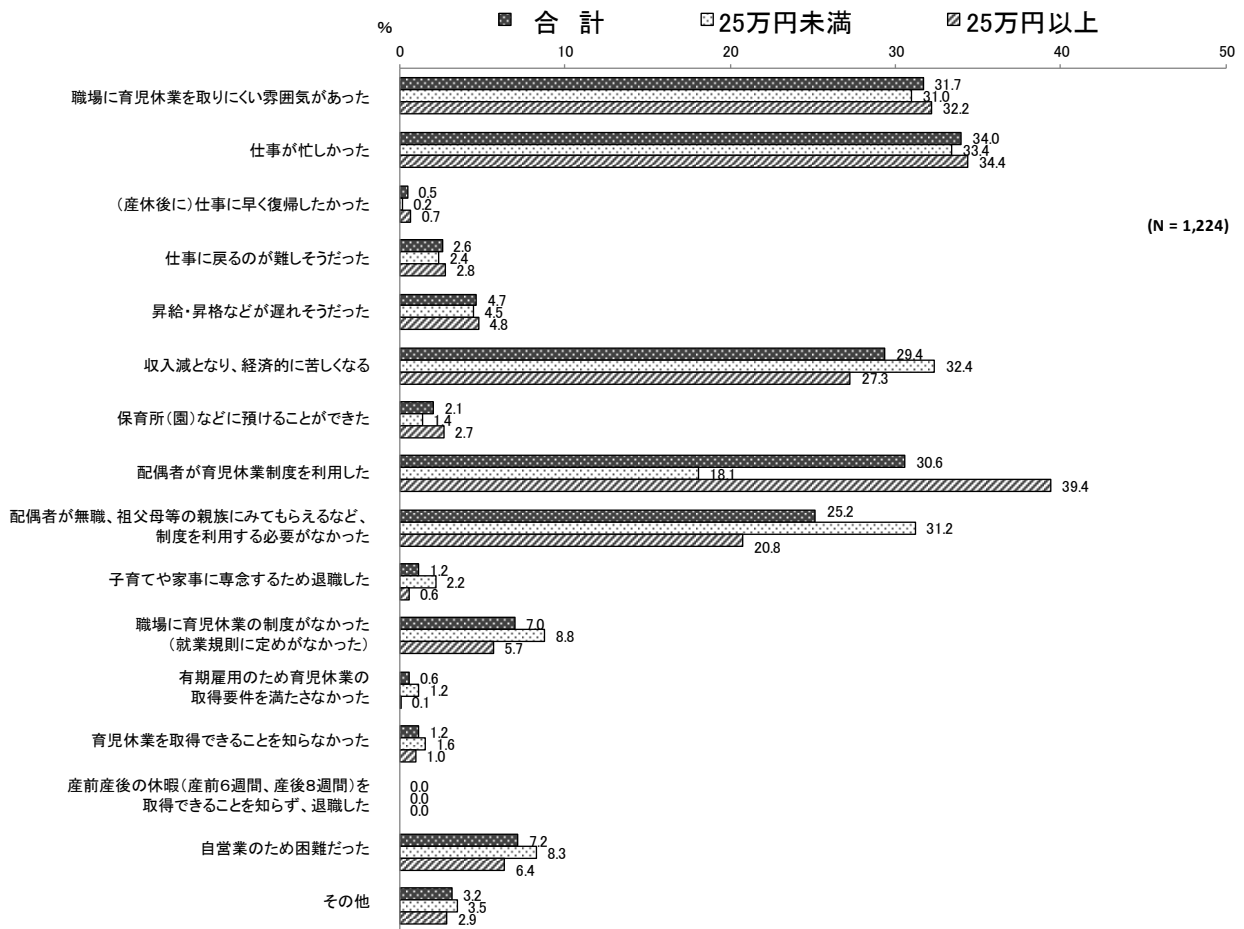
97. 【父親】育児休業を取得していない理由

「仕事が忙しかった」が 33.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 32.0%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 30.3%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円以上の世帯において「配偶者が育児休業制度を利用した」が 4 割近くとなっており、25 万円未満の世帯と比べて 20 ポイント以上高くなっている。一方で、「配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」は 25 万円未満の世帯が 3 割以上となっており、25 万円以上の世帯と比べて 10 ポイント以上高くなっている。



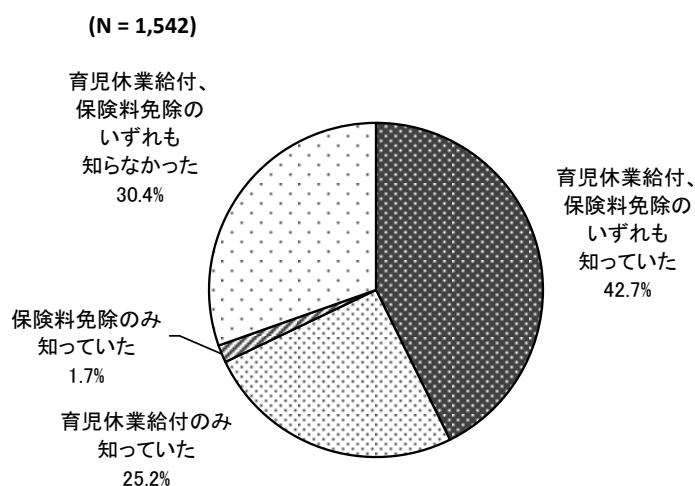
【世帯月収別】



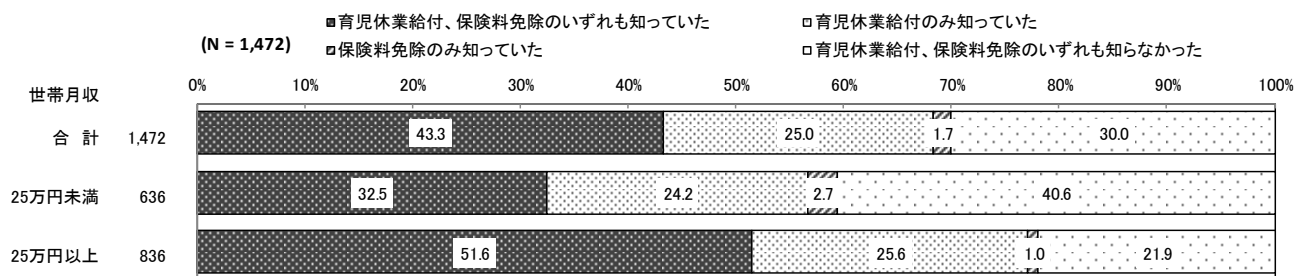
98. 育児休業給付の支給、保険料が免除になる仕組みについて

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 42.7%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 30.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が 25.2%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 3 割台となっており、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は、ほぼ 4 割となっている。

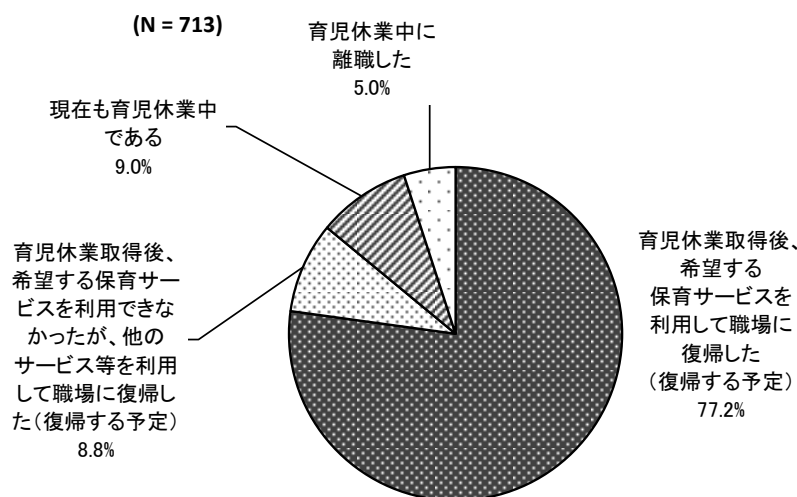


【世帯月収別】



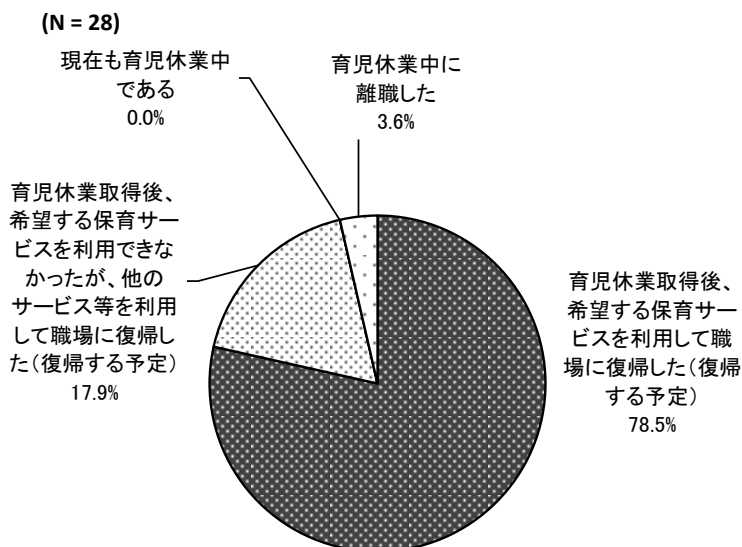
99. 【母親】育児休業取得後の職場復帰状況（予定含む）

「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用して職場に復帰した（復帰する予定）」が77.2%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が9.0%、「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用できなかったが、他のサービス等を利用して職場に復帰した（復帰する予定）」が8.8%となっている。



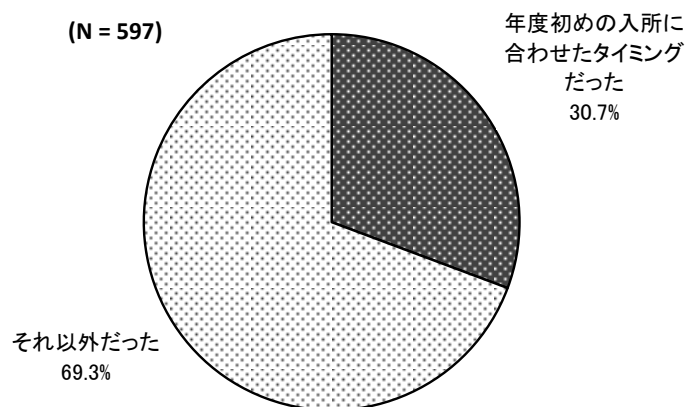
100. 【父親】育児休業取得後の職場復帰状況（予定含む）

「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用して職場に復帰した（復帰する予定）」が78.5%と最も高く、次いで「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用できなかったが、他のサービス等を利用して職場に復帰した（復帰する予定）」が17.9%、「育児休業中に離職した」が3.6%となっている。



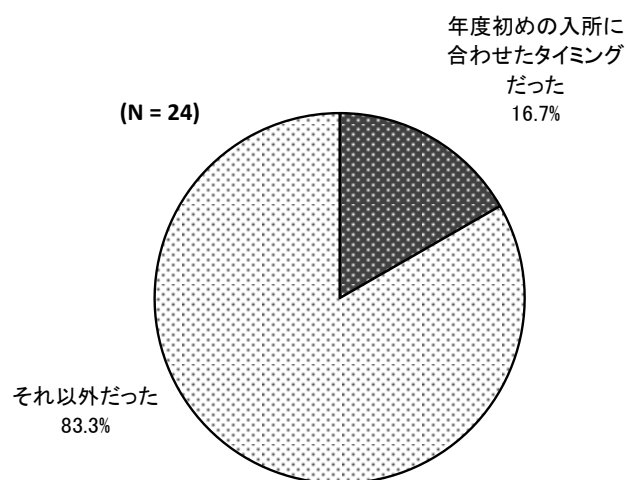
101. 【母親】復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は30.7%、「それ以外だった」は69.3%であった。



102. 【父親】復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか

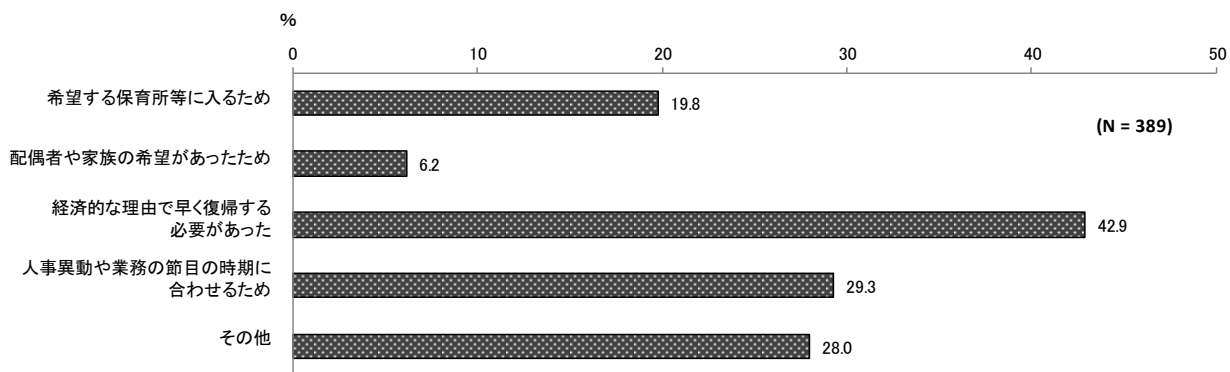
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は16.7%、「それ以外だった」は83.3%であった。



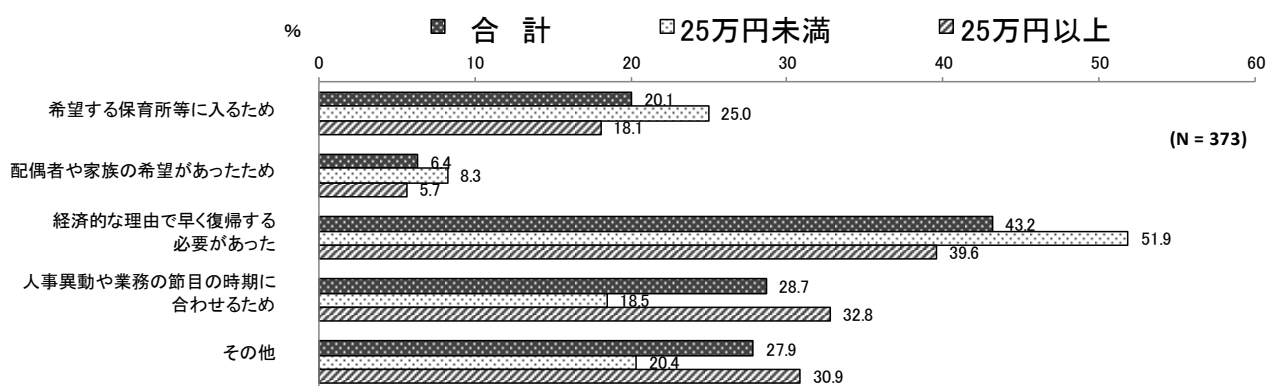
103. 【母親】「希望」より早く復帰した理由

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 42.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 29.3%、「その他」が 28.0%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 5 割以上となっている。



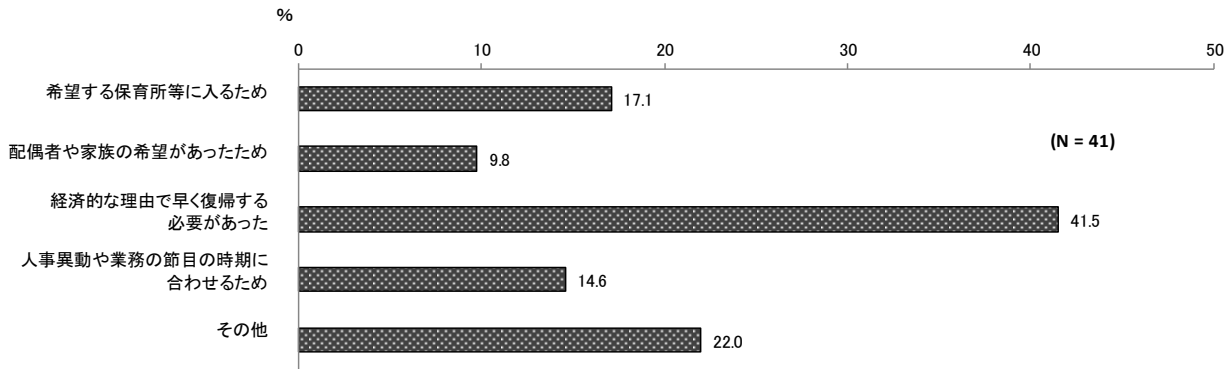
【世帯月収別】



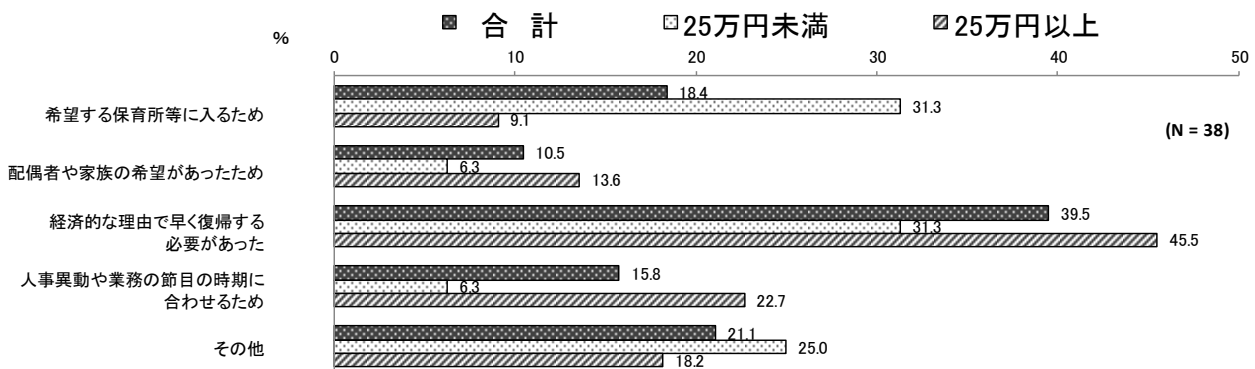
104. 【父親】「希望」より早く復帰した理由

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 41.5%と最も高く、次いで「その他」が 22.0%、「希望する保育所等に入るため」が 17.1%となっている。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯においては「経済的な理由で早く復帰する必要があった」に加え、「希望する保育所等に入るため」が 31.3%と同率で最も高い結果となった。



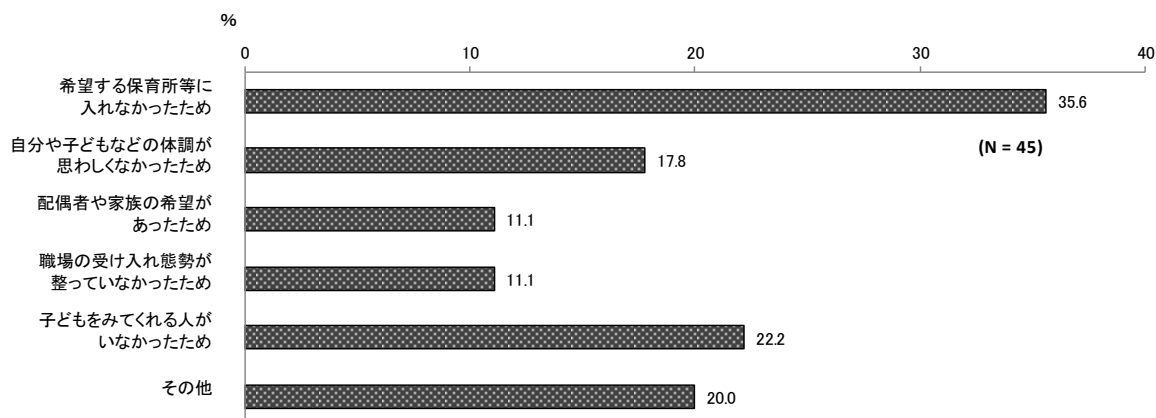
【世帯月収別】



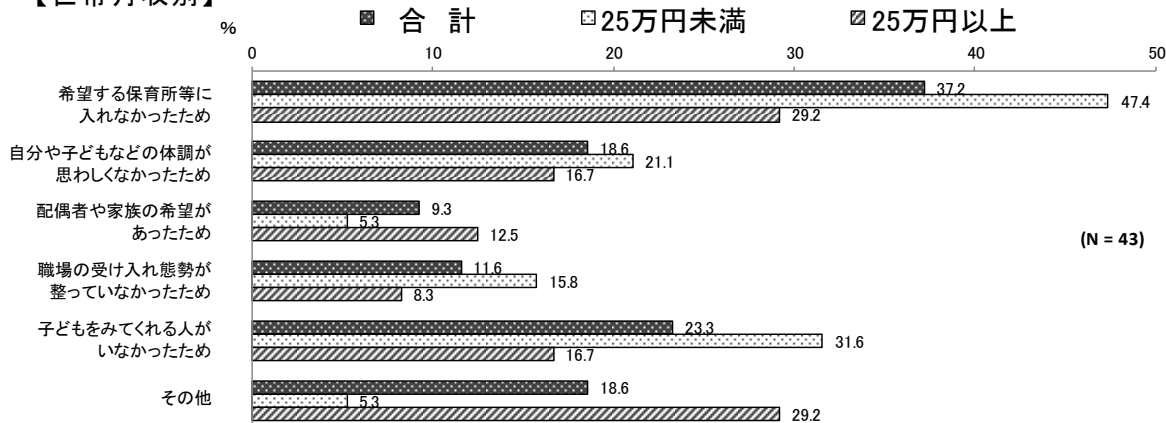
105. 【母親】「希望」より遅く復帰した理由

「希望する保育所等に入れなかったため」が 35.6%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 22.2%、「その他」が 20.0%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「希望する保育所等に入れなかったため」が5割近くとなっている。また、「自分や子どもなど体調が思わしくなかったため」、「職場の受入れ態勢が整っていなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」についても、25万円以上の世帯よりも高くなっている。

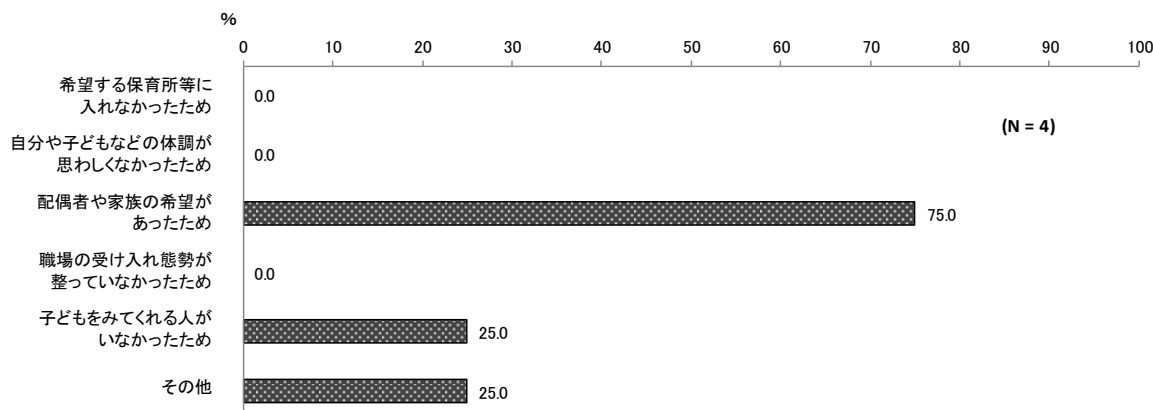


【世帯月収別】



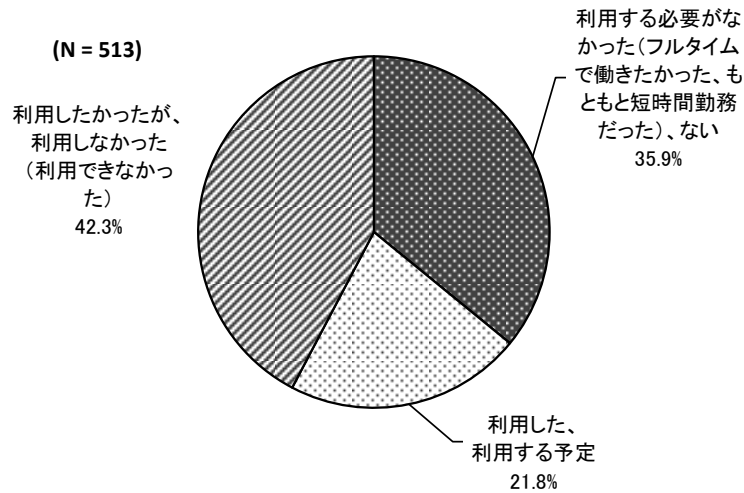
106. 【父親】「希望」より遅く復帰した理由

「配偶者や家族の希望があったため」が 75.0%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」及び「その他」が同率で 25.0%となっている。



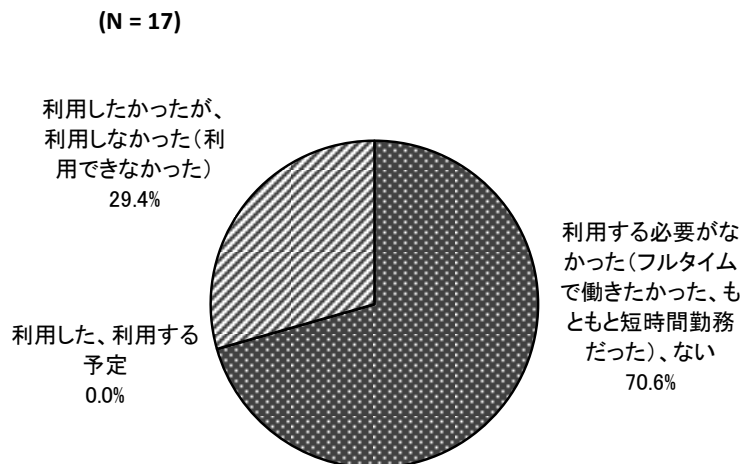
107. 【母親】職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか

「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 42.3%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）、ない」が 35.9%、「利用した、利用する予定」が 21.8%となっている。



108. 【父親】職場復帰時に短時間勤務制度を利用したか

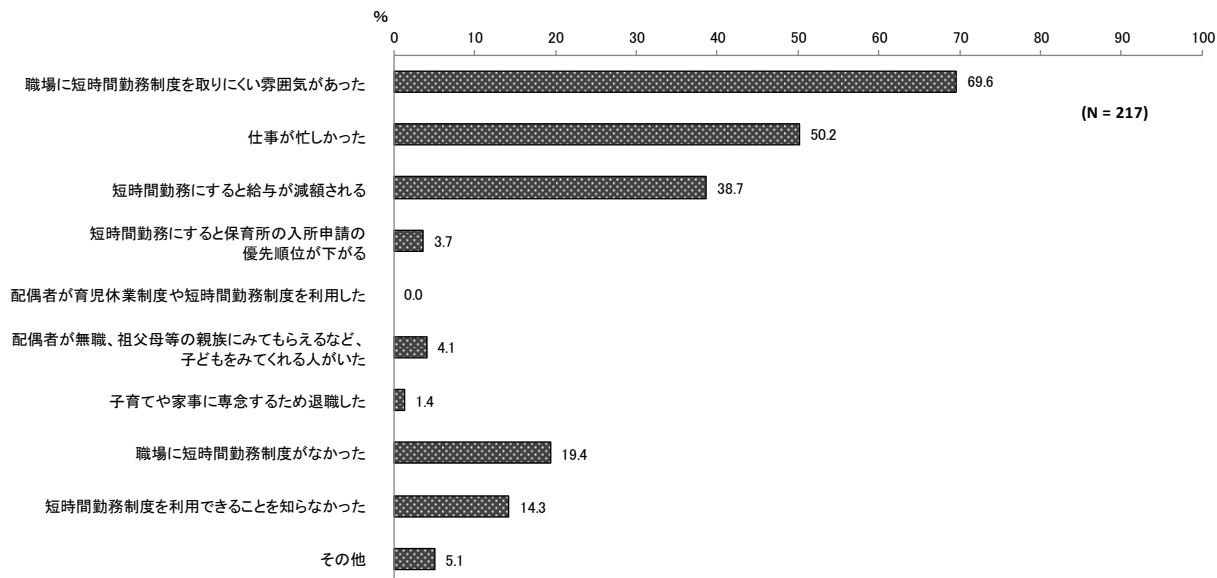
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）、ない」が 70.6%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 29.4%となっている。



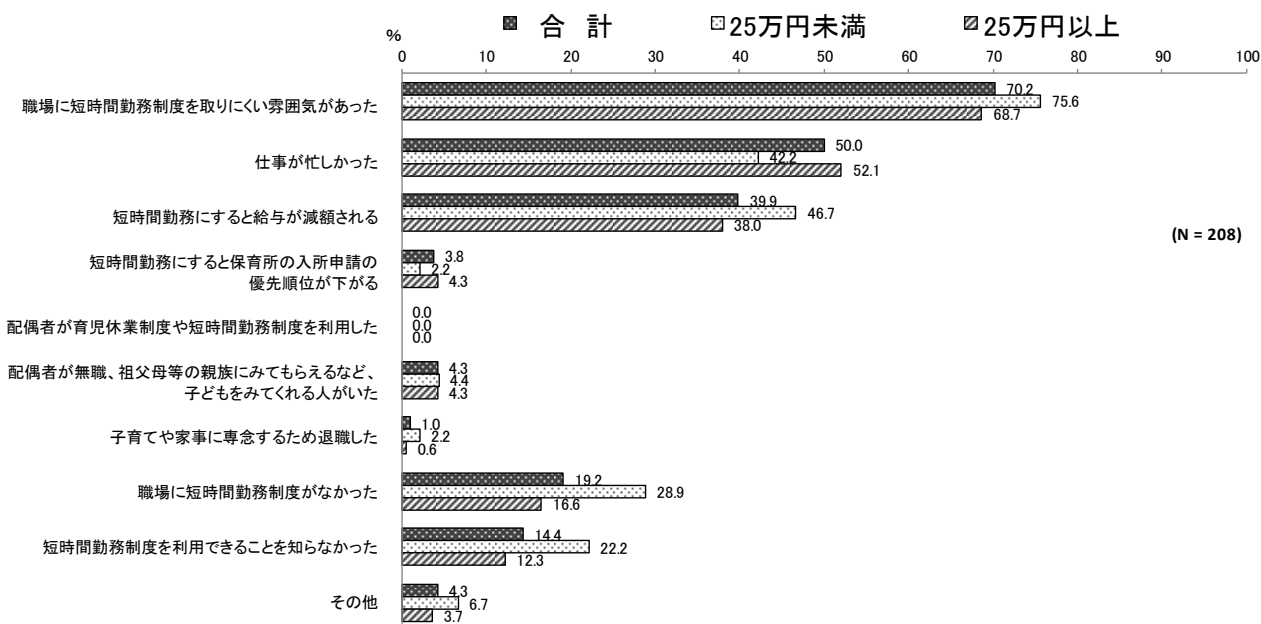
109. 【母親】短時間勤務制度を利用しなかった理由

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が69.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が50.2%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が38.7%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「職場に短時間勤務制度がなかった」及び「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」について、25万円以上の世帯よりも10ポイント程度高くなっている。

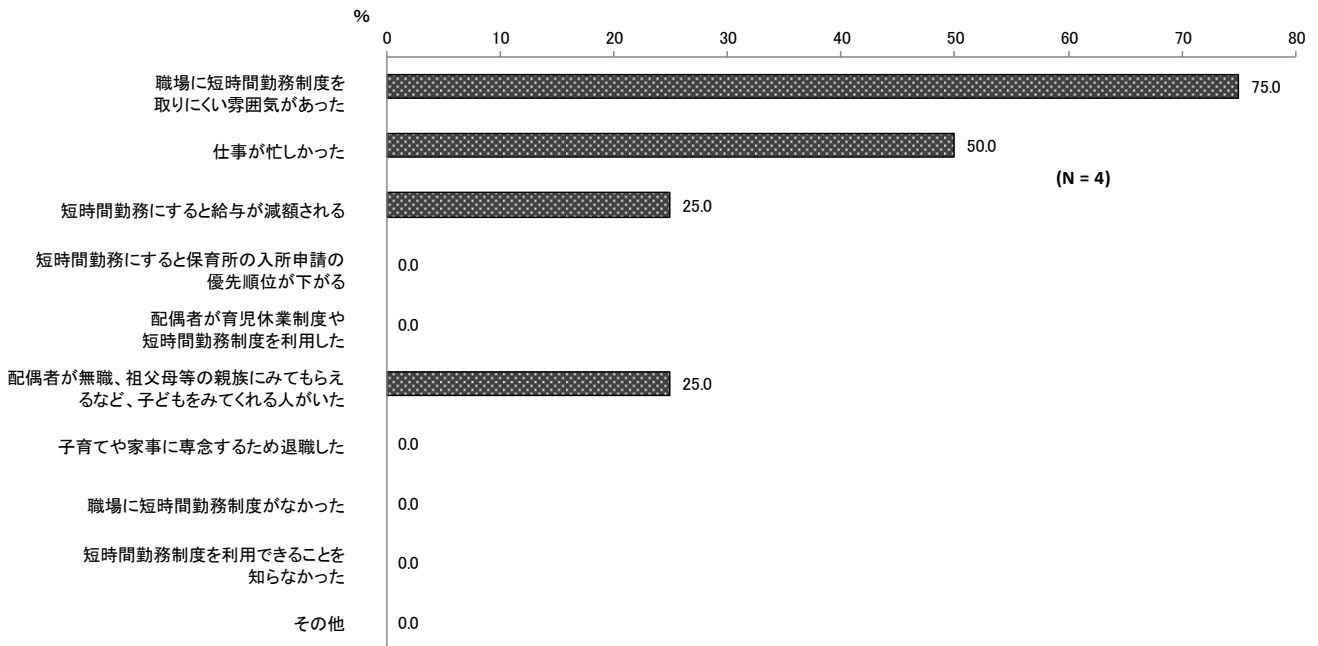


【世帯月収別】



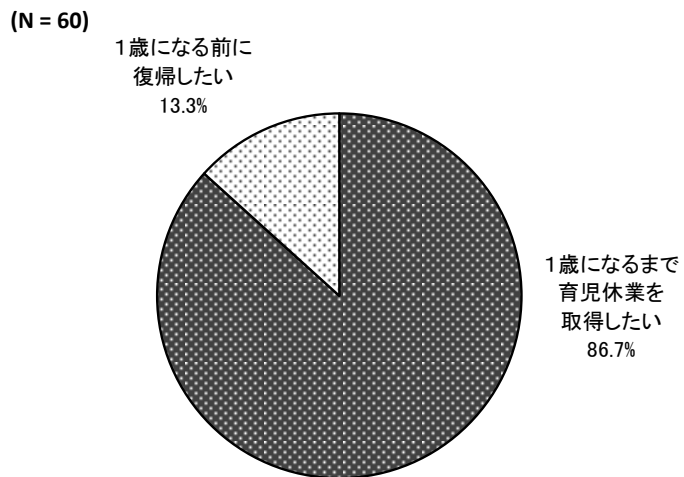
110. 【父親】短時間勤務制度を利用しなかった理由

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が75.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が50.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」及び「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が同率で25.0%となっている。



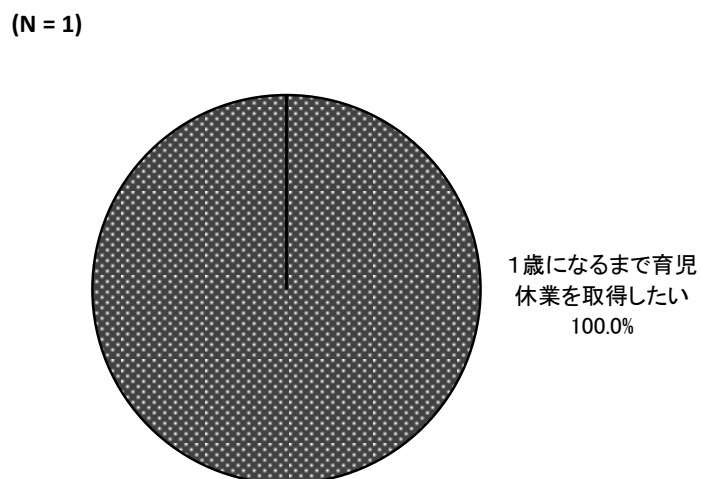
111. 【母親】子どもが1歳になるまで育児休業を取得するか

「1歳になるまで育児休業を取得したい」は86.7%、「1歳になる前に復帰したい」は13.3%であった。



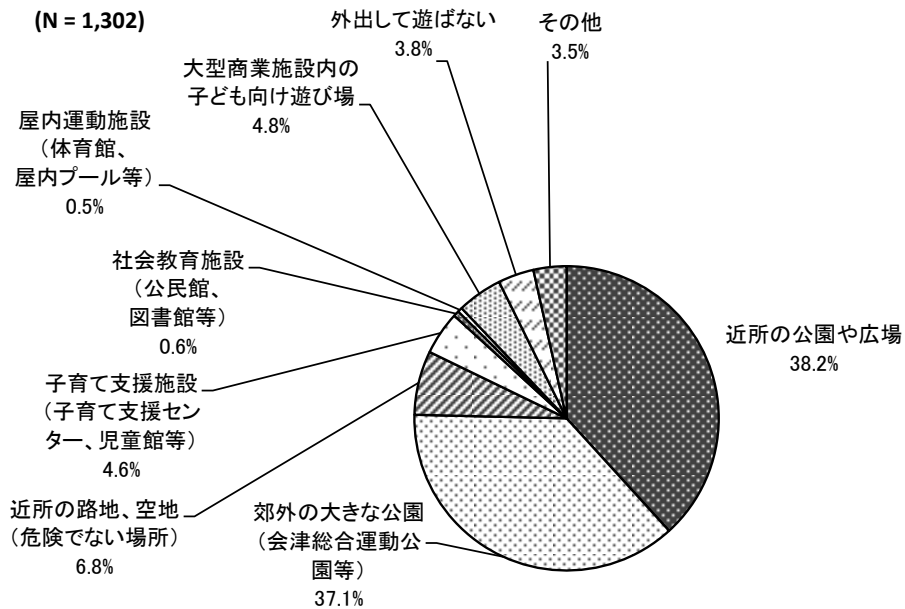
112. 【父親】子どもが1歳になるまで育児休業を取得するか

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100.0%となった。

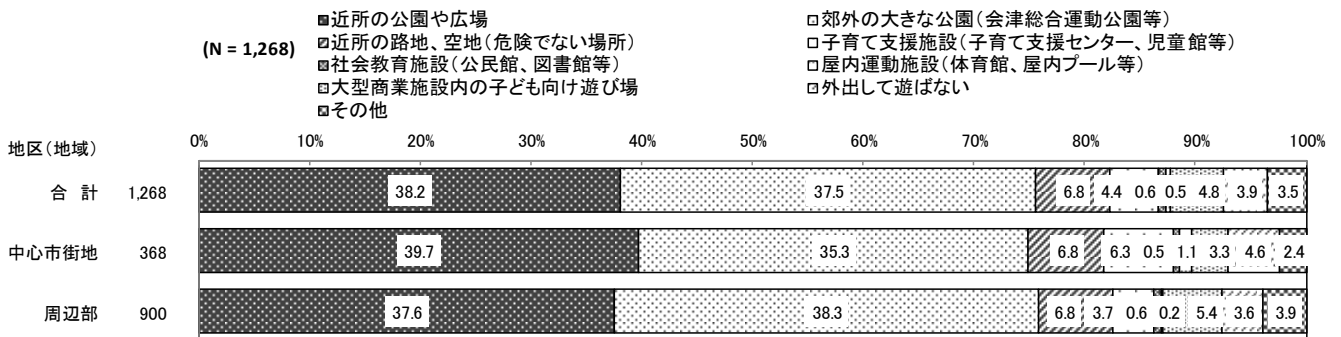


113. 【天気が良い時】遊び場として利用する施設・場所

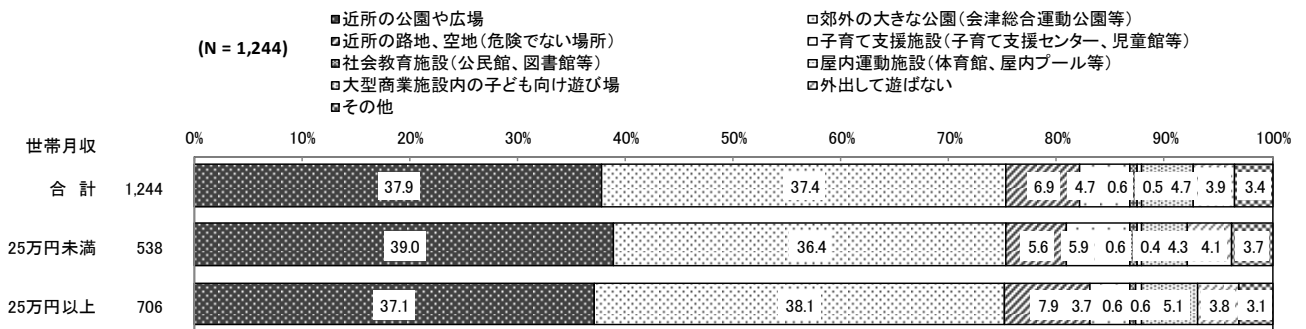
「近所の公園や広場」が 38.2%と最も高く、次いで「郊外の大きな公園（会津総合運動公園等）」が 37.1%、「近所の路地、空地（危険でない場所）」が 6.8%となっている。



【地区別】

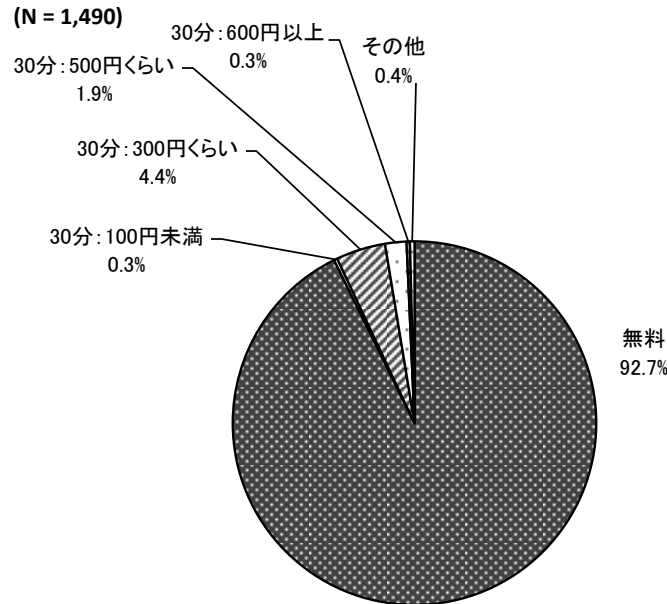


【世帯月収別】

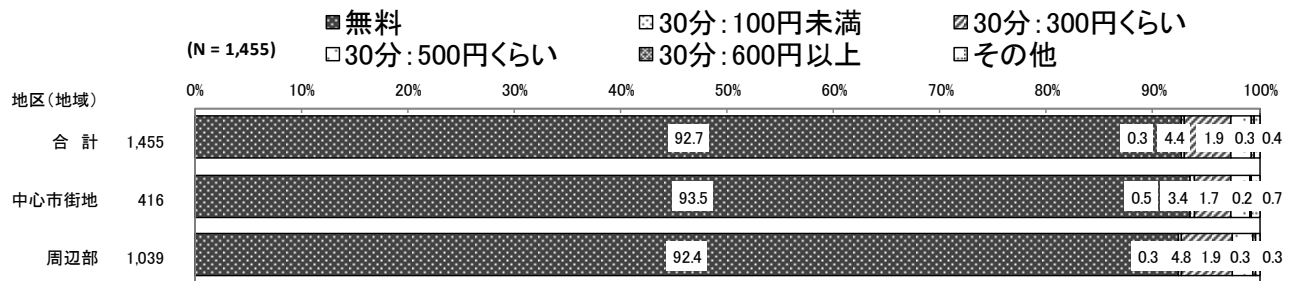


114. 【天気が良い時】施設・場所の利用料

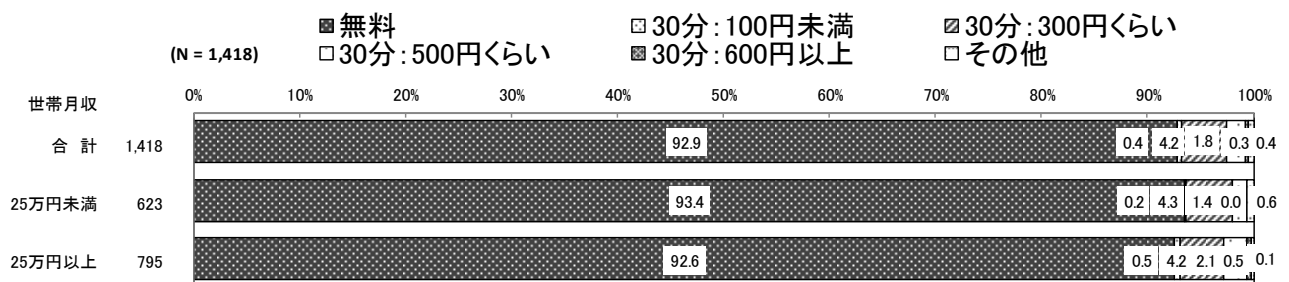
「無料」が92.7%と最も高く、次いで「30分：300円くらい」が4.4%、「30分：500円くらい」が1.9%となっている。



【地区別】

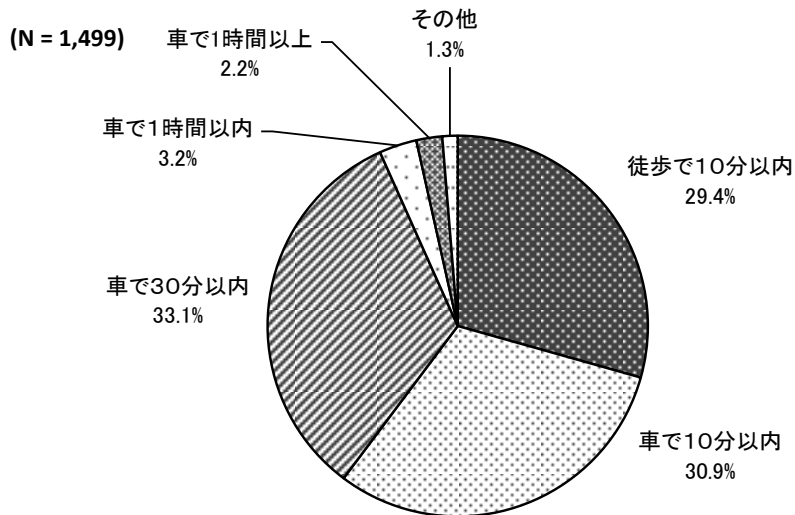


【世帯月収別】

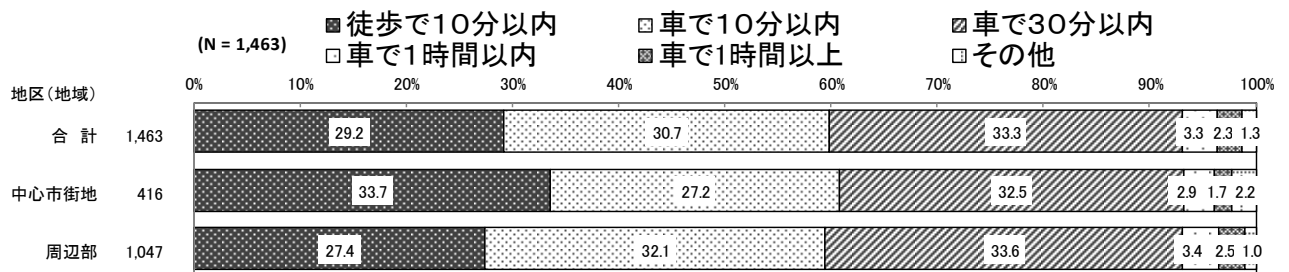


115. 【天気が良い時】所要移動時間

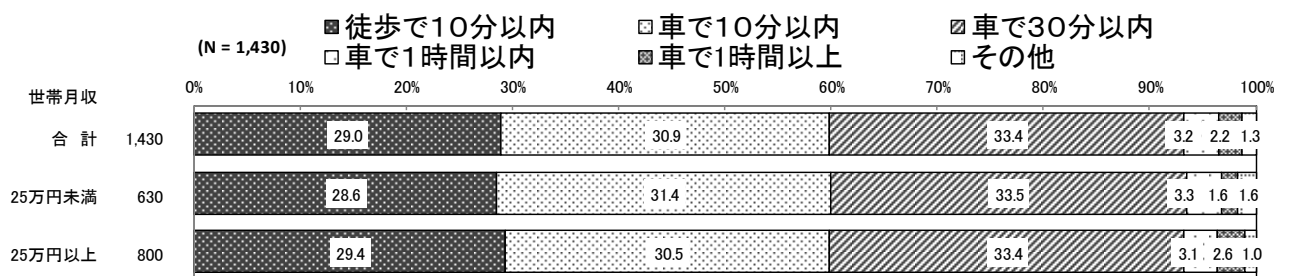
「車で30分以内」が33.1%と最も高く、次いで「車で10分以内」が30.9%、「徒歩で10分以内」が29.4%となっている。



【地区別】

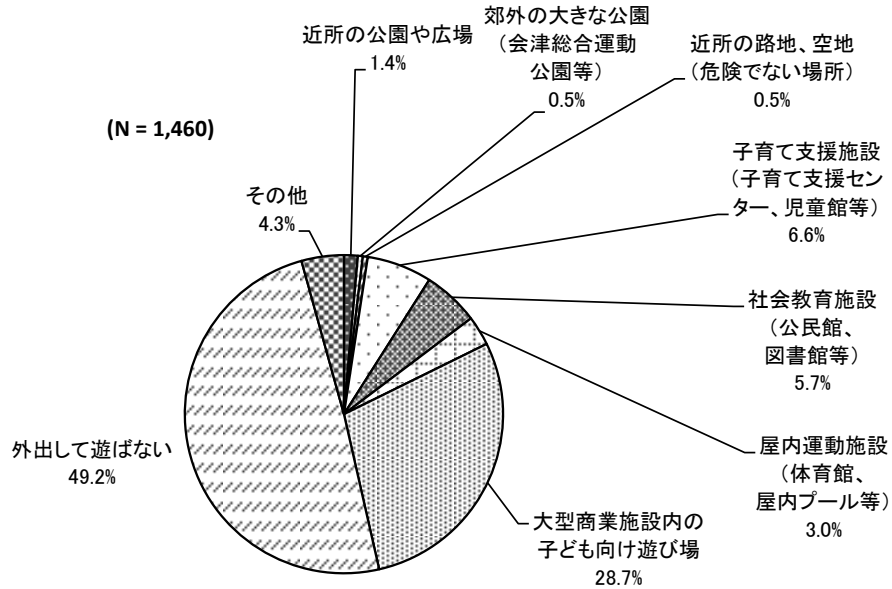


【世帯月収別】

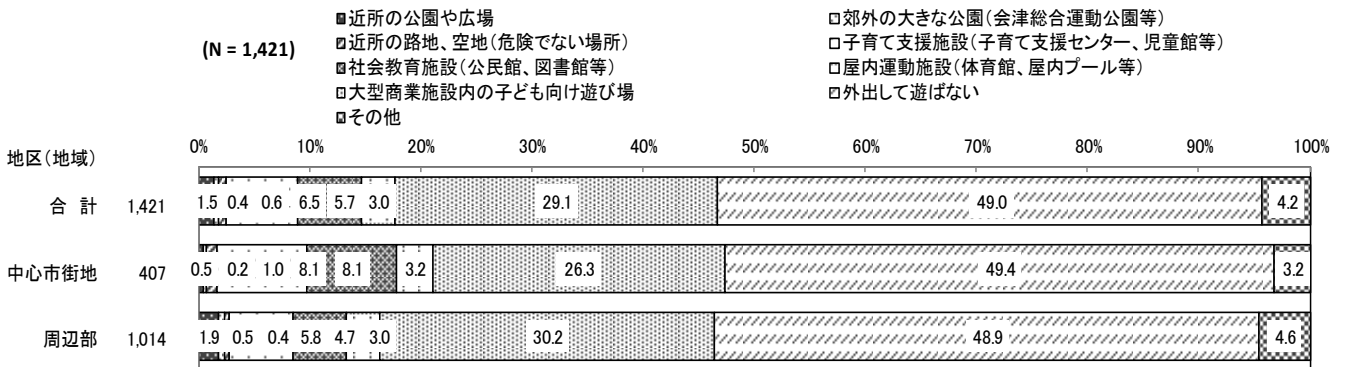


116. 【天気が悪い時】遊び場として利用する施設・場所

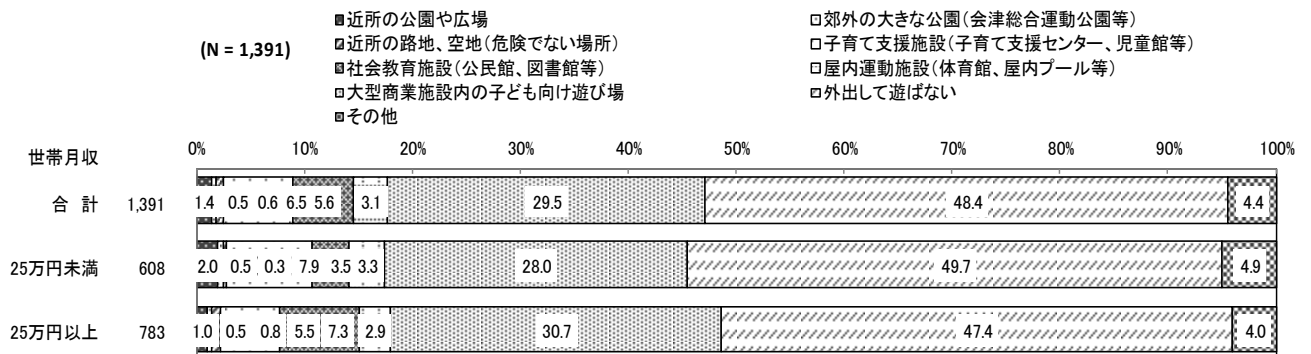
「外出して遊ばない」が 49.2%と最も高く、次いで「大型商業施設内の子ども向け遊び場」が 28.7%、「子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）」が 6.6%となっている。



【地区別】

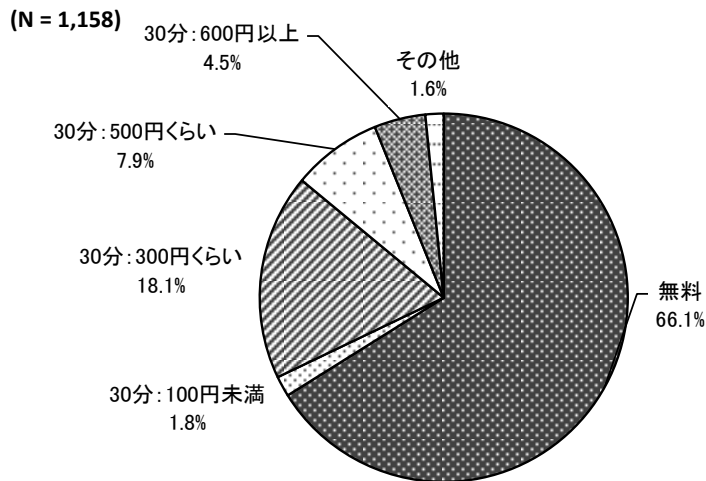


【世帯月収別】

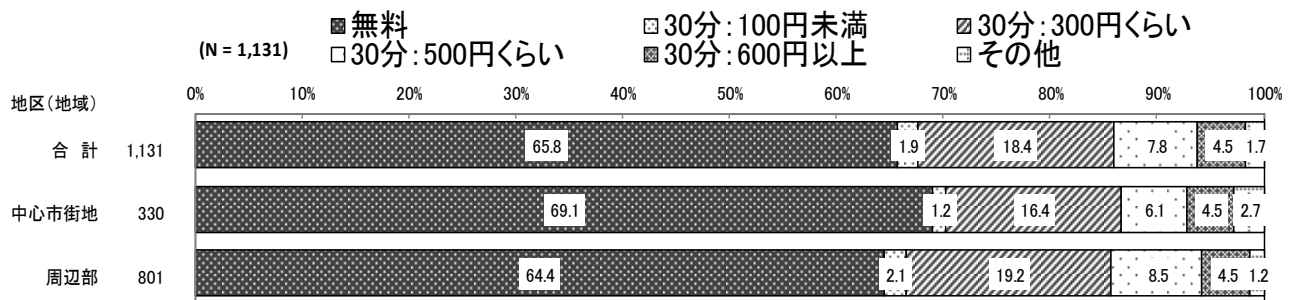


117. 【天気が悪い時】施設・場所の利用料

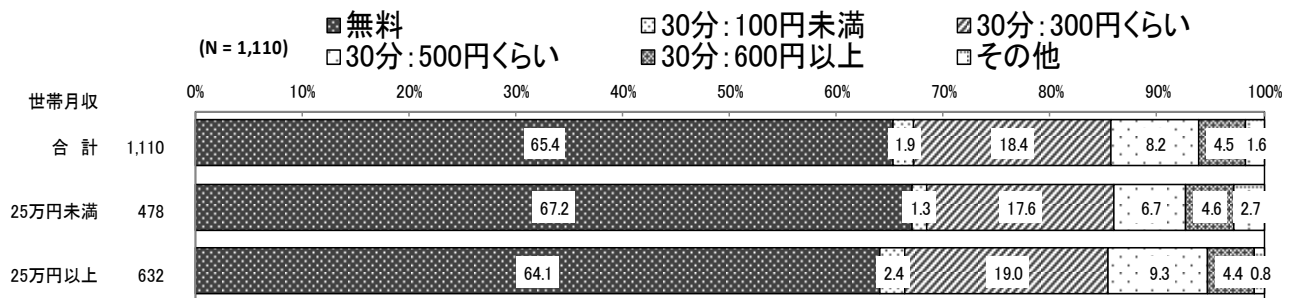
「無料」が66.1%と最も高く、次いで「30分：300円くらい」が18.1%、「30分：500円くらい」が7.9%となっている。



【地区別】



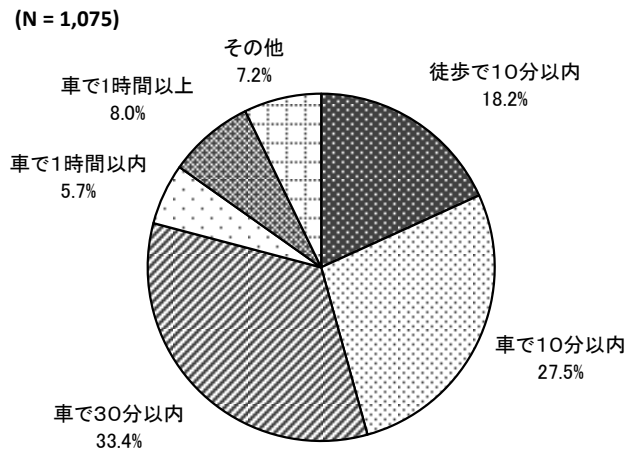
【世帯月収別】



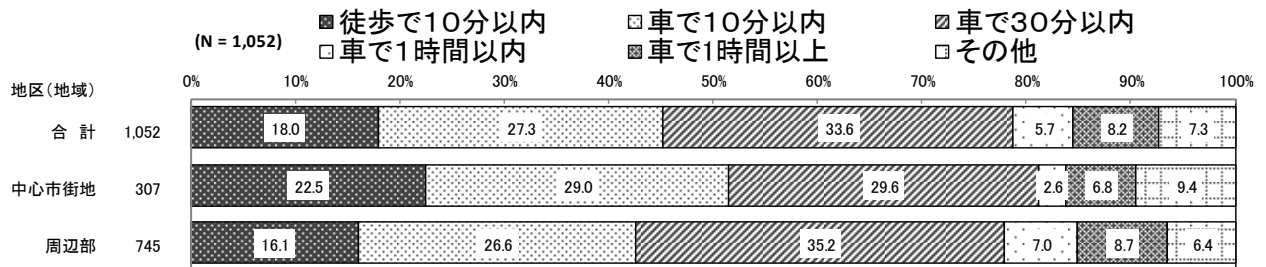
118. 【天気が悪い時】所要移動時間

「車で30分以内」が33.4%と最も高く、次いで「車で10分以内」が27.5%、「徒歩で10分以内」が18.2%となっている。

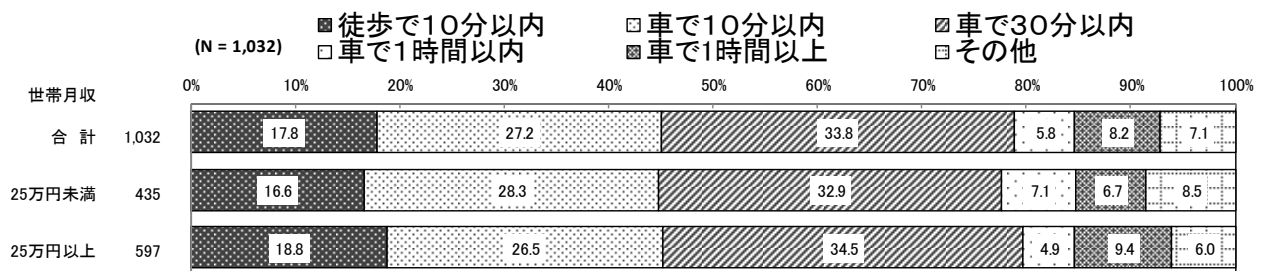
地区別にみたとき、中心市街地において、「徒歩で10分以内」が占める割合が周辺部よりも6ポイント程度高くなっており、「車で10分以内」とあわせると半数以上を占めることから、近場への移動を求める傾向があることがうかがえる。



【地区別】

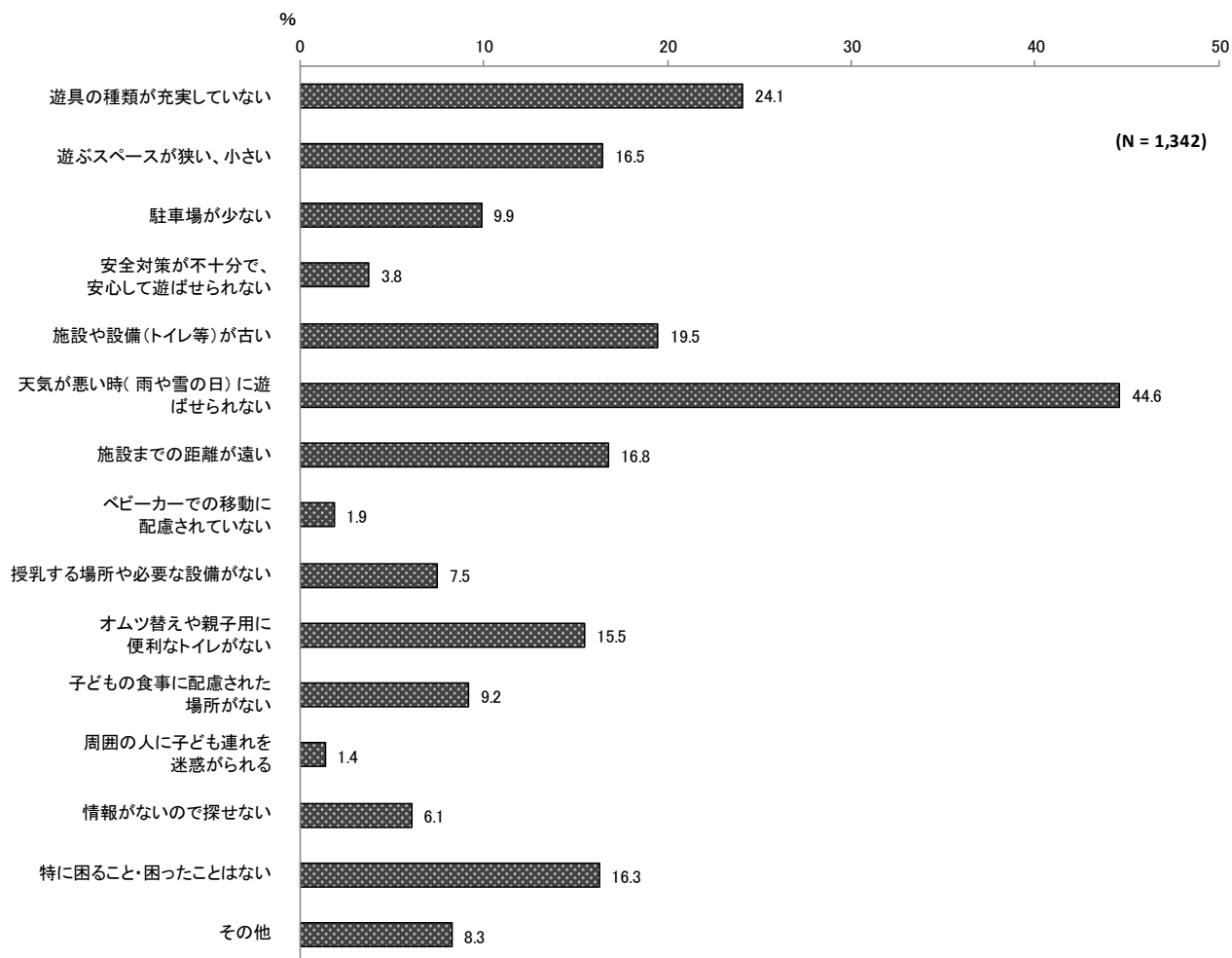


【世帯月収別】

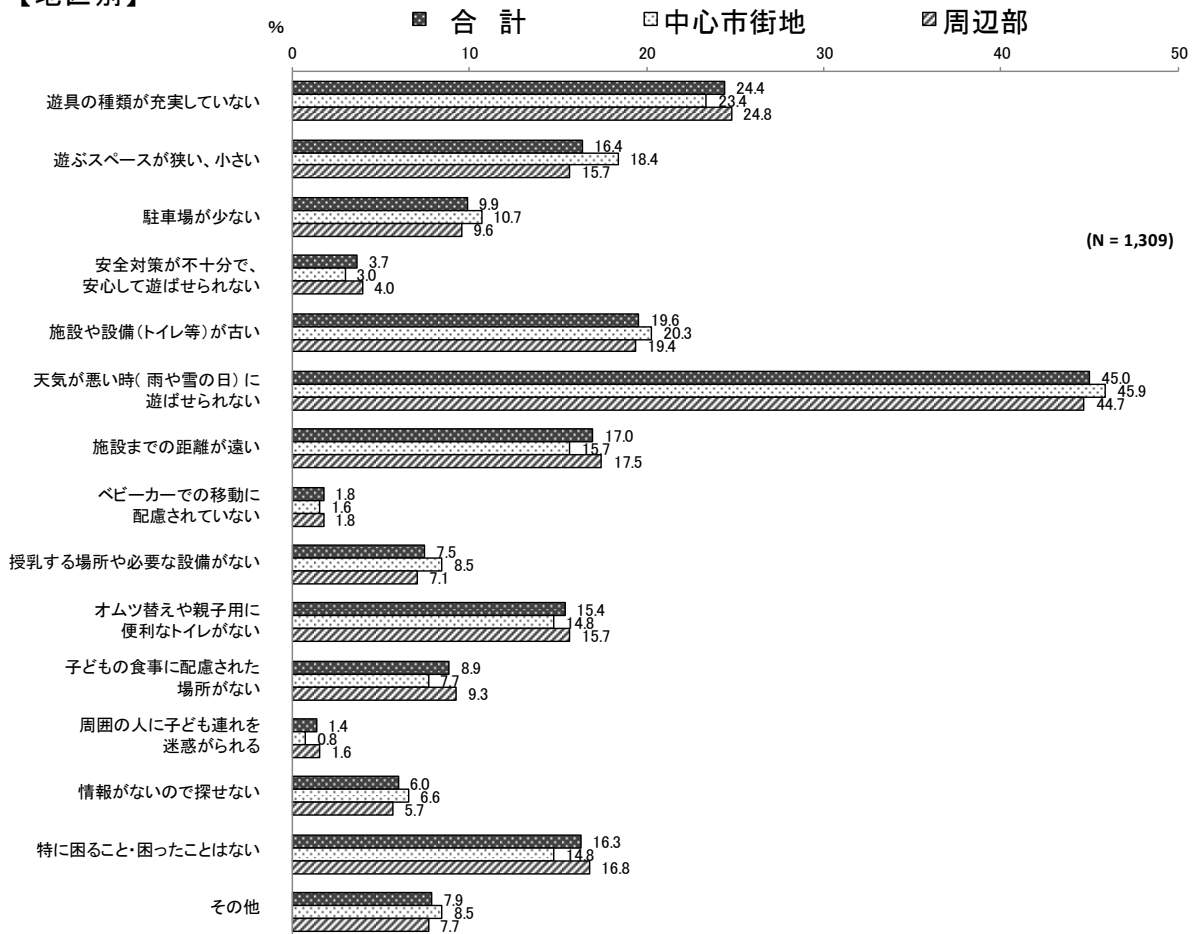


119. 遊び場を利用する時や探す際に困る・困ったこと

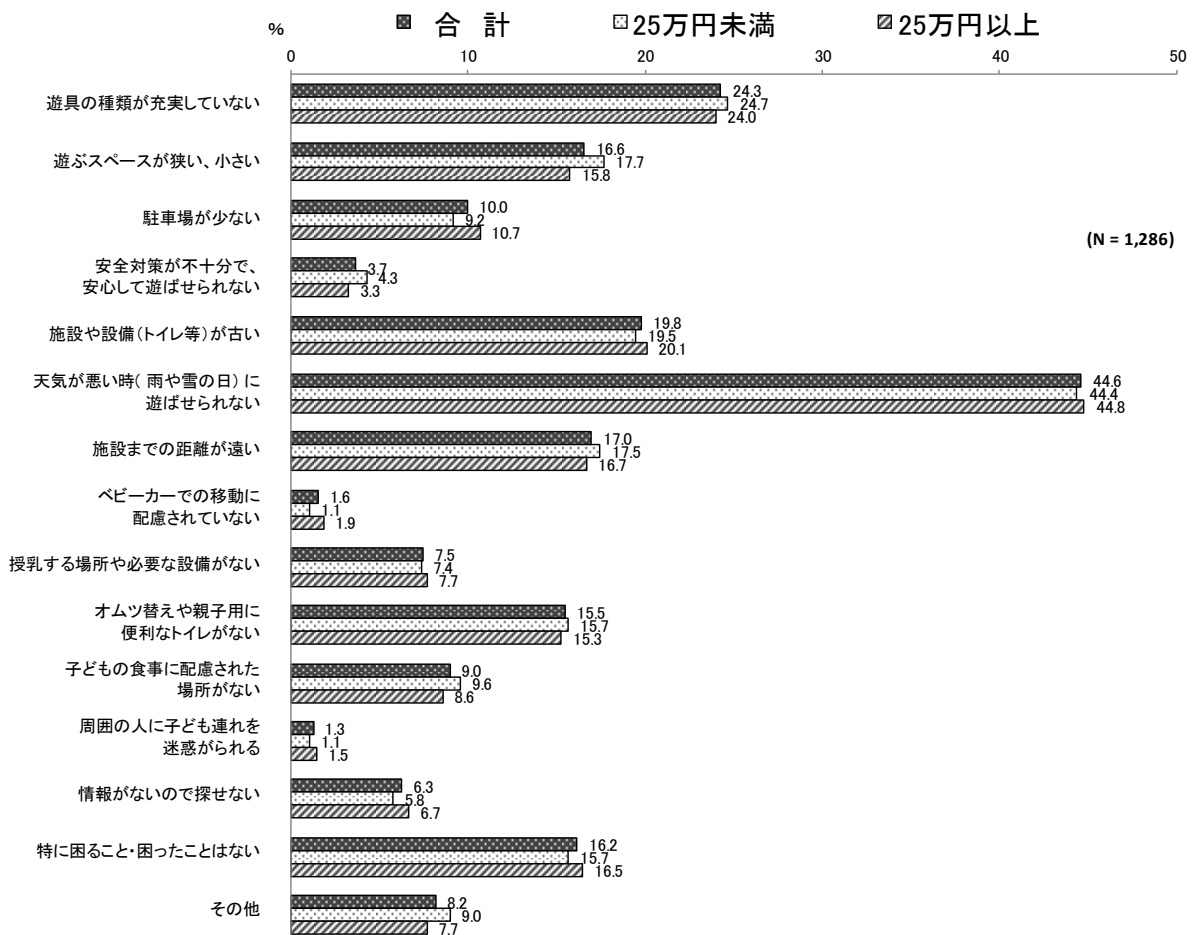
「天気が悪い時(雨や雪の日)に遊ばせられない」が44.6%と最も高く、次いで「遊具の種類が充実していない」が24.1%、「施設や設備(トイレ等)が古い」が19.5%となっている。



【地区別】



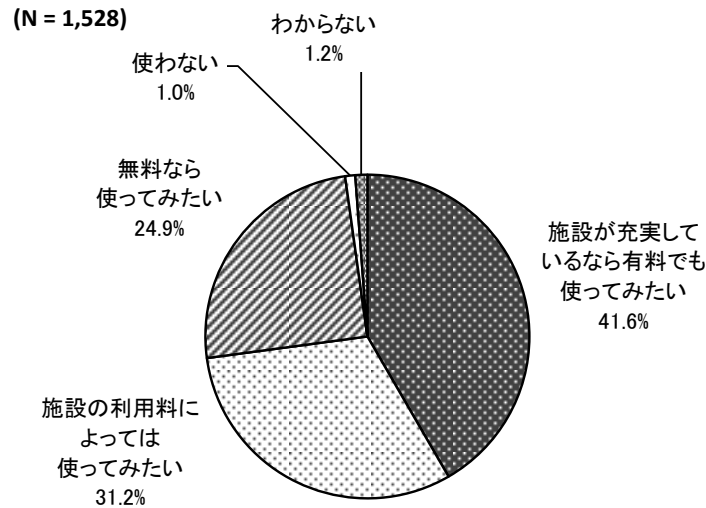
【世帯月収別】



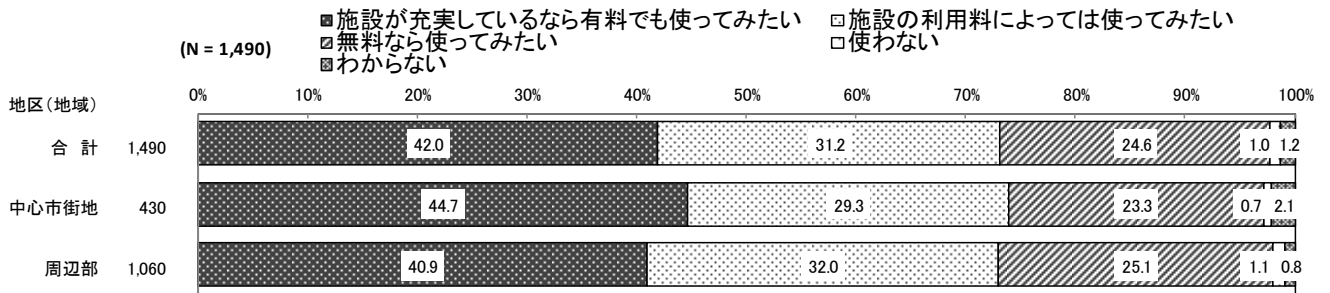
120. 有料の子どもの遊び場の利用希望

「施設が充実しているなら有料でも使ってみたい」が 41.6%と最も高く、次いで「施設の利用料によっては使ってみたい」が 31.2%、「無料なら使ってみたい」が 24.9%となっている。

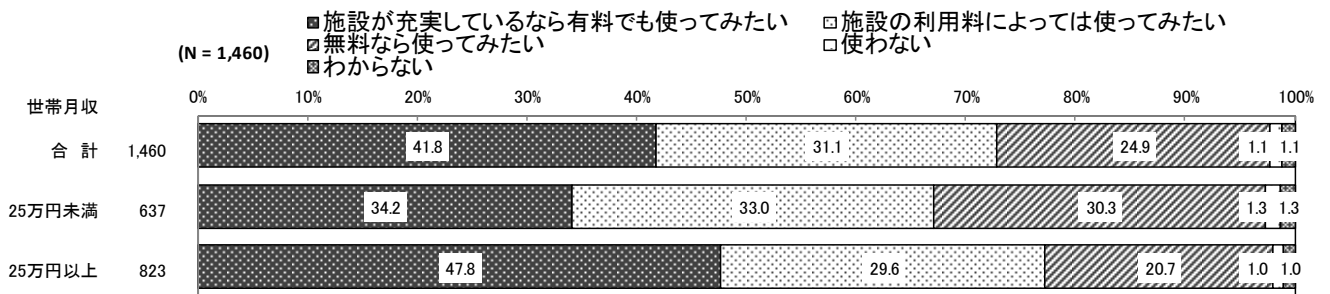
世帯月収別にみたとき、25 万円以上の世帯においては「施設が充実しているなら有料でも使ってみたい」が 5 割近くを占めており、利用に前向きであることがうかがえるが、25 万円未満の世帯では 3 割台となっている。



【地区別】

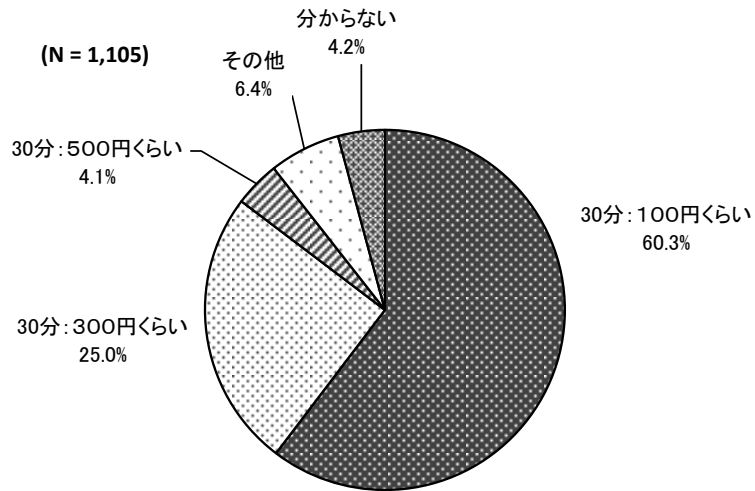


【世帯月収別】

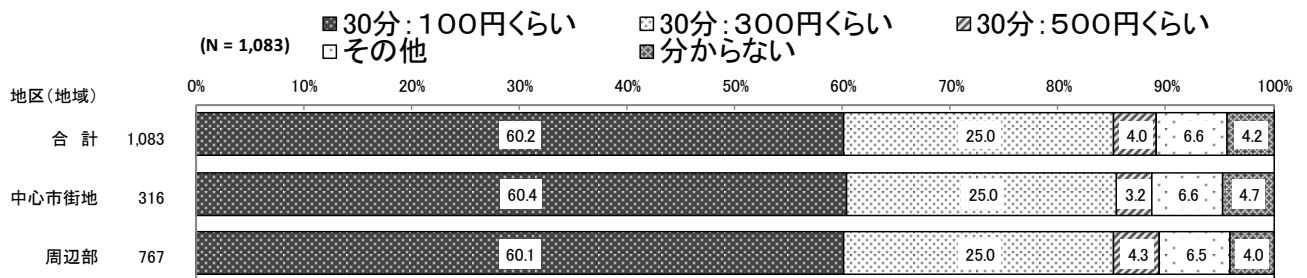


121. 負担してもよい金額

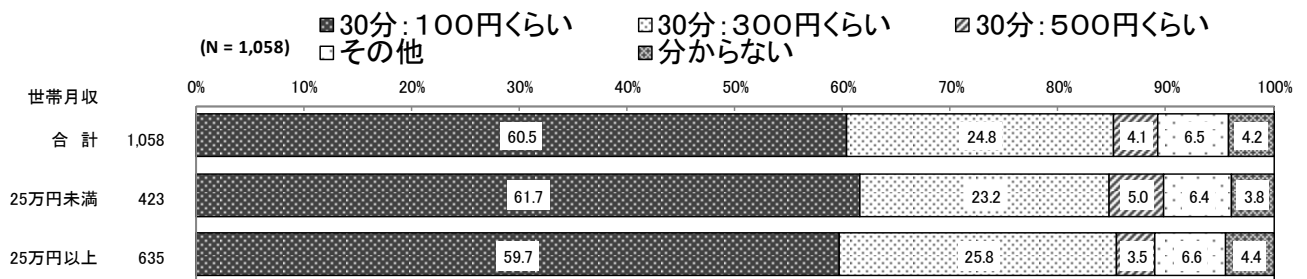
「30分：100円くらい」が60.3%と最も高く、次いで「30分：300円くらい」が25.0%、「その他」が6.4%となっている。



【地区別】



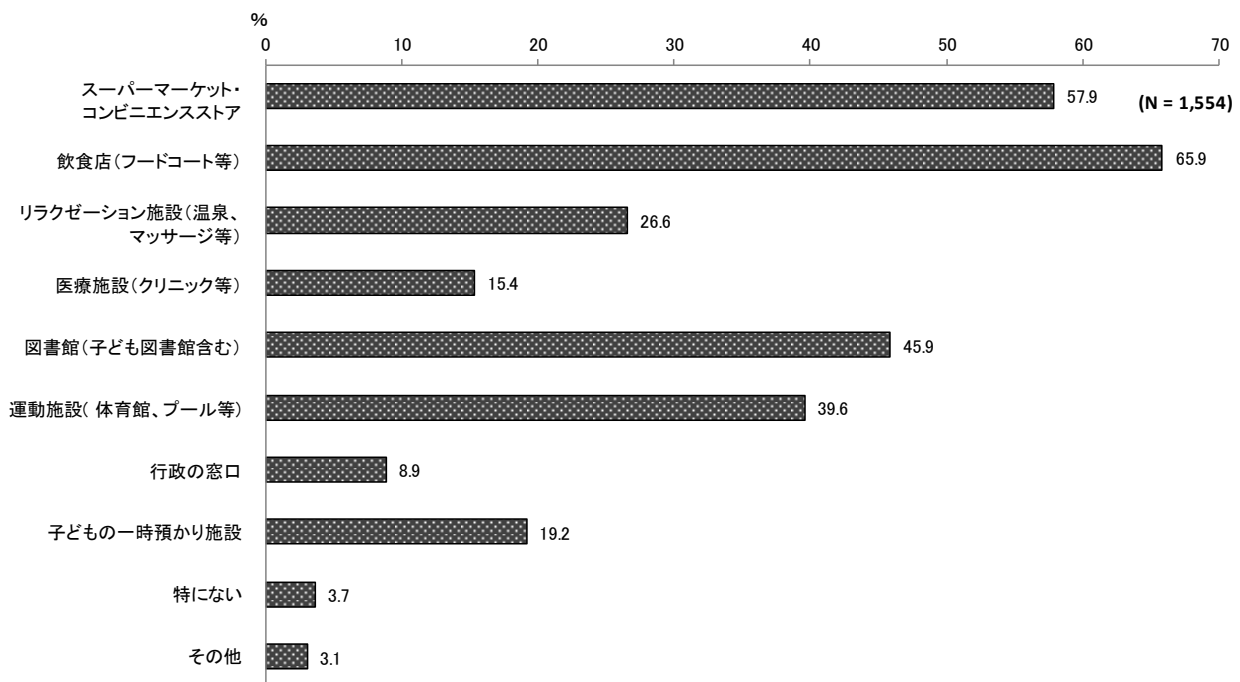
【世帯月収別】



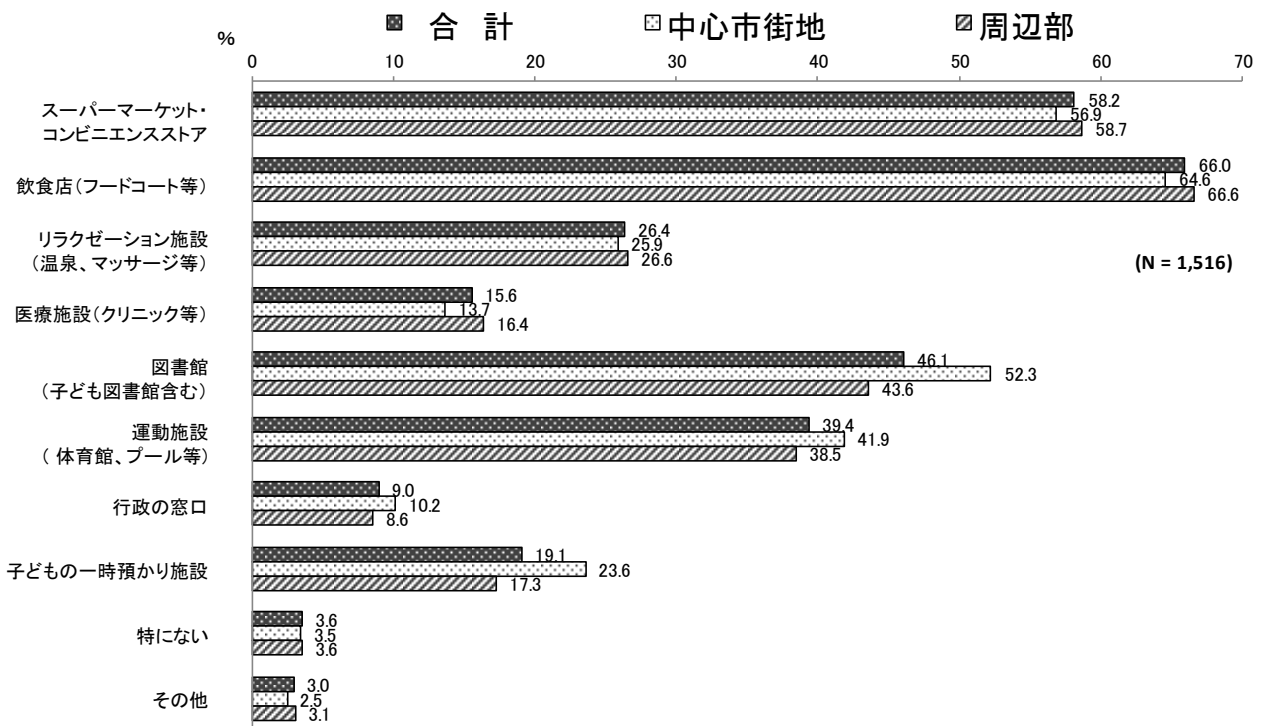
122. 遊び場の近くや施設内にあればよいと思う施設

「飲食店（フードコート等）」が 65.9%と最も高く、次いで「スーパーマーケット・コンビニエンスストア」が 57.9%、「図書館（子ども図書館含む）」が 45.9%となっている。

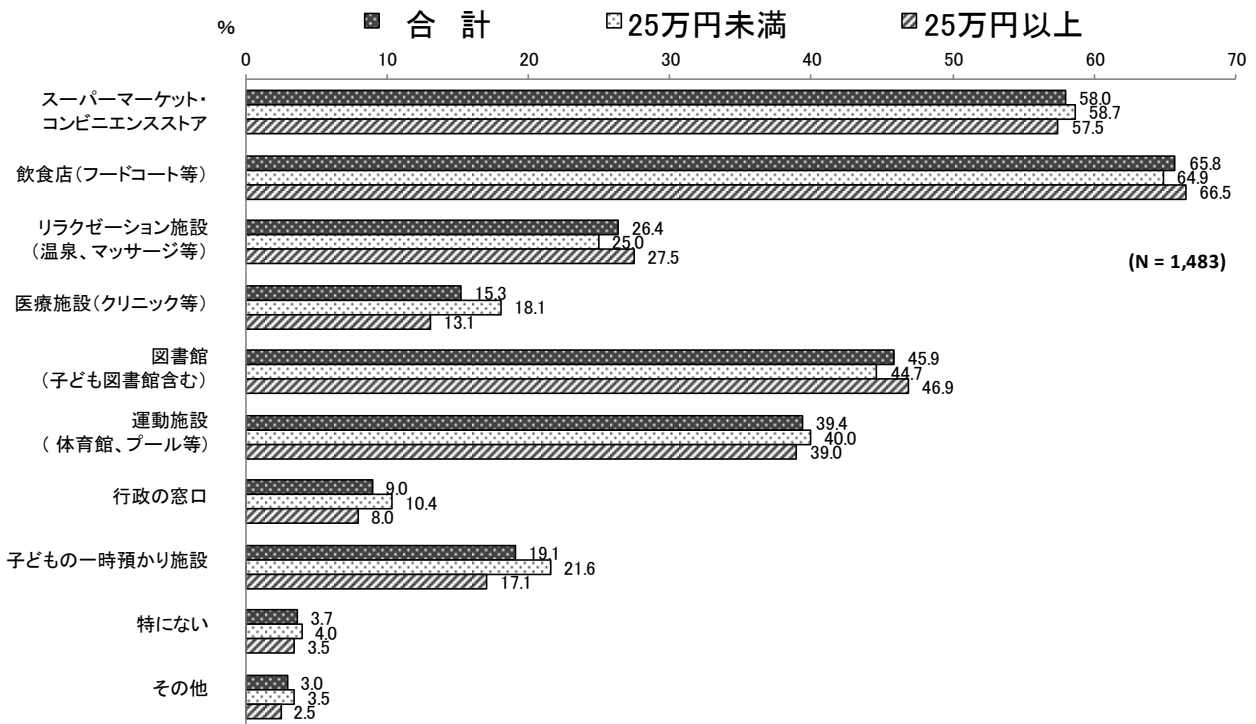
地区別にみたとき、中心市街地において「図書館（子ども図書館含む）」が 5 割以上となっており、周辺部と比べて 9 ポイント程度高くなっている。



【地区別】



【世帯月収別】



123. 子育ての環境や支援に関してご意見（一部抜粋）

【行政(市)の子育て支援体制について】

- ・軽度の障がいやグレーゾーンの子どもにも支援がほしい。
- ・市の担当の方に子育てに対して相談しても、「どうすればいいでしょうね…」といった態度で、いつもアドバイスがないのが気になる。だったらもう相談しないという気持ちになる。健診の際に確認するなら少しでもよいからアドバイスがほしい。
- ・子育て支援に力を入れている会津若松市で、とても助かったことがたくさんある。母親の孤立防止、育児相談、保育施設の紹介、遊び場の提供など。私が利用していた施設（支援センター）は近くの公民館を借りて広々とした場所でのびのびと過ごさせて頂いた。しかしながら、子育て支援専門の部屋のある保育施設はまだまだ少ないように思う（部屋やホールの一角を間がりなど）。いつでも気軽に行けるというメリットはあるかもしれませんが、“今日行って大丈夫かな”の不安の中行くこともある。保育士不足と叫ばれている昨今なので、保育士の確保、並びに支援センター（場所）の確保も重要であると考えます。
- ・会津若松市は、周辺の地域と比べても、子育てに対する支援が非常に悪いと感じている。満足のいく部分はサービス（金銭的な部分）でも設備等でも正直ありません。設備でいえば、雪国で冬場の遊び場には子育て世代はみんな困っており、室内遊び場の設置を求めている。土地の空きを子育て支援の場として利用してほしい。

【子どもの遊び場や施設について】

- ・悪天時に、無料で遊べる屋内の施設があるとよい。日曜日に利用できればさらによいと思う。
- ・近所の公園が少なく、歩いて遊びに行く場所がない。郊外の大きな公園もよいが、小さな公園も増えるとうれしい。市外の無料屋内遊び場を利用した時、90分入替制で（1日3回）とても過ごしやすかった。ケガなどの危険を防ぐため、人数制限をしていたおかげで子どもたちものびのびと遊ぶことができた。
- ・児童公園が少ない、充実させてほしい。
- ・大きな公園が市内に一つのみであるため、人も集中し大変混んでいる。近くにある小規模な公園の遊具等を充実させ、気軽に足を運べる様、見直してほしい。大規模な室内遊び場を作ってほしい。肥満や運動不足等、会津の子どもたちには課題がある。少しでも解消できるように取り組んでほしい。新潟にある創造センターやわくわくヒルズのような施設を作ってほしい。晴れでも、雨でも、会津で楽しめる様をお願いしたい。
- ・ボール遊びが禁止の公園が多く、思いっきりサッカー等のボールを使っの遊びが出来ない。もう少し、グラウンドの様な広いスペースの遊び場がほしい。
- ・会津若松市は都市部と比較しても、子育て支援事業やサービスが充実していると思う。特に公園や公共の施設の設備に子育て世代や子どもへの配慮を感じる。だが、屋内施設は物足りなさを感じる。郡山市のペップキッズ程とはいかないまでも、雪の季節にあの様な施設があるとよい。

【保育所・幼稚園の対応や要望について】

- ・現在保育園を利用しているが、1クラスで保育する子どもの人数が多いような気がします。職員の数は足りているが、小さければ小さいほど、多くても1クラス15名くらいにしてほしいです。今のところ30名近いです。
- ・市内の幼稚園の遊具について、新しいものから古いものまで差があり過ぎではないかと感じる。保育料は施設ごとでなく所得に応じて決定されているのだから、遊具についてもある程度統一があってもよい。利用していて、危ないのではないかと感じることもある。市で幼稚園・保育園の遊具・園庭の定期的な安全点検はしているのか。
- ・白梅幼稚園の土曜保育は予約制で、毎月会社から就労証明を出さねばならず、お弁当も必要でとても利用しにくい。働いているお母さんたちが増えているので、もっと利用しやすくしてほしい。子供たちもあそべて、親も一緒に楽しめたり、食事できたりする施設がほしい。

【市の子育て支援施設・サービスについて(保育所・幼稚園以外)】

- ・子供が病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できない時に、父か母が仕事を休むことでしか対処できないため、病児保育の施設を増やしてほしい。利用したい時に、利用できないことが多いため、定員を増やす等をお願いしたい。
- ・授乳スペースが少ない。
- ・ベビーマッサージや、乳児とできるヨガなど、子どもと一緒に受講できるものがあれば、行く所の少ない会津若松市でも家にずっといるということがなく、そういった体験を通じて母親同士の交流もでき息抜きができると思う。
- ・もっと離婚に関する相談窓口がほしい。以前、相談したときに理由がDVでないのに、正直「なんだ…。そんな話か」というような対応だと感じた。私はシングルマザーになっても前向きな意見があるという声を聞きたかった。よけいに辛くなった。もし可能ならば、シングルマザーマイノリティについての情報を聞かせてほしい。

【子育てや家庭の悩みについて】

- ・本当はまた子供がほしいが、子供と自分達夫婦の将来を考えると子どもを産めない。金銭的なところで慎重になり、上の子がある程度大きくなってから第二子を出産したが、保育園では保育料の減額対象にならず（上の子が小4以上のため）、収入と子どもの数で対象を決めてほしいと思った。
- ・平日はほぼワンオペ育児、休日も夫が寝てしまうと結局一人で子どもの相手をする事になり、いざ出かけると子どもの準備、夫をせかし、と気が休まらない。子育てにもう少し関わってもらいたいが仕事の都合でほぼ無理。ワンオペの大変さや、妊娠中の女性の身体的、精神的負担について、学べる施設や機会があってもいいと思う。

【職場・働き方について(自身、家族・配偶者など)】

- ・働き方改革で女性を働かせるのを推進しているが、仕事・家事・育児の両立は無理に等しい。実際、子どもが具合悪いと会社を休むのは母親なのが当たり前で、父親が休んでいる家を見たことがない。父親の育児休業について、現状取れる会社なんてあるのだろうか。個人の理解がされていないのに制度だけ進められてもという気持ちでしかない。子育て支援を充実させて、子供を朝から晩まで預けて働く母親というものに疑問しかない。でも働かなければ生活できない。時間に追われて、子どもとゆっくり過ごせない。
- ・共働きで近くに親がいないと、子育てしながら仕事をするのはとても大変。実際、子どもが保育園に入園して自分も仕事に復帰した1年は、発熱等で呼び出されることも多かった。2人で育てるのは無理だと思い、親の近くに転居した。職場で共働き、夫婦のみで子育てをされている方は、インフルエンザの季節など交替でお休みされていたり、行事のたびに都合をつけてまわりの人達に気をつけていたり、とても大変そうに見える。利用できる制度や施設を整備することも大切だが、職場の環境が一番重要だと思う。イクボスなんて言葉だけで、実際残業はあるし、お休みしたいと言うと嫌味を言われるし、かわいそうなのは子どもだと思う。

【保育料の負担について】

- ・認定こども園等の利用料以外の園が独自に定めている部分について、ある定度基準を設けてほしい。入園金の有無、入園手数料、施設料など。
- ・上の子と年が離れたら、保育園料金が半額にならない。3人目なのに1人目扱いでとても腹が立つ。本当にお金がかかるのは中高生です。しかも、来年から幼児教育無償化にもひっかからず。こういう人への市独自の措置（現金給付など）はないのか。しっかり納税している夫婦共働きが損をしている。
- ・夫のボーナスが5万円程上がったら、保育料も（2人合わせて）同じくらい上がったのがすごく不満。下の子が3歳になって、給付金が減ったのもすごくつらい。お金の心配さえなければ、もっと産む。

【医療体制や支援制度の充実について】

- ・子どもは2~3人ほしいと思っていましたが、私は子どもが授かりにくい身体なので、願いは叶わないかもしれない。できればあと1人と思い不妊治療をしていましたが治療費は高額で厳しい現実には直面している。治療は肉体的にも精神的にも経済的にも苦痛が伴うので補助（助成金）制度があればと思う。
- ・子どもの予防接種代を助成してほしい。任意の予防接種代がとても高く、毎年のインフルエンザ接種も大変な負担。いくらかでも助成していただけると、本当にありがたい。
- ・ロタウイルスの予防接種について、他市は免除額があるのに、会津若松市は、全て自己負担なんておかしいと思う。
- ・1歳半健診のあと、3歳半健診まで健診が無いことが気になる。保育士として働いていると、「発達障害かな？」と思う子がいても保護者が病院に連れて行かない限り、3歳半までそのままになってしまうので、対処も遅れてしまう。健診はこまめにあると親御さんも安心するのではないかなと思う。

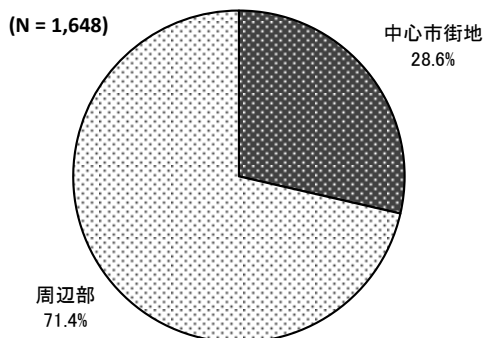
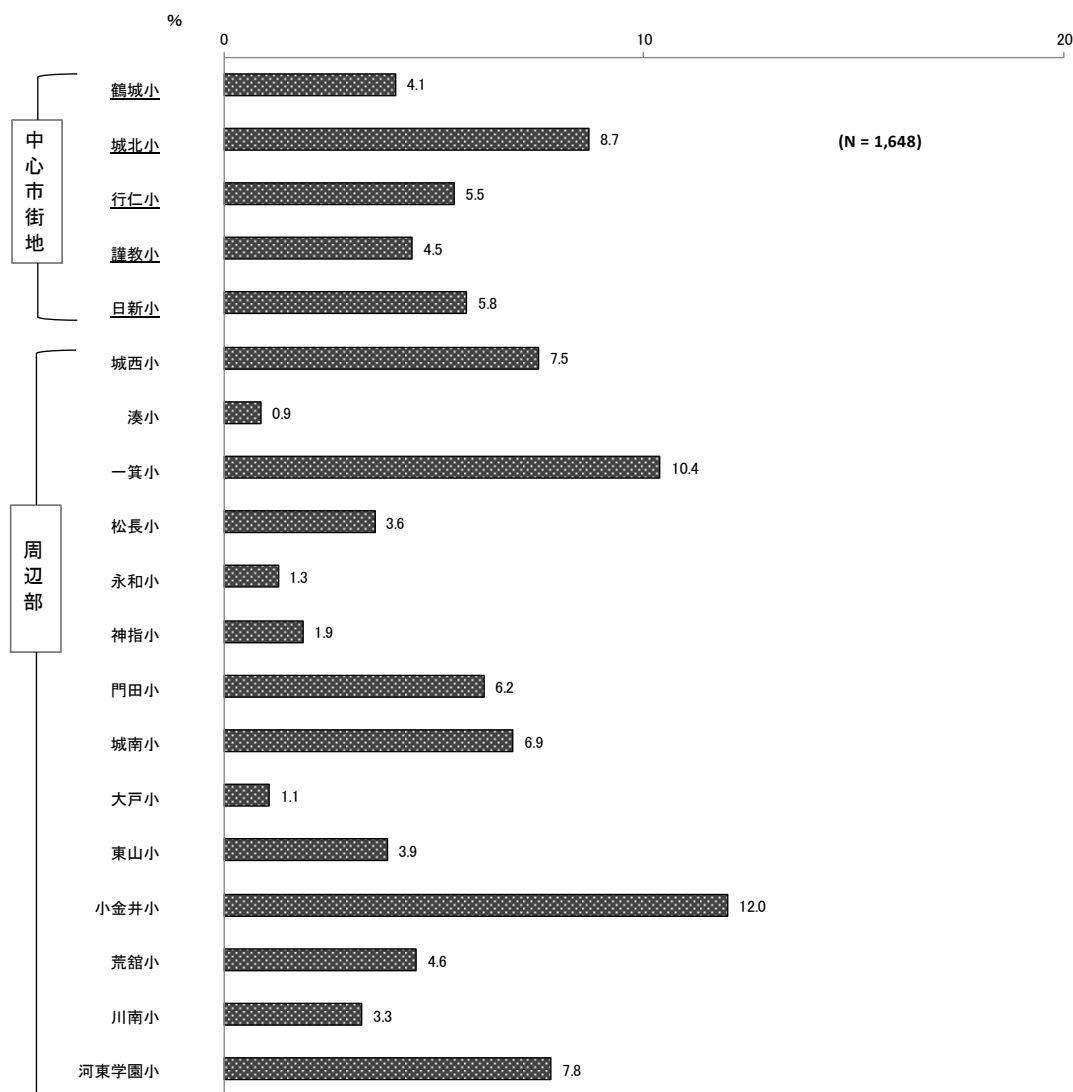
第3章 調査結果（小学生の保護者）

1. 子どもが通学している学校

「小金井小」が12.0%と最も高く、次いで「一箕小」が10.4%、「城北小」が8.7%となっている。

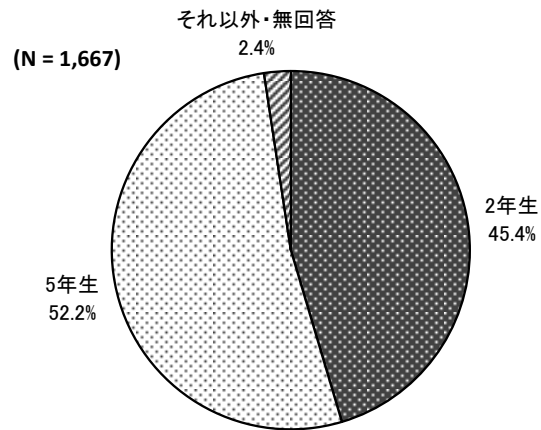
なお、「中心市街地」は28.6%、「周辺部」は71.4%であった。（※）

（※）本章において、グラフ中の校名に下線のある鶴城小、城北小、行仁小、謹教小、日新小を「中心市街地」とし、それ以外を「周辺部」として集計している。



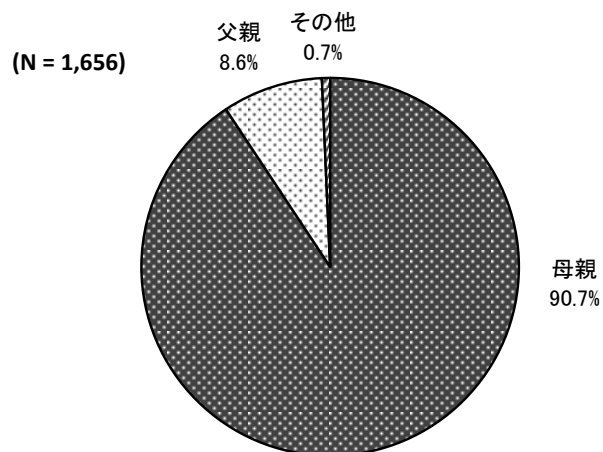
2. 子どもの学年

「5年生」が52.2%、「2年生」が45.4%、「それ以外・無回答」が2.4%となっている。



3. 調査票の回答者

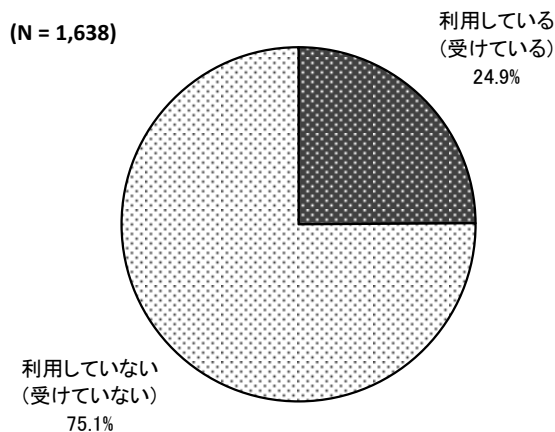
「母親」が90.7%、「父親」が8.6%、「その他」が0.7%となっている。



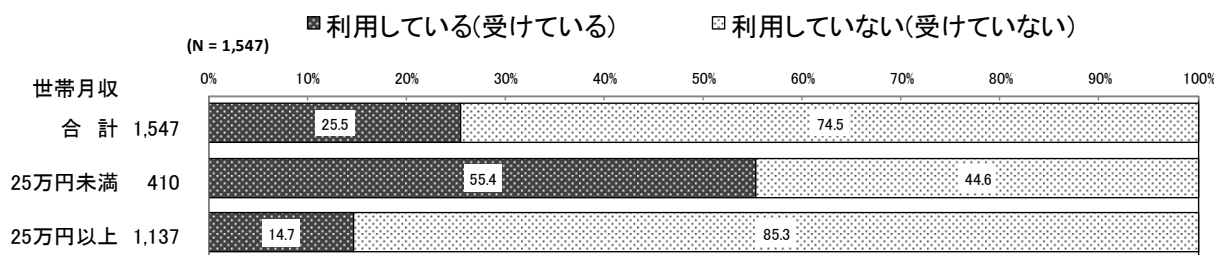
4. 公的制度（生活保護/児童扶養手当/ひとり親家庭医療費助成事業/就学援助）の利用状況

「利用している(受けている)」は 24.9%、「利用していない(受けていない)」は 75.1%であった。

世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯の半数以上が公的制度を利用している（受けている）結果となった。



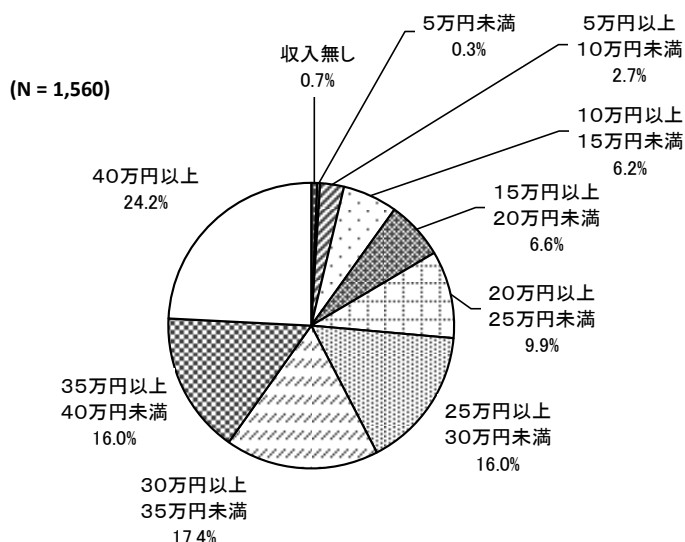
【世帯月収別】



5. 世帯収入（ひと月あたり）

「40 万円以上」が 24.2%と最も高く、次いで「30 万円以上 35 万円未満」が 17.4%、「25 万円以上 30 万円未満」及び「35 万円以上 40 万円未満」が 16.0%となっている。

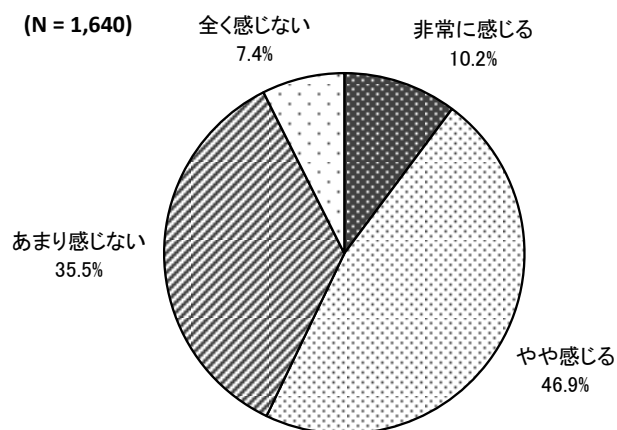
なお、「25 万円未満」は 26.4%、「25 万円以上」は 73.6%であった。



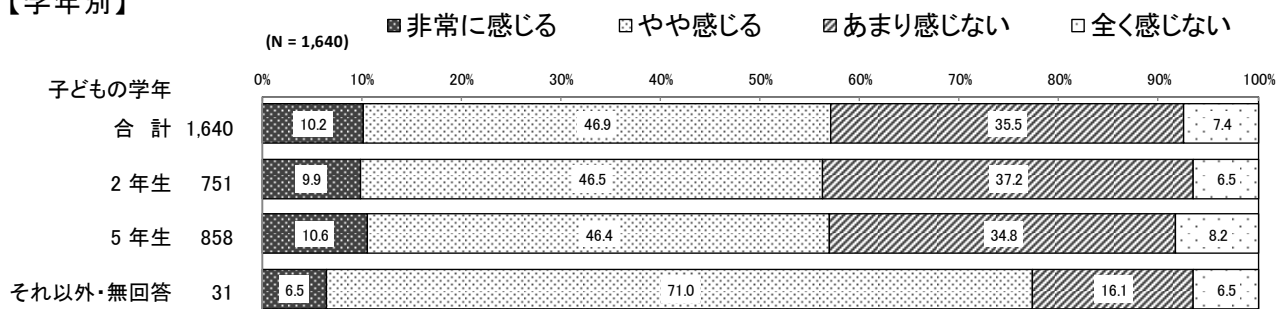
6. 子育てに関する不安や負担の有無

「やや感じる」が46.9%と最も高く、次いで「あまり感じない」が35.5%、「非常に感じる」が10.2%となっている。

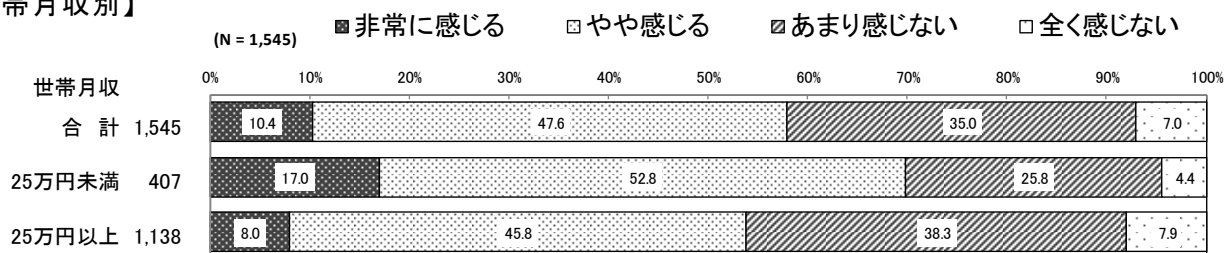
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「非常に感じる」「やや感じる」と回答した割合はおよそ7割に達しており、25万円以上の世帯の回答を16ポイント上回っている。



【学年別】



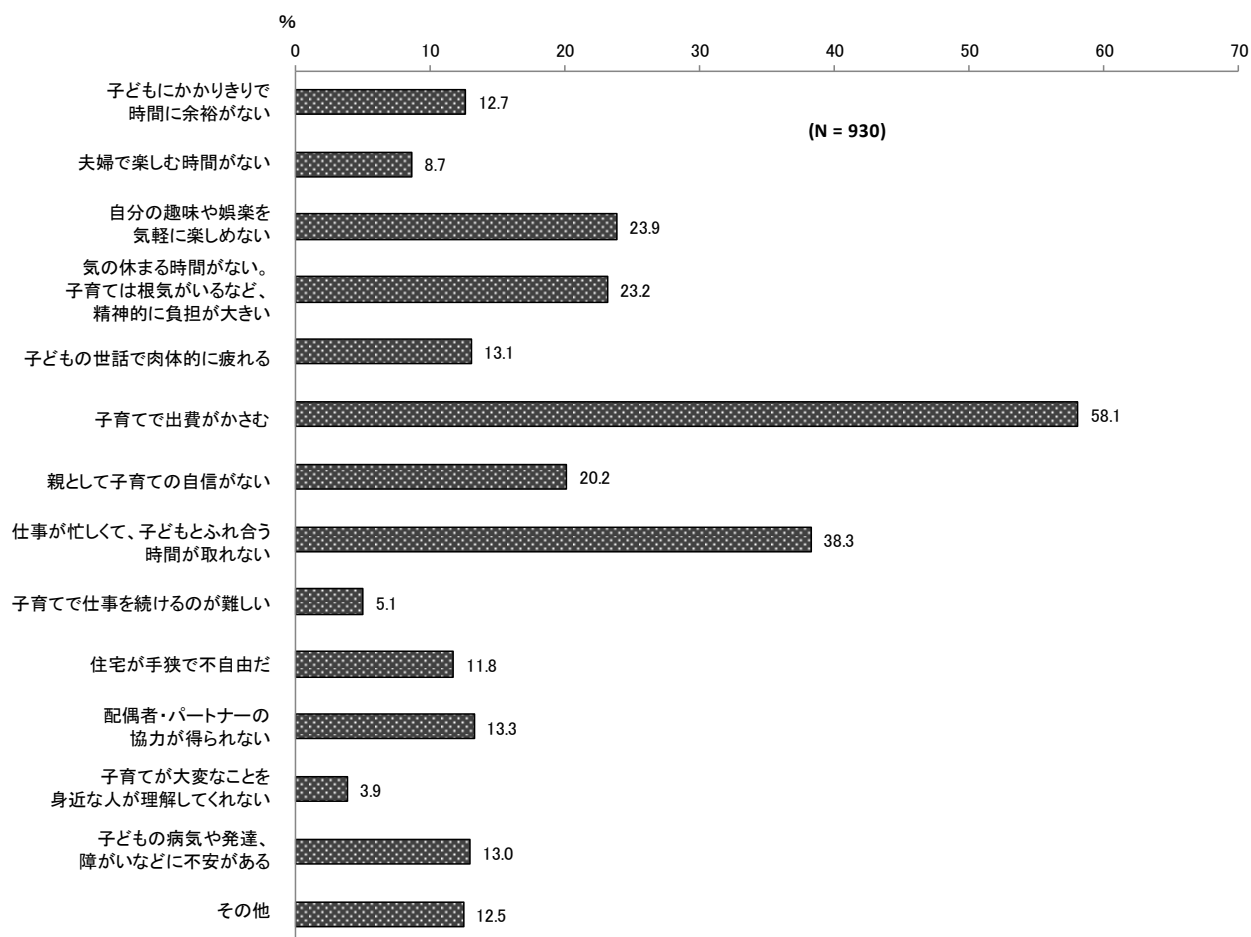
【世帯月収別】



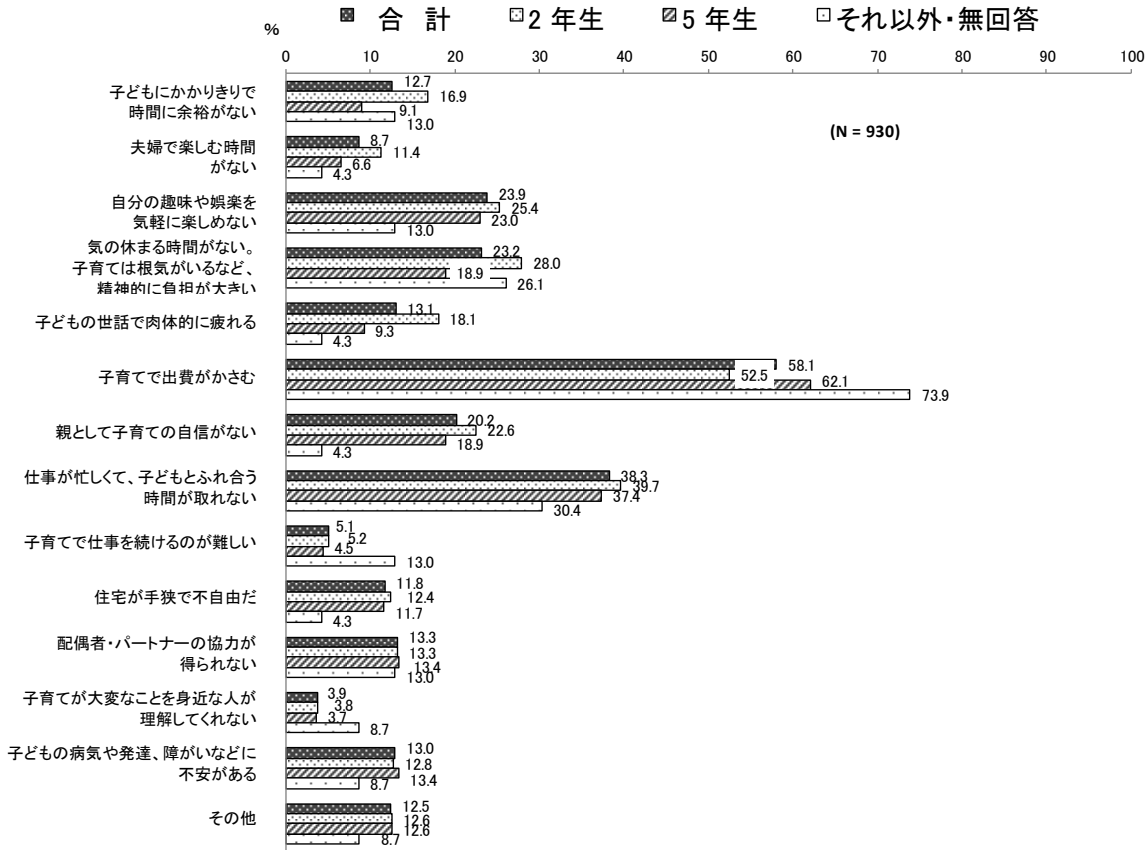
7. 子育てに関して不安や負担に思う理由

「子育てで出費がかさむ」が 58.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて、子どもとふれ合う時間が取れない」が 38.3%、「自分の趣味や娯楽を気軽に楽しめない」が 23.9%となっている。

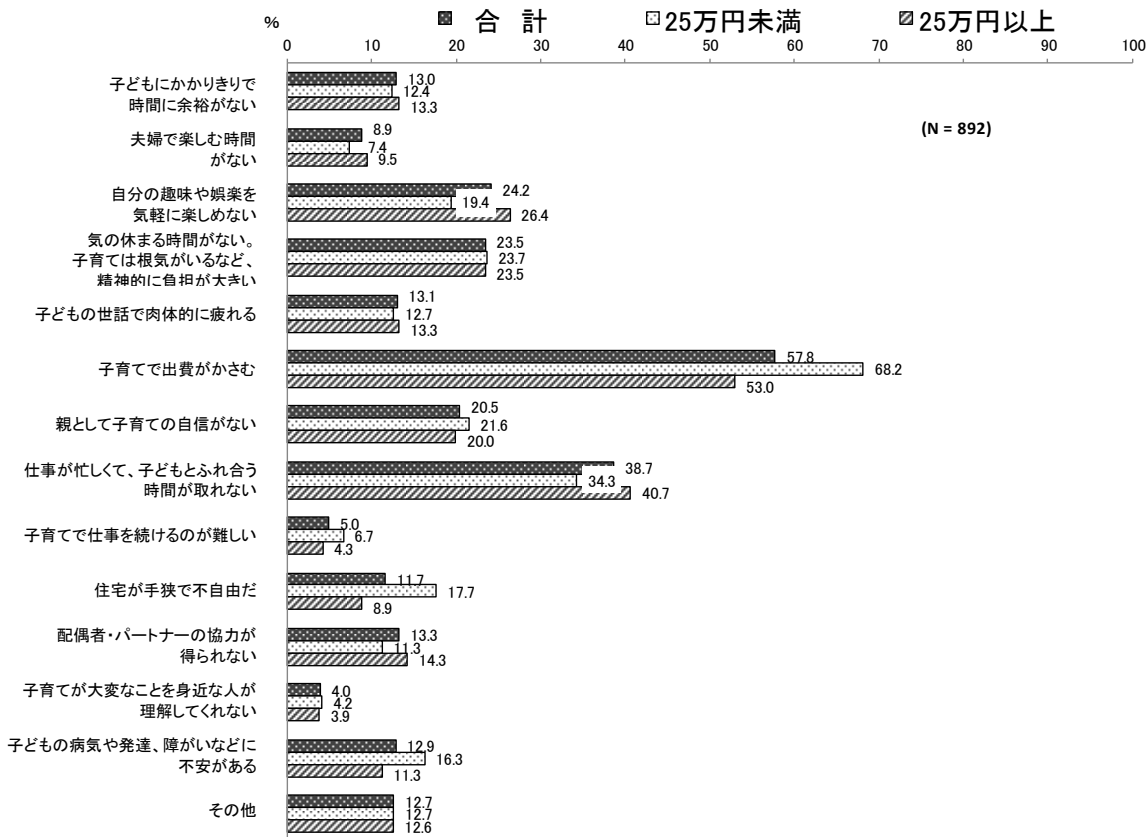
世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯では「子育てで出費がかさむ」とした回答した割合が 7 割近くを占めているが、25 万円以上の世帯では 5 割程度となっている。



【学年別】



【世帯月収別】

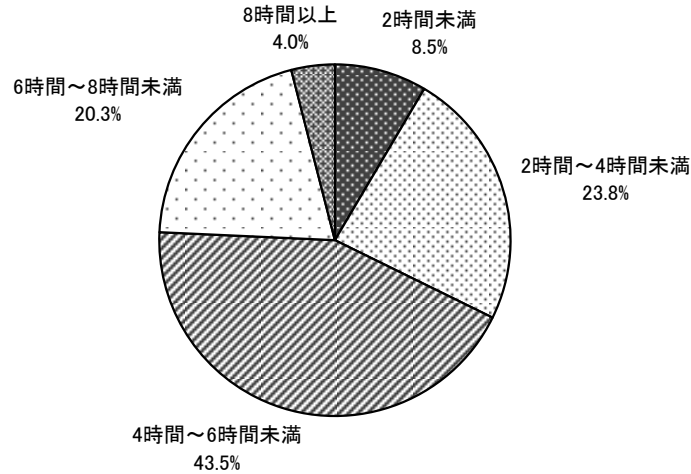


8. 【母親】子どもと過ごす時間（平日）

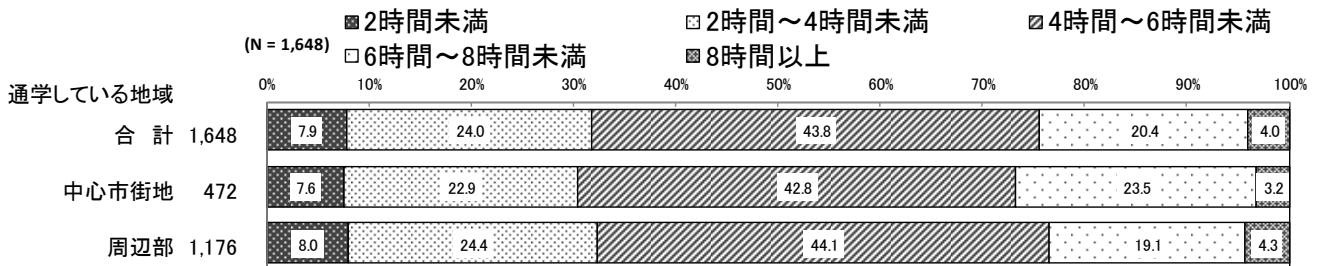
「4時間～6時間未満」が43.5%と最も高く、次いで「2時間～4時間未満」が23.8%、「6時間～8時間未満」が20.3%となっている。

世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において、「2時間未満」の回答が12.9%となっており、25万円以上の世帯よりも7.4ポイント上回っている。

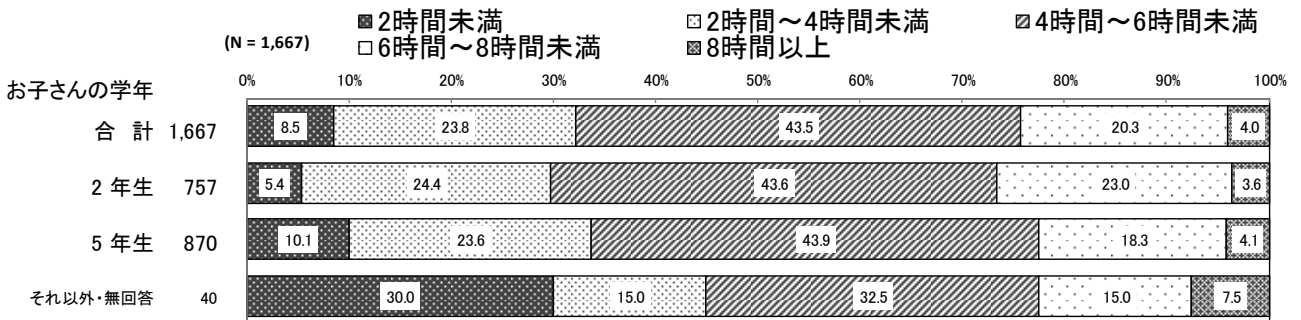
(N = 1,667)



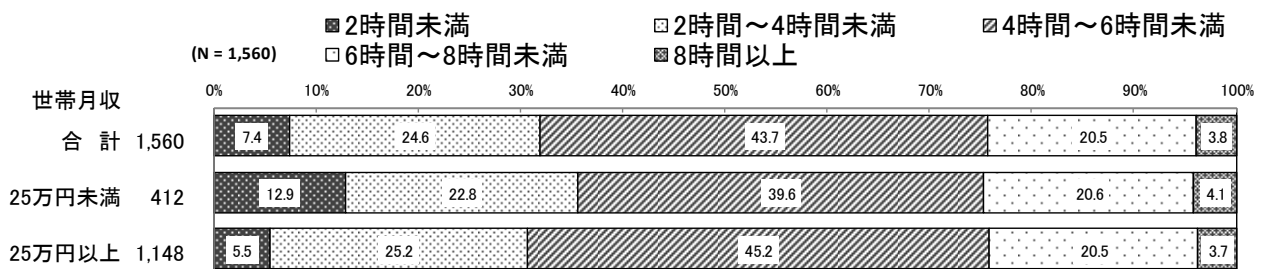
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】

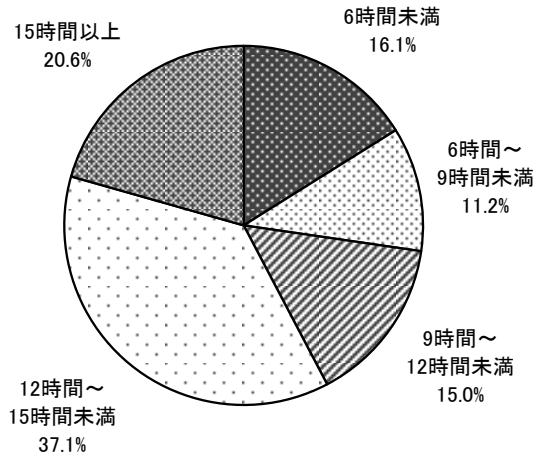


9. 【母親】子どもと過ごす時間（休日）

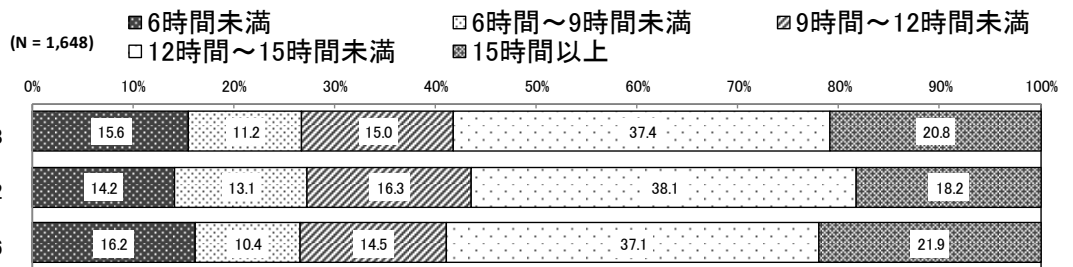
「12時間～15時間未満」が37.1%と最も高く、次いで「15時間以上」が20.6%、「6時間未満」が16.1%となっている。

世帯月収別でみたとき、25万円未満の世帯において、「2時間未満」の回答が21.8%となっており、25万円以上の世帯よりも9.1ポイント上回っている。

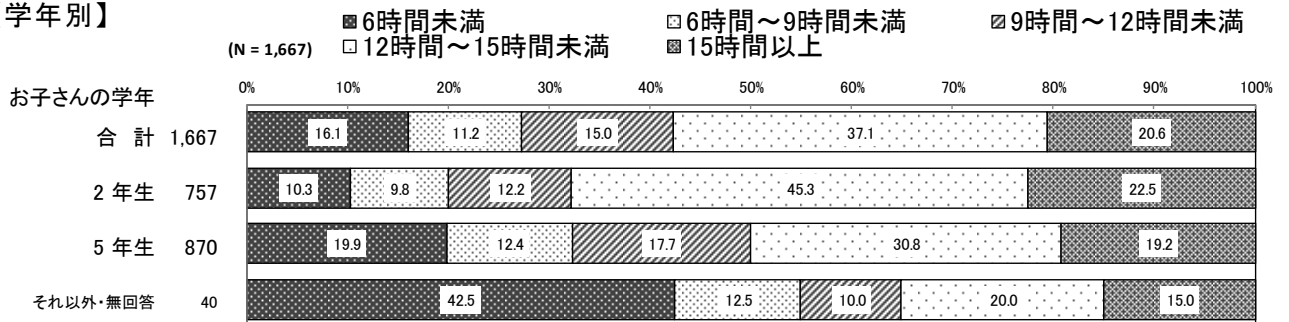
(N = 1,667)



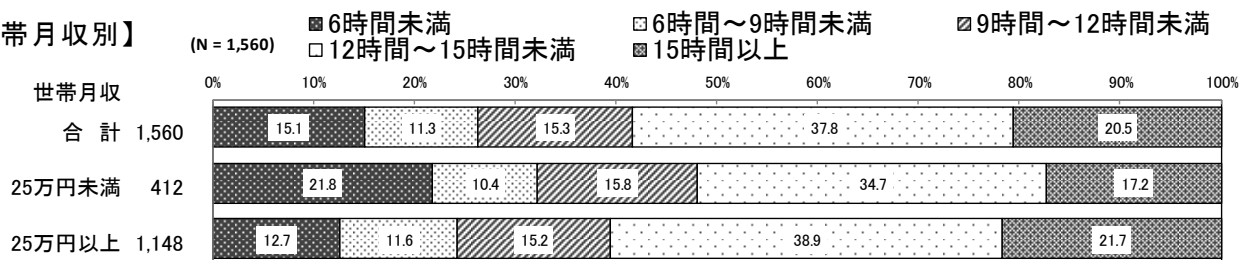
【地区別】



【学年別】

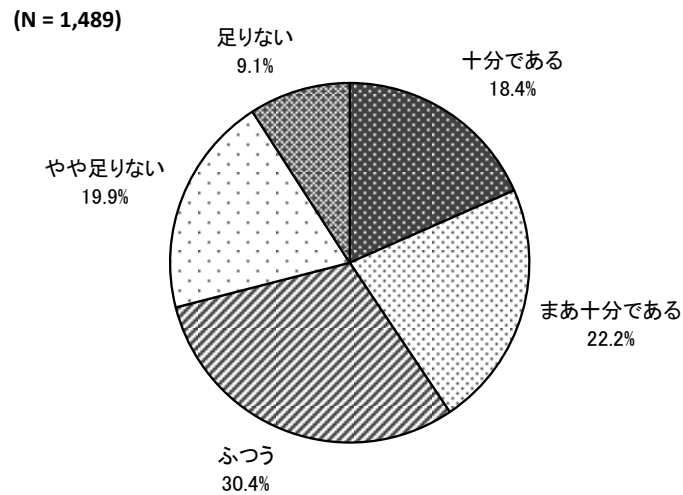


【世帯月収別】

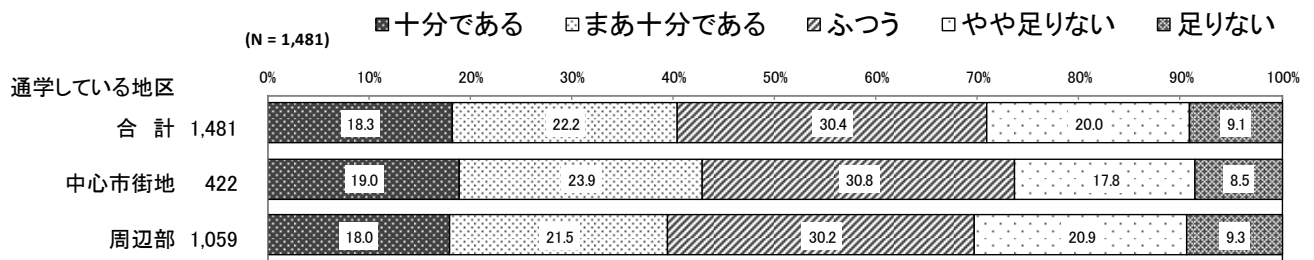


10. 【母親】 /子どもと過ごす時間数をどのように感じているか

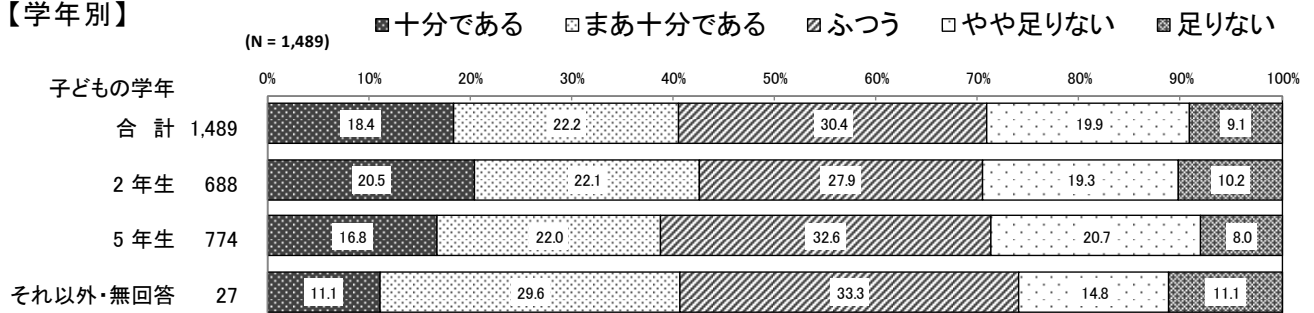
「ふつう」が 30.4%と最も高く、次いで「まあ十分である」が 22.2%、「やや足りない」が 19.9%となっている。



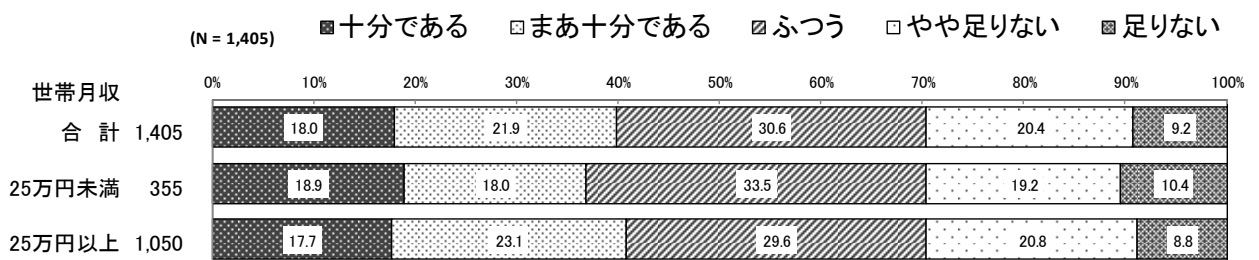
【地区別】



【学年別】



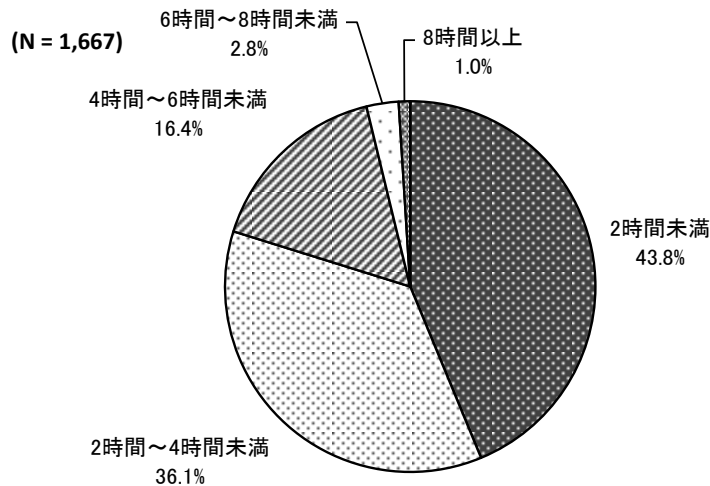
【世帯月収別】



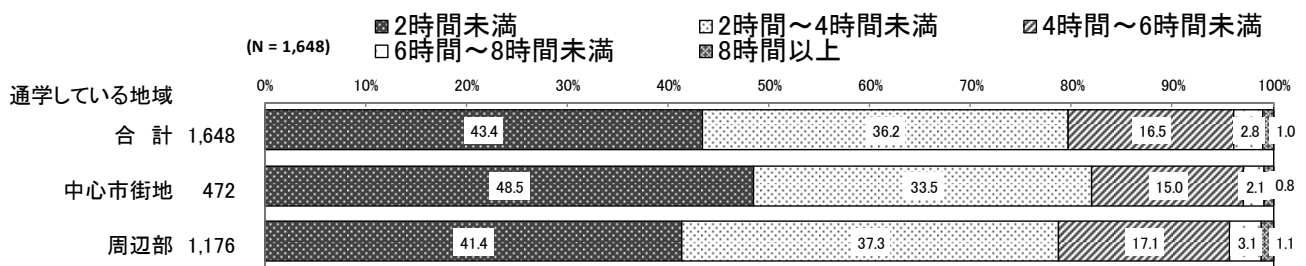
11. 【父親】子どもと過ごす時間（平日）

「2時間未満」が43.8%と最も高く、次いで「2時間～4時間未満」が36.1%、「4時間～6時間未満」が16.4%となっている。

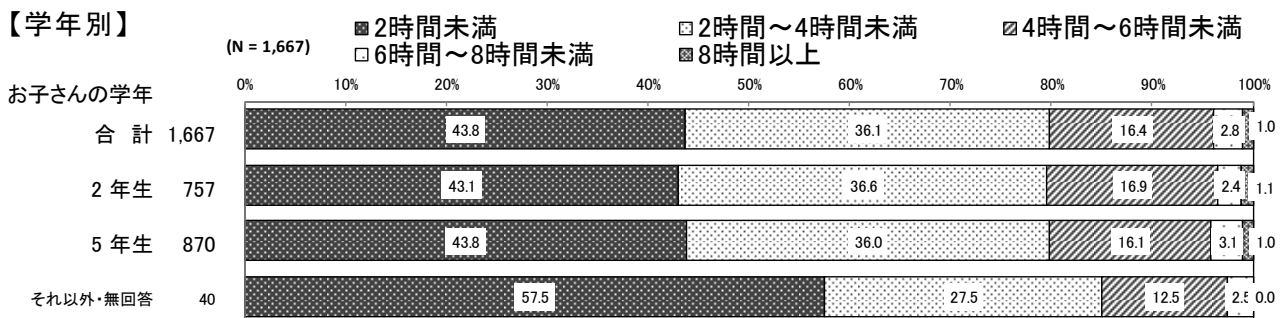
世帯月収別で見たとき、25万円未満の世帯において、「2時間未満」の回答が62.1%となっており、25万円以上の世帯よりも25.9ポイント上回っている。



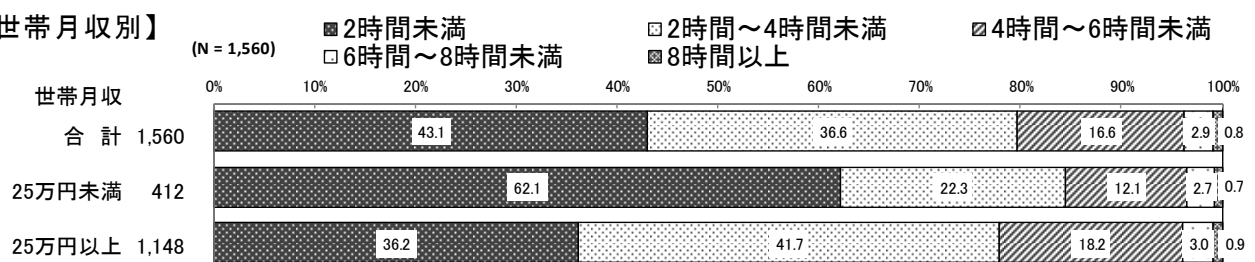
【地区別】



【学年別】



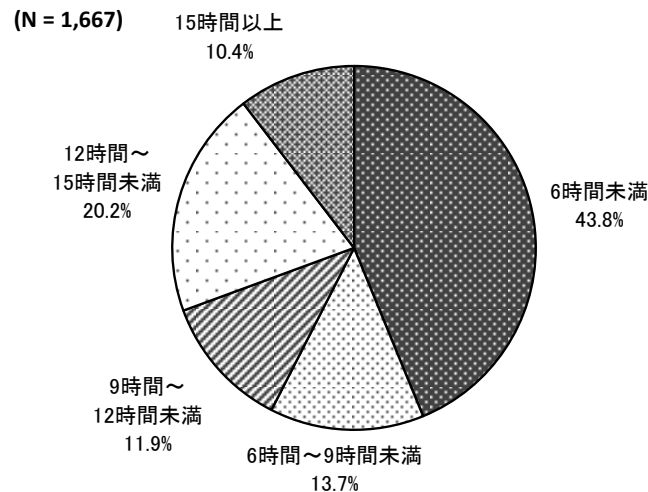
【世帯月収別】



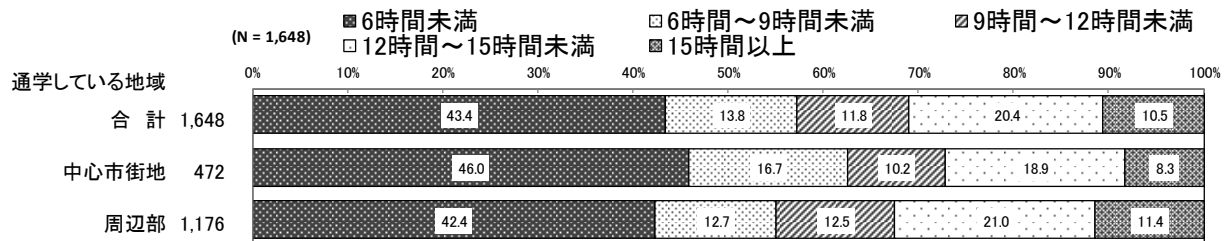
12. 【父親】子どもと過ごす時間（休日）

「6時間未満」が43.8%と最も高く、次いで「12時間～15時間未満」が20.2%、「6時間～9時間未満」が13.7%となっている。

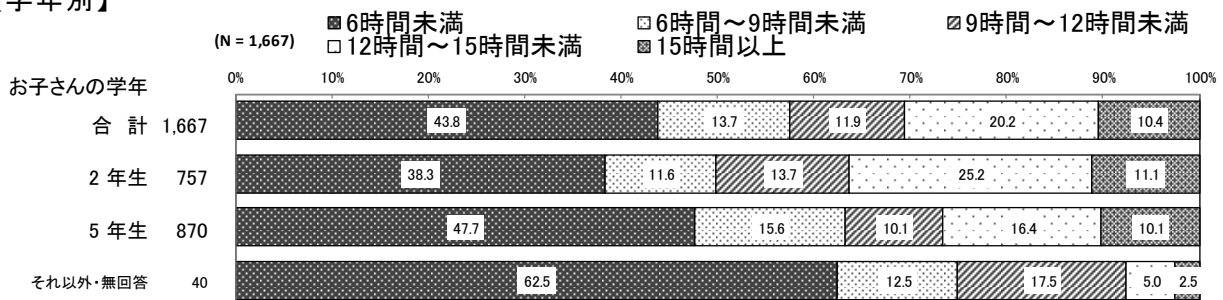
世帯月収別でみたとき、25万円未満の世帯において、「2時間未満」の回答が67.0%となっており、25万円以上の世帯よりも32.5ポイント上回っている。



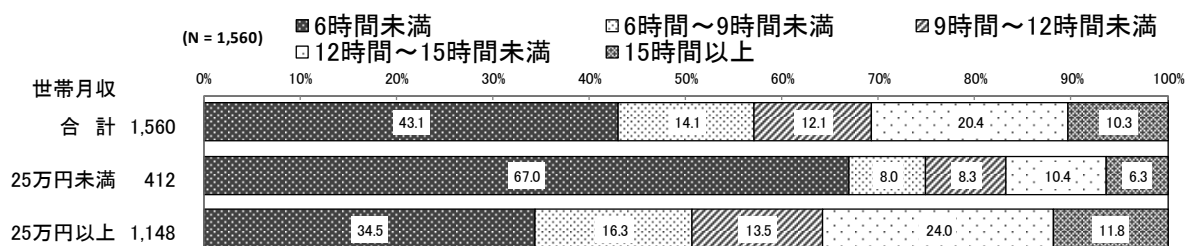
【地区別】



【学年別】

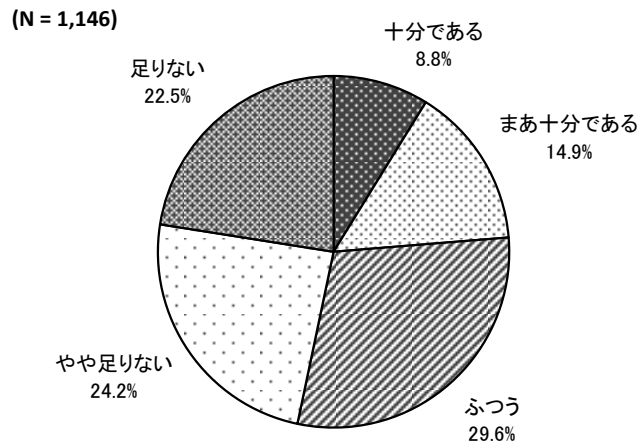


【世帯月収別】

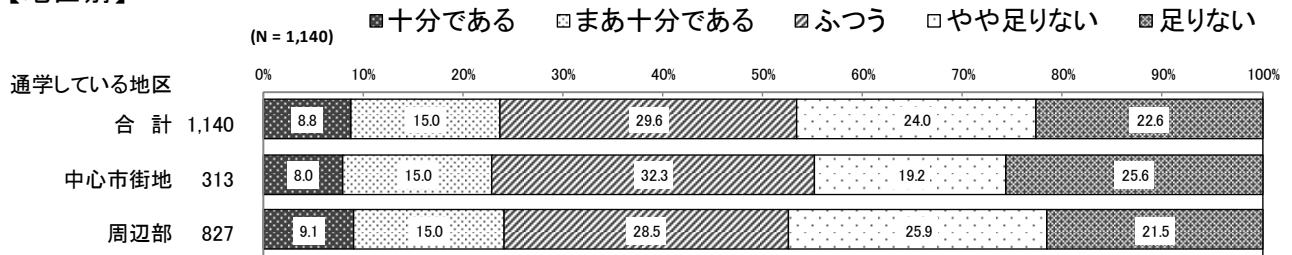


13. 【父親】 /子どもと過ごす時間数をどのように感じているか

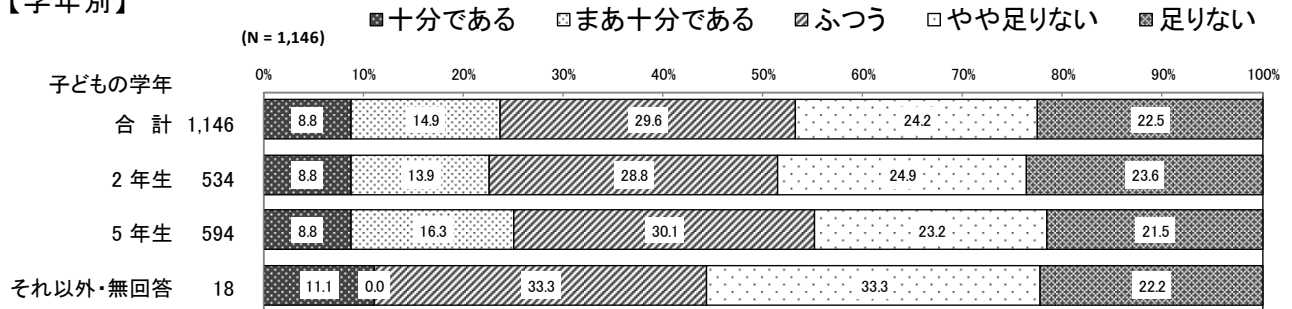
「ふつう」が 29.6%と最も高く、次いで「やや足りない」が 24.2%、「足りない」が 22.5%となっている。



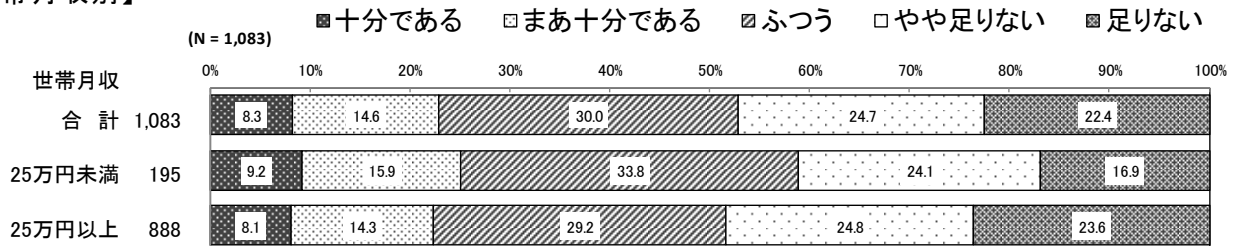
【地区別】



【学年別】



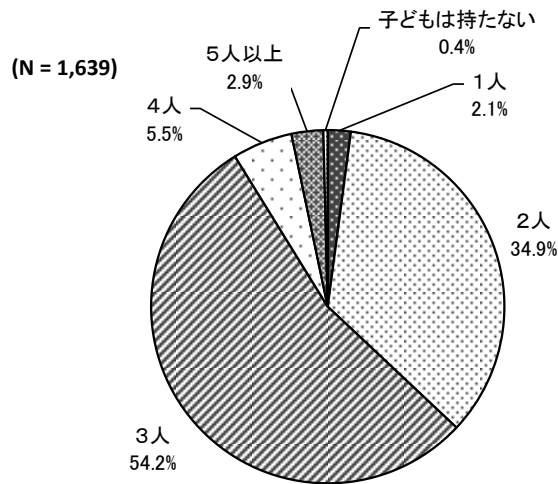
【世帯月収別】



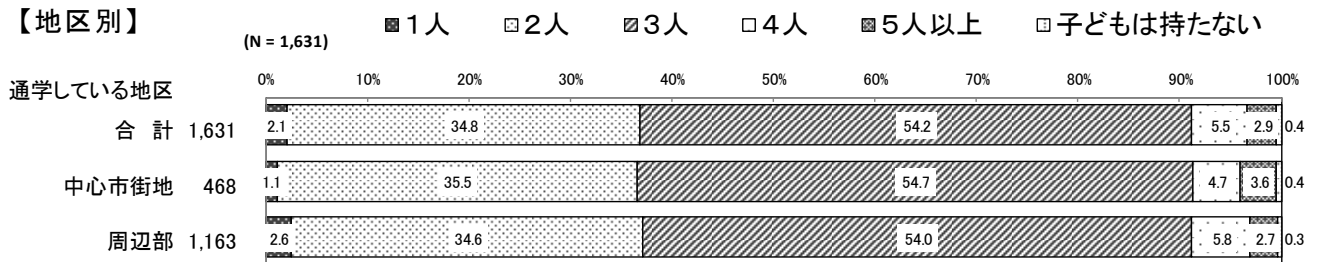
14. 理想と考える子どもの人数

「3人」が54.2%と最も高く、次いで「2人」が34.9%、「4人」が5.5%となっている。

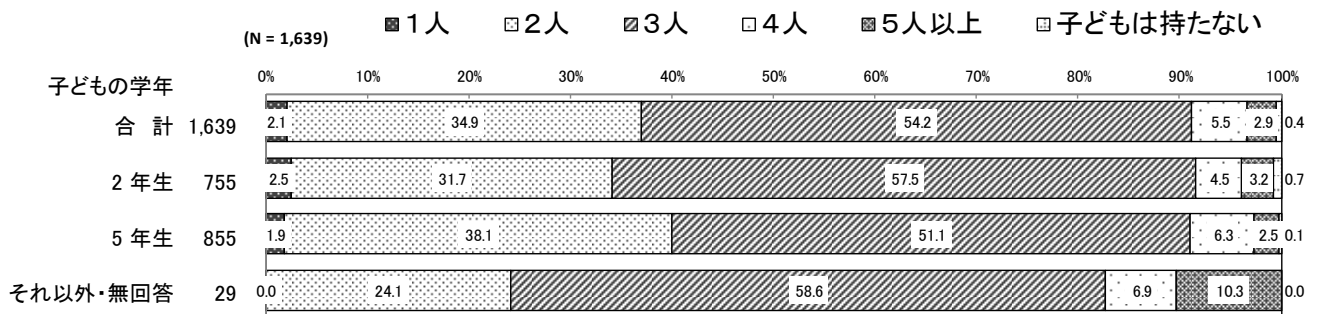
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「1人」もしくは「2人」と回答した合計の割合は42.1%となっており、25万円以上の世帯における35.1%よりも7ポイント上回っている。また、25万円以上の世帯において「3人」と回答した割合は56.7%となっており、25万円未満の世帯よりも9.8ポイント上回っている。



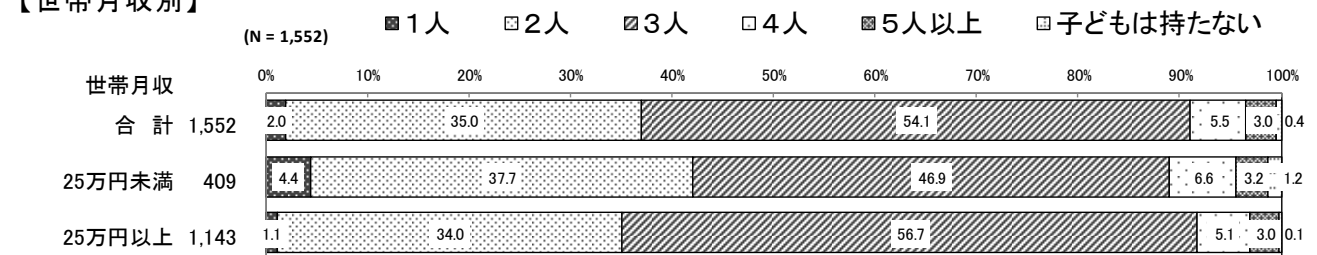
【地区別】



【学年別】



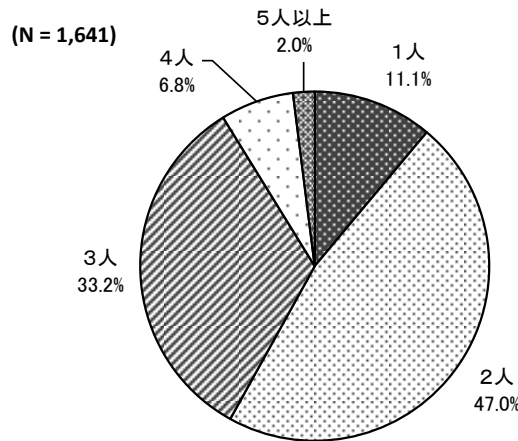
【世帯月収別】



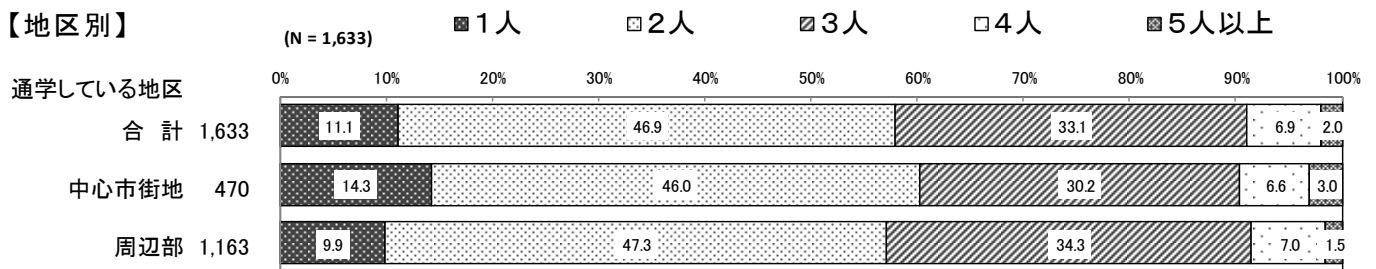
15. 実際、持とうとしている（持っている）子どもの人数

「2人」が47.0%と最も高く、次いで「3人」が33.2%、「1人」が11.1%となっている。

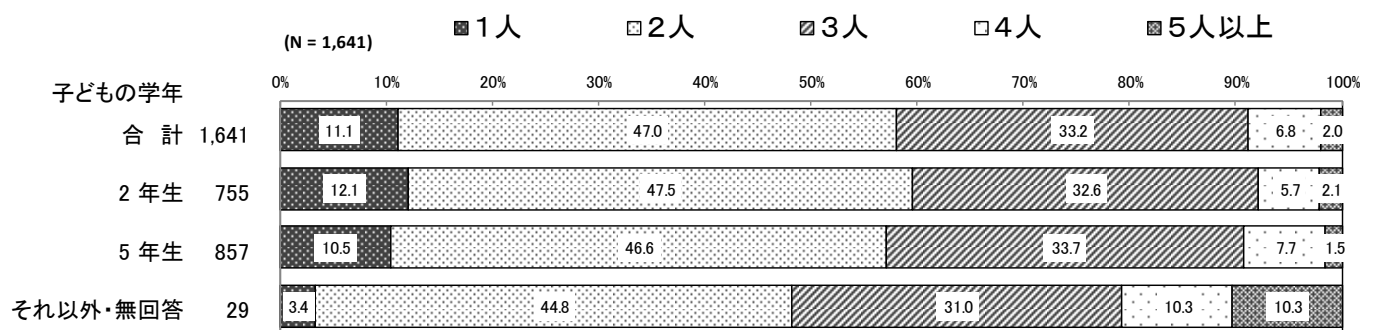
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「1人」が18.0%を占めており、25万円以上の世帯よりも9.2ポイント上回っている。



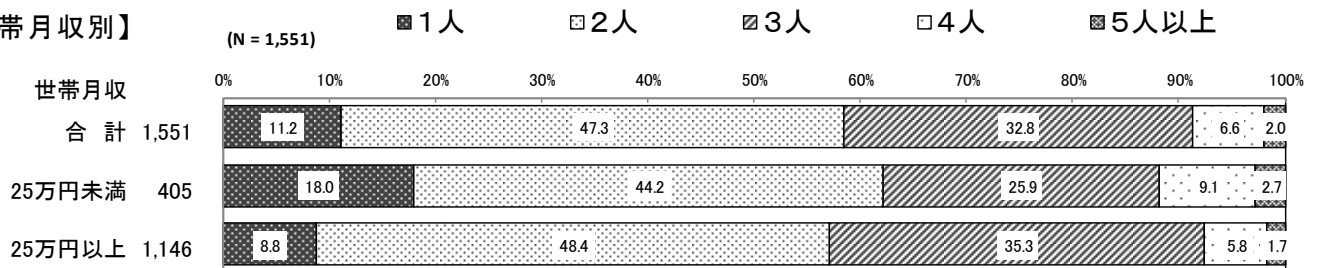
【地区別】



【学年別】



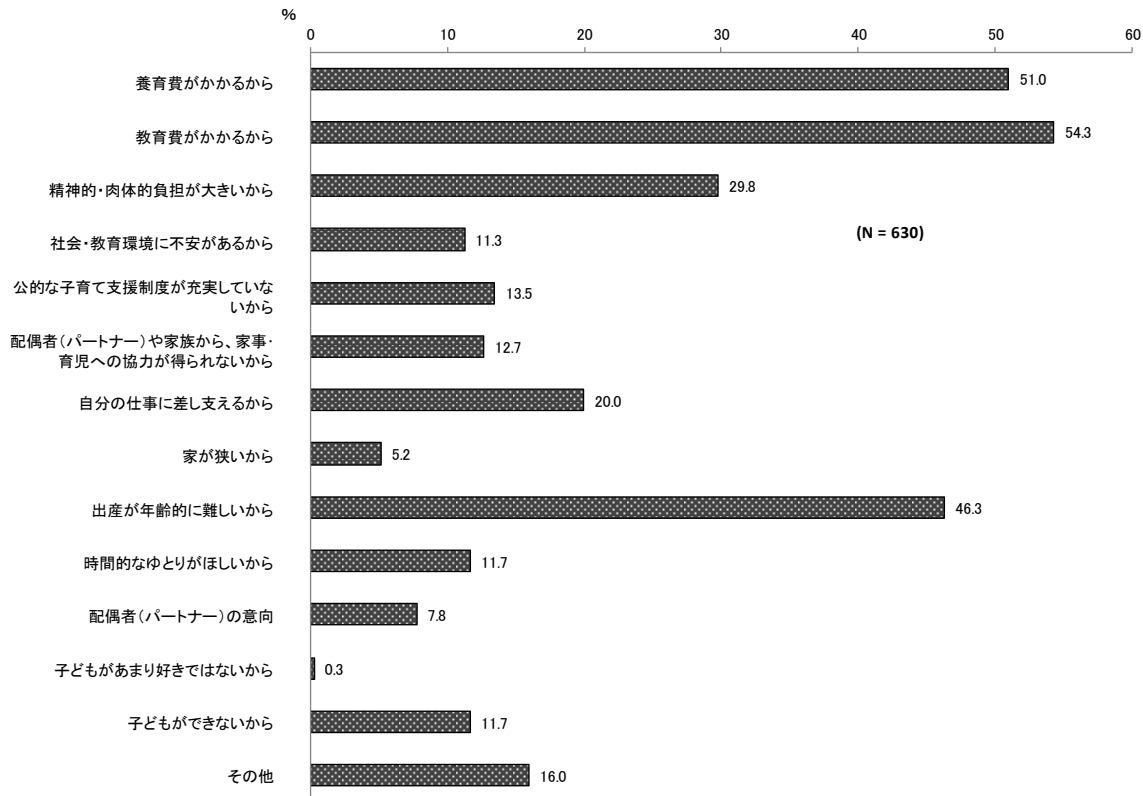
【世帯月収別】



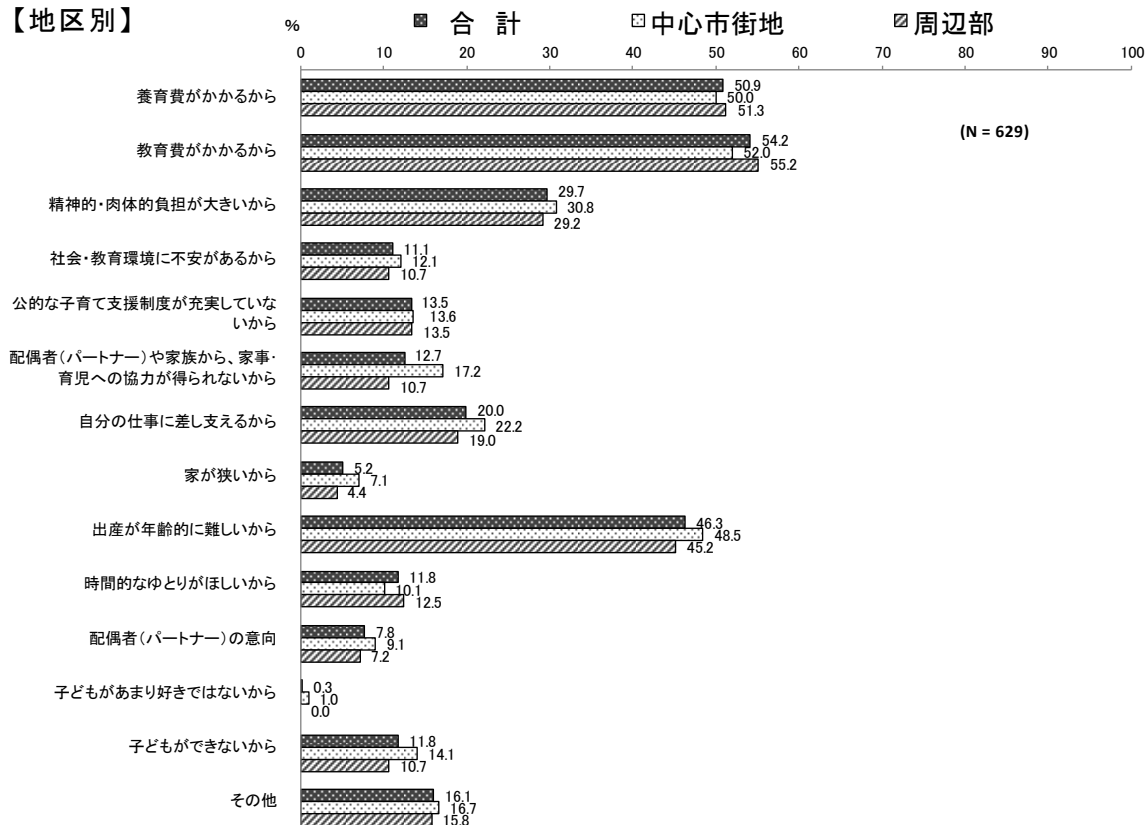
16. 理想的と考える人数の子どもを持ってない・持たない理由

「教育費がかかるから」が 54.3%と最も高く、次いで「養育費がかかるから」が 51.0%、「出産が年齢的に難しいから」が 46.3%となっている。

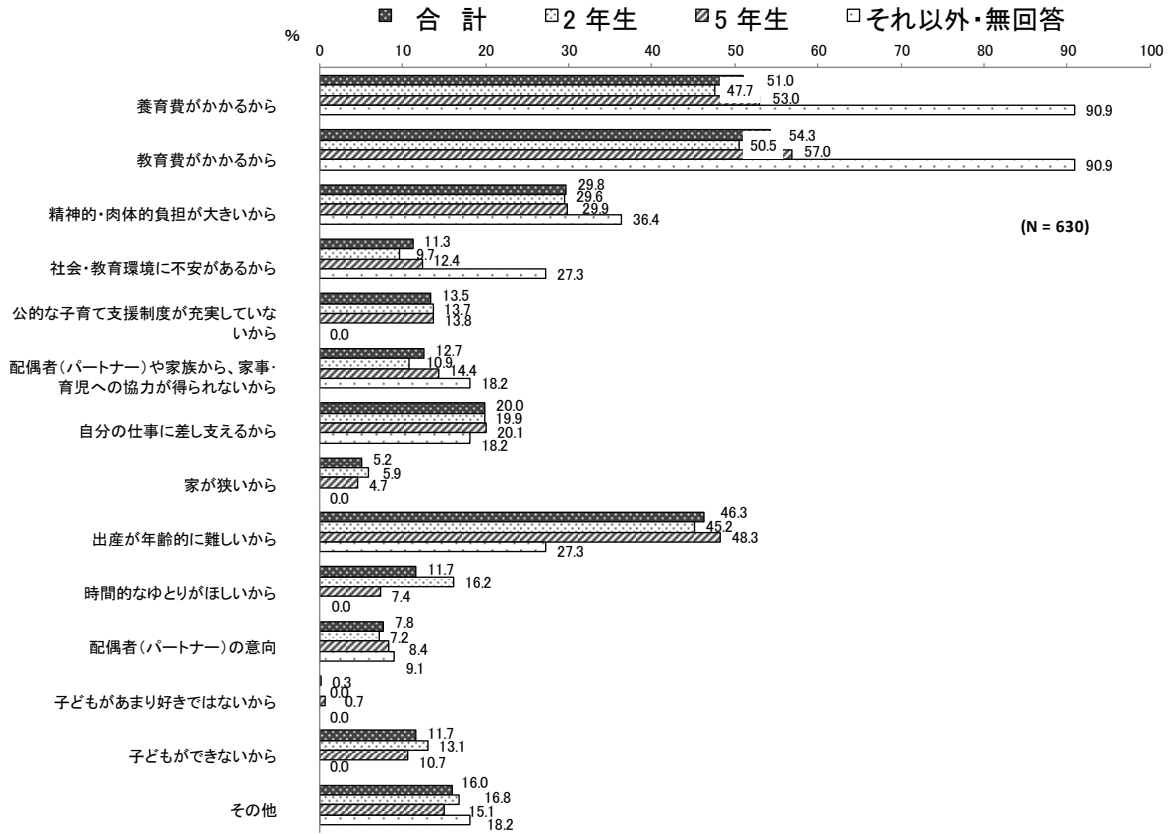
世帯月収別にみたとき、25 万円以上の世帯で「出産が年齢的に難しいから」が 5 割以上を占めているのに対し、25 万円未満の世帯では 3 割台となっている。



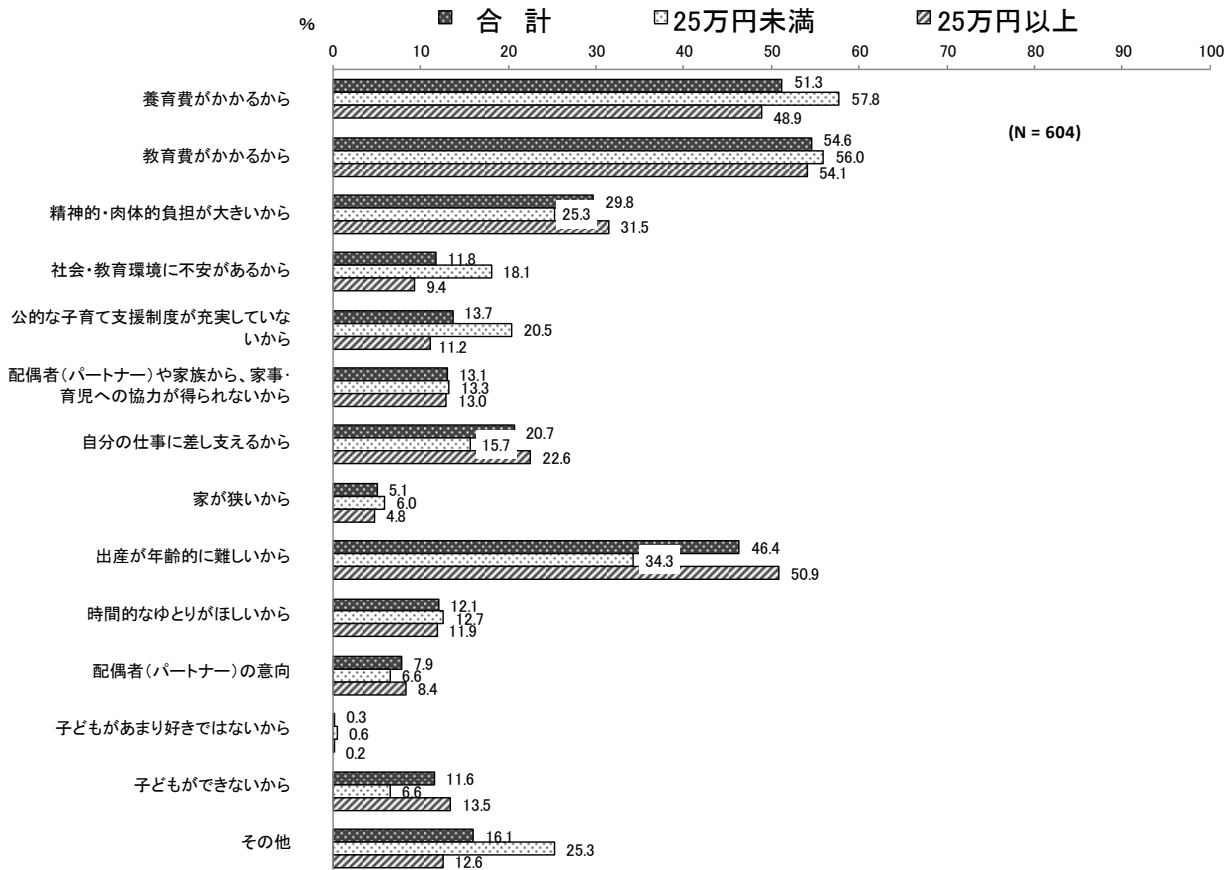
【地区別】



【学年別】

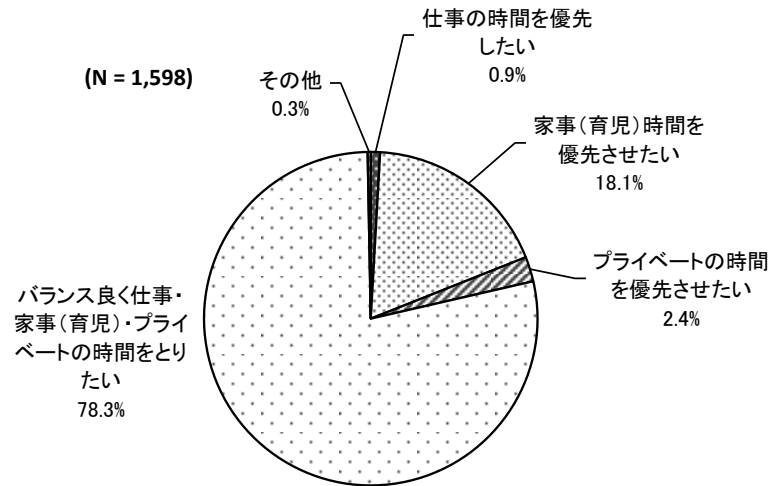


【世帯月収別】

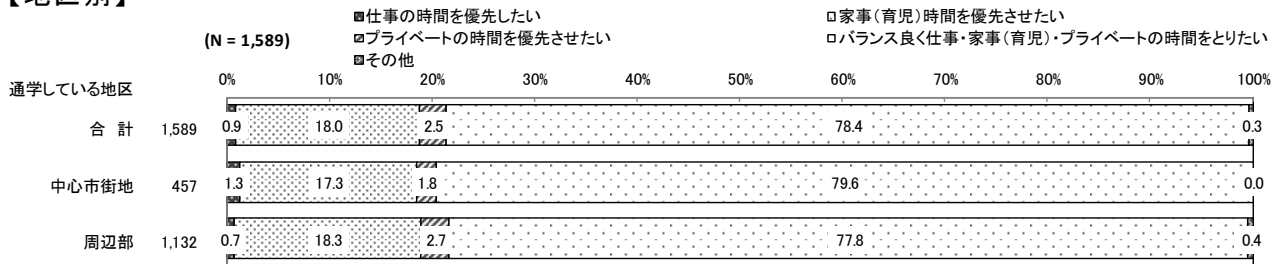


17. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）

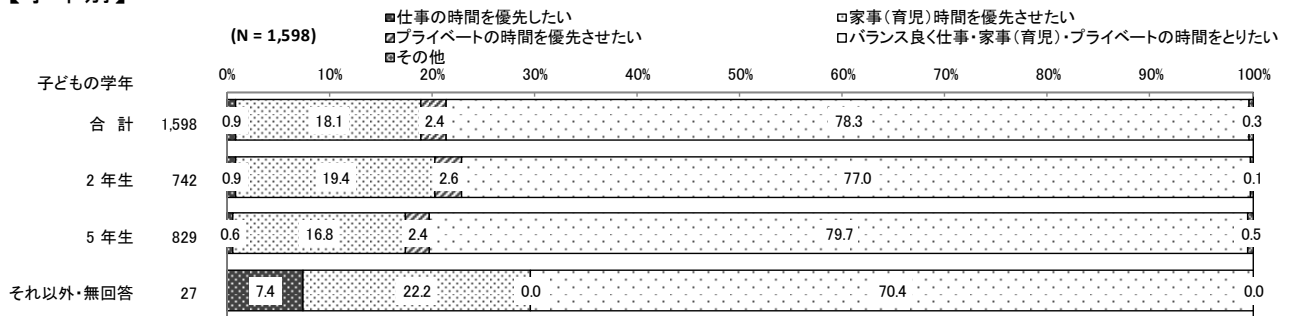
「バランス良く仕事・家事（育児）・プライベートの時間をとりたい」が 78.3%と最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先させたい」が 18.1%、「プライベートの時間を優先させたい」が 2.4%となっている。



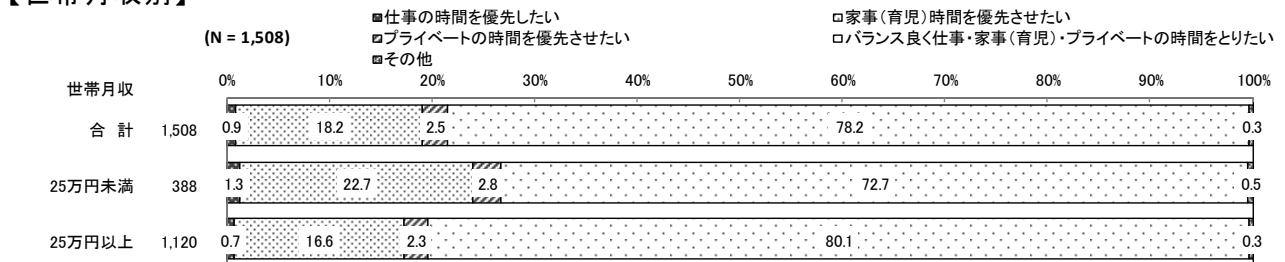
【地区別】



【学年別】



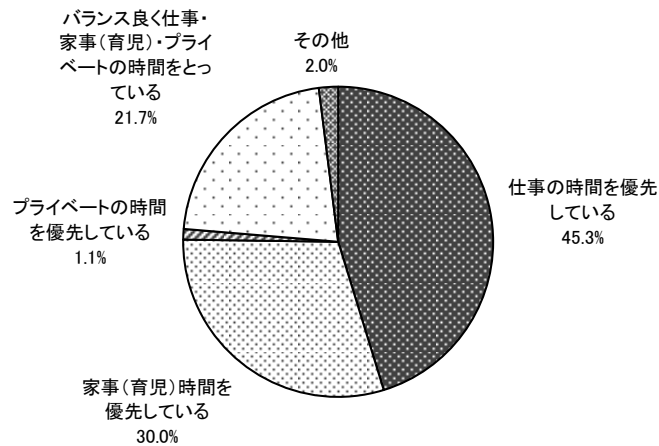
【世帯月収別】



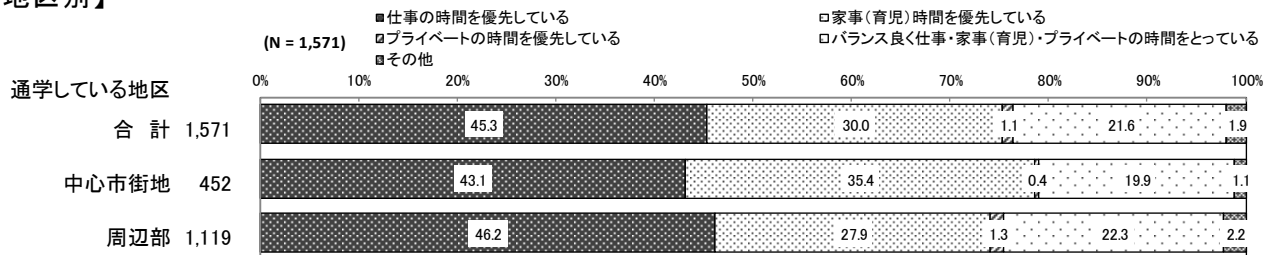
18. 【母親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）

「仕事の時間を優先している」が 45.3%と最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先している」が 30.0%、「バランス良く仕事・家事（育児）・プライベートの時間をとっている」が 21.7%となっている。希望について質問した前設問では「仕事の時間を優先している」が 0.9%であったが、現実に関する本設問では 45.3%と、大きく差が出る結果となった。

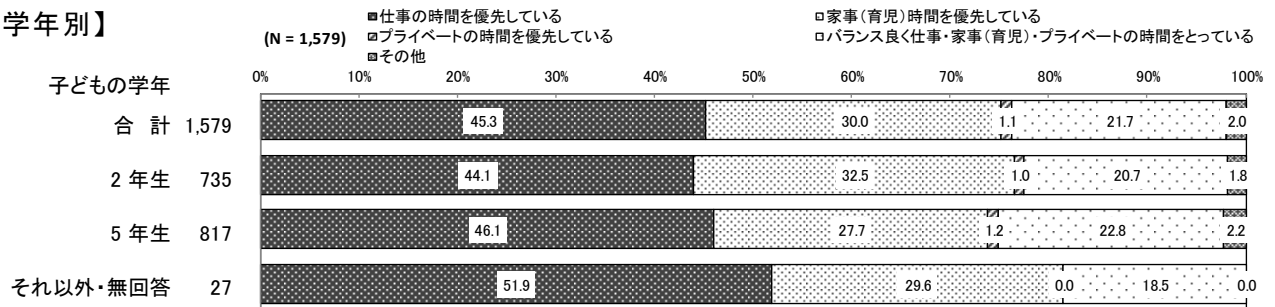
(N = 1,579)



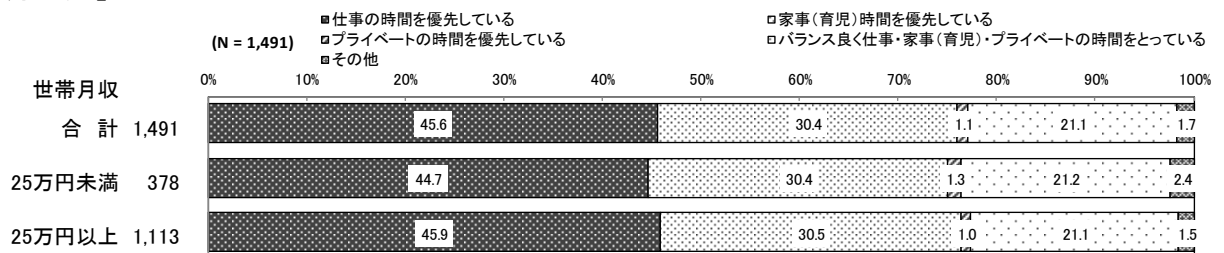
【地区別】



【学年別】

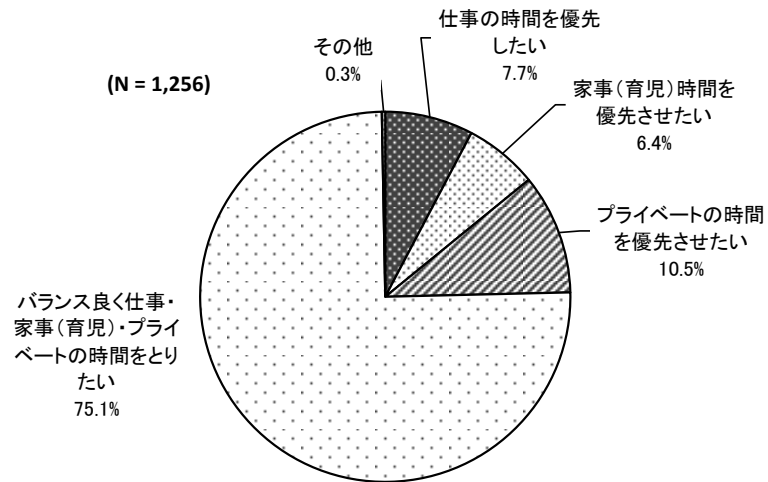


【世帯月収別】

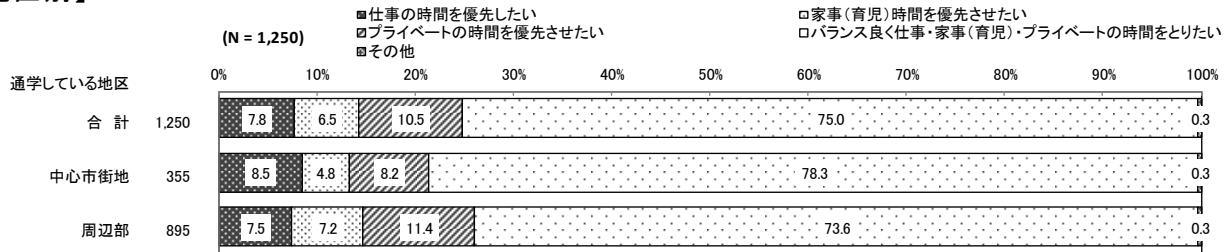


19. 【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（希望）

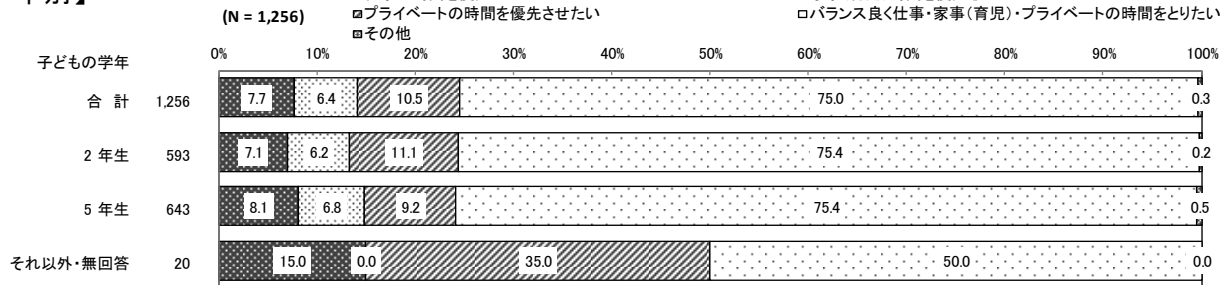
「バランス良く仕事・家事（育児）・プライベートの時間をとりたい」が 75.1%と最も高く、次いで「プライベートの時間を優先させたい」が 10.5%、「仕事の時間を優先したい」が 7.7%となっている。



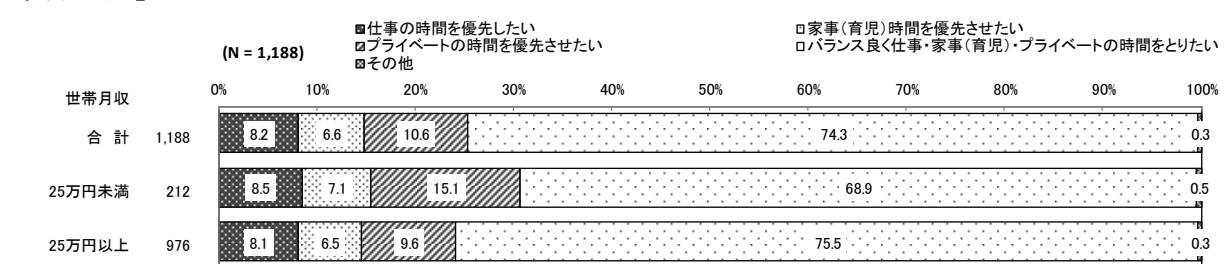
【地区別】



【学年別】



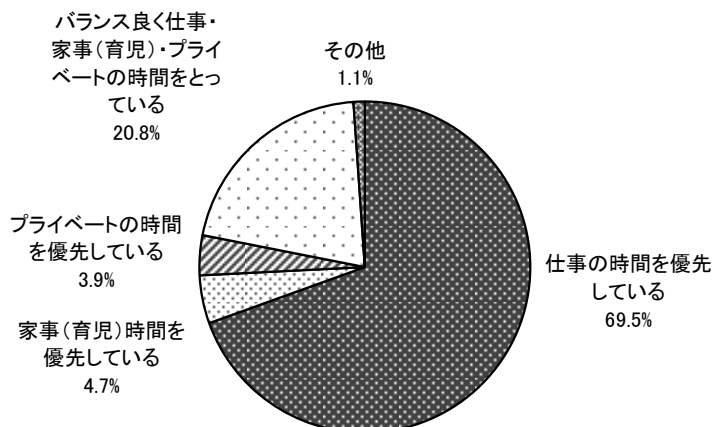
【世帯月収別】



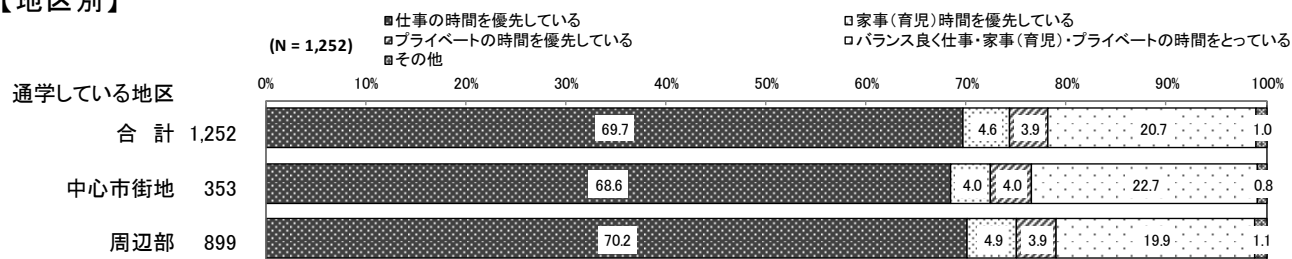
20. 【父親】「仕事の時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度（現実）

「仕事の時間を優先している」が 69.5%と最も高く、次いで「バランス良く仕事・家事（育児）・プライベートの時間をとっている」が 20.8%、「家事（育児）時間を優先している」が 4.7%となっている。希望について質問した前設問では「仕事の時間を優先している」が 7.7%であったが、現実では 69.5%と、母親と同様に大きく差が出る結果となった。

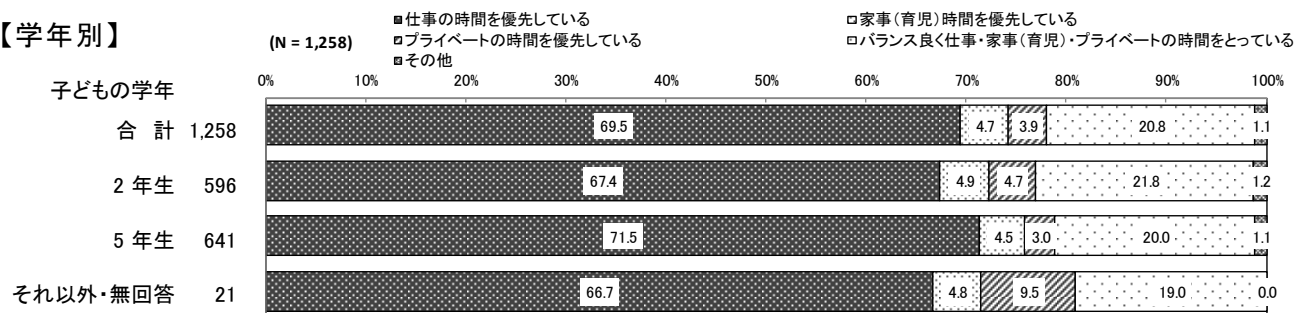
(N = 1,258)



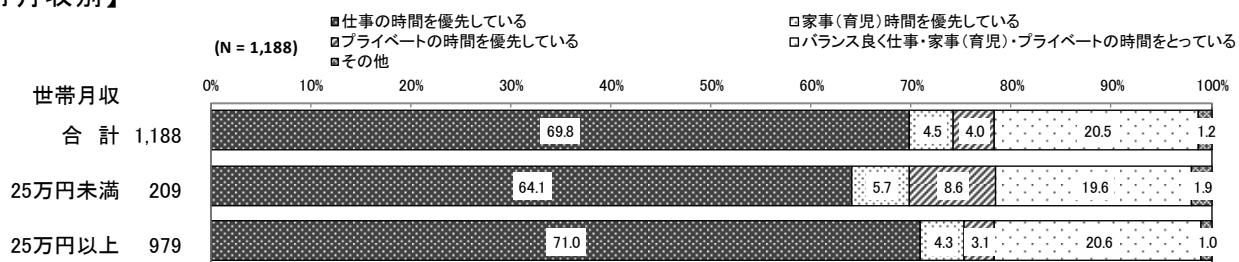
【地区別】



【学年別】

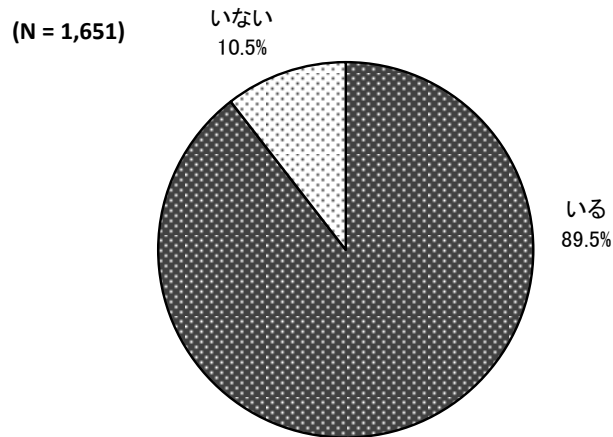


【世帯月収別】

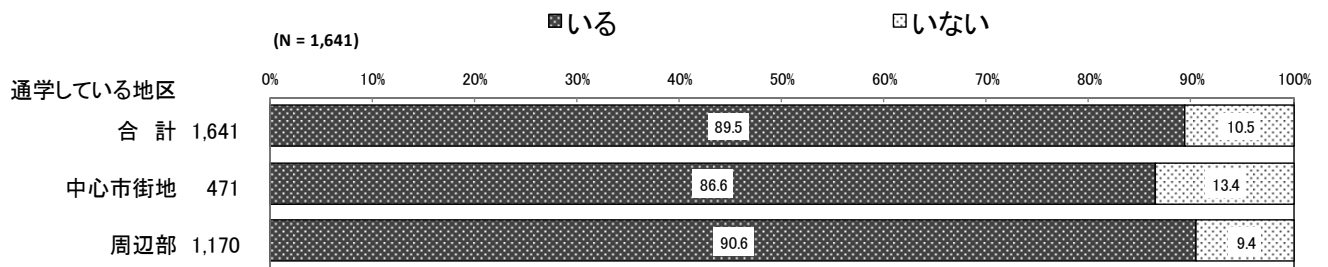


21. 子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無

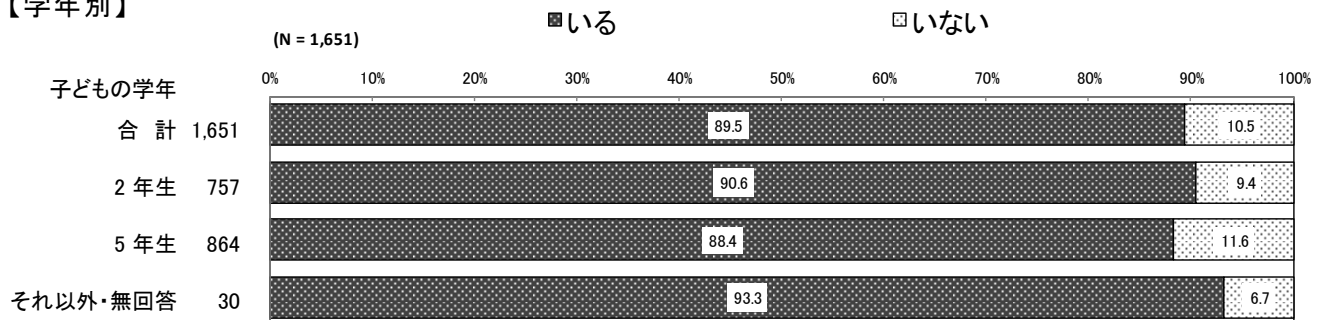
「いる」は89.5%、「いない」は10.5%であった。



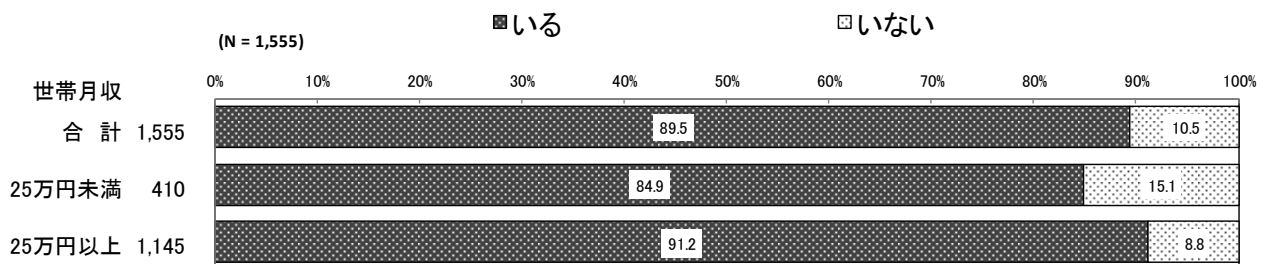
【地区別】



【学年別】

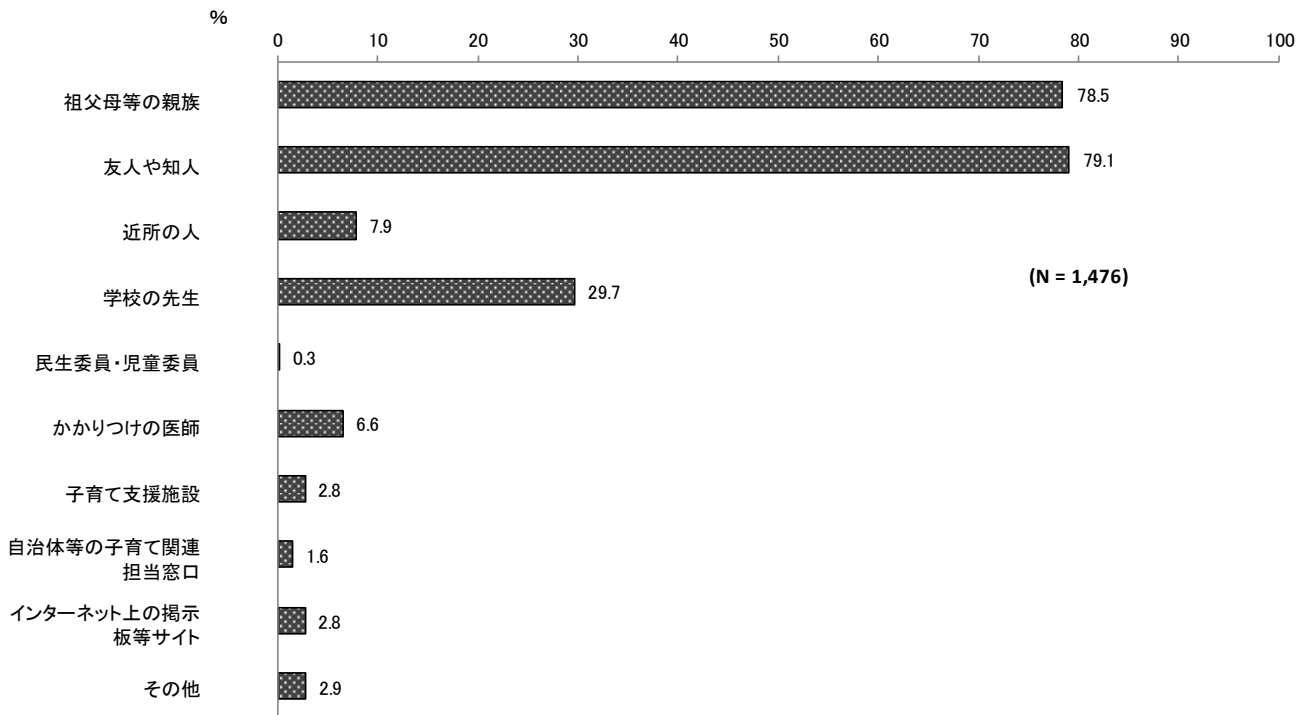


【世帯月収別】

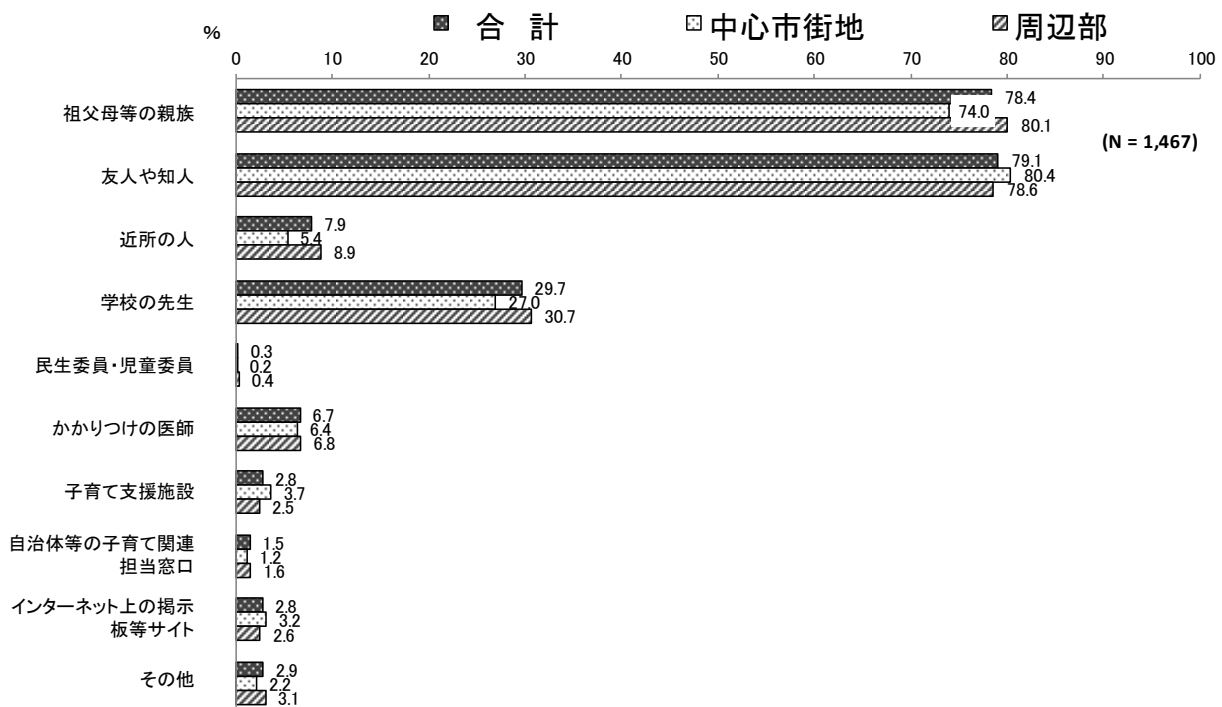


22. 子育てについて気軽に相談できる先

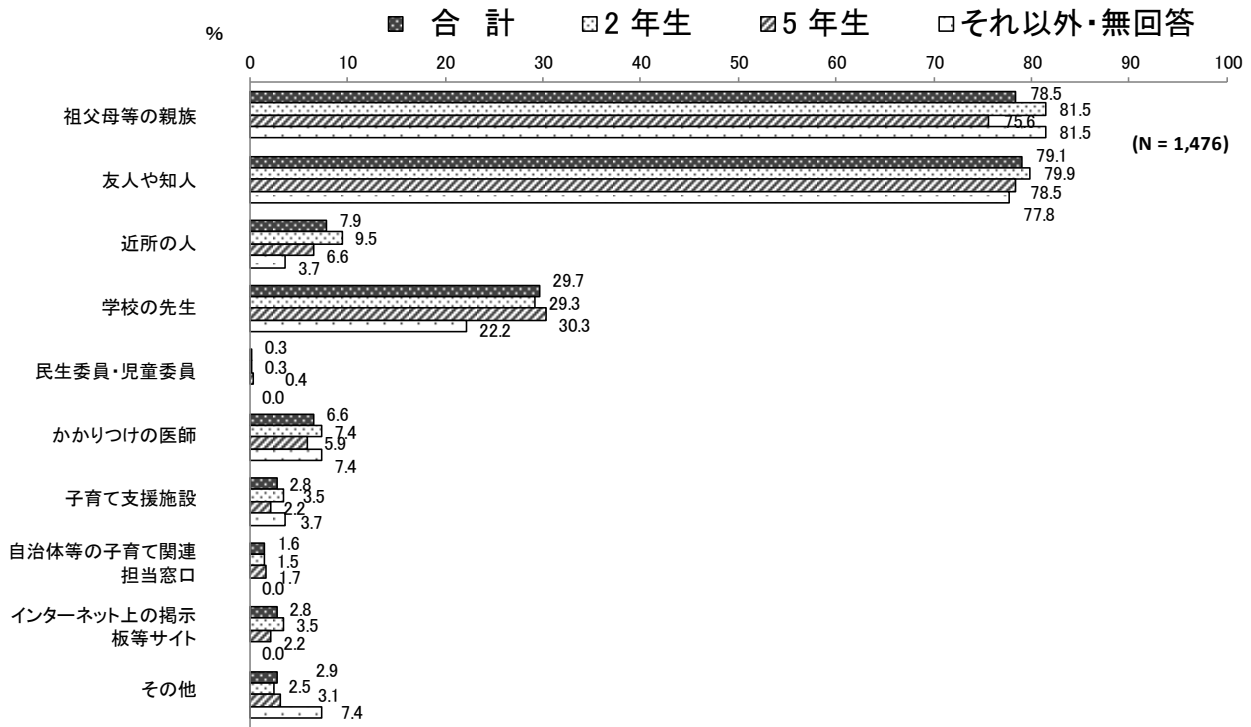
「友人や知人」が 79.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 78.5%、「学校の先生」が 29.7%となっている。



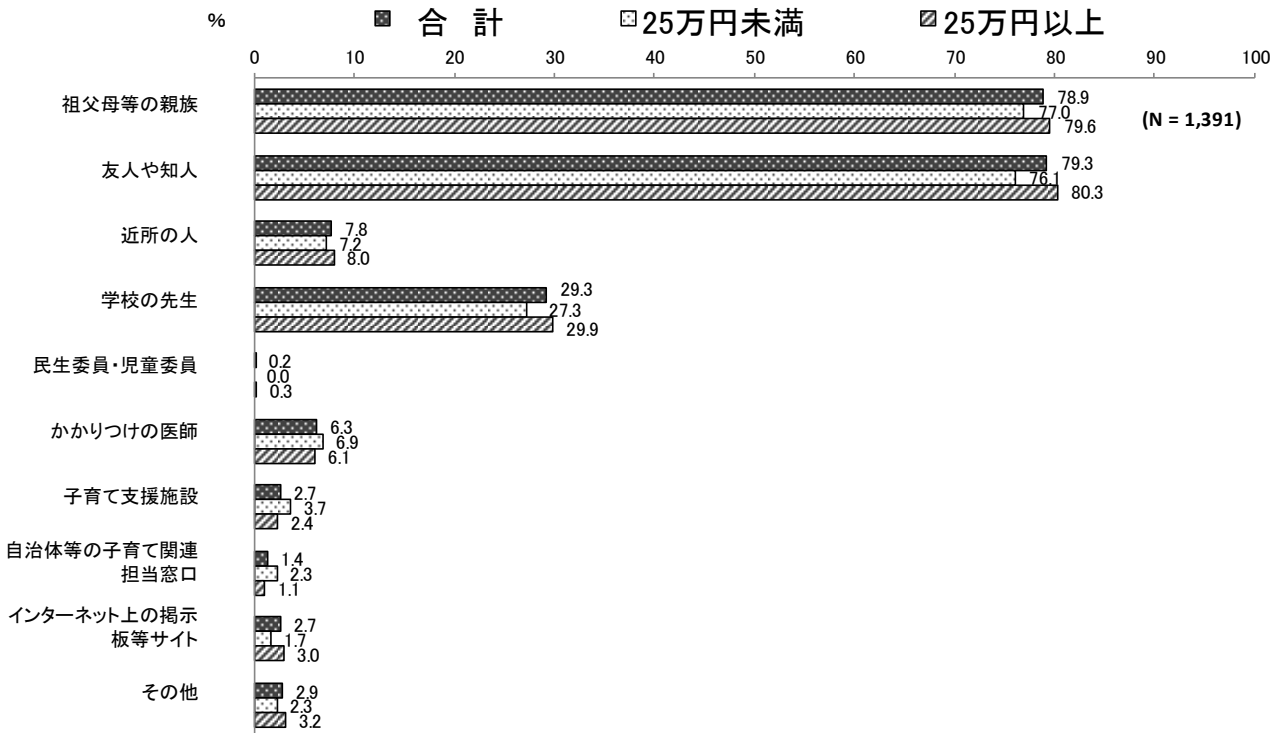
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】



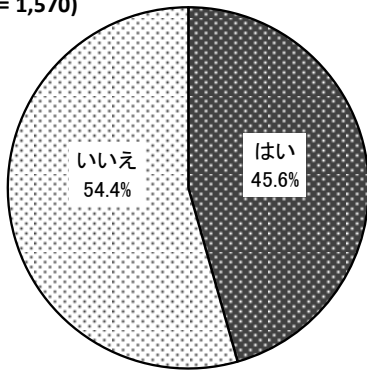
23. 【事業の利用状況】①家庭教育に関する学級・講座

【A 知っている】

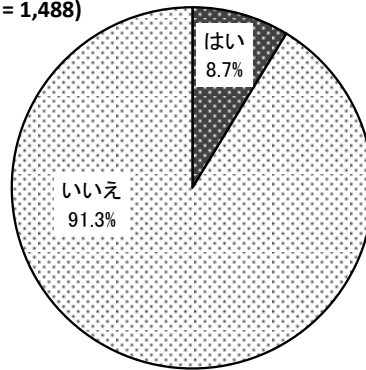
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

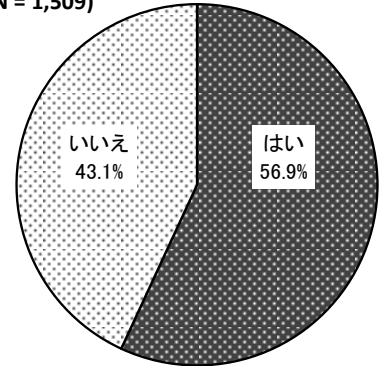
(N = 1,570)



(N = 1,488)



(N = 1,509)



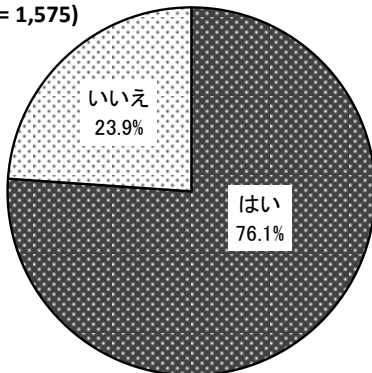
24. 【事業の利用状況】②家庭児童相談室

【A 知っている】

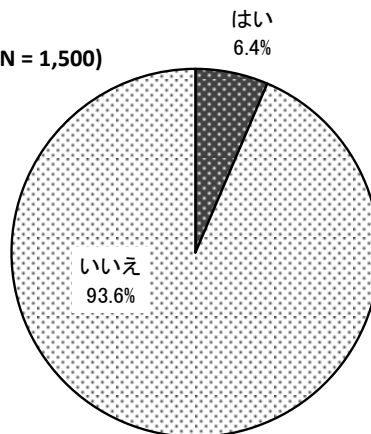
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

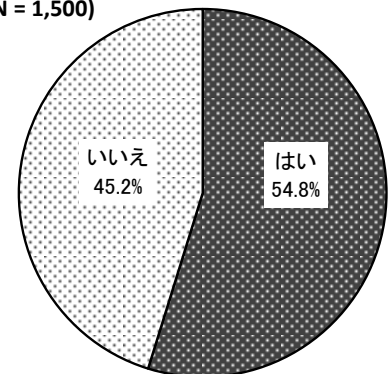
(N = 1,575)



(N = 1,500)



(N = 1,500)



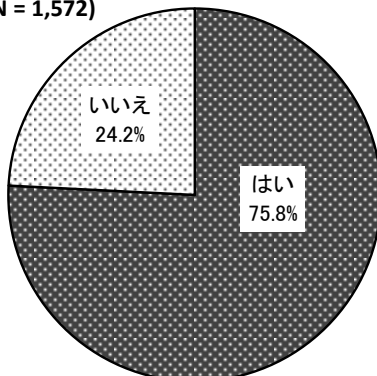
25. 【事業の利用状況】③子育て世代包括支援センター

【A 知っている】

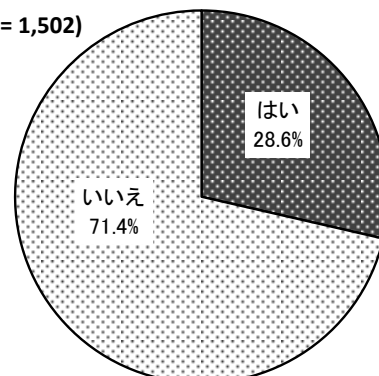
【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

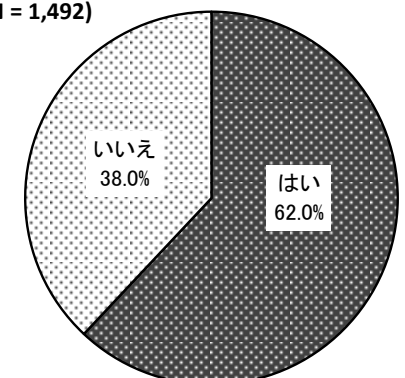
(N = 1,572)



(N = 1,502)



(N = 1,492)

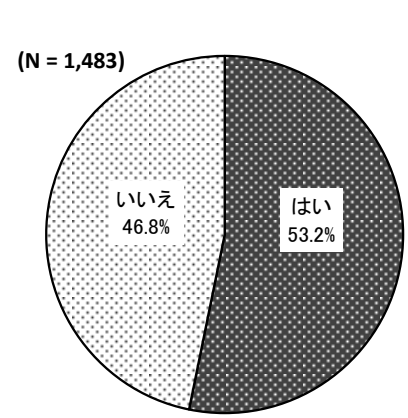
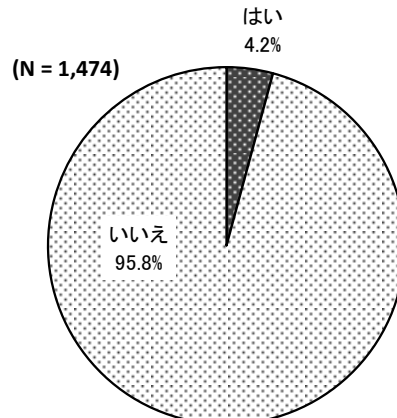
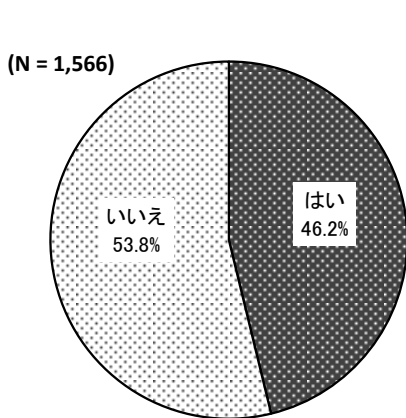


26. 【事業の利用状況】④教育相談室

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

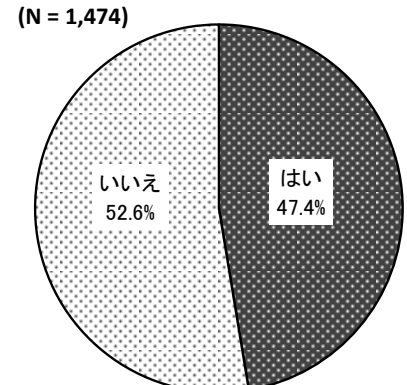
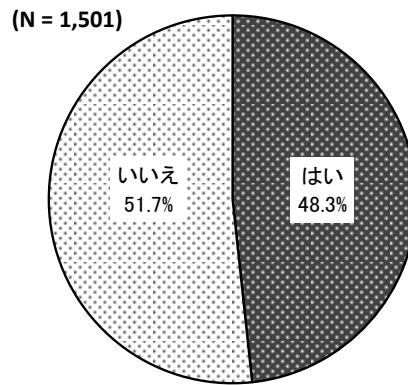
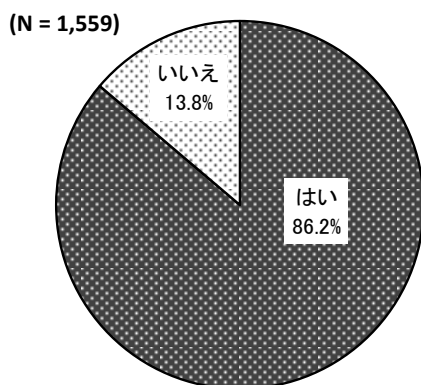


27. 【事業の利用状況】⑤保育所、認定こども園、幼稚園の園庭等の開放

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

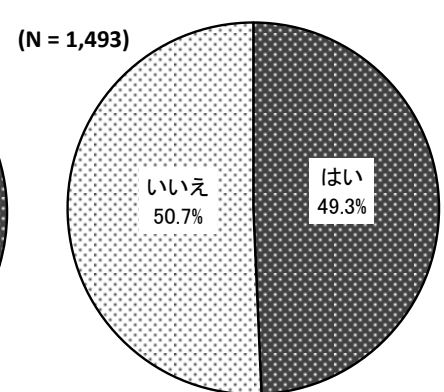
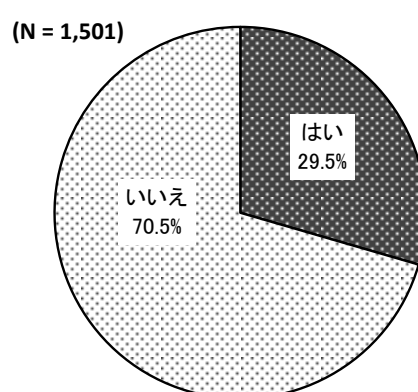
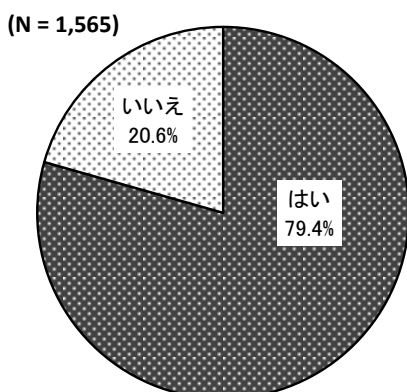


28. 【事業の利用状況】⑥地域子育て支援センター

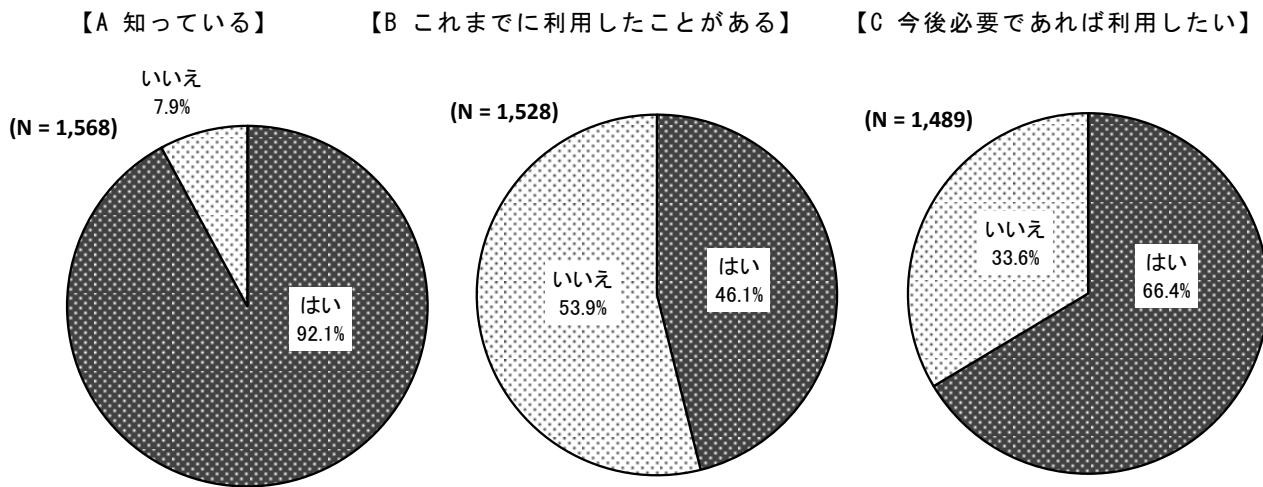
【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

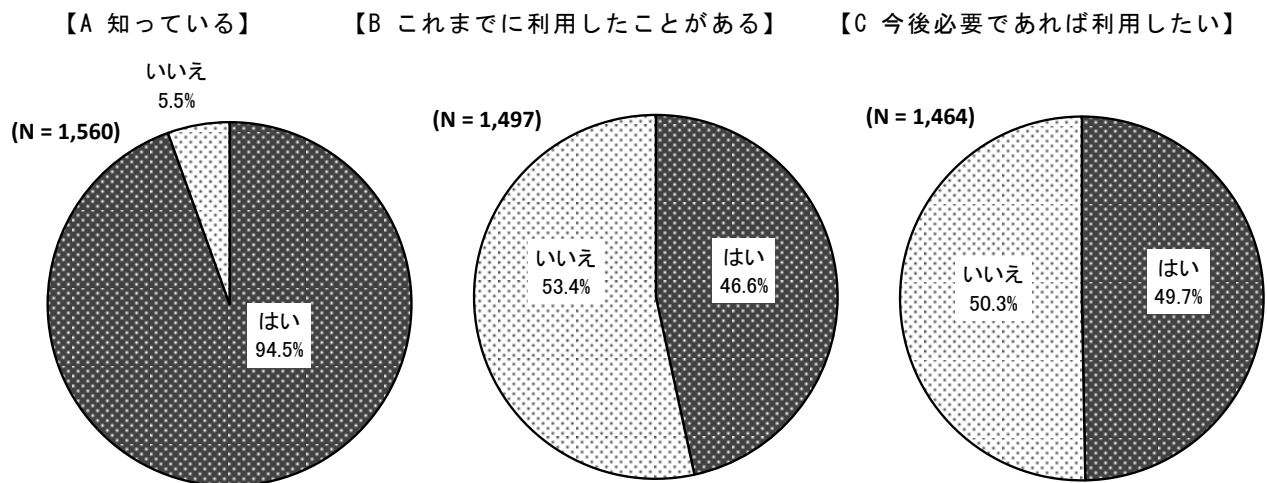
【C 今後必要であれば利用したい】



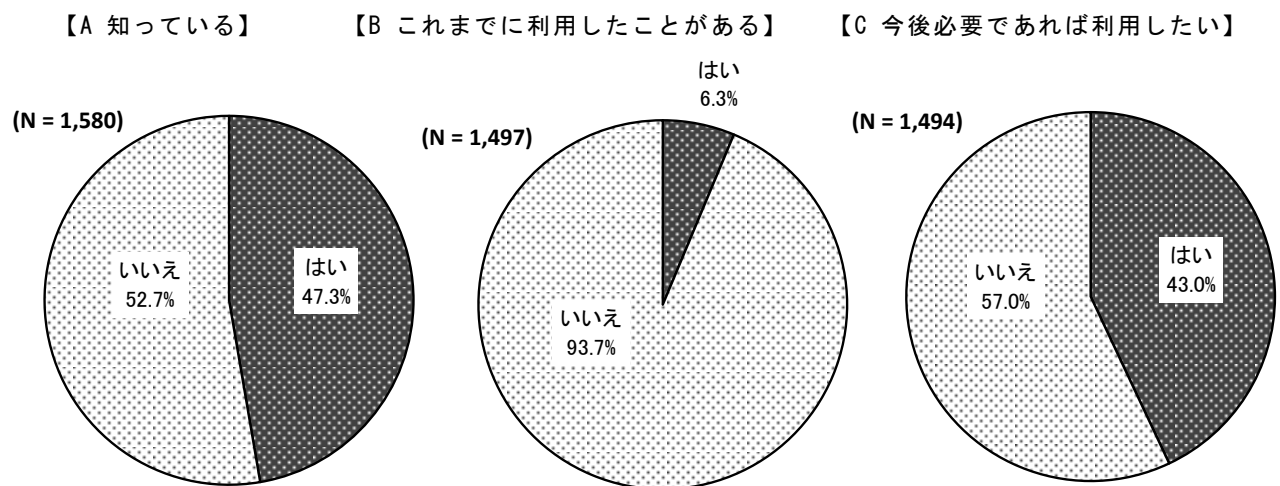
29. 【事業の利用状況】⑦児童館



30. 【事業の利用状況】⑧認定こども園



31. 【事業の利用状況】⑨特定保育

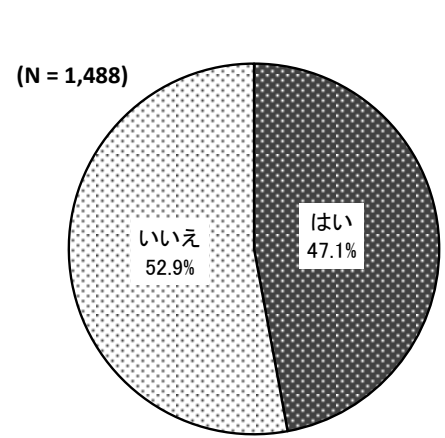
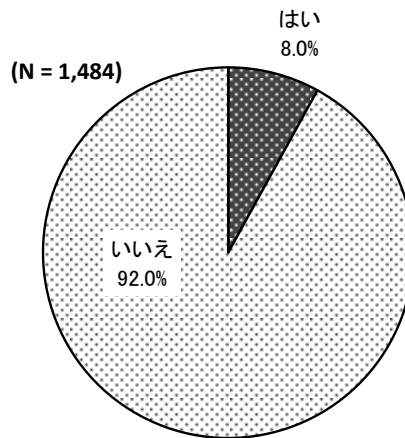
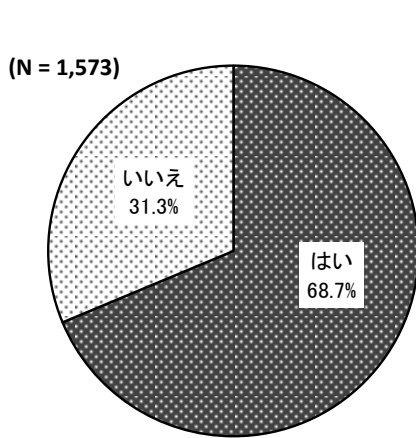


32. 【事業の利用状況】⑩ファミリー・サポート・センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

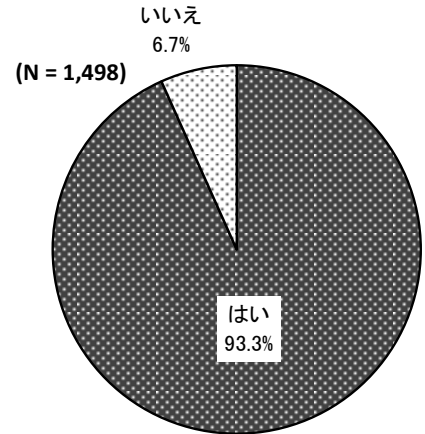
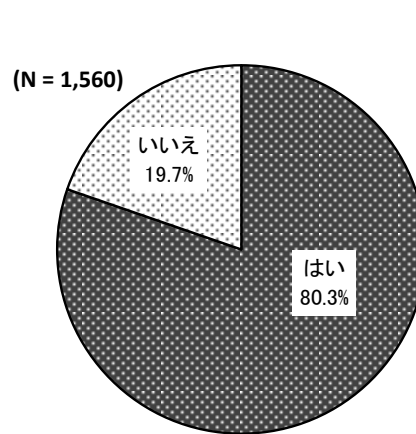
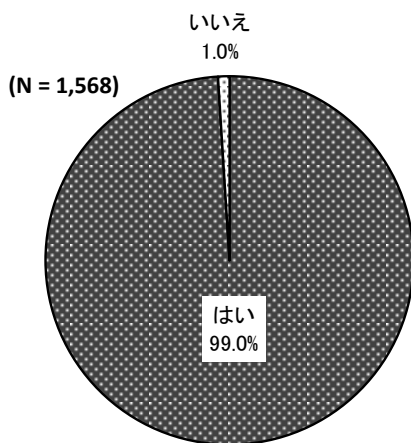


33. 【事業の利用状況】⑪夜間急病センター

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

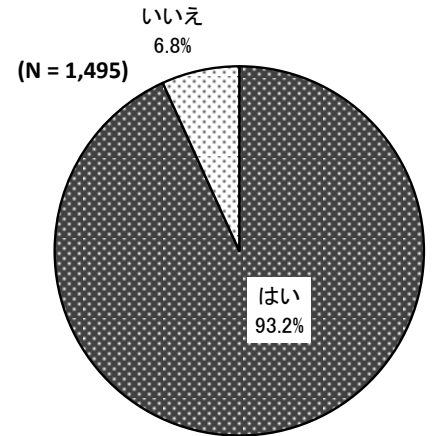
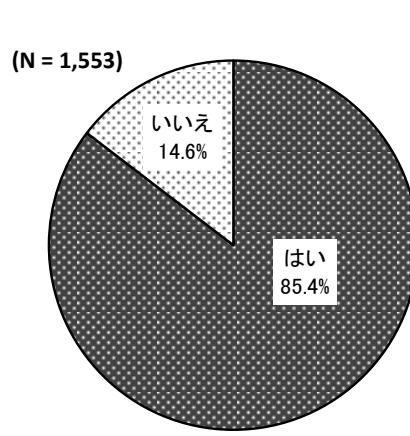
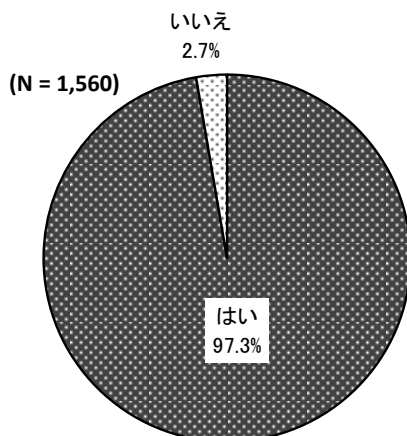


34. 【事業の利用状況】⑫休日当番医制事業

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

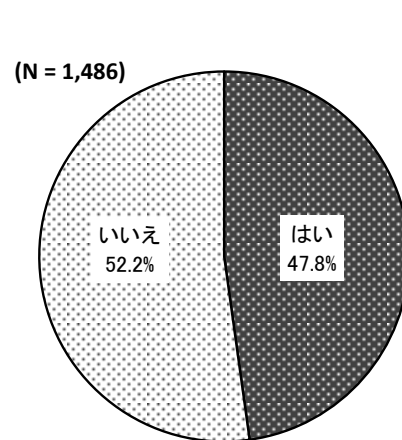
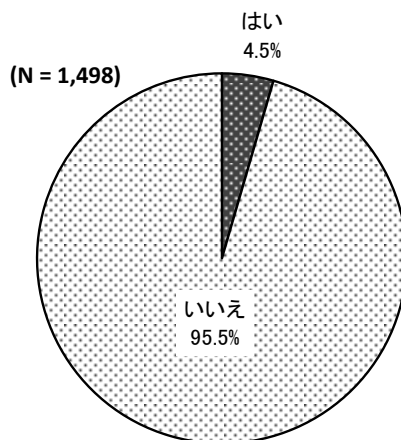
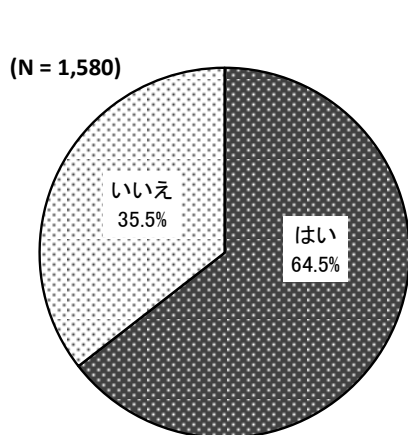


35. 【事業の利用状況】 ⑬障がい児相談支援・障がい福祉サービス

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

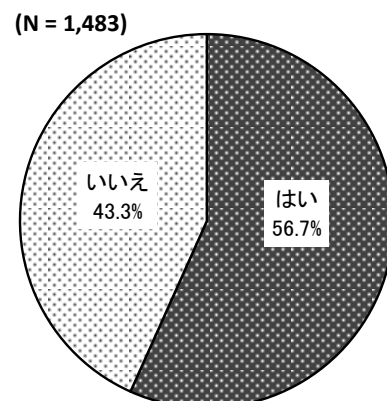
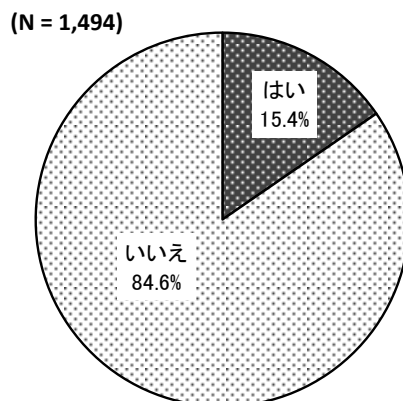
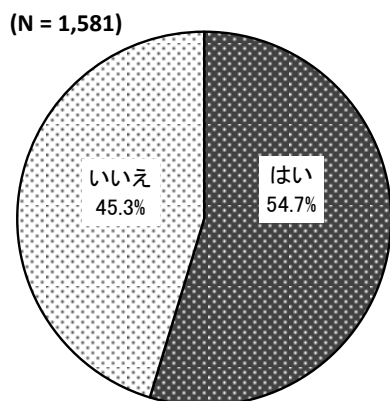


36. 【事業の利用状況】 ⑭子育て支援チラシ

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

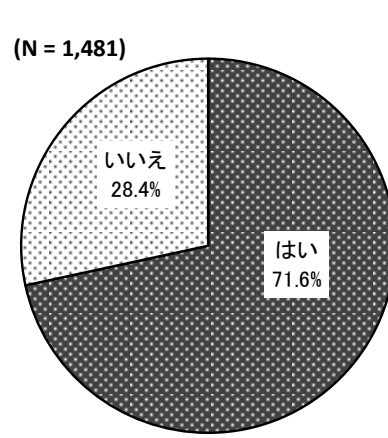
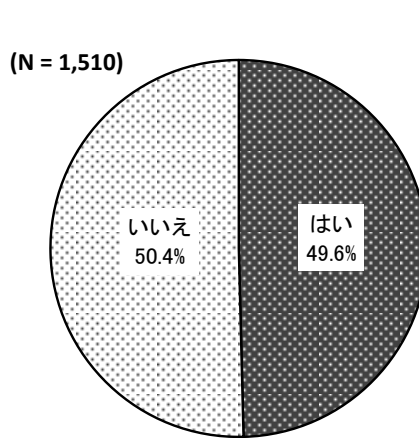
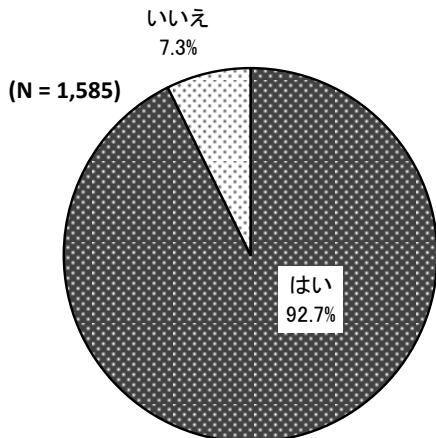


37. 【事業の利用状況】 ⑮市政だより、市のホームページ

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

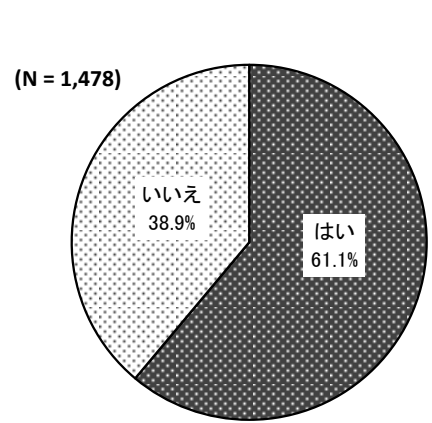
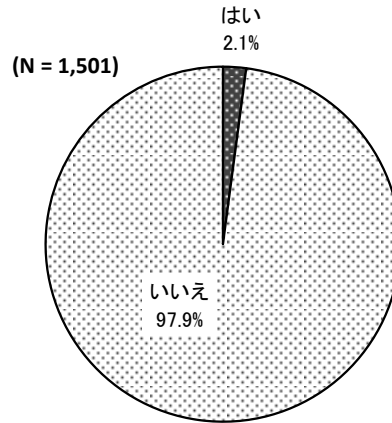
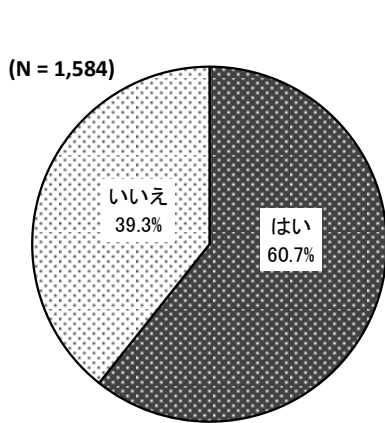


38. 【事業の利用状況】⑩虐待が心配な場合の市への通報制度

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

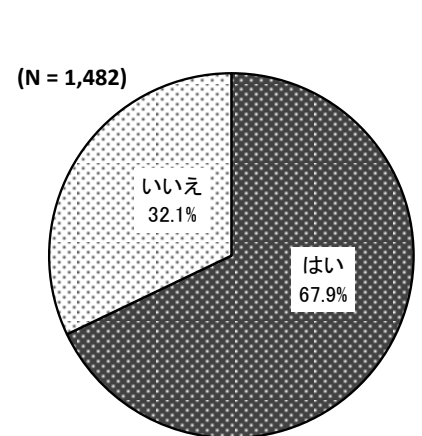
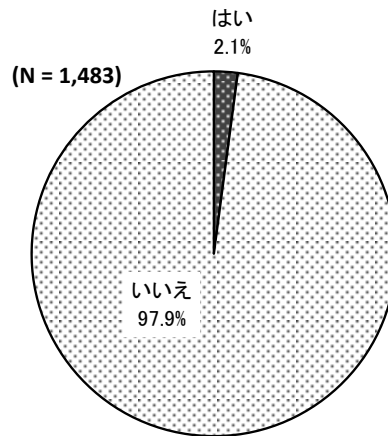
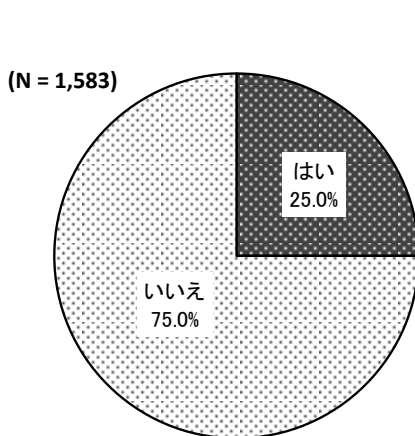


39. 【事業の利用状況】⑪子ども未来基金助成事業

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

【C 今後必要であれば利用したい】

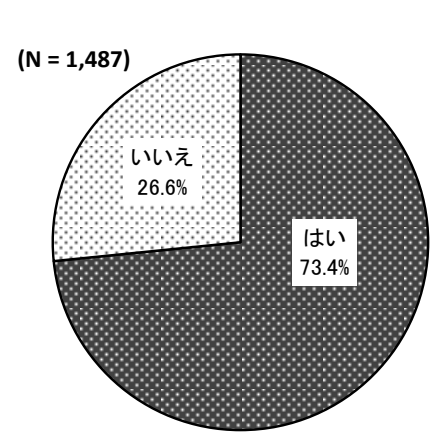
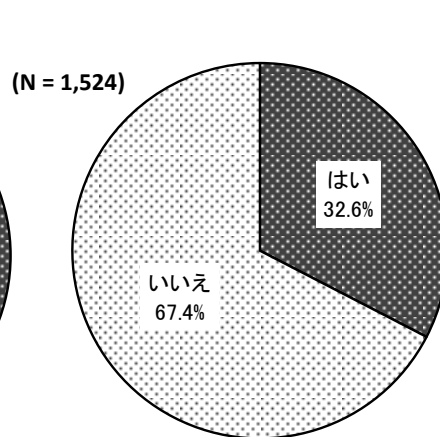
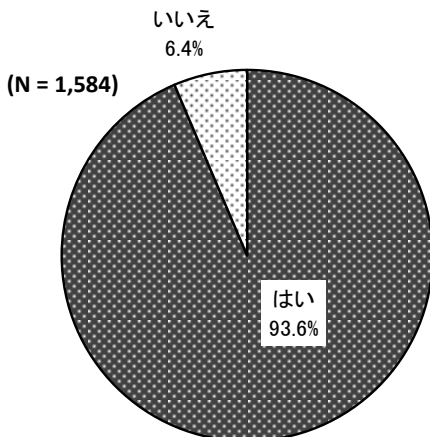


40. 【事業の利用状況】⑫生活保護、児童扶養手当、就学援助

【A 知っている】

【B これまでに利用したことがある】

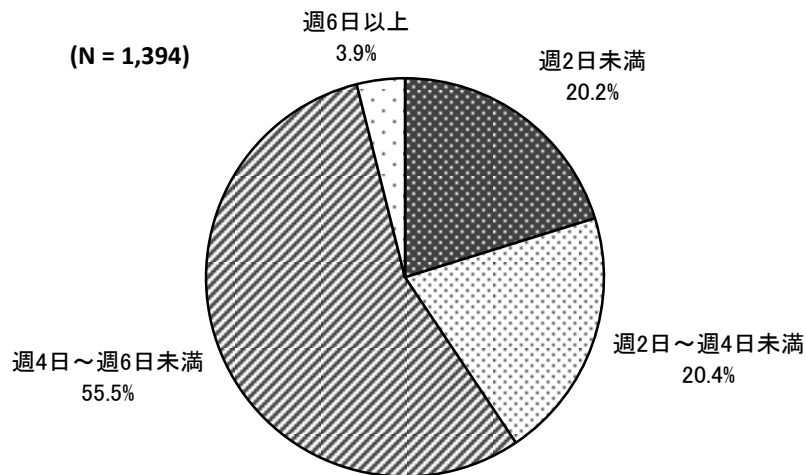
【C 今後必要であれば利用したい】



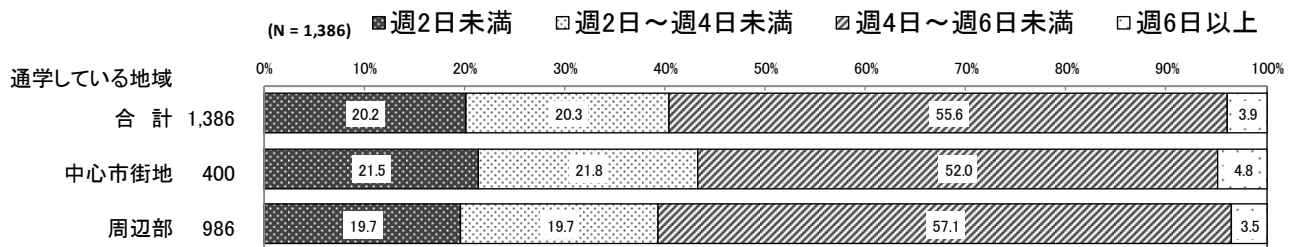
41. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】自宅

「週4日～週6日未満」が55.5%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が20.4%、「週2日未満」が20.2%となっている。

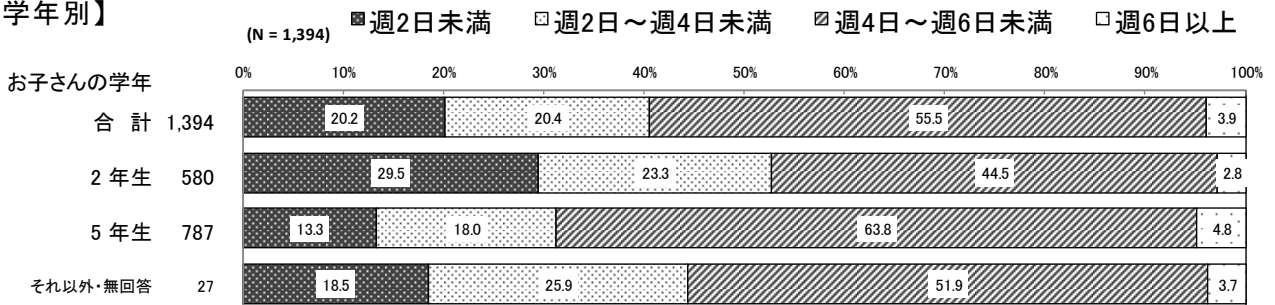
学年別にみたとき、2年生に比べて5年生のほうが、自宅で過ごす日数が多い傾向がみられる。



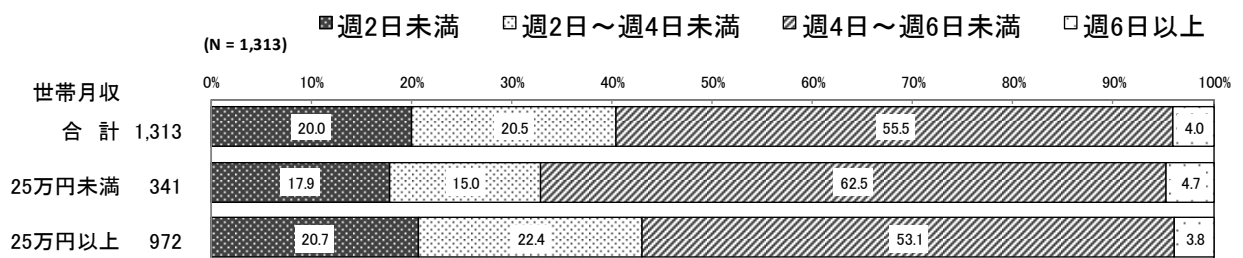
【地区別】



【学年別】



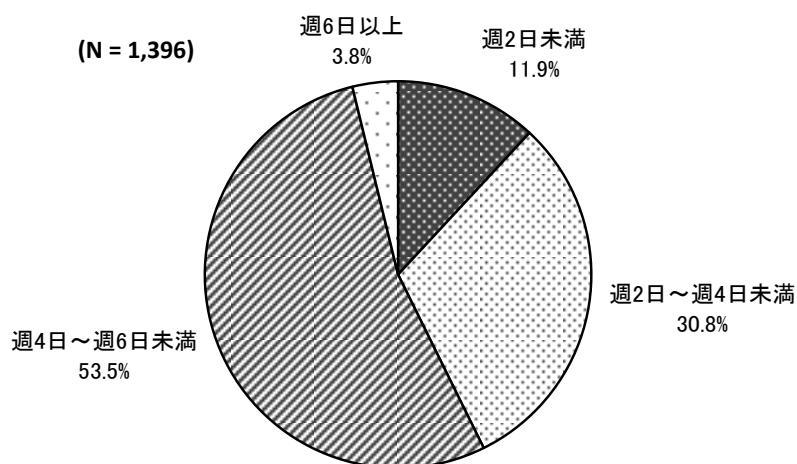
【世帯月収別】



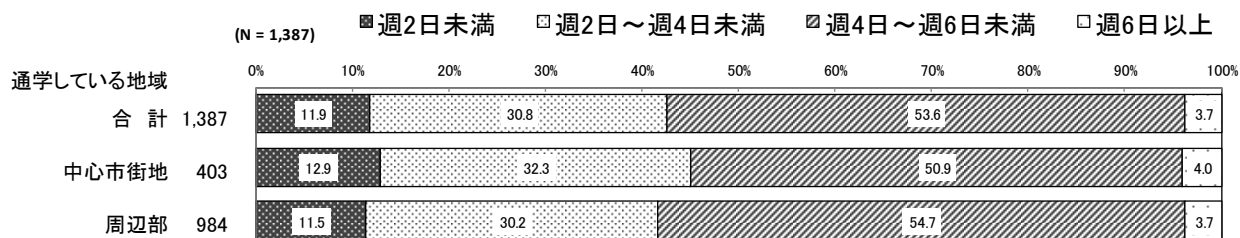
42. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】 自宅

「週4日～週6日未満」が53.5%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が30.8%、「週2日未満」が11.9%となっている。

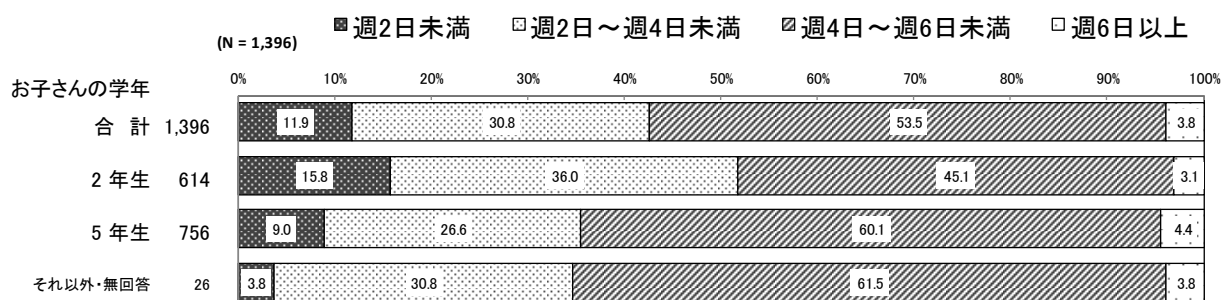
学年別にみたとき、現在の状況と同様に、2年生に比べて5年生のほうが、自宅で過ごしてほしい日数が多い傾向がみられる。



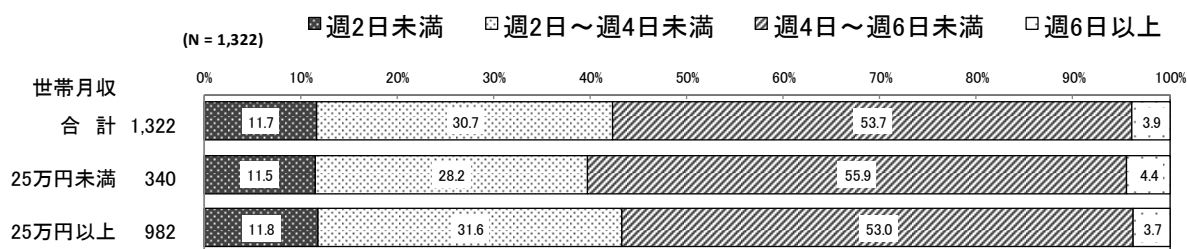
【地区別】



【学年別】

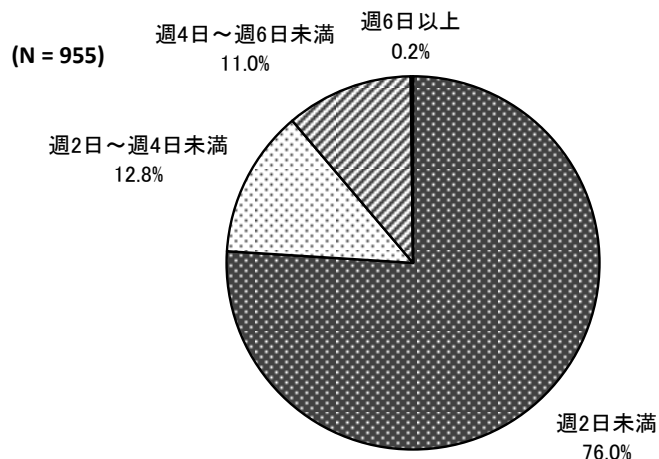


【世帯月収別】

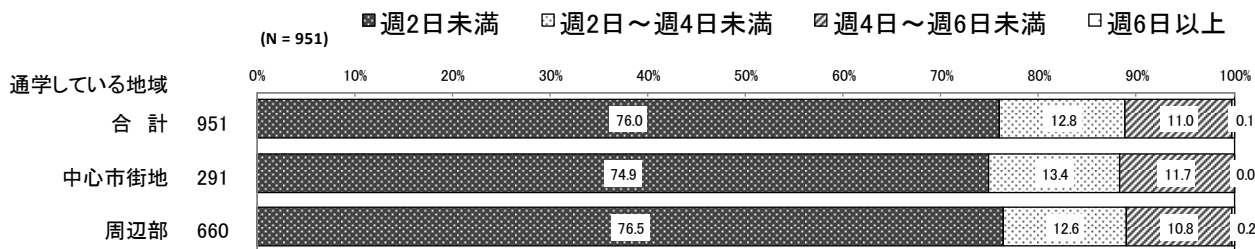


43. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】祖父母宅や友人・知人宅

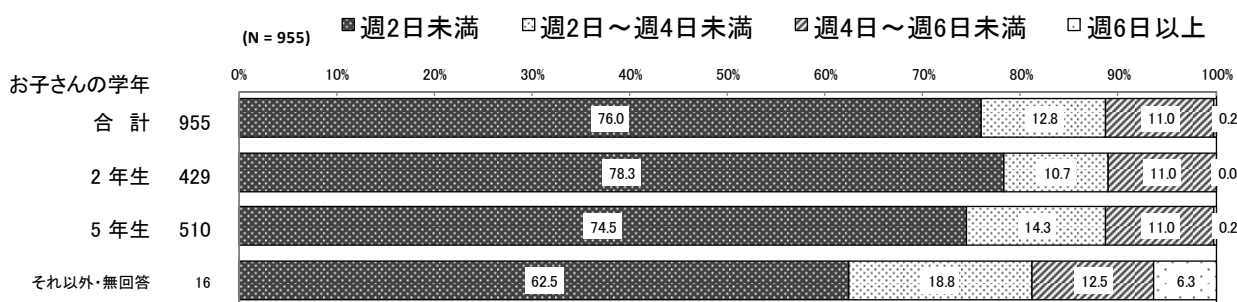
「週2日未満」が76.0%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が12.8%、「週4日～週6日未満」が11.0%、「週6日以上」が0.2%となっている。



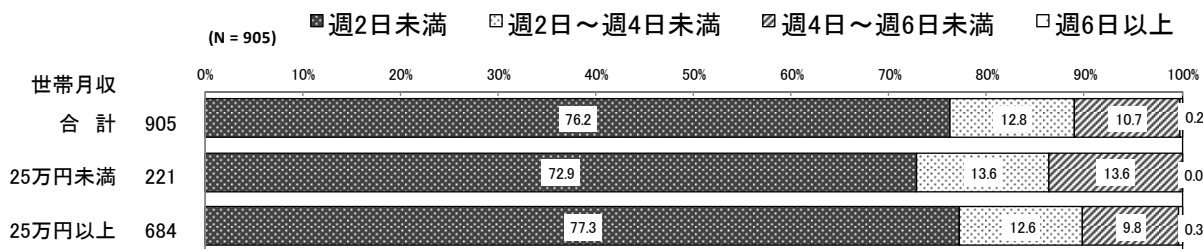
【地区別】



【学年別】



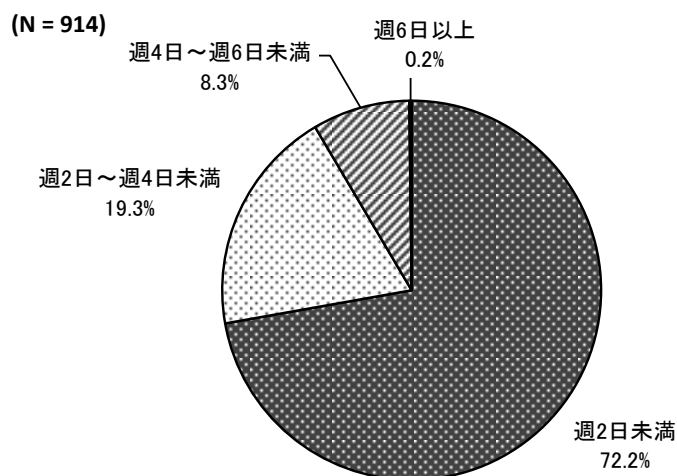
【世帯月収別】



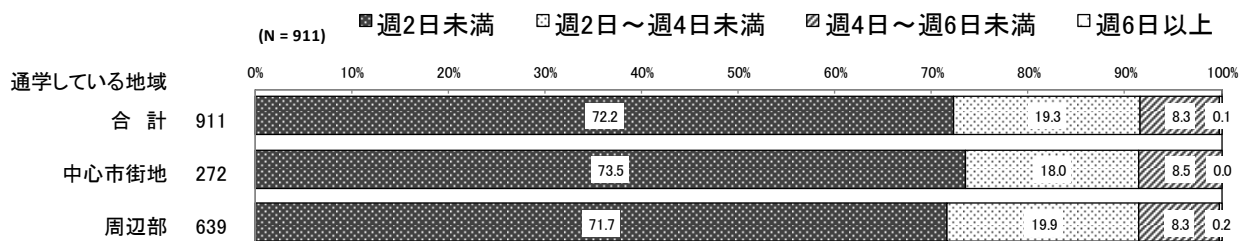
44. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】祖父母宅や友人・知人宅

「週2日未満」が72.2%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が19.3%、「週4日～週6日未満」が8.3%となっている。

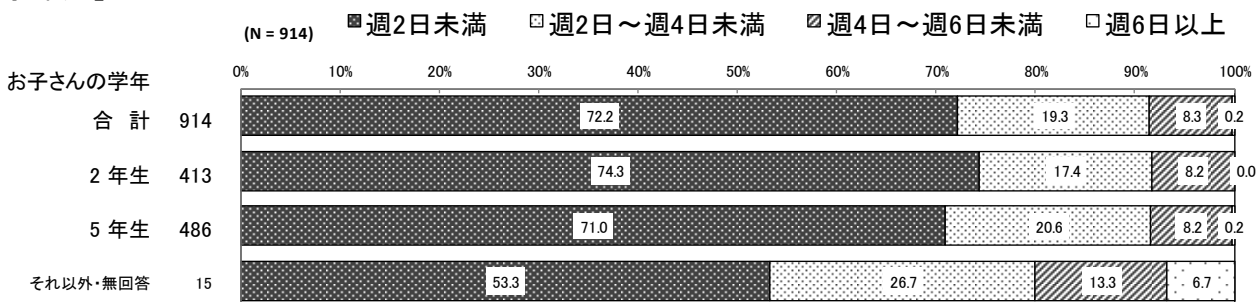
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「週2日未満」の回答が66.5%を占めており、25万円以上の世帯と比べて7.4ポイント下回っている。



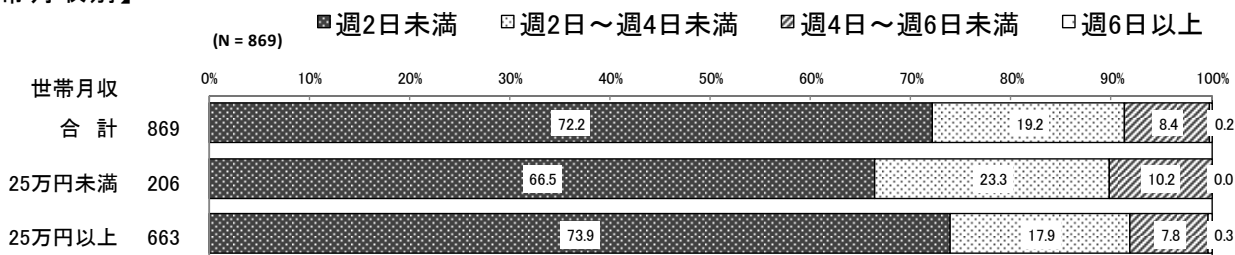
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】

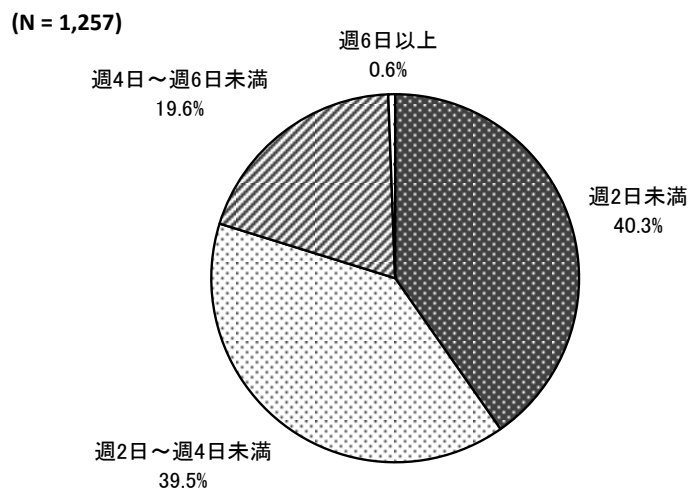


45. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】 習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団

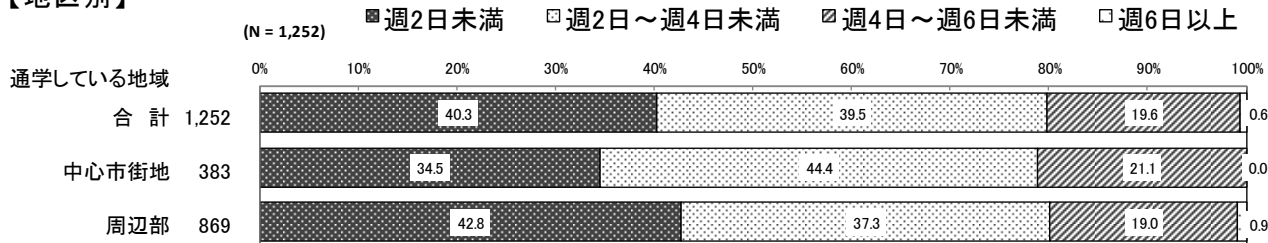
「週2日未満」が40.3%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が39.5%、「週4日～週6日未満」が19.6%となっている。

学年別にみたとき、2年生において「週2日未満」が5割以上を占めているのに対し、5年生ではおよそ3割となっている。2年生に比べて5年生の利用日数が多い傾向がみられる。

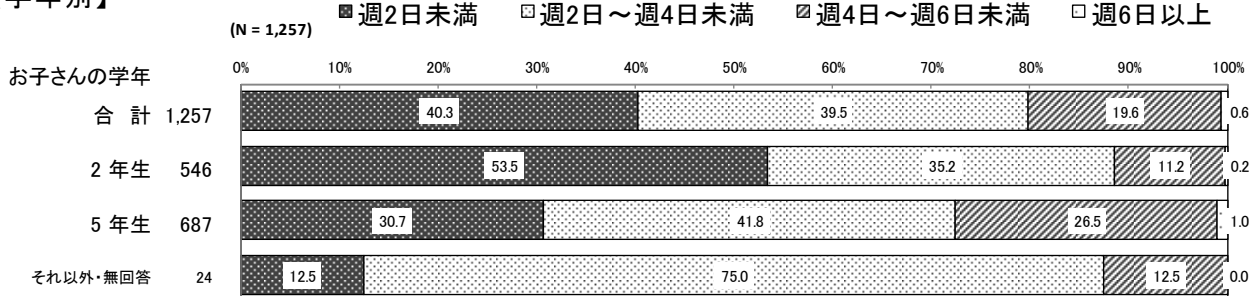
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において「週2日未満」が5割近くを占めているのに対し25万円以上の世帯では4割弱となっている。



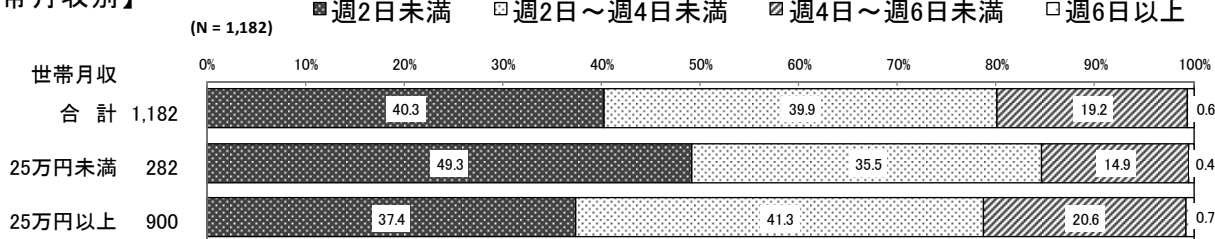
【地区別】



【学年別】



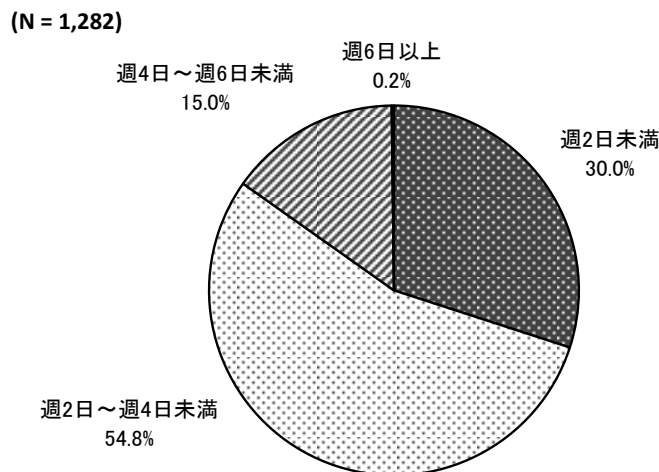
【世帯月収別】



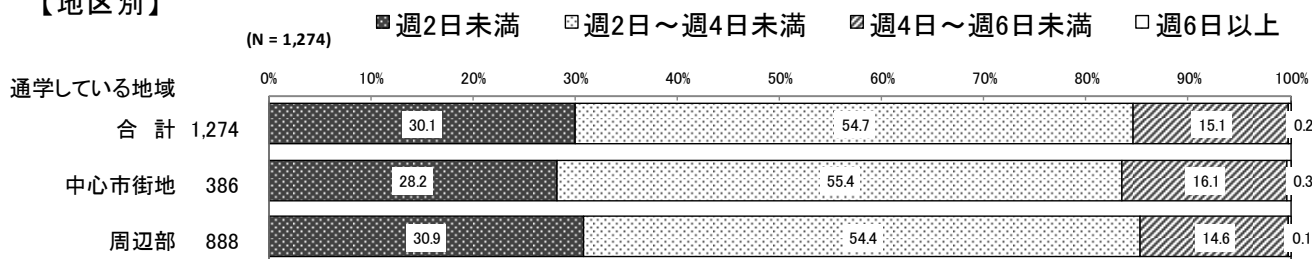
46. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】習い事、放課後のクラブ活動、スポーツ少年団

「週2日～週4日未満」が54.8%と最も高く、次いで「週2日未満」が30.0%、「週4日～週6日未満」が15.0%となっている。

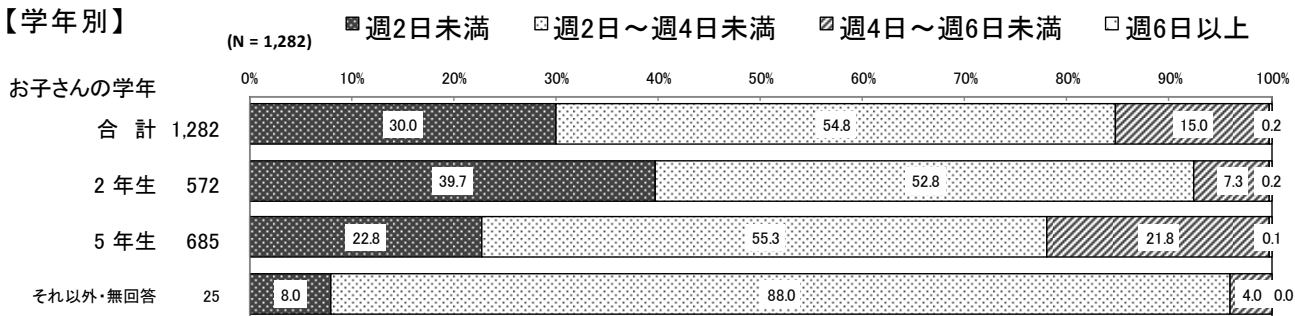
学年別にみたとき、2年生において「週2日未満」がほぼ4割を占めているのに対し、5年生では2割台となっている。現状と同様、2年生に比べて5年生の利用日数が多い傾向がみられる。



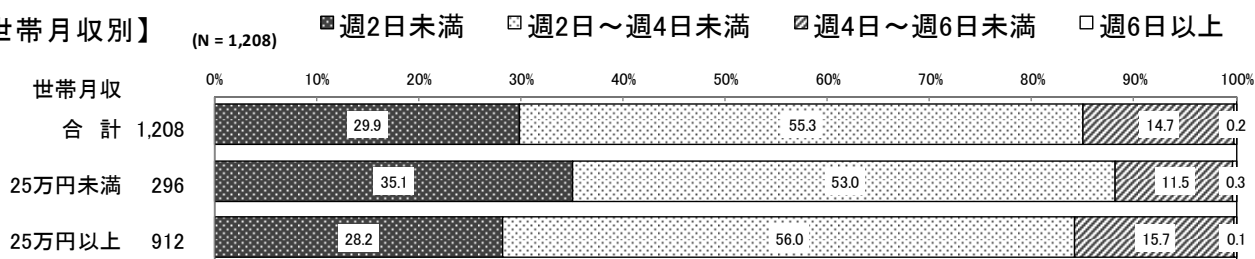
【地区別】



【学年別】

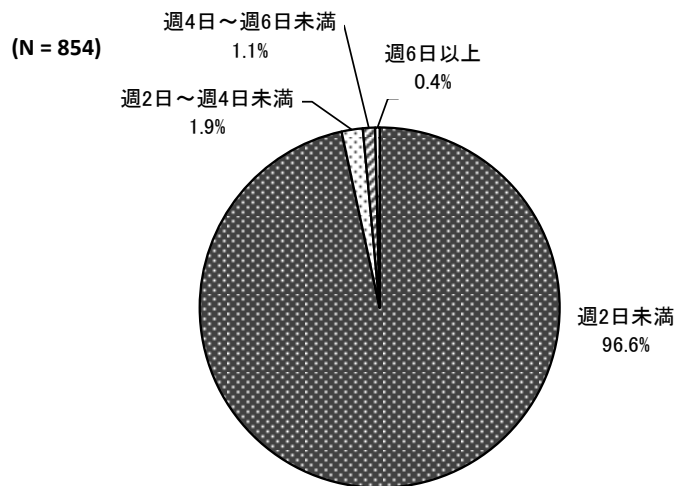


【世帯月収別】

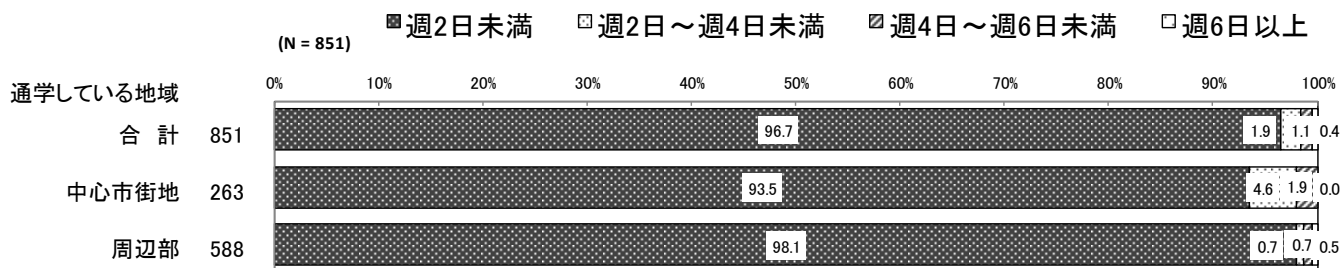


47. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】児童館

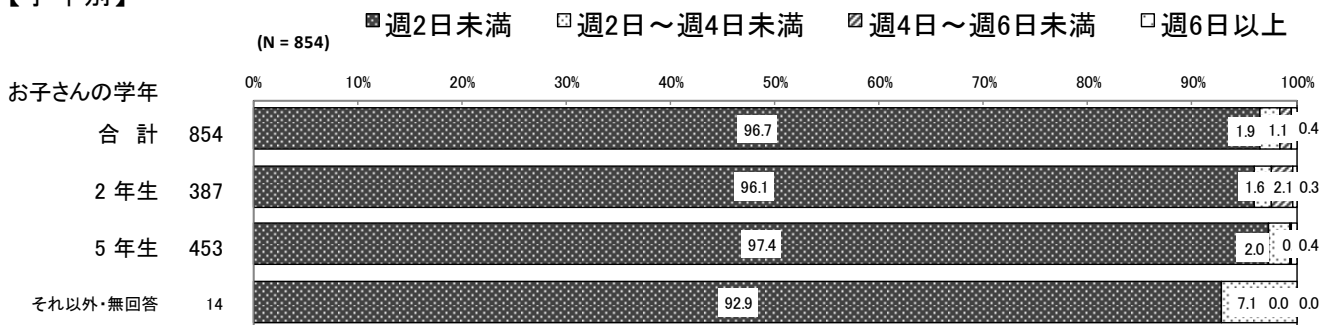
「週2日未満」が96.6%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が1.9%、「週4日～週6日未満」が1.1%、「週6日以上」が0.4%となっている。



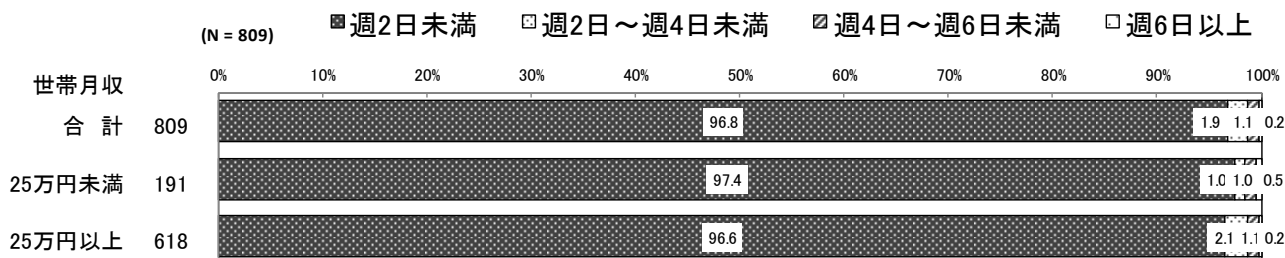
【地区別】



【学年別】



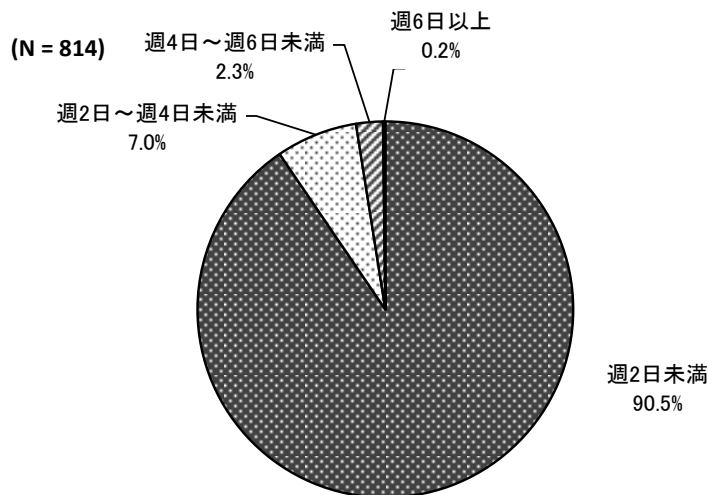
【世帯月収別】



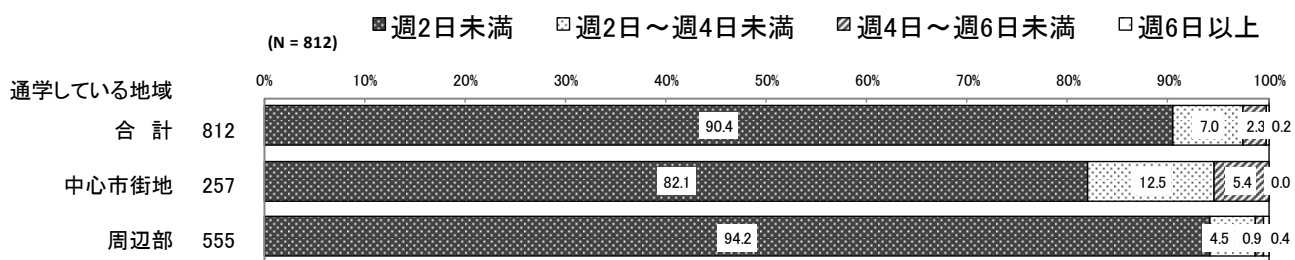
48. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】 児童館

「週2日未満」が90.5%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が7.0%、「週4日～週6日未満」が2.3%、「週6日以上」が0.2%となっている。

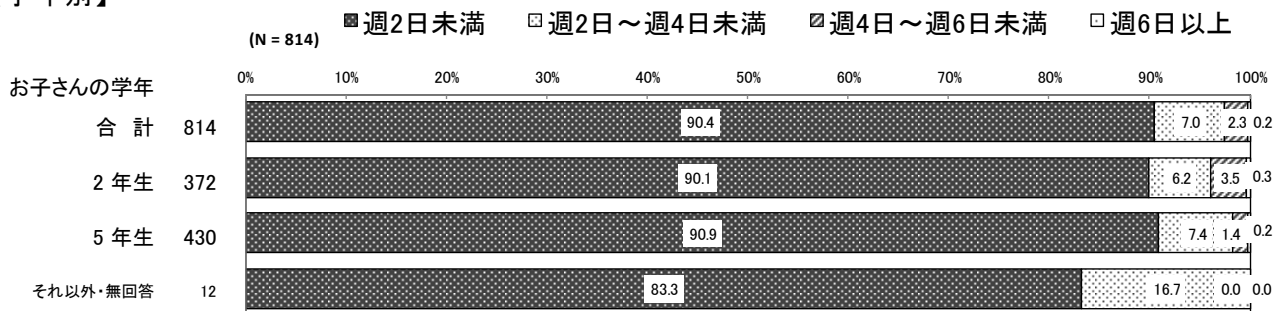
地区別にみたとき、周辺部よりも中心市街地のほうが、利用希望日数が多くなる傾向がうかがえる。



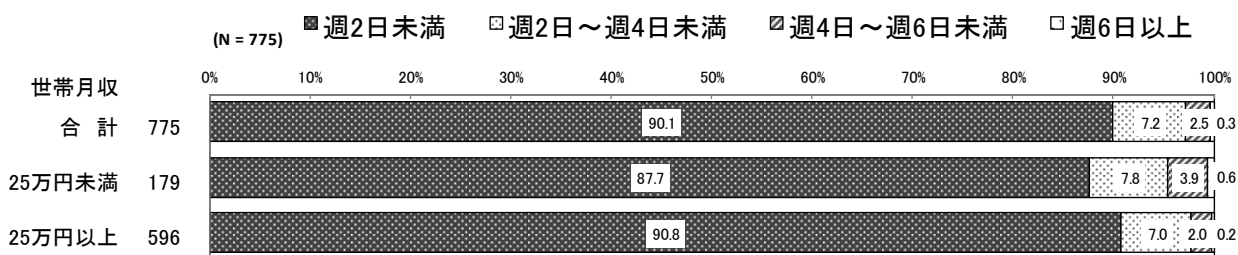
【地区別】



【学年別】

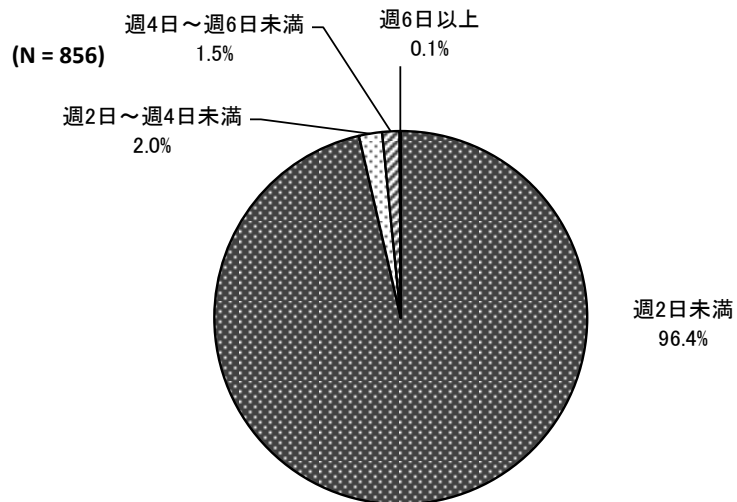


【世帯月収別】

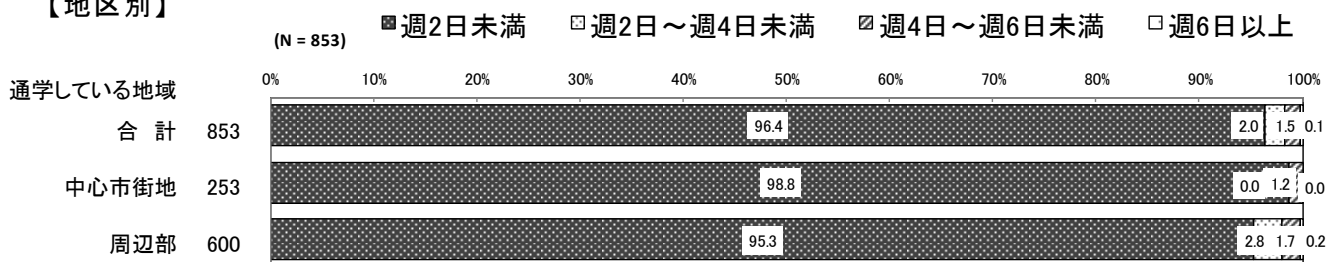


49. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】放課後子ども教室

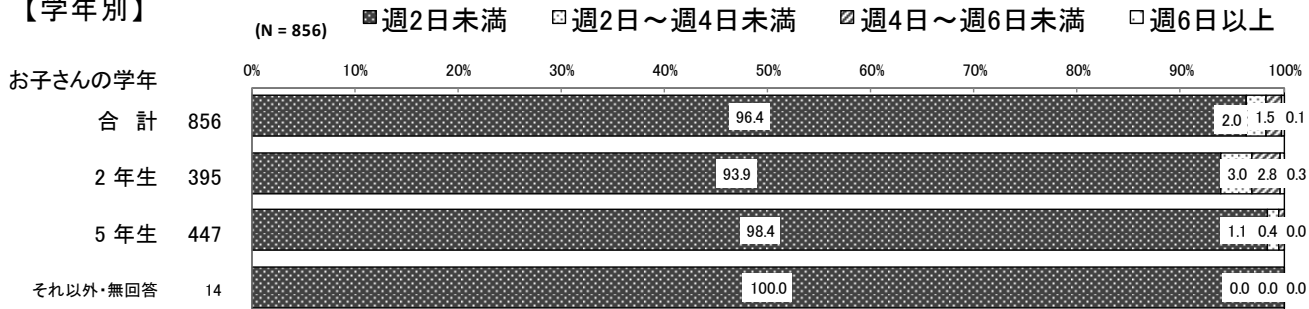
「週2日未満」が96.4%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が2.0%、「週4日～週6日未満」が1.5%、「週6日以上」が0.1%となっている。



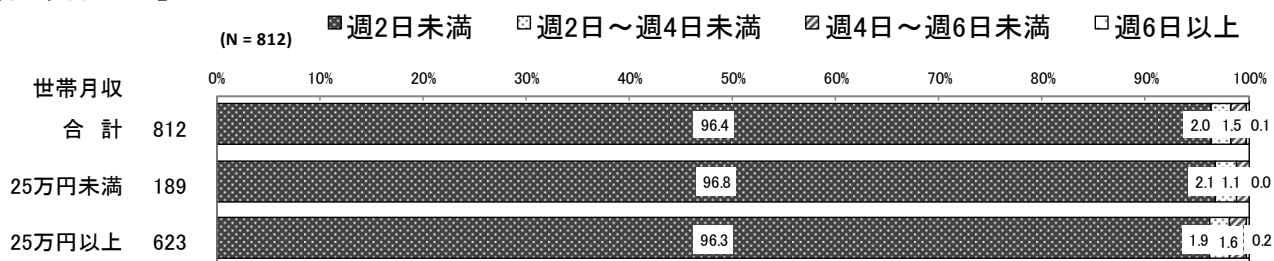
【地区別】



【学年別】

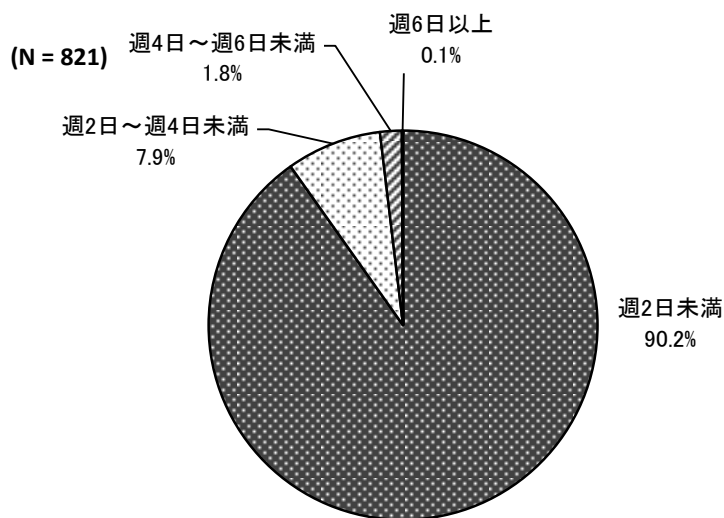


【世帯月収別】

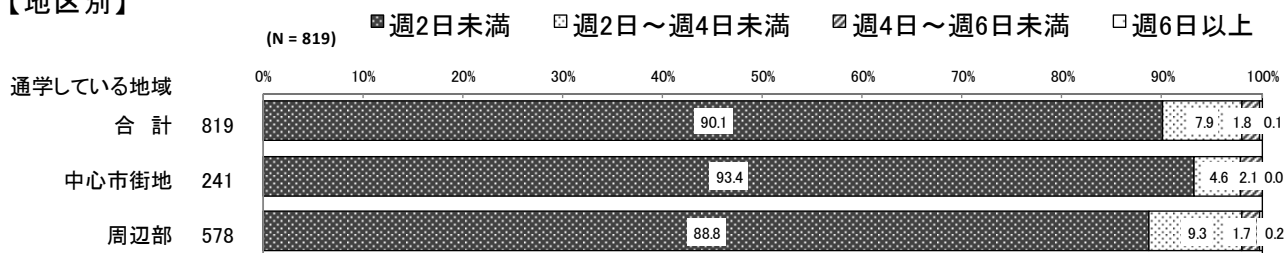


50. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】放課後子ども教室

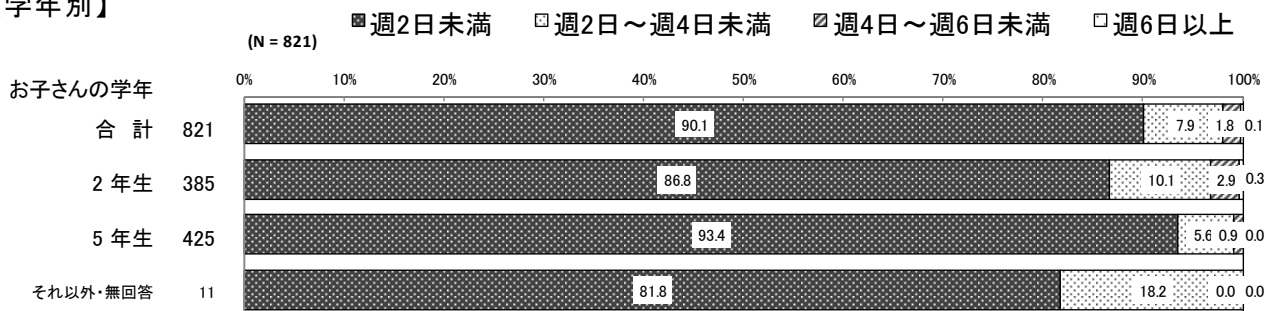
「週2日未満」が90.2%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が7.9%、「週4日～週6日未満」が1.8%となつている。



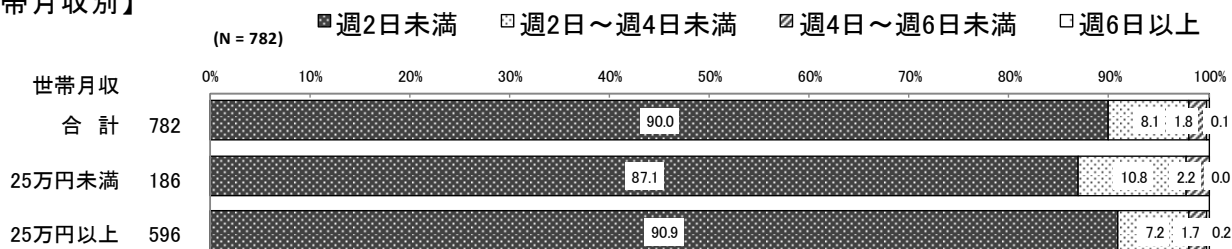
【地区別】



【学年別】



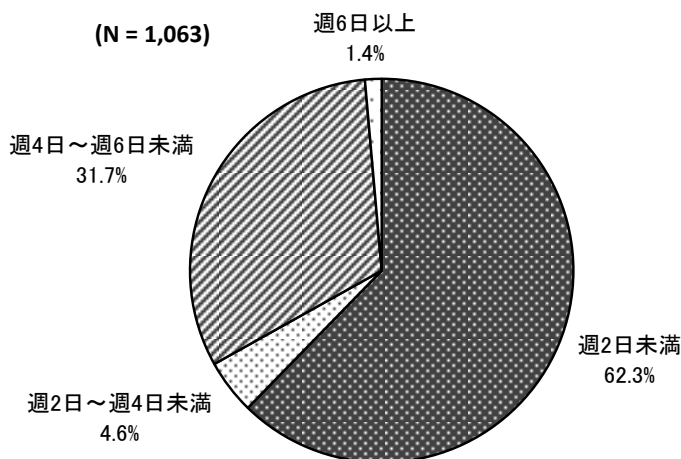
【世帯月収別】



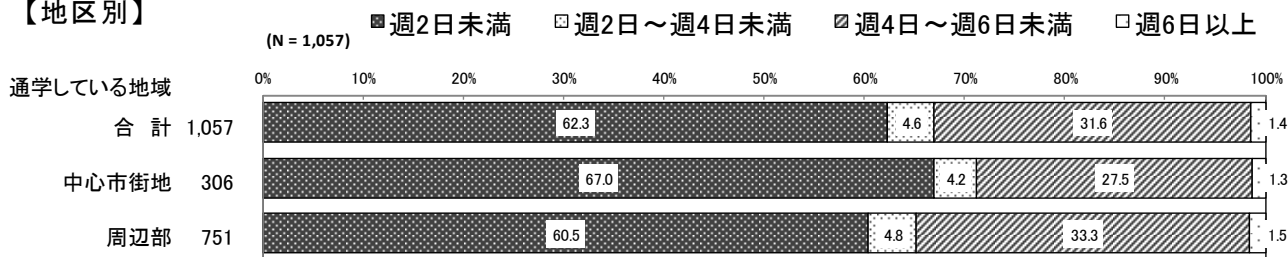
51. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】 こどもクラブ

「週2日未満」が62.3%と最も高く、次いで「週4日～週6日未満」が31.7%、「週2日～週4日未満」が4.6%となっている。

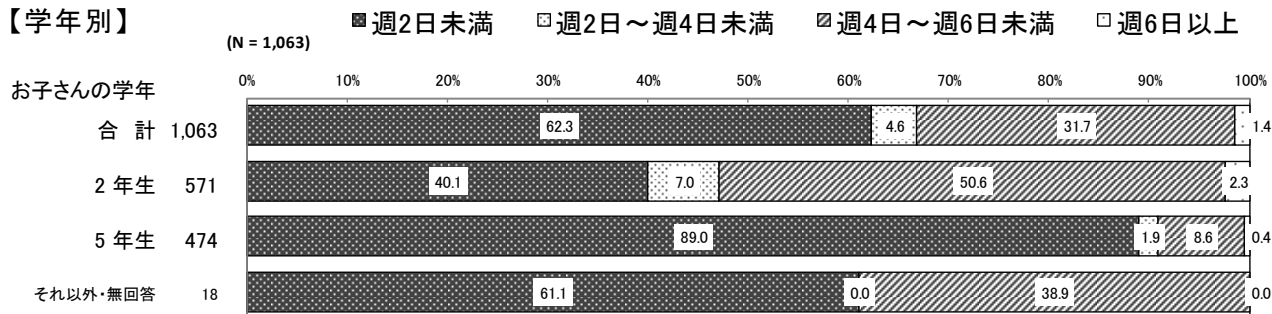
学年別で見たとき、5年生において「週2日未満」の割合が9割近くを占めており、2年生よりも利用日数が格段に少なくなっている。



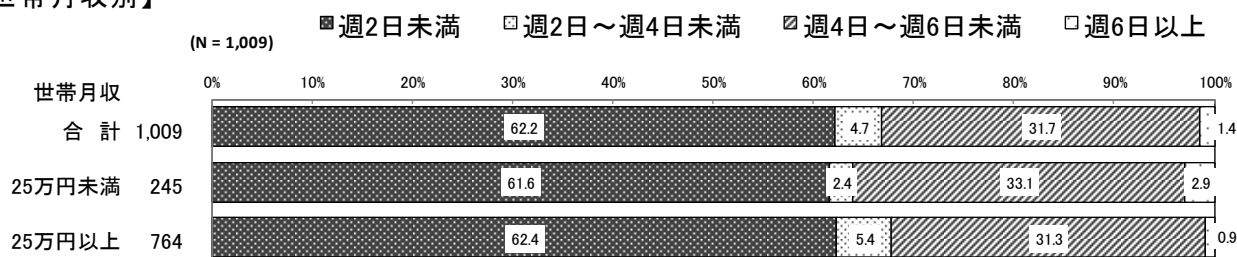
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】

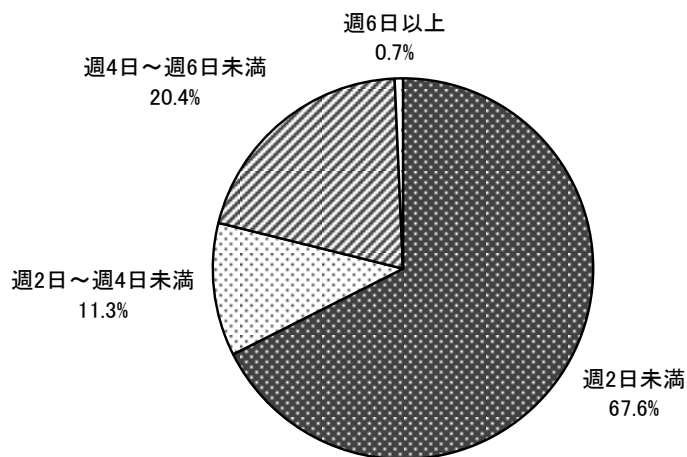


52. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】 こどもクラブ

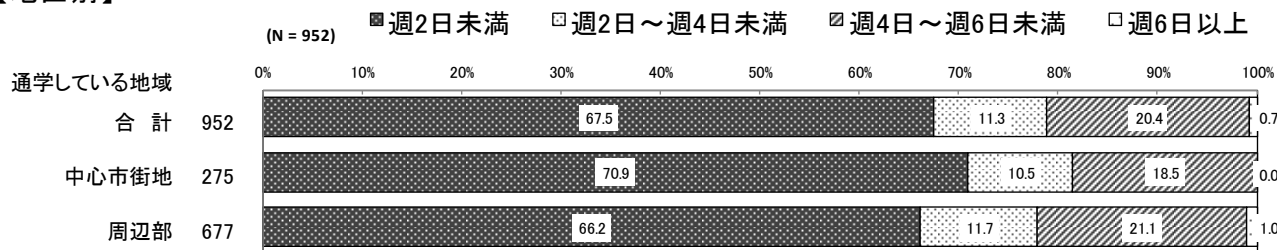
「週2日未満」が67.6%と最も高く、次いで「週4日～週6日未満」が20.4%、「週2日～週4日未満」が11.3%となっている。

学年別で見たとき、5年生において「週2日未満」の割合が9割近くを占めており、現在の状況と同様、2年生よりも利用希望日数が格段に少なくなっている。

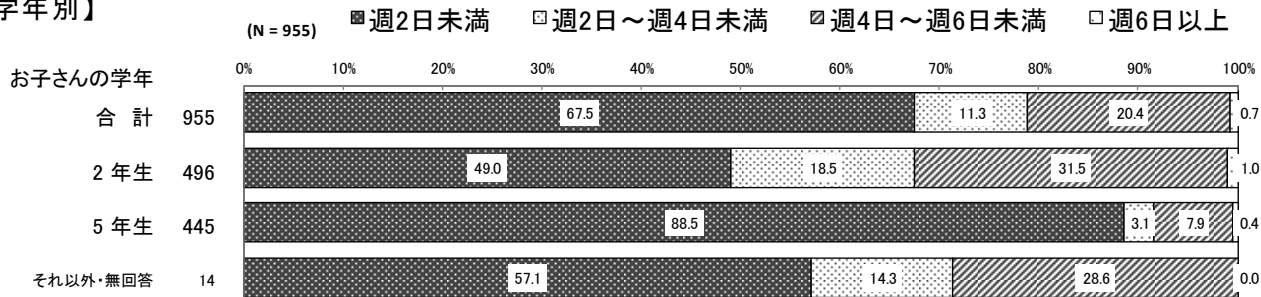
(N = 955)



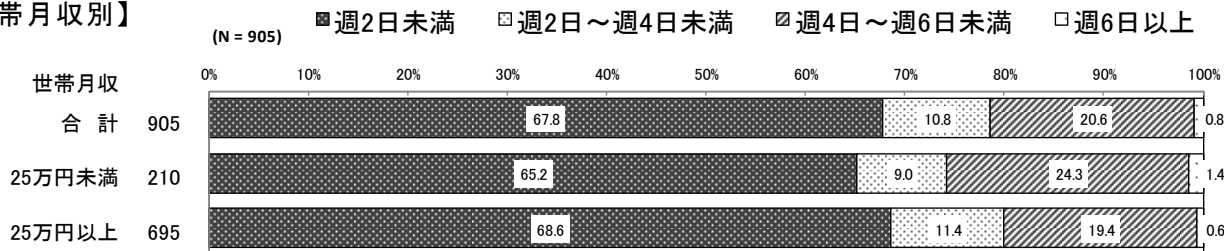
【地区別】



【学年別】

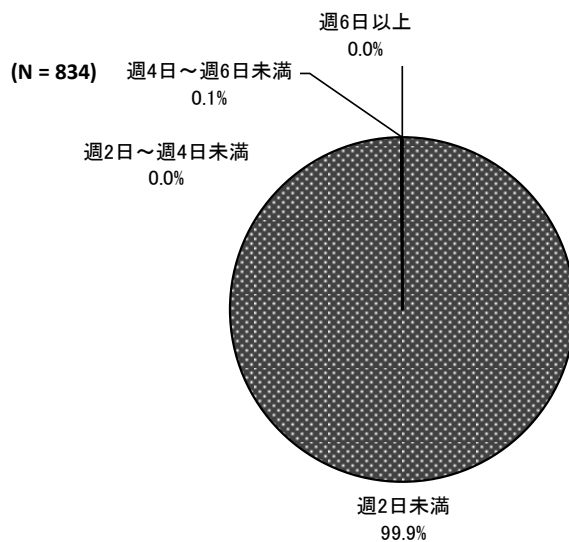


【世帯月収別】



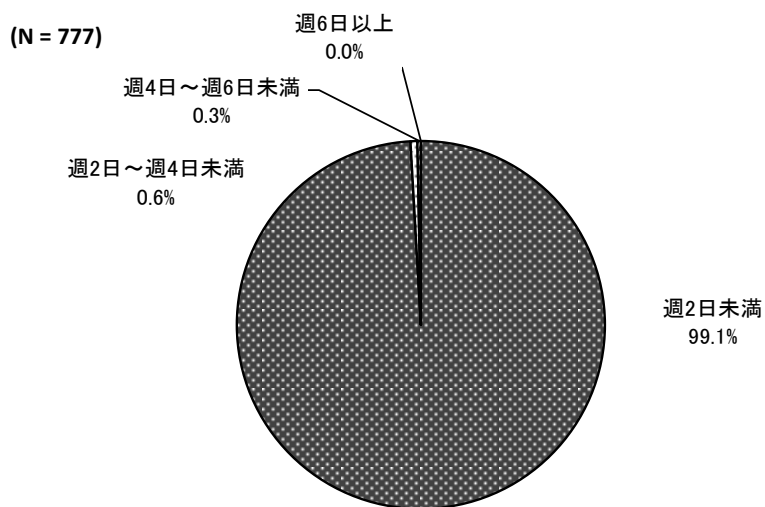
53. 【放課後に過ごす場所／現在の状況】ファミリー・サポート・センター

「週2日未満」が99.9%を占めている。なお、「週2日～週4日未満」及び「週6日以上」の回答は無かった。



54. 【放課後に過ごす場所／保護者としての思い】ファミリー・サポート・センター

「週2日未満」が99.1%と最も高く、次いで「週2日～週4日未満」が0.6%、「週4日～週6日未満」が0.3%となっている。なお、「週6日以上」の回答は無かった。

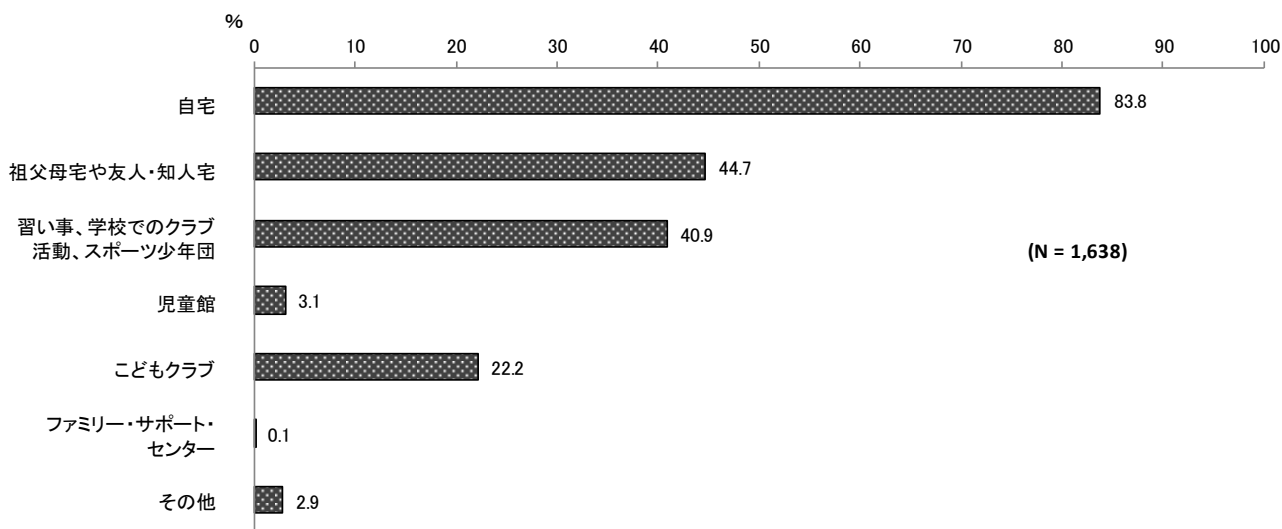


55. 学校が休みの日（夏休みなどを含む）に過ごす場所／現在の状況

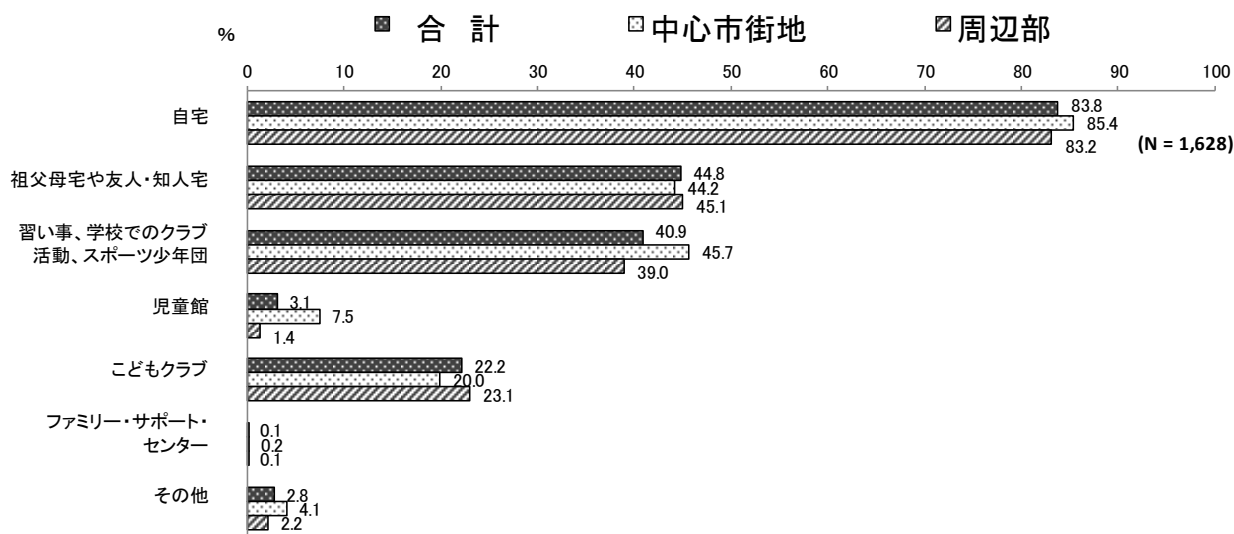
「自宅」が 83.8%と最も高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が 44.7%、「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」が 40.9%となっている。

学年別にみたとき、5年生では「自宅」「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」の回答割合が2年生よりも高く、2年生では「こどもクラブ」の回答が4割近くとなっている。

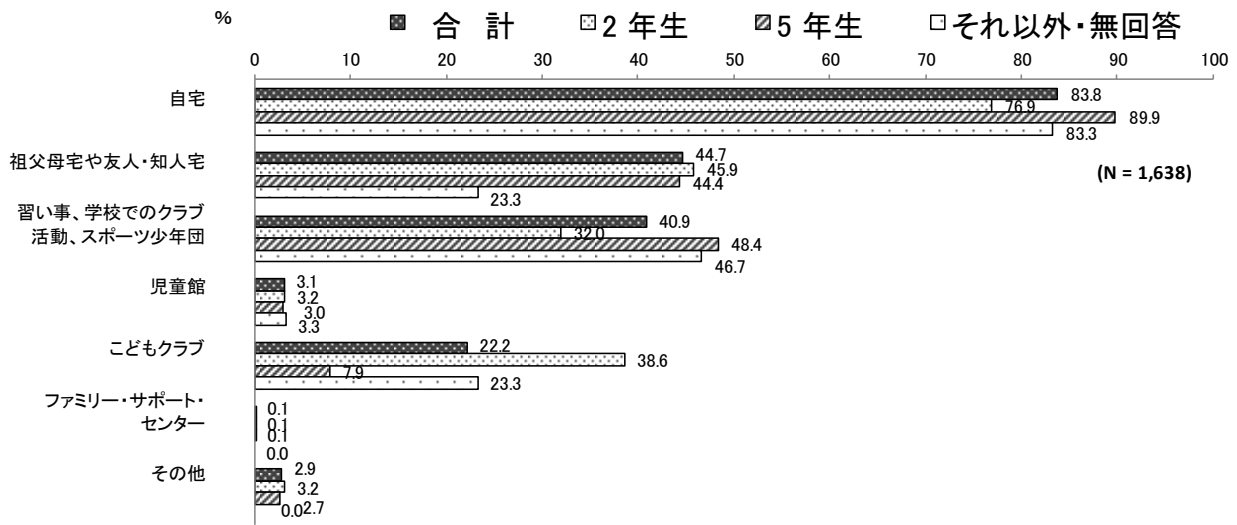
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において、「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」の回答割合は31.1%となっており、25万円以上の世帯と比べ、13ポイント下回っている。



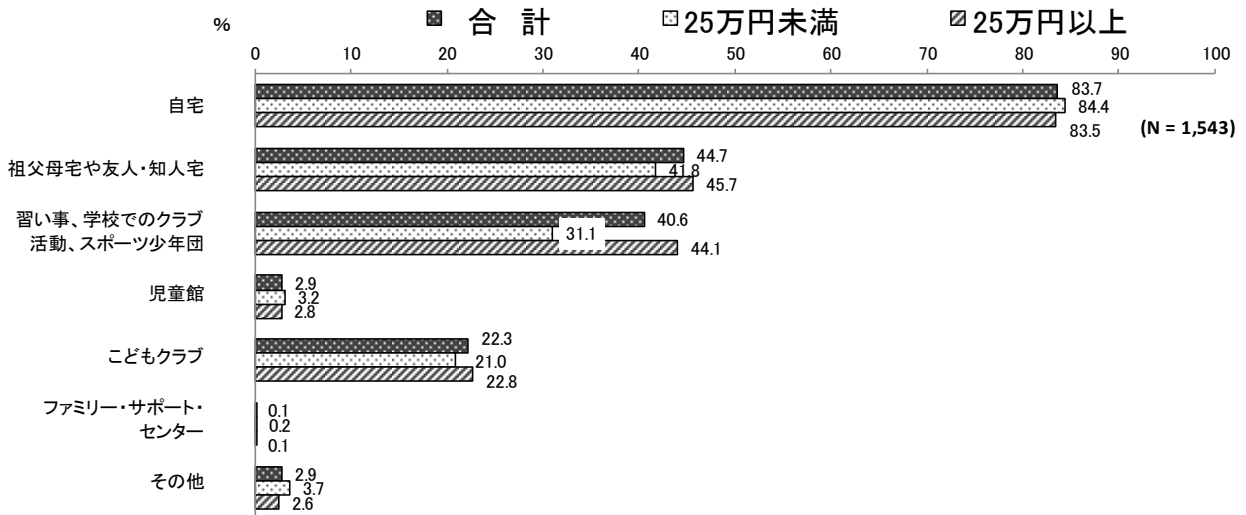
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】

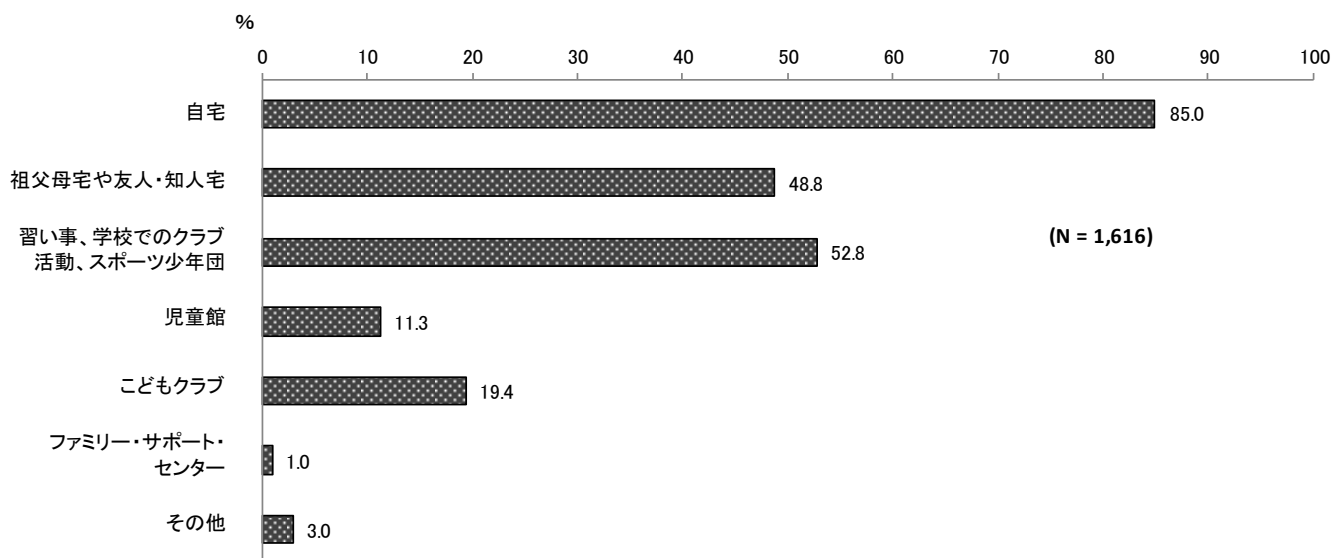


56. 学校が休みの日（夏休みなどを含む）に過ごす場所／保護者としての思い

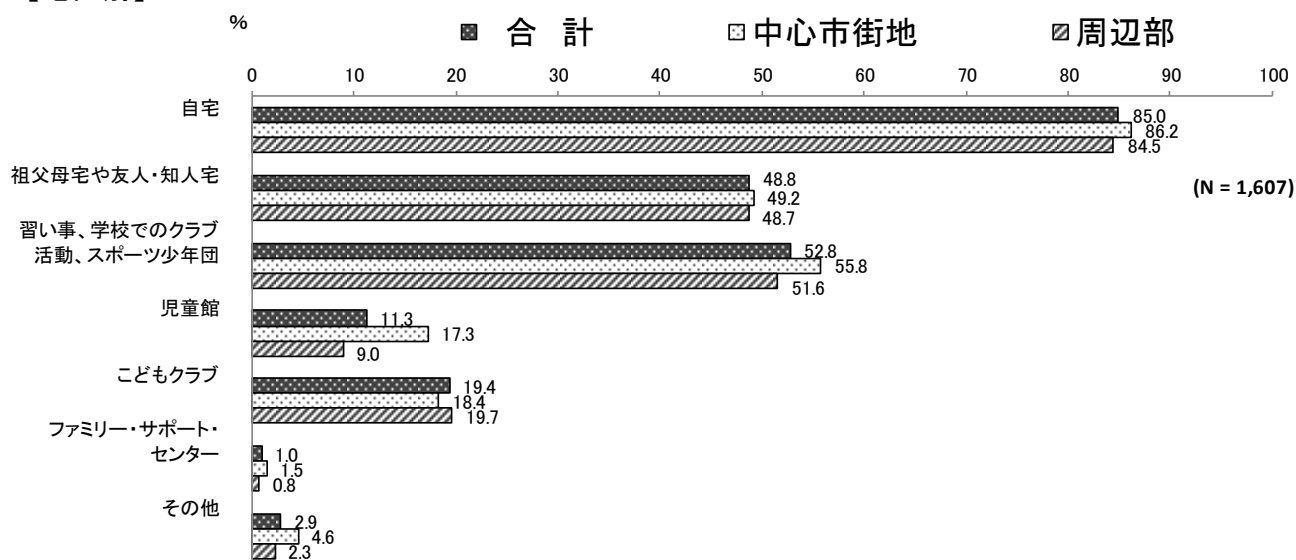
「自宅」が 85.0%と最も高く、次いで「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」が 52.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 48.8%となっている。

学年別にみたとき、5年生では「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」の回答割合が2年生よりも高く、2年生では「こどもクラブ」の回答が3割以上となっている。

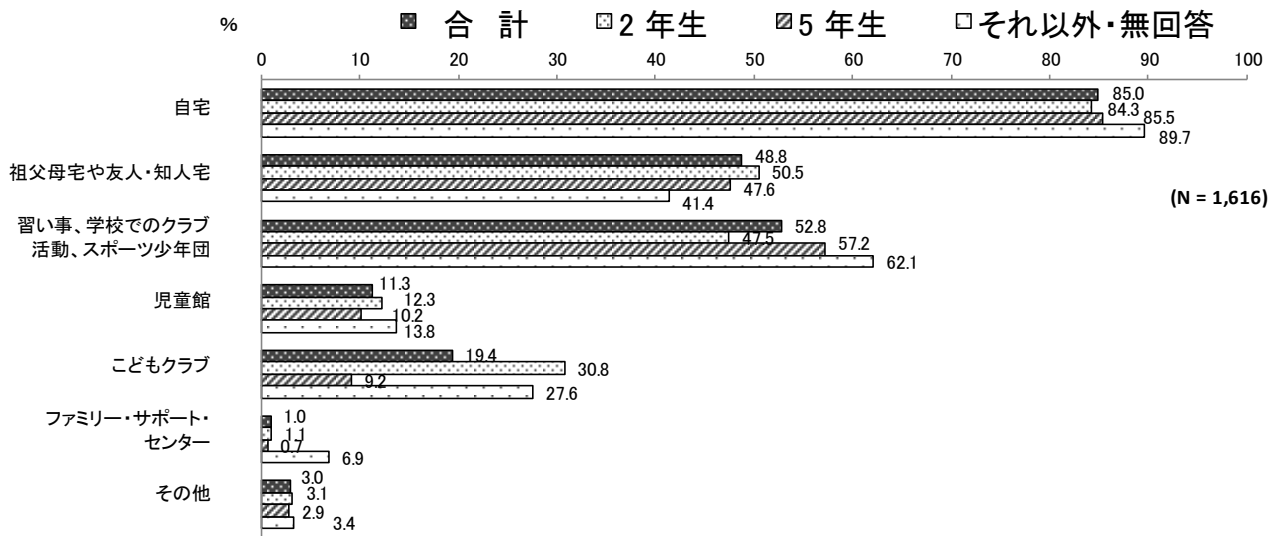
世帯月収別にみたとき、25万円未満の世帯において、「習い事、学校でのクラブ活動、スポーツ少年団」の回答割合は46.1%となっており、25万円以上の世帯と比べ、8.5ポイント下回っている。



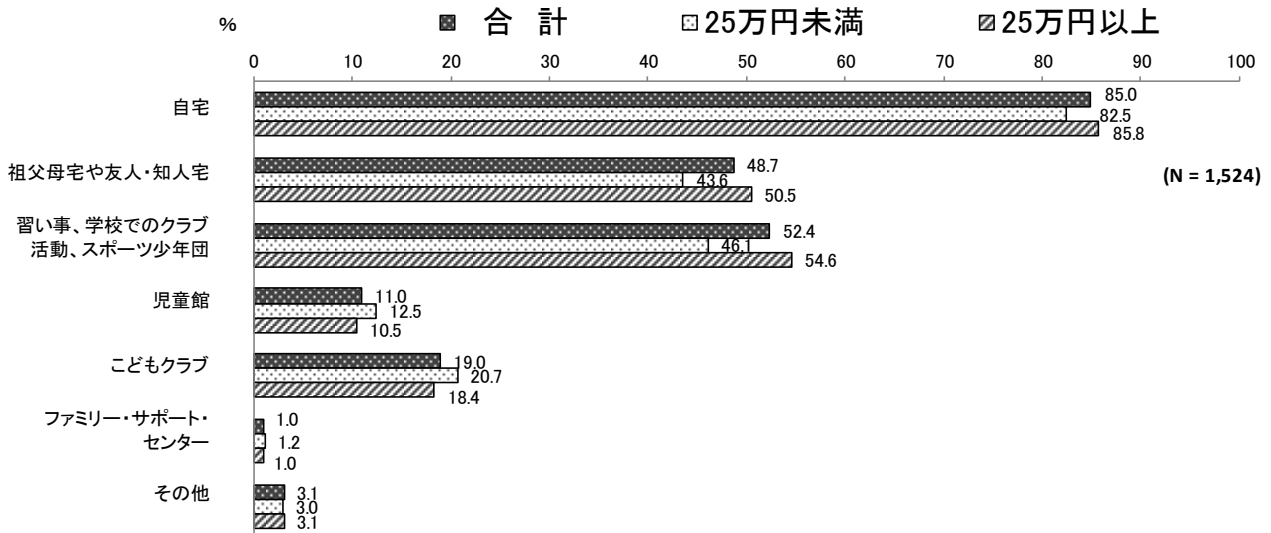
【地区別】



【学年別】



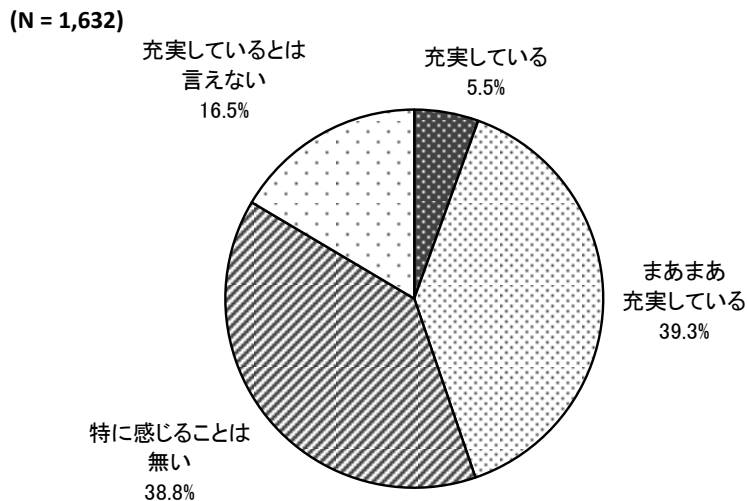
【世帯月収別】



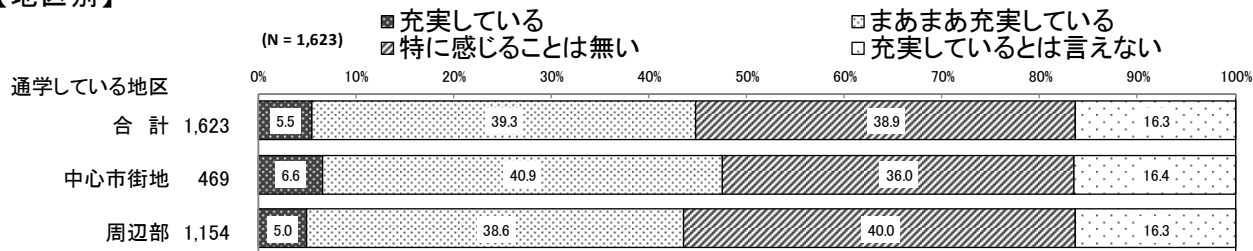
57. 会津若松市の子育て支援事業について

「まあまあ充実している」が39.3%と最も高く、次いで「特に感じることは無い」が38.8%、「充実しているとは言えない」が16.5%となっている。

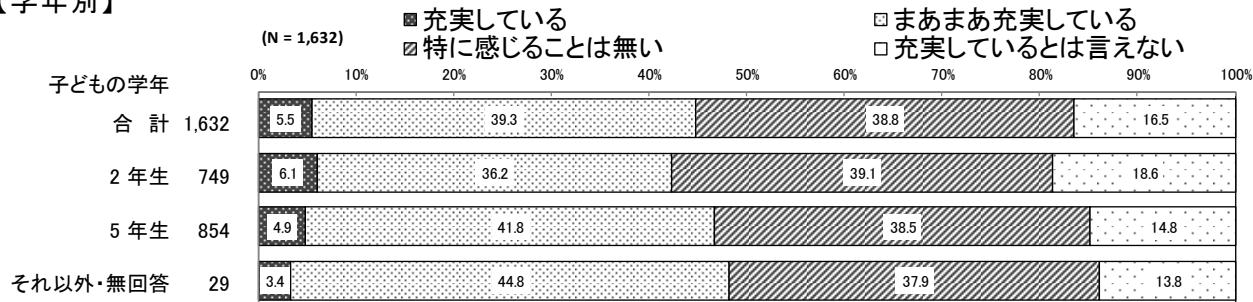
。



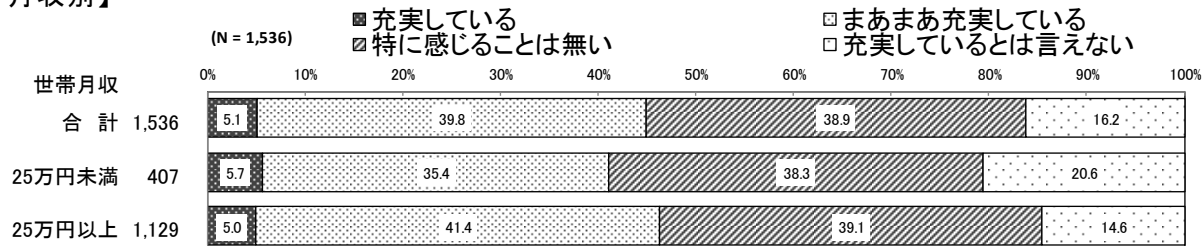
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】

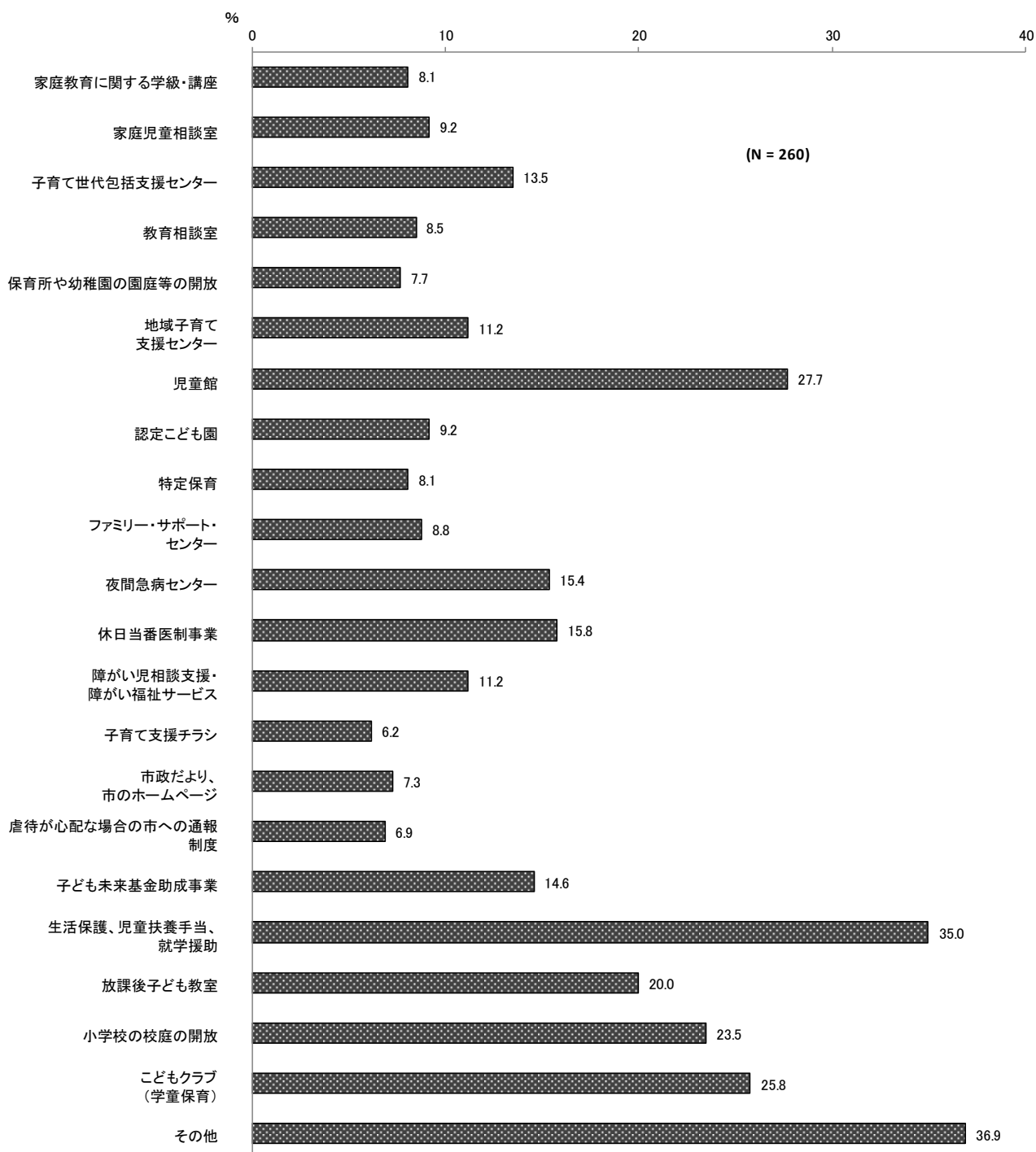


58. 充実させるべき事業

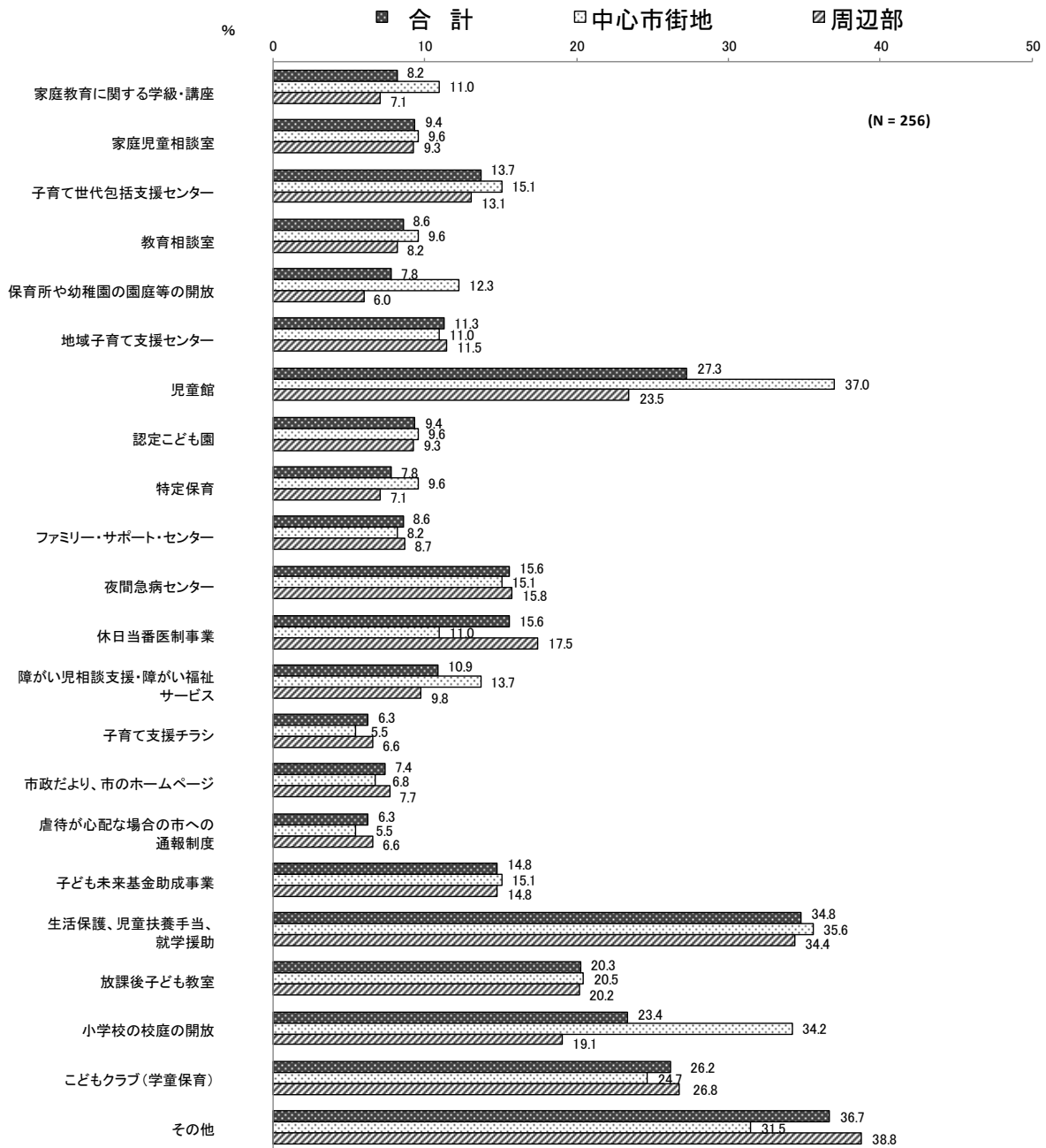
「生活保護、児童扶養手当、就学援助」が 35.0%、次いで「児童館」が 27.7%となっている。なお、「その他」は 36.9%となった。

地区別にみたとき、中心市街地において「児童館」と回答した割合が高く、37.0%であった。

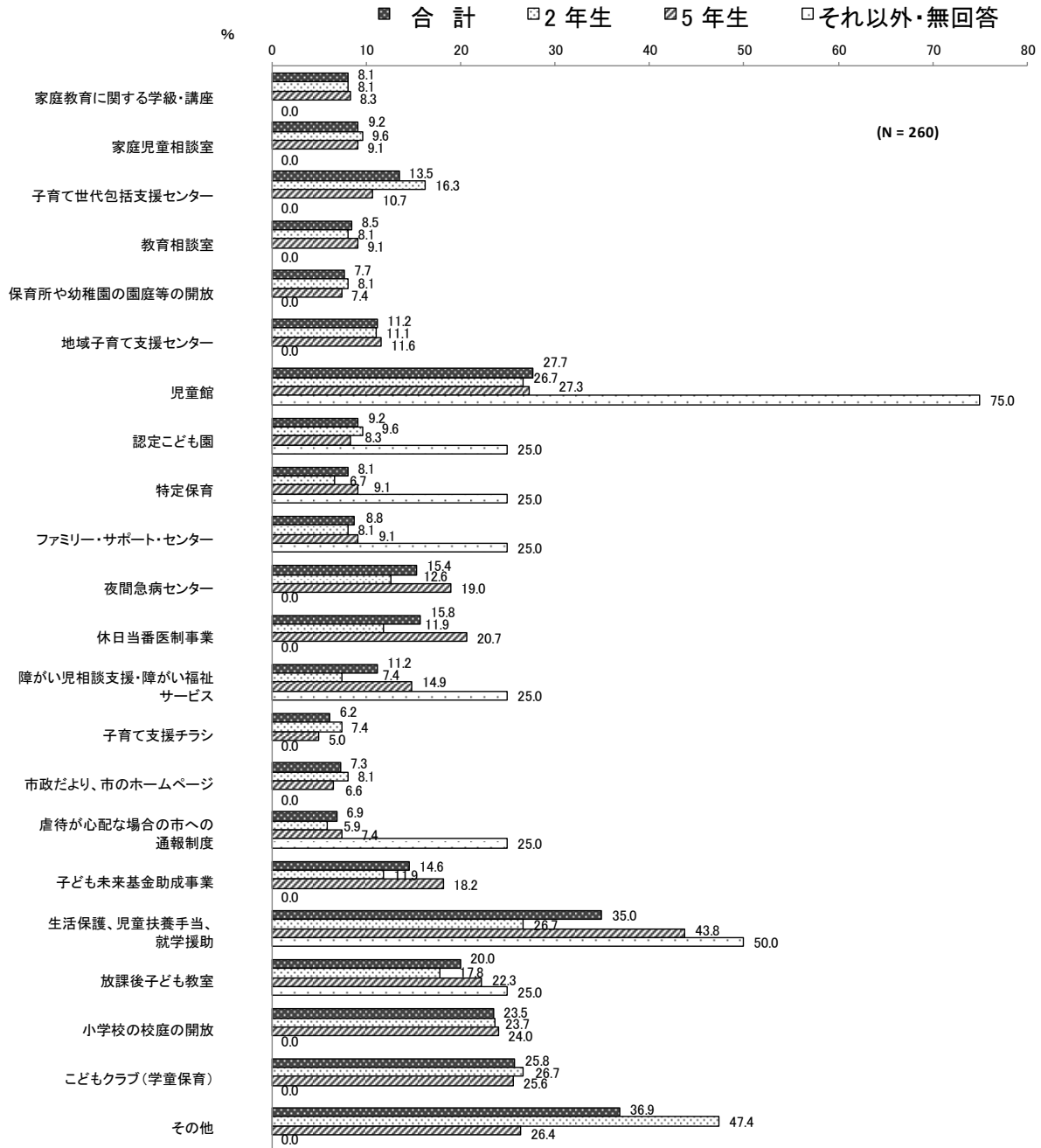
世帯月収別にみたとき、25 万円未満の世帯において半数以上が「生活保護、児童扶養手当、就学援助」と回答する結果となった。



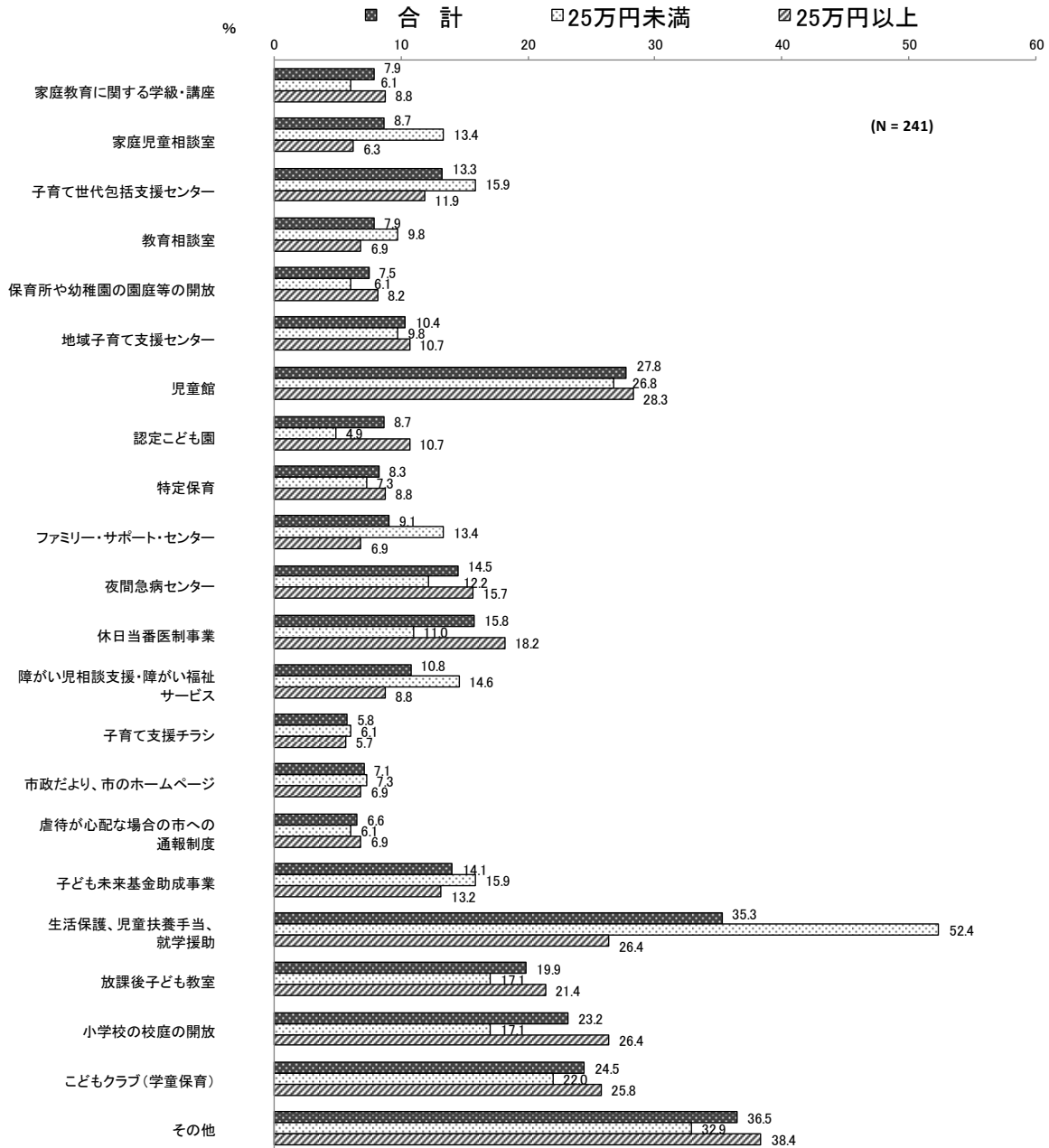
【地区別】



【学年別】



【世帯月収別】



【「その他」の内訳（一部抜粋）】

【事業・施設利用に関すること】

- ・児童館の自由来館はいったん家へ帰ってからなどという制約があり利用しにくい。
- ・市のこども家庭課は特に、妊娠中、出産後健診で相談した時、実際に相談すると迷惑そうにされ、その相談そのものがない様にされて以来、パフォーマンスだと感じている。健診の時も、子どもは寒い場所で待たされ、職員は暖かい場所でおしゃべりに夢中。
- ・事業が周知されていない。いつ、どうして利用してよいか不明。
- ・どの事業も日曜日に利用できるものなのか。利用するとしたら、仕事が休みの日曜日しか利用できないので、充実しているかどうかわからない。

【遊び場に関すること】

- ・子どもが遊べる施設が少なすぎる。
- ・公園など、子どもが外で安全に遊べる場所を増やしてほしい。
- ・室内遊び場や子どもの遊び場、家族で楽しめる商業施設が足りない。
- ・子どもが自由に遊べる場所がほしい。休日なども家族で、天候関係なく、無料。
- ・放課後、子どもが自分で遊びに行ける身近な公園の整備。
- ・郡山市のように無料で遊ばせる事の出来る施設がほしい。
- ・室内遊び場が少ない。アピタなどだとゲームをやるばかりになってしまう。身体を動かせる所がほしい。大きい公園も少ない。
- ・子どもたちが遊べる場所がない。公園も近場がない。
- ・山形県鶴岡市の“ソライ”のようなキッズドーム（全天候型）施設の整備。
- ・スポーツをする環境・施設の充実。県内の市と比較すると劣っていると感じる。

【医療に関すること】

- ・病児保育の利用がしづらい。定員も限られており実用的ではない。
- ・インフルエンザ、任意の予防接種について支援がない。
- ・インフルエンザ予防接種の無料化。
- ・病児保育機関（施設）の増設、普及。子どもが病気の時、誰にも頼れない。核家族（共働き）はどちらかが仕事を休むのかでケンカになるケースも多いと思う。女性が働きながら子育てするにはまだまだ国の体制が整っていない。

【金銭的な負担に関すること】

- ・3人目の保育料について、上の子どもが10歳になると負担が増す。
- ・幼稚園と比べ、幼保園の料金が安い。川南幼稚園が月5,000円、北会津幼保園が月30,000円。
- ・給食費などPTA会費などの雑費を無くすべき。義務教育なのだから給食費は市や国で負担すべき。
- ・給食費が高すぎる。会津若松市外から比べると何でも高すぎる。
- ・こども園での利用負担額について、小学3年生までの兄弟を基準にするのがおかしいと思う。歳の離れ方によって、半額にも免除にもならない。子どもの歳が離れる場合に、子どもを作らない要因の1つになると思う。
- ・児童扶養手当などについて、ボーナスをのぞいた月収で決めてほしい。

59. 子育ての環境や支援に関してご意見（一部抜粋）

【行政（市）の子育て支援体制について】

- ・第三子以上出産したら祝い金の支給があってもいいと思う。矢祭町のように 100 万円でなくても 10 万円でもあったらよい。幼児教育の保育料も子どもの人数で子どもの年齢関係なく金額を決めるべき。
- ・離職者や、求職者応援のための保育所などに力を入れてほしい。就活中に子どもをみてる所がなくて思うように活動できず、大変困っていたため。

【こどもクラブ（学童保育）の対応や要望について】

- ・こどもクラブの先生によって、対応の仕方が異なるので戸惑っています。こどもクラブの先生方の研修はないのでしょうか。
- ・こどもクラブを利用しているが、嘔吐物を本人に処理させたりしているようだったので感染症だった際は大丈夫なのか心配になる。
- ・こどもクラブに通わせていたが、こどもクラブの先生から苦情の電話が続き、ストレスがたまってやめさせることにした（電話の仕方、話し方、ルールの徹底が不足）。お金を払っているとはいえ、我が子を見てもらっているので強く言いませんでした。これからも利用したいとは思いません。

【職場・働き方について（自身、家族・配偶者など）】

- ・もっと子どもとの時間を持ちたいが、職場がそういうわけにはいかず、仕事量が多かったり、上司が理不尽だったりで、家庭を犠牲にせざるをえない。もっと子どもとの時間を大切にできるような職場、働き方になることを願う。
- ・今は正社員として働いていますが、残業がひどい時で月 42 時間を超えました。以前は残業なしのパートで就労していましたが、手取りは 9 万円に満たなかったです。子どものために働けば、遅くまで 1 人にしてしまい、早く帰ってくることを選べば、生活にゆとりがない。どうしたらいいのか、分からない。

【保育料の負担について】

- ・保育料、幼稚園の費用も以前より手厚くはなってきたが、我が子 2 人で 9 万円近い保育料は高く、家計の負担は大きく保育料を払うために働いている状態。
- ・子育てに関する料金がまだ高い。施設をフルに利用して生活しているが、共働きでは送迎の時間がギリギリである。もう少し早い時間か遅い時間での対応をお願いしたい。
- ・会津若松市の保育料は高いと思う。うちには子どもが 3 人いますが、年が離れています。2 人目は保育料半額、3 人目は無料と聞きますが、歳が離れていることで、対象にならず、今現在は保育園に通わせるのに大変苦勞しています。3 人いることに変わりはないので、もう少しゆとりが出来るように支援してほしい。

【保育施設（保育所など）の体制・対応について】

- ・保育園に通園している 4 歳の男の子がいる。現在、給食の際白米だけは自宅から持たせているが、いくら園で温めているとはいえ、少しかたくなった主食を食べている姿を思うと少々不びんに感じる。是非主食も園で提供していただき、子どもたちに温かいきたたてのごはんをたべてもらいたいと願う。
- ・認定子ども園と認可保育園の延長時間と延長料金に違いがある。市の認可型の子ども園・保育園ならば一律同じにしてほしいと思う。児童館の職員は異動が多く、気軽に声をかけたり相談できたりする雰囲気ではない。顔見知りになり、相談できるよう、職員はあまり異動させないでほしい。

【医療体制や支援制度の充実について】

- ・他の地域のように、インフルエンザの予防接種の無償化を行ってほしい。
- ・子どものインフルエンザの予防接種の助成は市で考えるべき。子どもは 2 回接種しなくてはいけないため、家計への負担が大きい。子どもがインフルエンザにかかって 1 週間も学校を休むことになれば仕事を休まなくてはいけなくなり、それで職場から嫌みを言われ働きにくい状況になってしまう。たとえ一部だとしても助成金があるのとないのとでは、接種率も増えると思う。
- ・休日当番医のシステムや夜間急病センターに小児科の先生がいるのは、共働きの家庭にとってとてもありがたい。あいづっこプラスも便利なツールだとは思いますが、スマホがうまく使いこなせない人でも簡単に利用できるように改善をしてもらえともっと身近なものになると思う。

【障がいをもつ子どもの支援について】

- ・障がいを持つ子どもにとって安心して過ごせる環境を作って欲しいのと障がいを持つ親のサポートも充実して欲しいと思います。
- ・我が子に障害があると診断されてから、この街で大人になり死んでいくまで、どのような支援があって、利用できるのか。会津若松市に生まれて良かったと思えるかかわりをしてほしい。赤ちゃんの時から学童期までの子育て支援の充実も大切ですが、その後の支援の継続の必要性についても、思春期を迎えた息子を育てながら考える。

【公園・遊び場・体育館・スポーツのできる場所について】

- ・公園があってもボールで遊ぶことができないのは、もったいない。近くでボールを使って遊べる公園があったらよいと思う。
- ・休日に無料で遊べる広場（屋内含む）が足りないので、増やしてほしい。
- ・天気の良い日は公園でおもいきり遊ばせる事ができるが、天気の悪い日は遊ぶ場所がなく発散させられないので郡山市にあるペップキッズのような施設（無料）があるとよい。

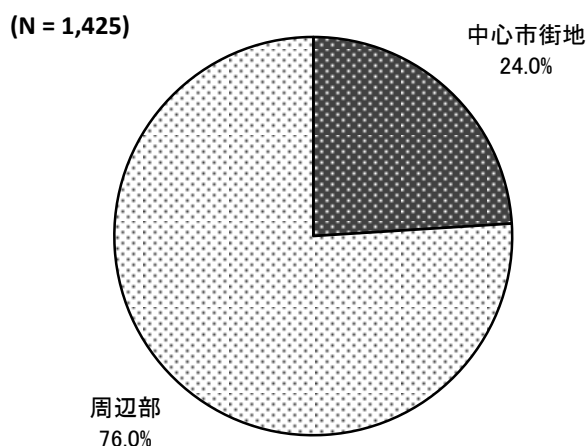
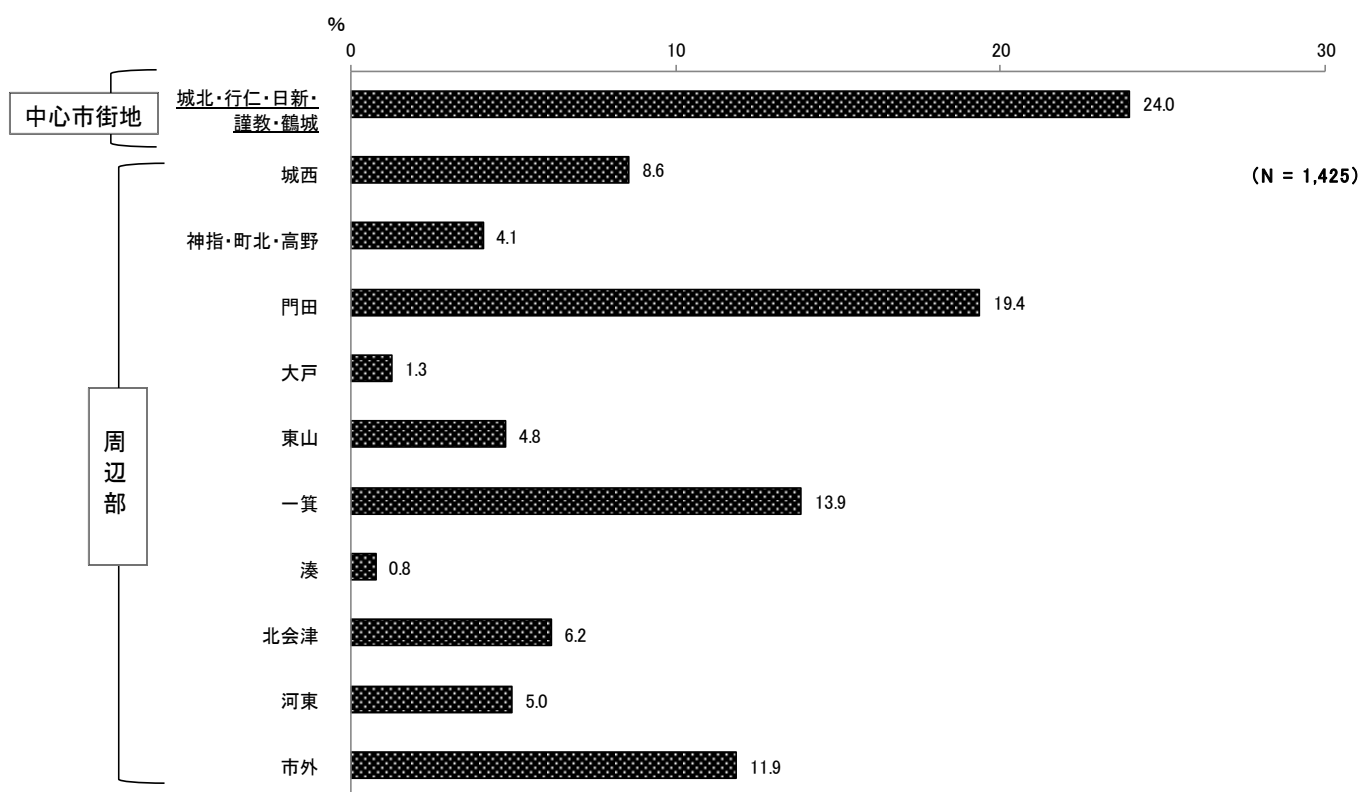
第4章 調査結果（中学生及び高校生）

1. 住まいの地区（地域）

「城北・行仁・日新・謹教・鶴城」が 24.0%と最も高く、次いで「門田」が 19.4%、「一箕」が 13.9%となっている。

なお、「中心市街地」は 24.0%、「周辺部」は 76.0%であった。（※）

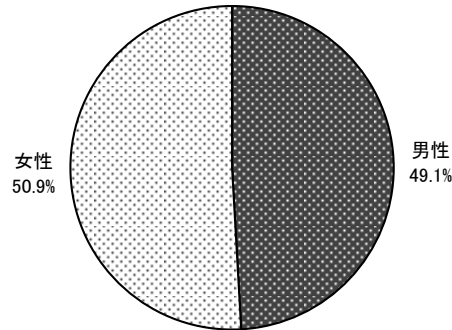
（※）本章において、グラフ中の地区名に下線のある城北・行仁・日新・謹教・鶴城地区を「中心市街地」とし、それ以外の地区を「周辺部」として集計している。



2. 性別

「男性」は49.1%、「女性」は50.9%であった。

(N = 1,423)

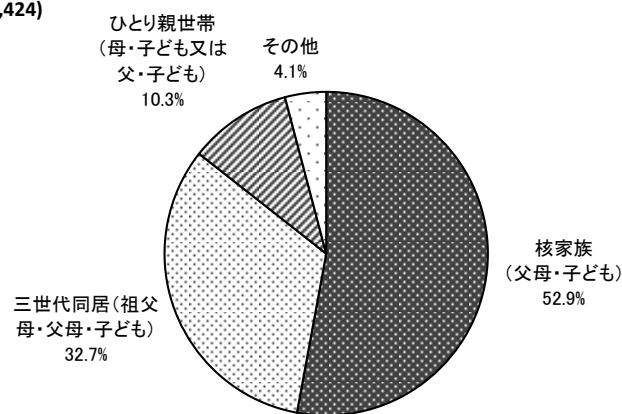


3. 家族構成

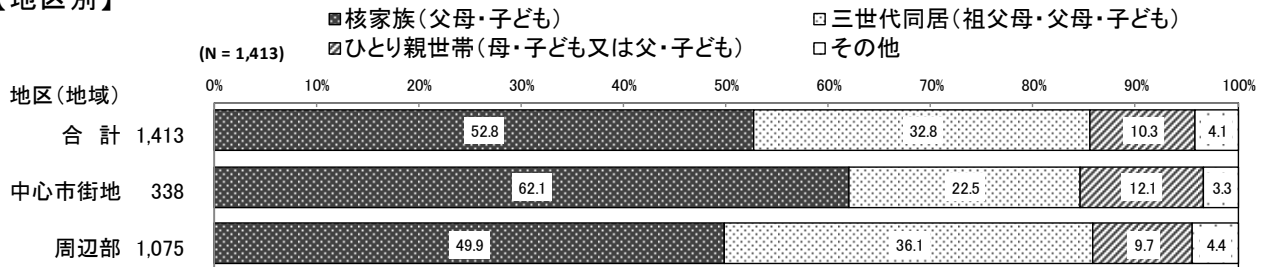
「核家族（父母・子ども）」が52.9%と最も高く、次いで「三世同居（祖父母・父母・子ども）」が32.7%、「ひとり親世帯（母・子ども又は父・子ども）」が10.3%となっている。

地区別にみたとき、中心市街地において「核家族（父母・子ども）」の割合が高く、6割を超えており、「三世同居（祖父母・父母・子ども）」の割合は2割強にとどまっている。

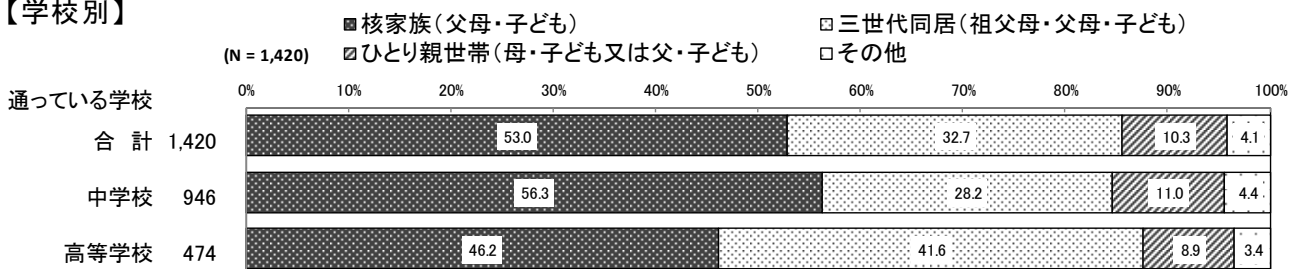
(N = 1,424)



【地区別】



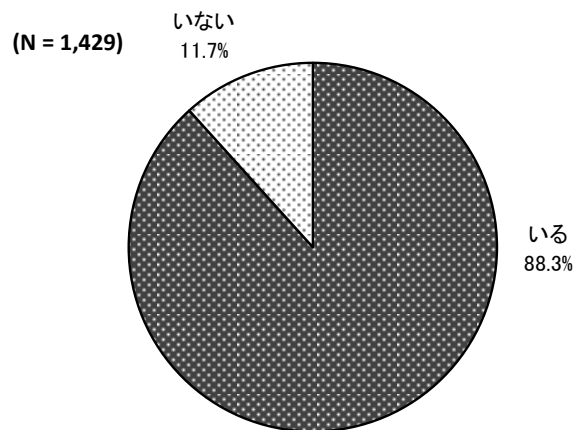
【学校別】



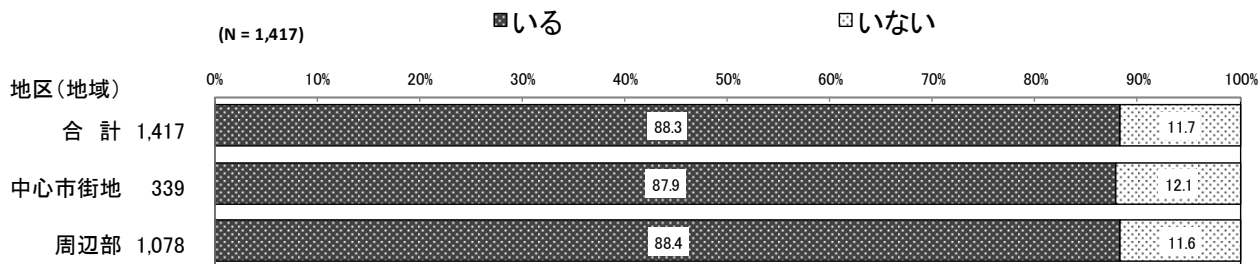
4. 気軽に相談できる人（場所）の有無

「いる」は88.3%、「いない」は11.7%であった。

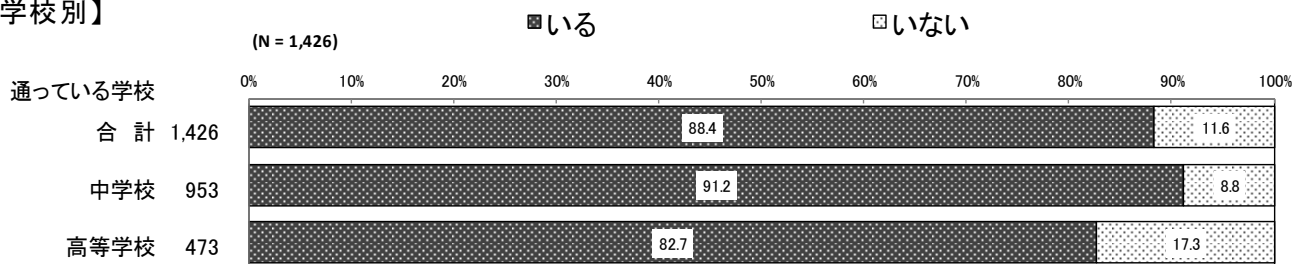
学校別にみたとき、「中学校」において「いる」と回答した割合は91.2%を占めており、「高等学校」よりも8.5ポイント上回っている。



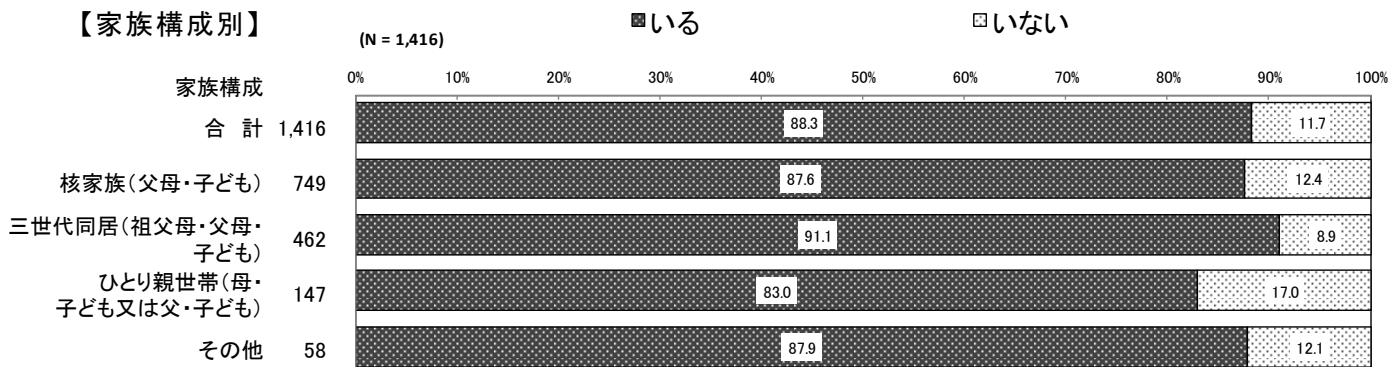
【地区別】



【学校別】



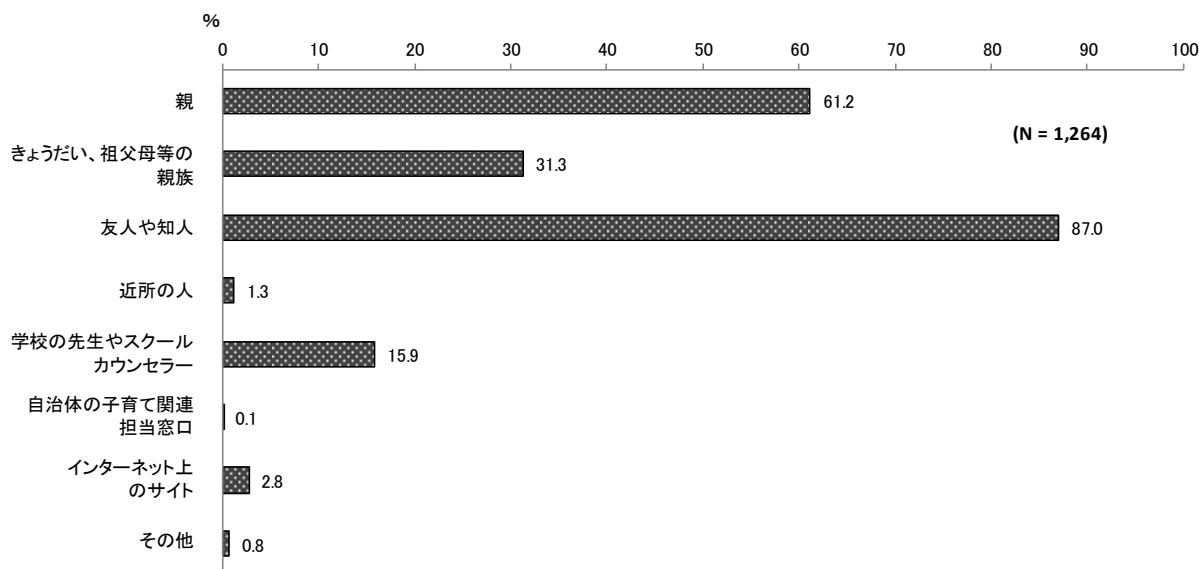
【家族構成別】



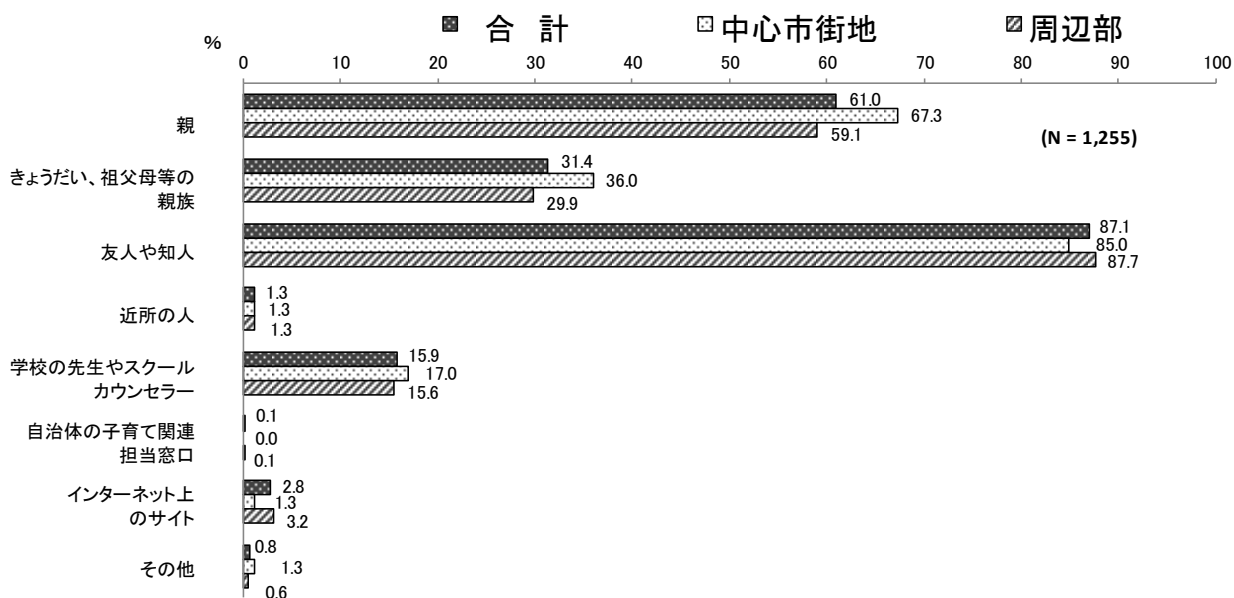
5. 気軽に相談できる先

「友人や知人」が87.0%と最も高く、次いで「親」が61.2%、「きょうだい、祖父母等の親族」が31.3%となっている。

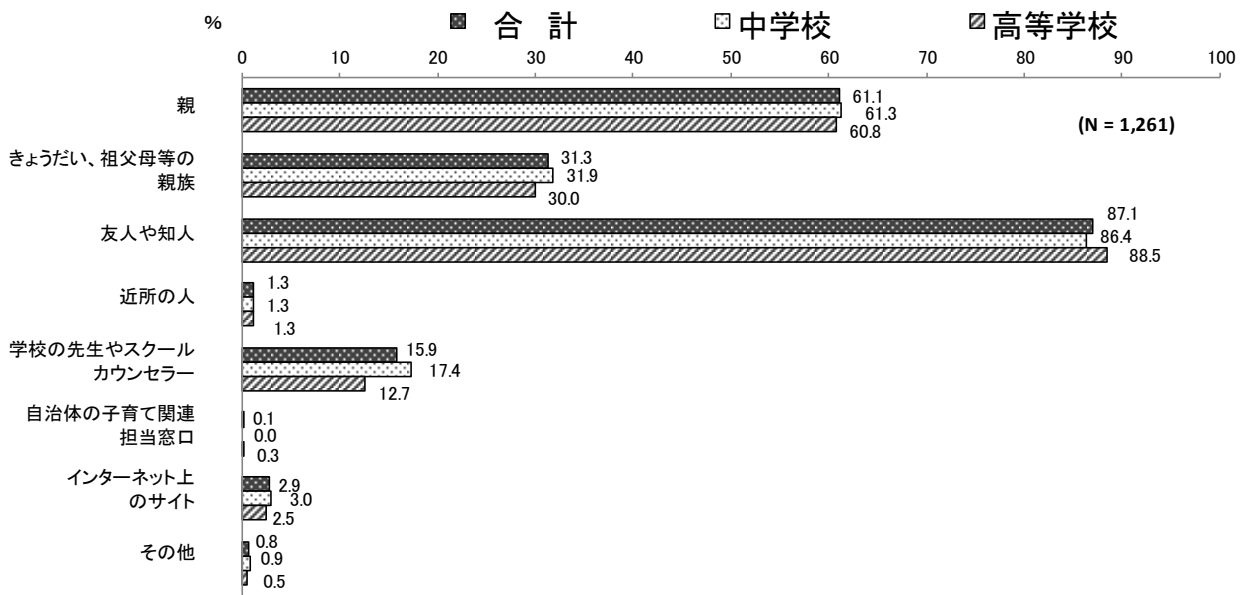
家族構成別にみたとき、ひとり親世帯において、「親」と回答した割合が、他の構成と比べ低くなっている。



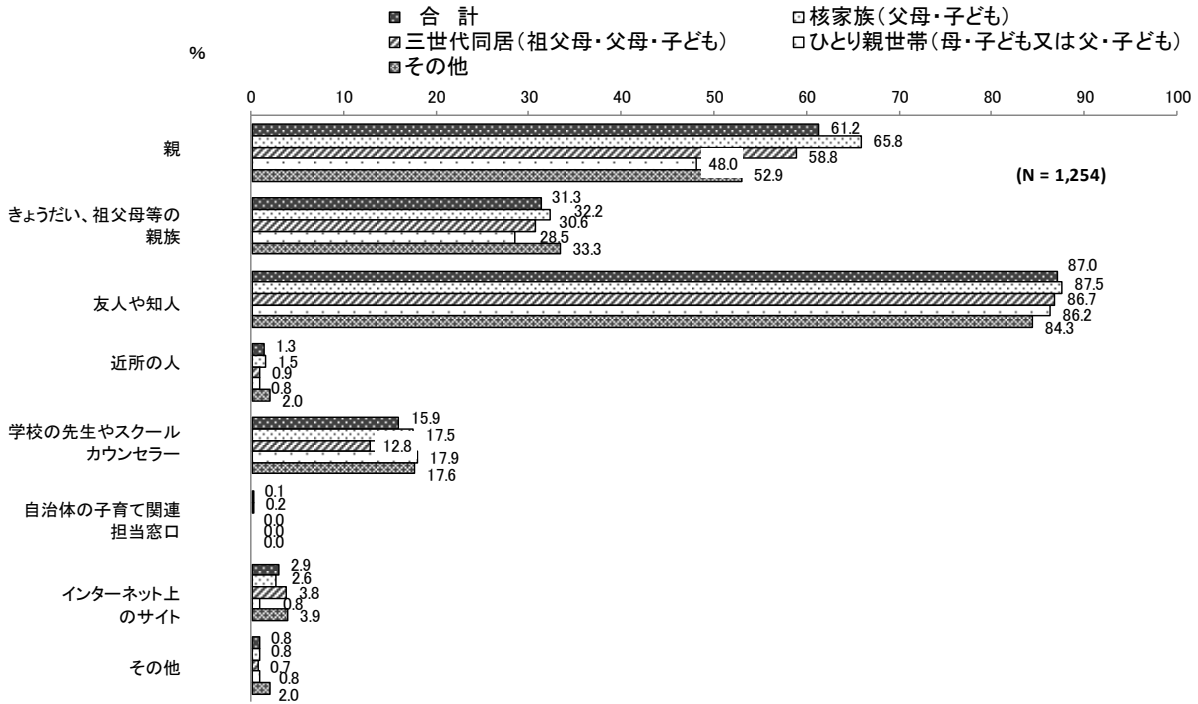
【地区別】



【学校別】



【家族構成別】

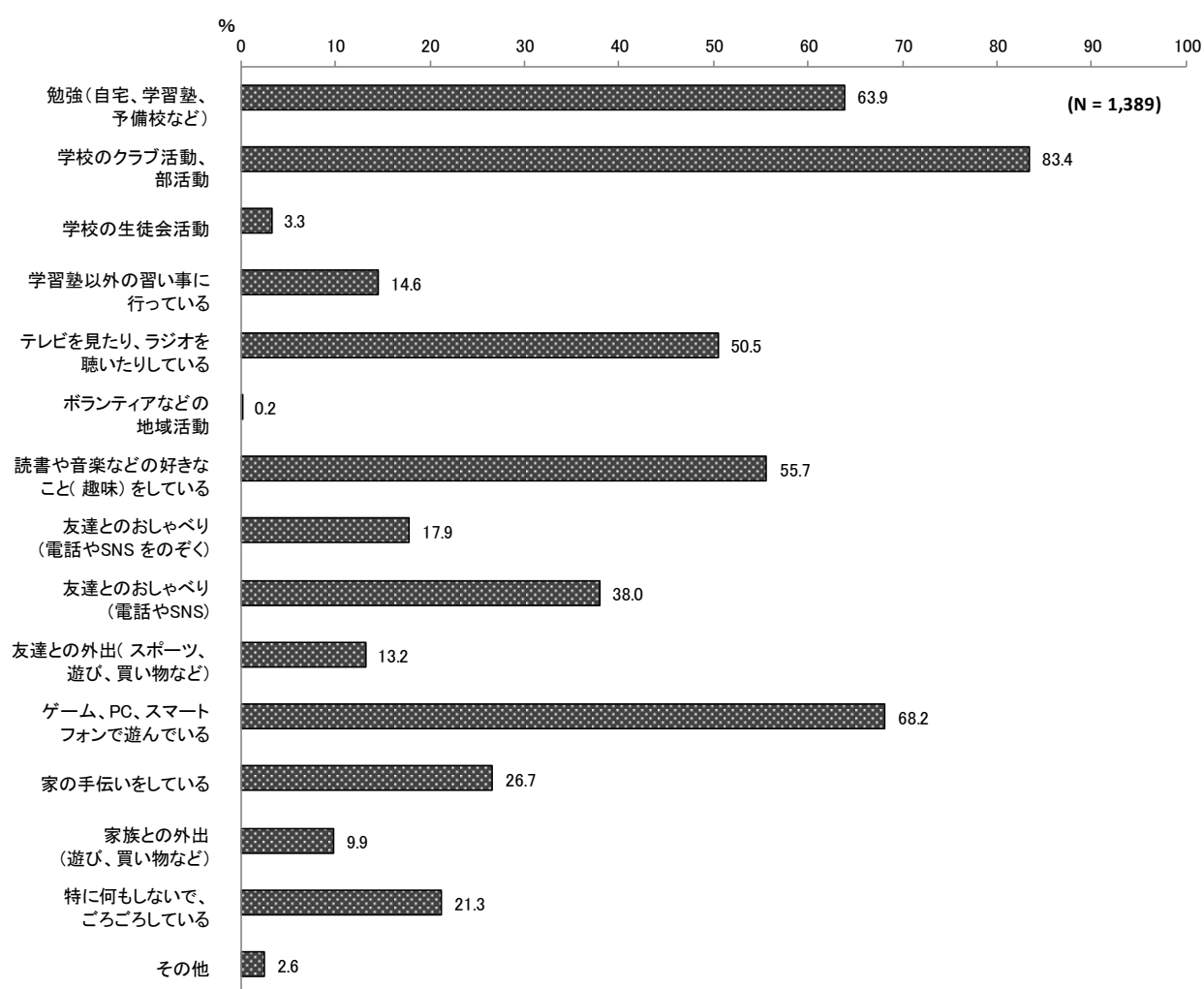


6. 【過ごし方】平日の放課後

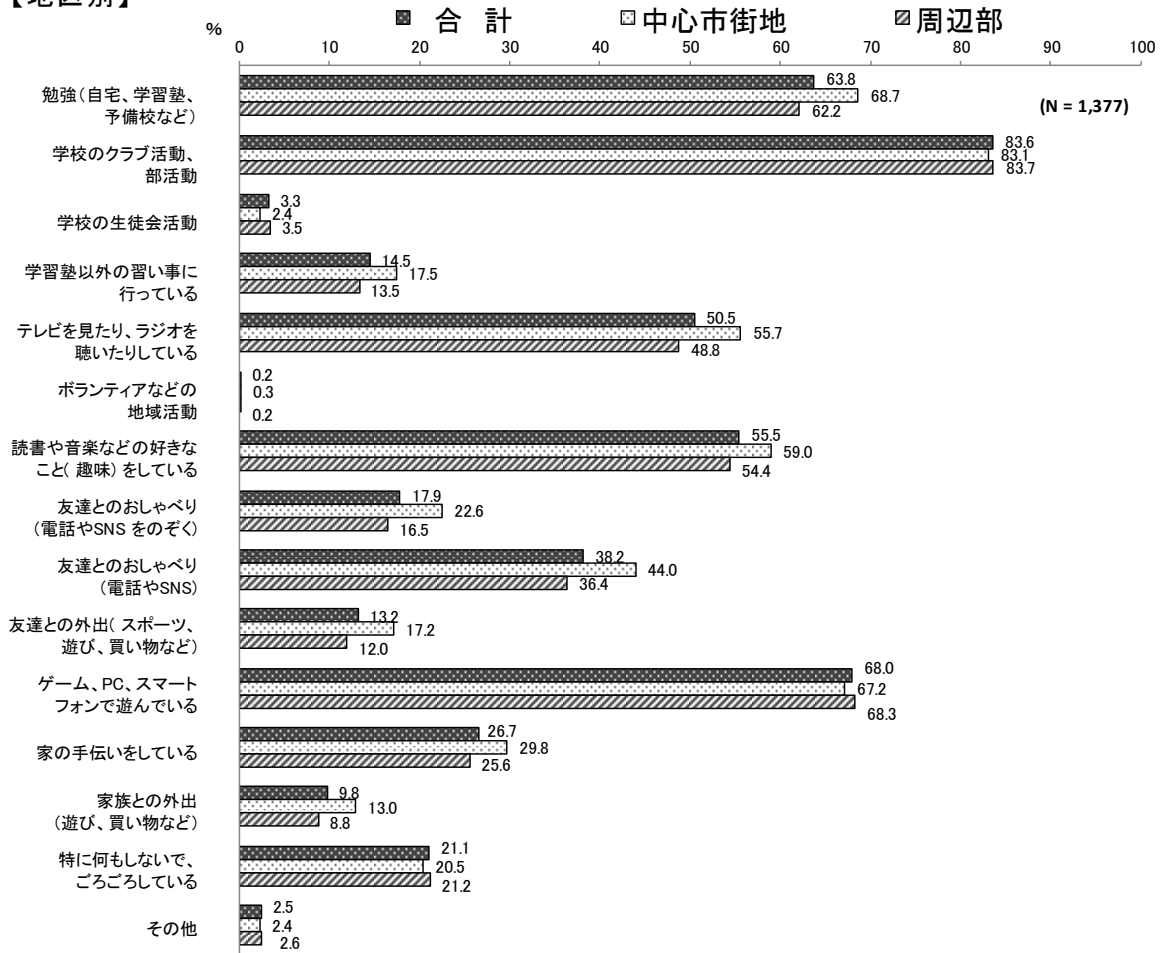
「学校のクラブ活動、部活動」が 83.4%と最も高く、次いで「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」が 68.2%、「勉強（自宅、学習塾、予備校など）」が 63.9%となっている。

学校別にみたとき、中学校においては「勉強（自宅、学習塾、予備校など）」が 8 割近くを占める一方で、高等学校においては 3 割半ばとなった。

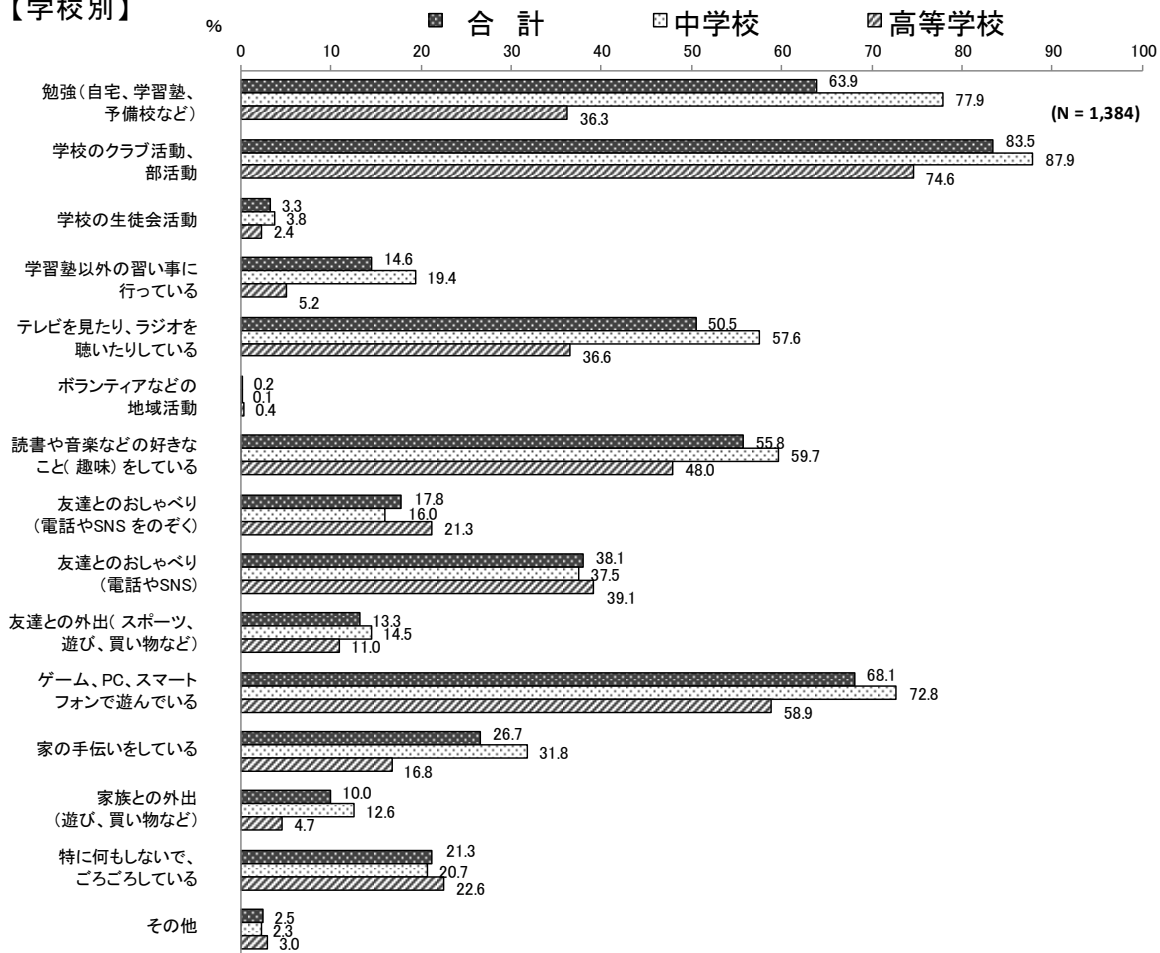
また、「学校のクラブ活動、部活動」「テレビを見たり、ラジオを聴いたりしている」「読書や音楽などの好きなこと(趣味)をしている」「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」「家の手伝いをしている」について、高等学校の占める割合は中学校よりも 10 ポイント以上低くなっている。



【地区別】



【学校別】

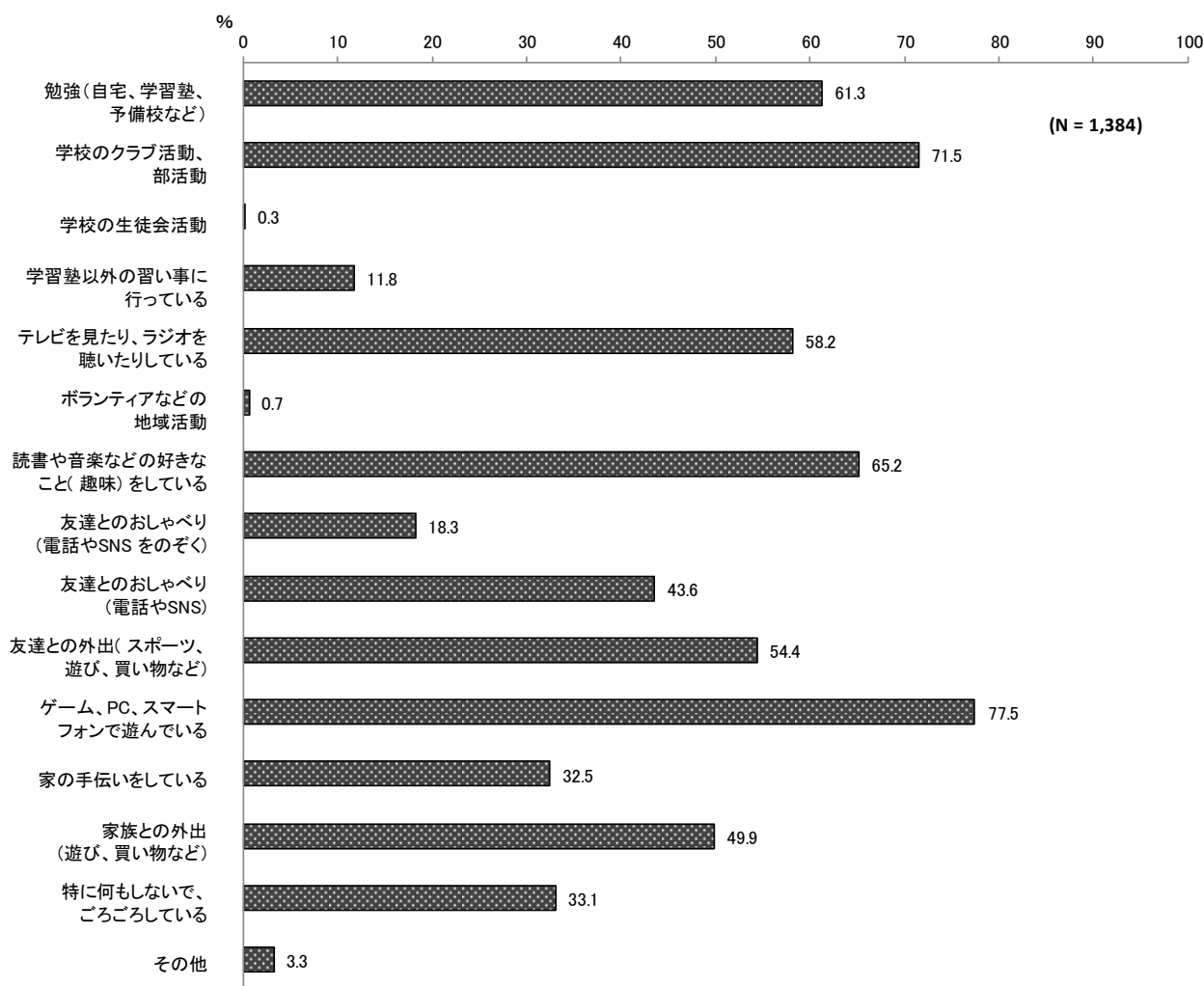


7. 【過ごし方】学校が休みの日

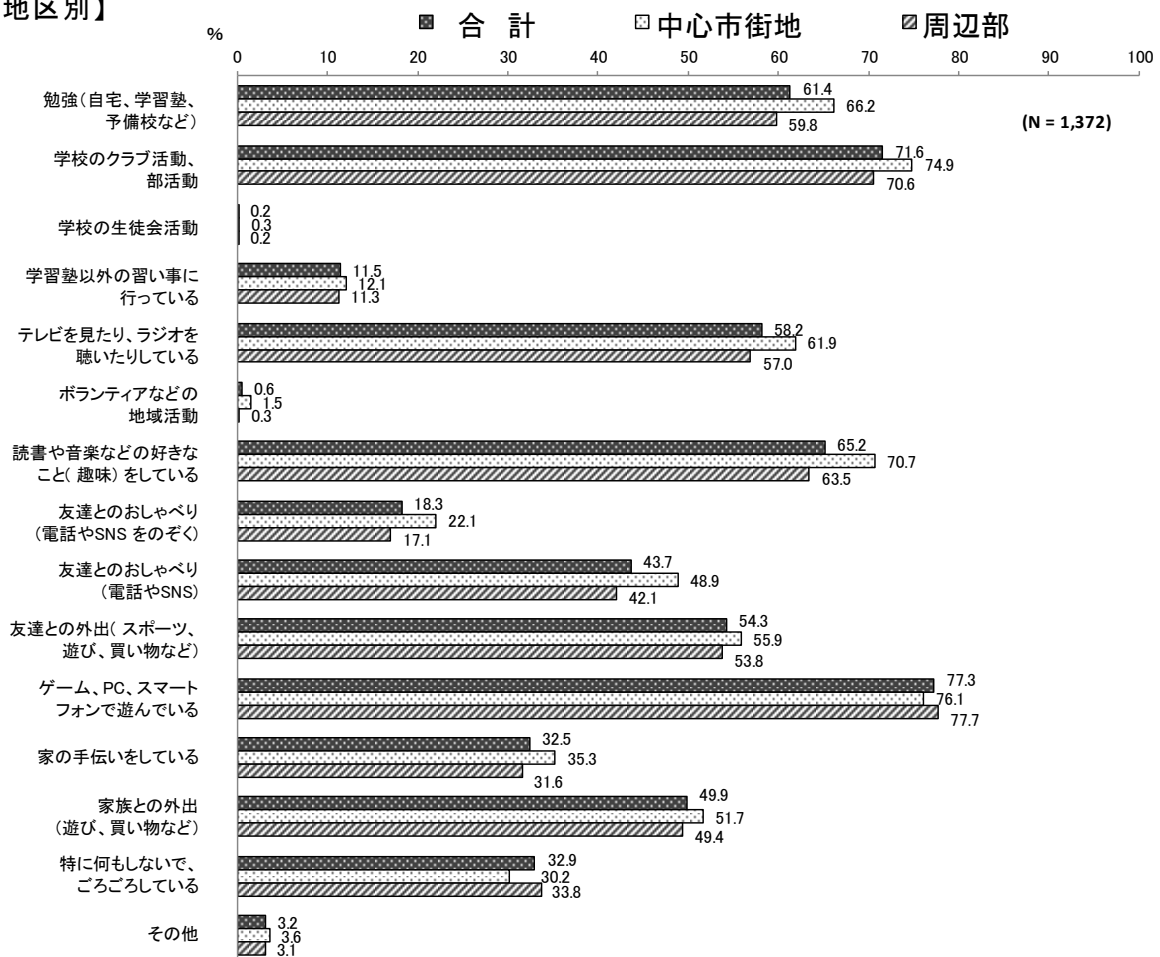
「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」が 77.5%と最も高く、次いで「学校のクラブ活動、部活動」が 71.5%、「読書や音楽などの好きなこと(趣味)をしている」が 65.2%となっている。

学校別にみたとき、中学校においては「勉強(自宅、学習塾、予備校など)」が 7割強を占める一方で、高等学校においては4割強となった。

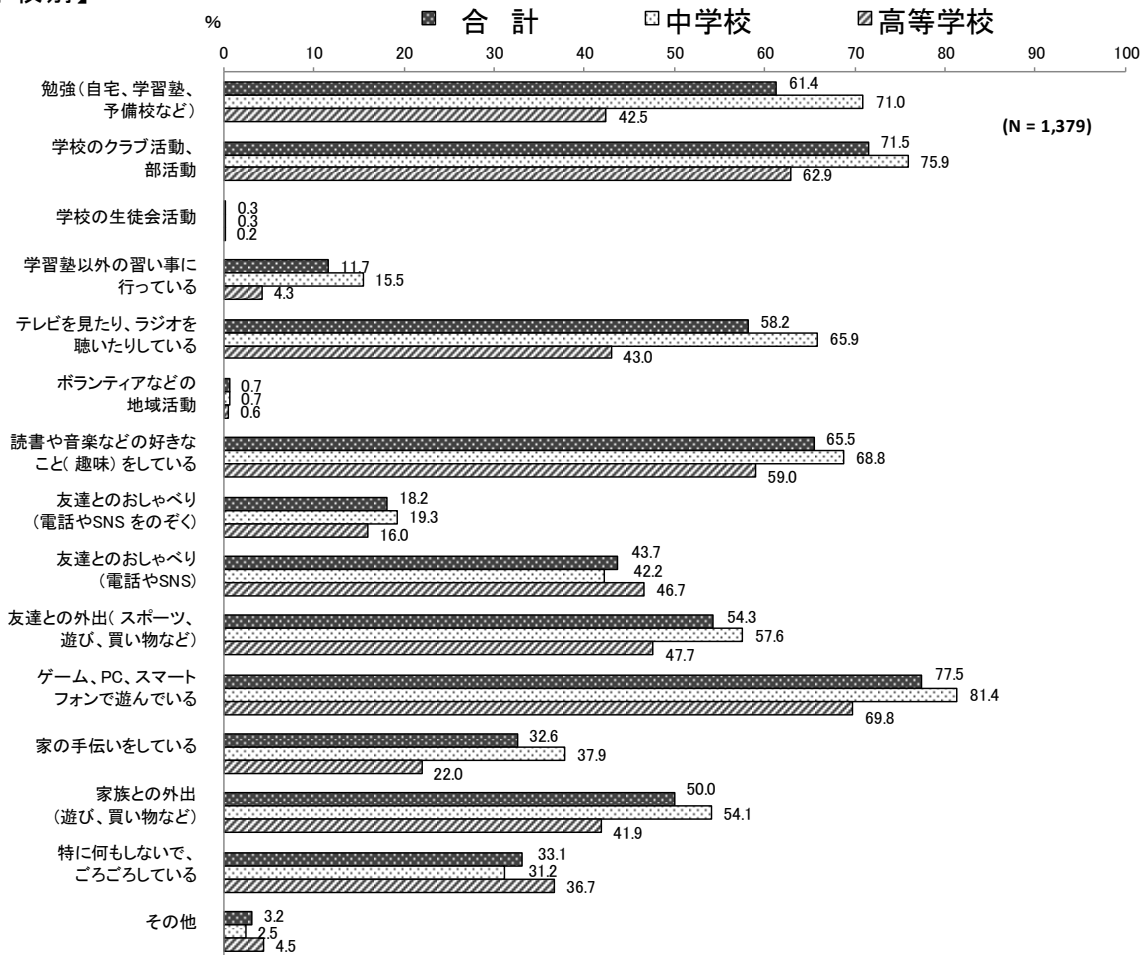
また、「学校のクラブ活動、部活動」「学習塾以外の習い事に行っている」「テレビを見たり、ラジオを聴いたりしている」「ゲーム、PC、スマートフォンで遊んでいる」「家の手伝いをしている」「家族との外出(遊び、買い物など)」について、高等学校の占める割合は中学校よりも 10ポイント以上低くなっている。



【地区別】



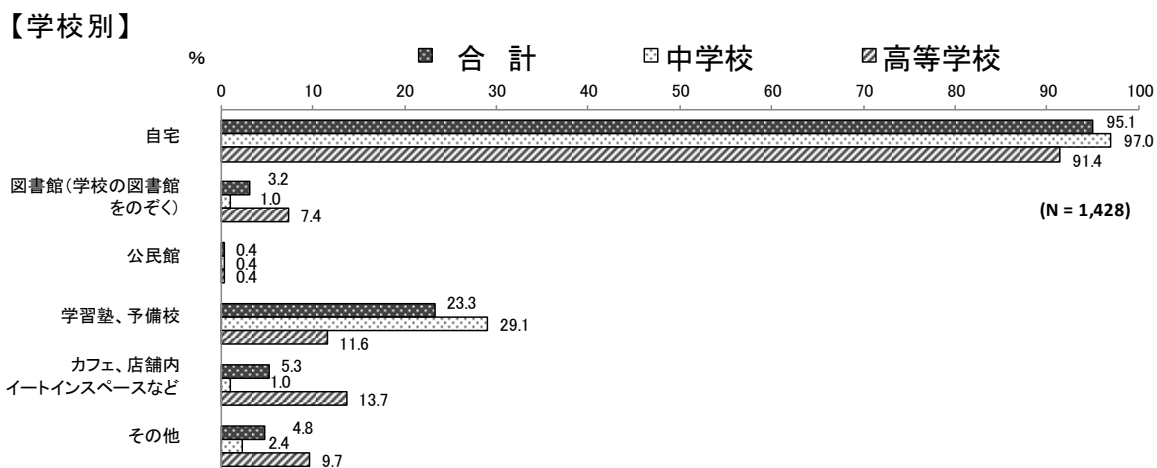
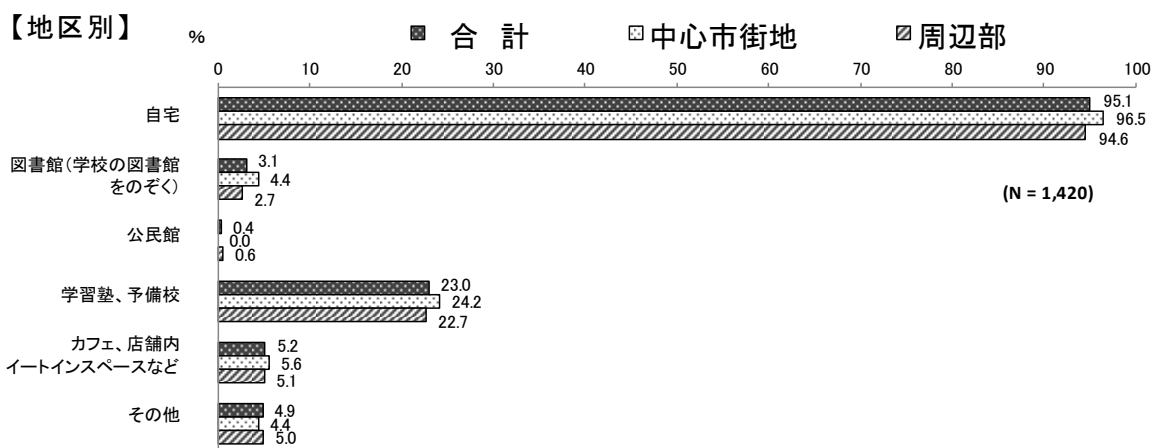
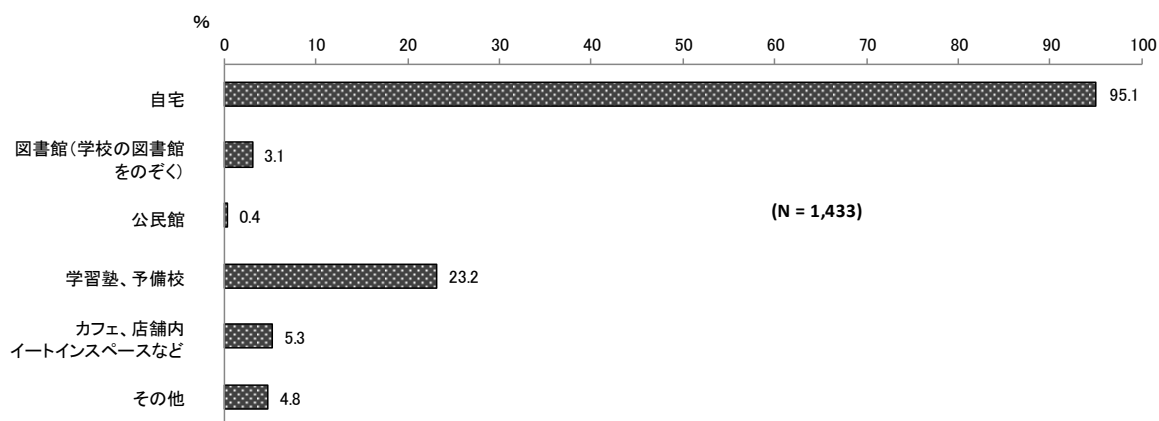
【学校別】



8. 【勉強する場所】平日の放課後

「自宅」が95.1%と最も高く、次いで「学習塾、予備校」が23.2%、「カフェ、店舗内イートインスペースなど」が5.3%となっている。

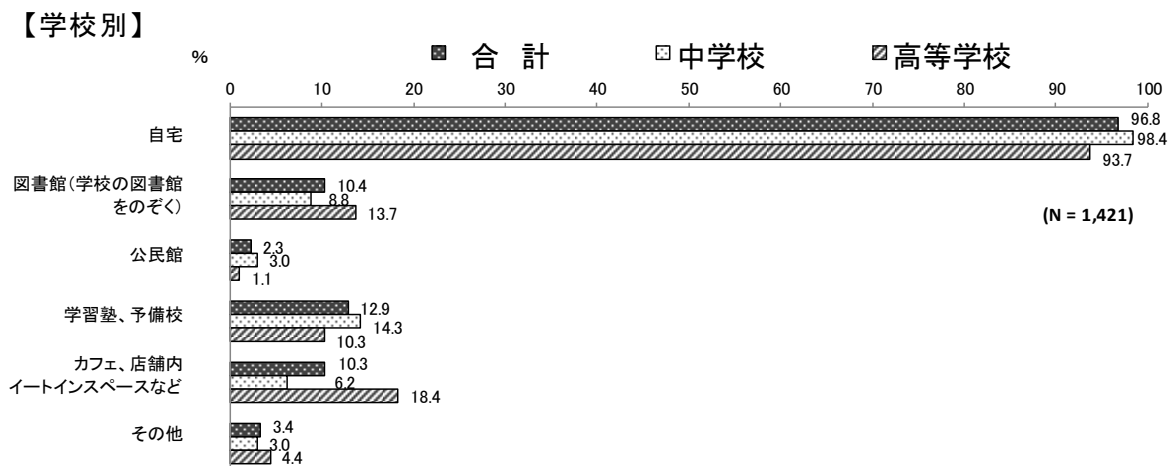
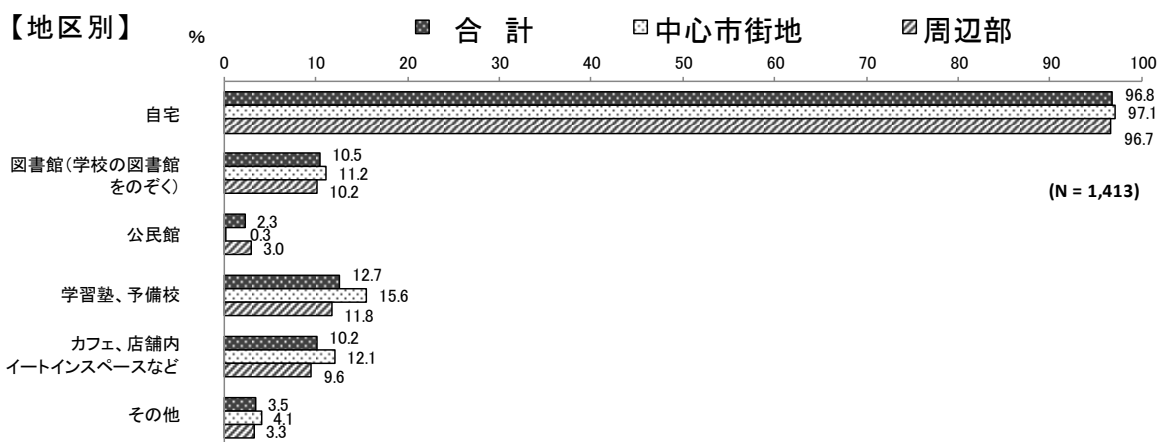
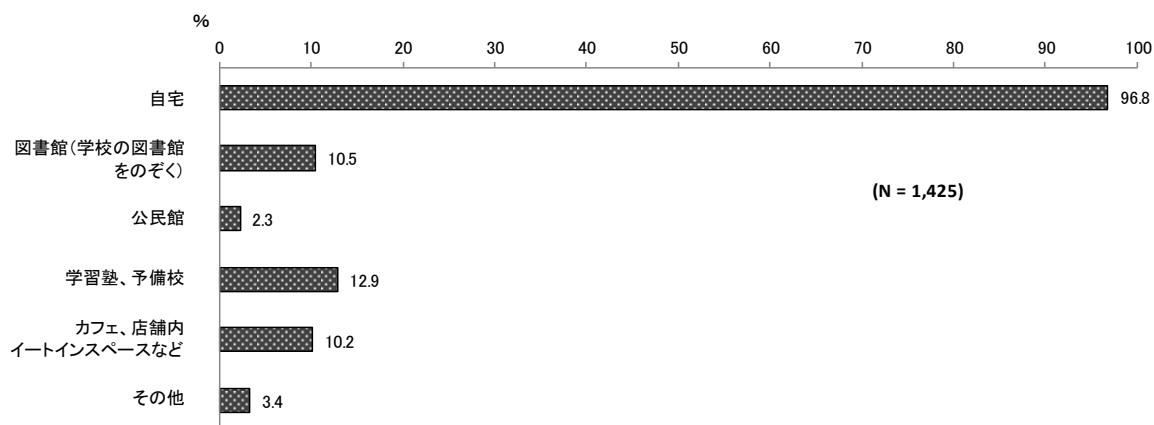
学校別にみたとき、「学習塾、予備校」と回答した割合について、中学校が3割弱であるのに対し、高等学校では1割強となっている。



9. 【勉強する場所】学校が休みの日

「自宅」が96.8%と最も高く、次いで「学習塾、予備校」が12.9%、「図書館（学校の図書館をのぞく）」が10.5%となっている。

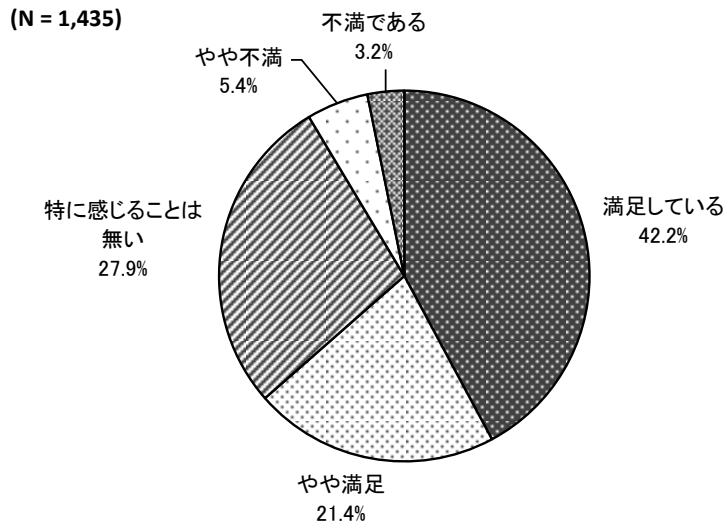
学校別にみたとき、「カフェ、店舗内イートインスペースなど」と回答した割合について、高等学校では2割弱であるのに対し、中学校では1割に満たない結果となった。



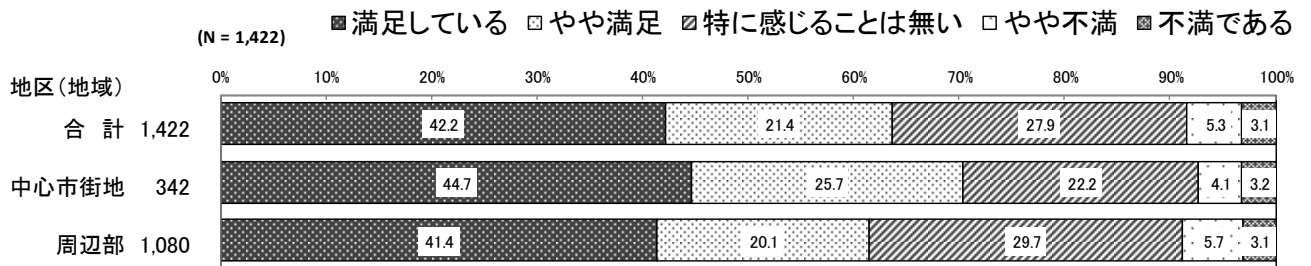
10. 【居場所への満足度】 平日の放課後

「満足している」が42.2%と最も高く、次いで「特に感じることは無い」が27.9%、「やや満足」が21.4%となっている。

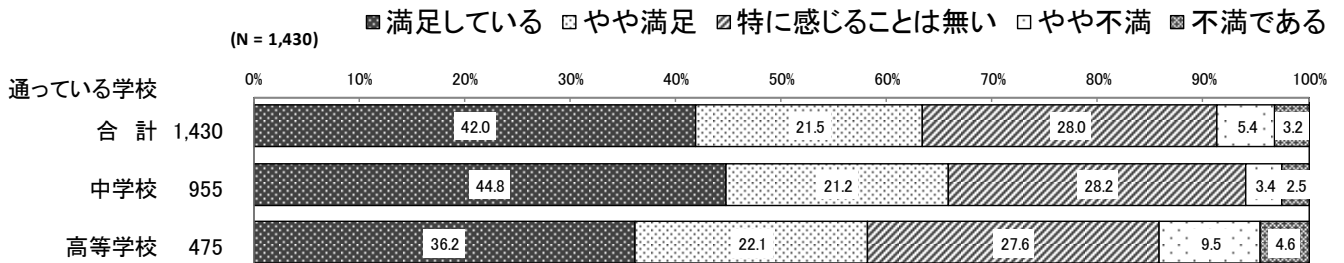
学校別にみたとき、中学校では「満足している」が回答の4割以上を占めており、高等学校よりも8.6ポイント上回っている。



【地区別】



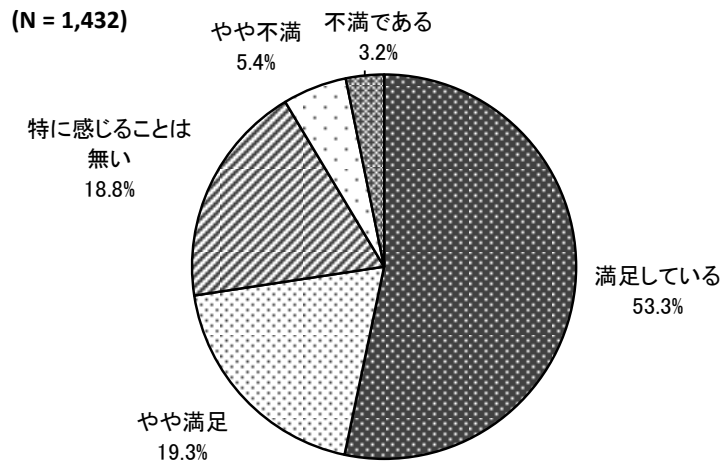
【学校別】



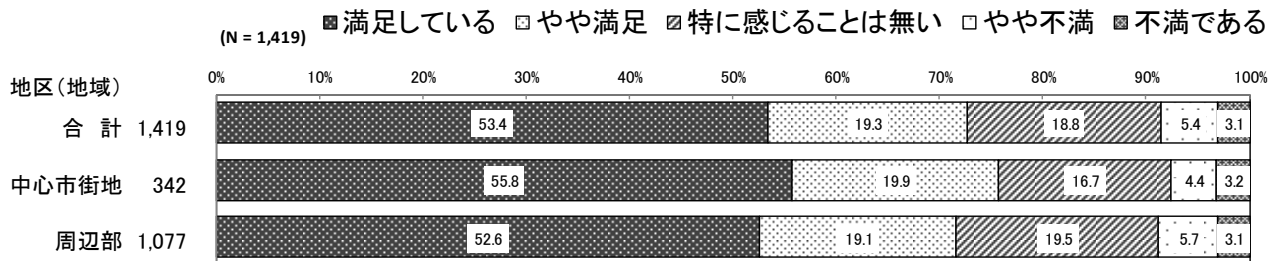
11. 【居場所への満足度】学校が休みの日

「満足している」が53.3%と最も高く、次いで「やや満足」が19.3%、「特に感じることは無い」が18.8%となっている。

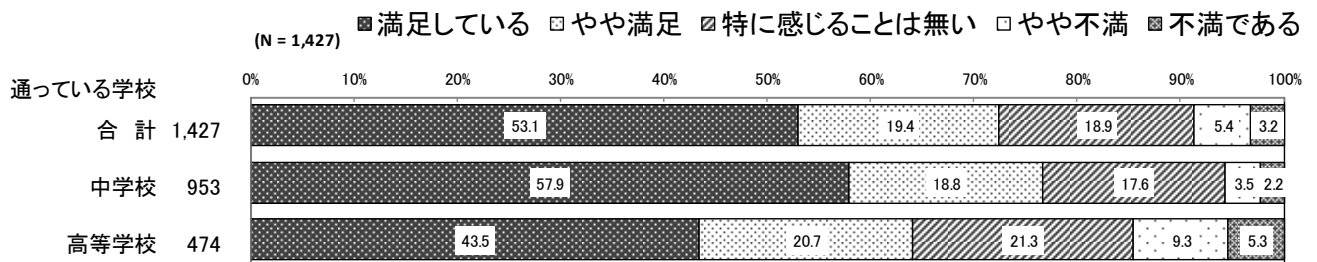
学校別にみたとき、中学校では「満足している」が回答の6割近くを占めているが、高等学校においては4割台となっている。



【地区別】

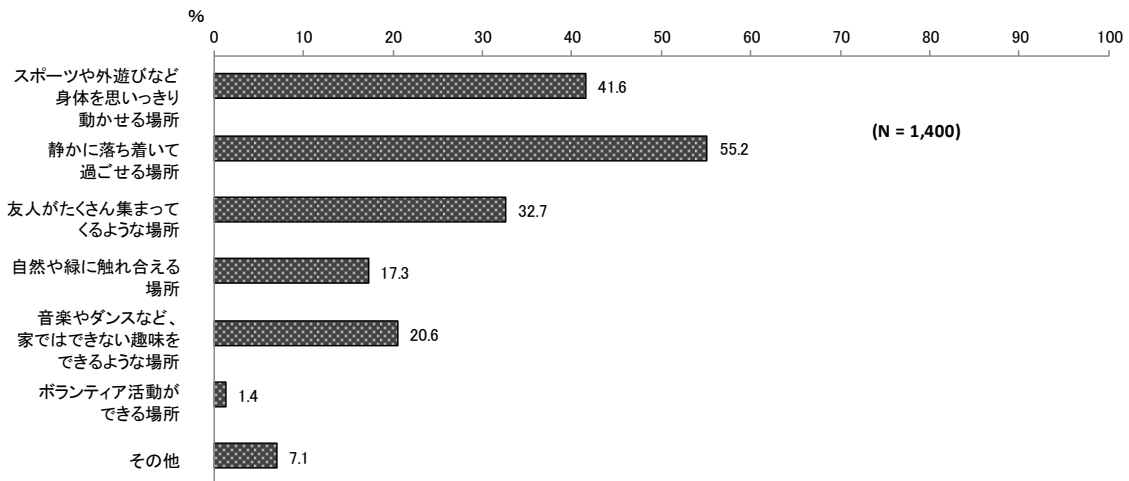


【学校別】

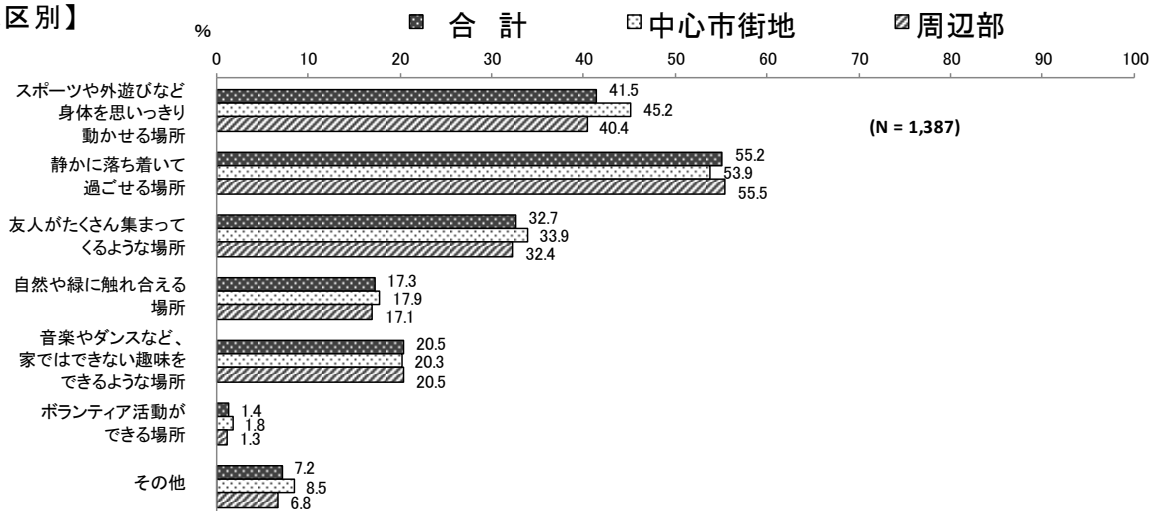


12. 【自分の周りがあるとよい場所】 平日の放課後

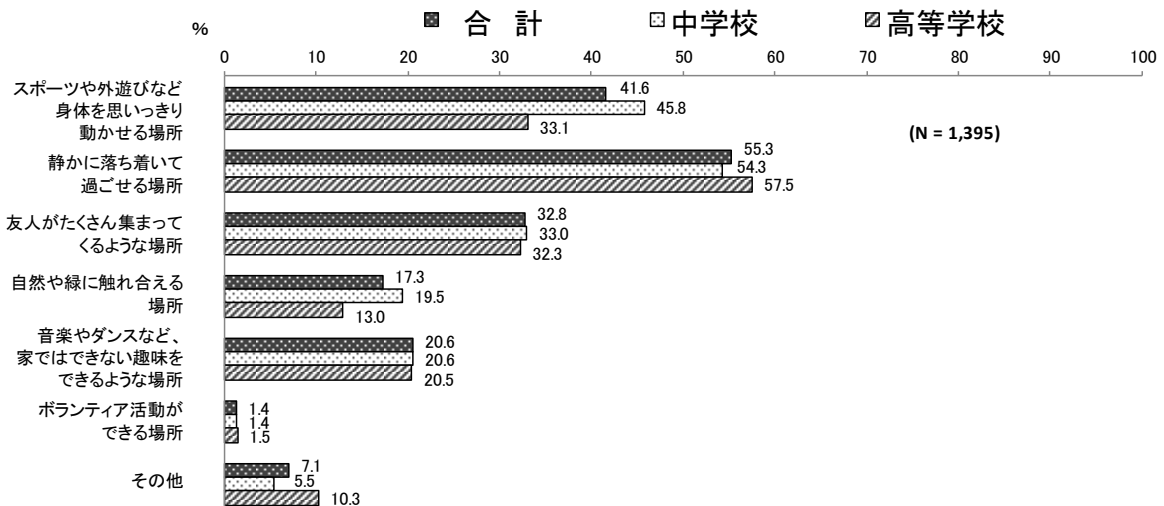
「静かに落ち着いて過ごせる場所」が 55.2%と最も高く、次いで「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」が 41.6%、「友人がたくさん集まってくるような場所」が 32.7%となっている。



【地区別】



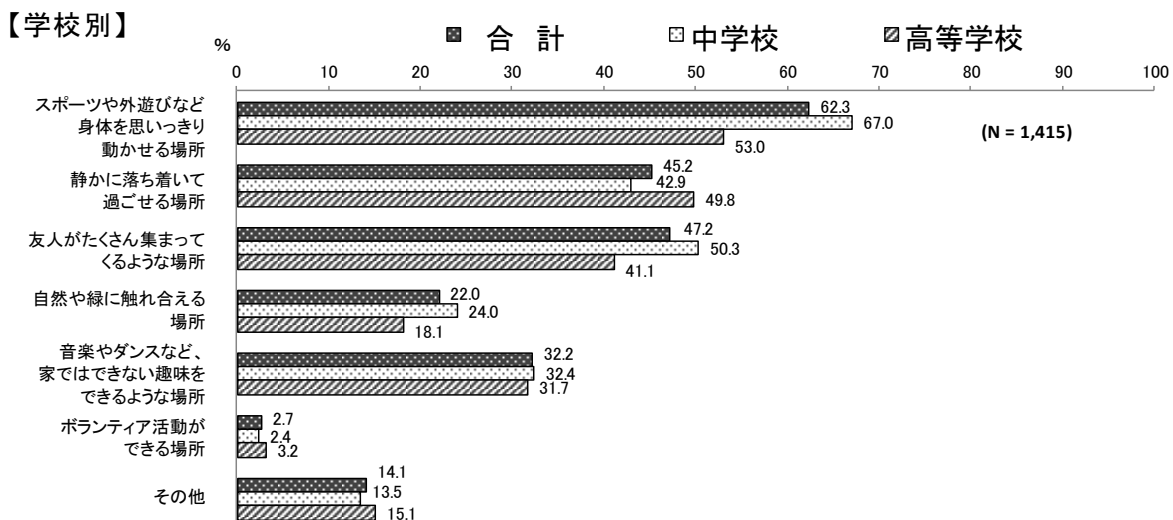
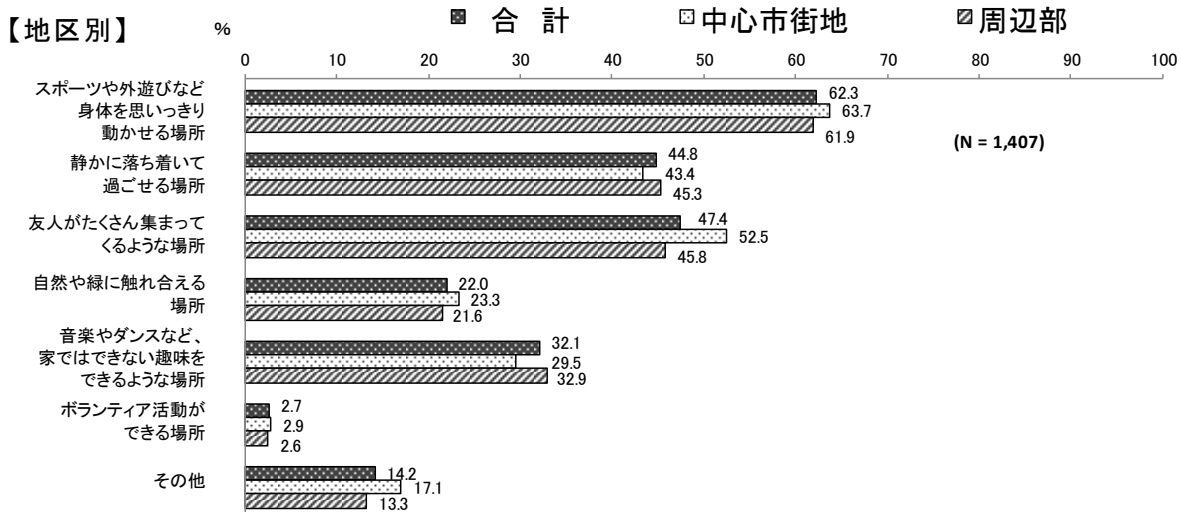
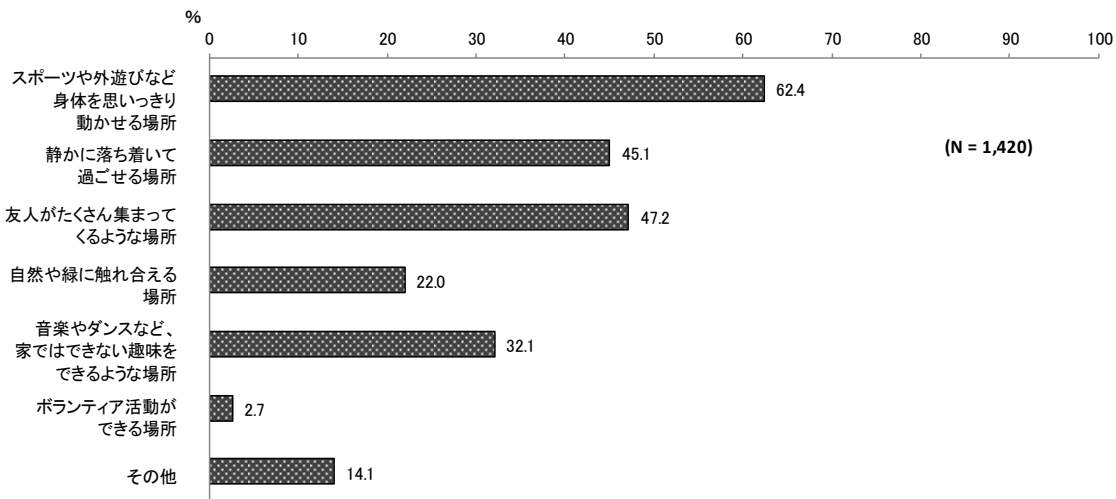
【学校別】



13. 【自分の周りがあるとよい場所】学校が休みの日

「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」が 62.4%と最も高く、次いで「友人がたくさん集まってくるような場所」が 47.2%、「静かに落ち着いて過ごせる場所」が 45.1%となっている。

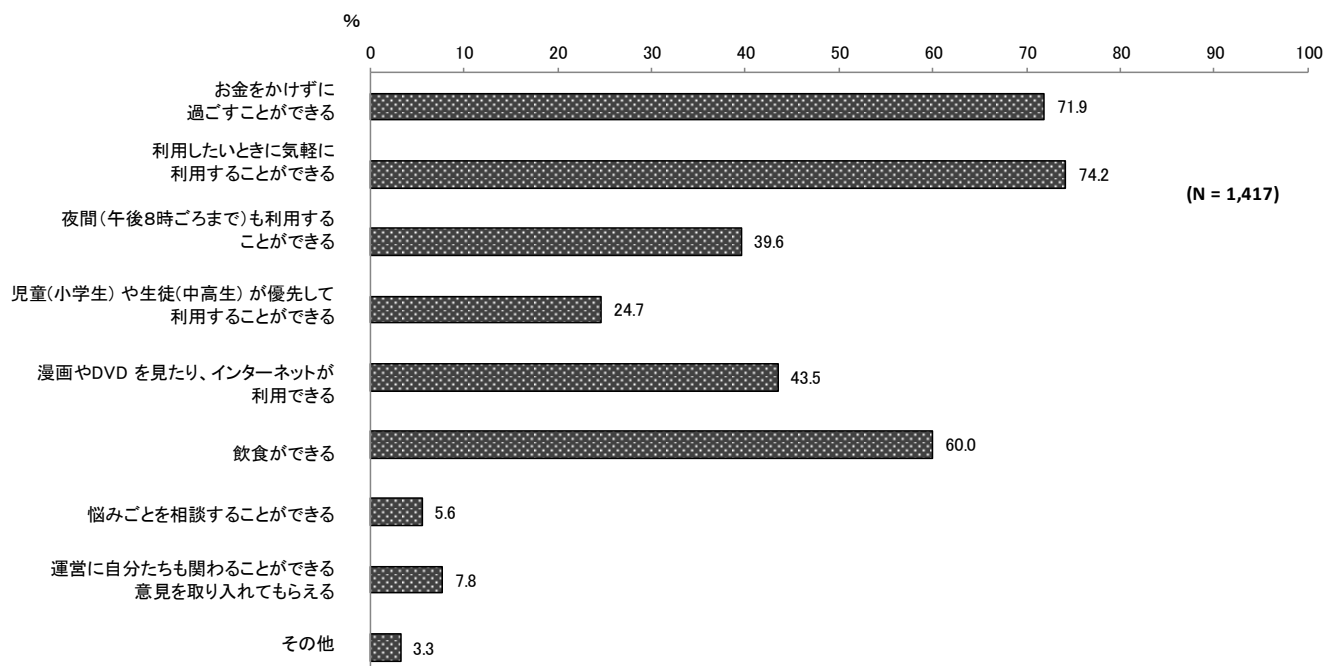
学校別にみたとき、中学校において「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かせる場所」を回答した割合が 7 割近くであるのに対し、高等学校では 5 割強となっている。



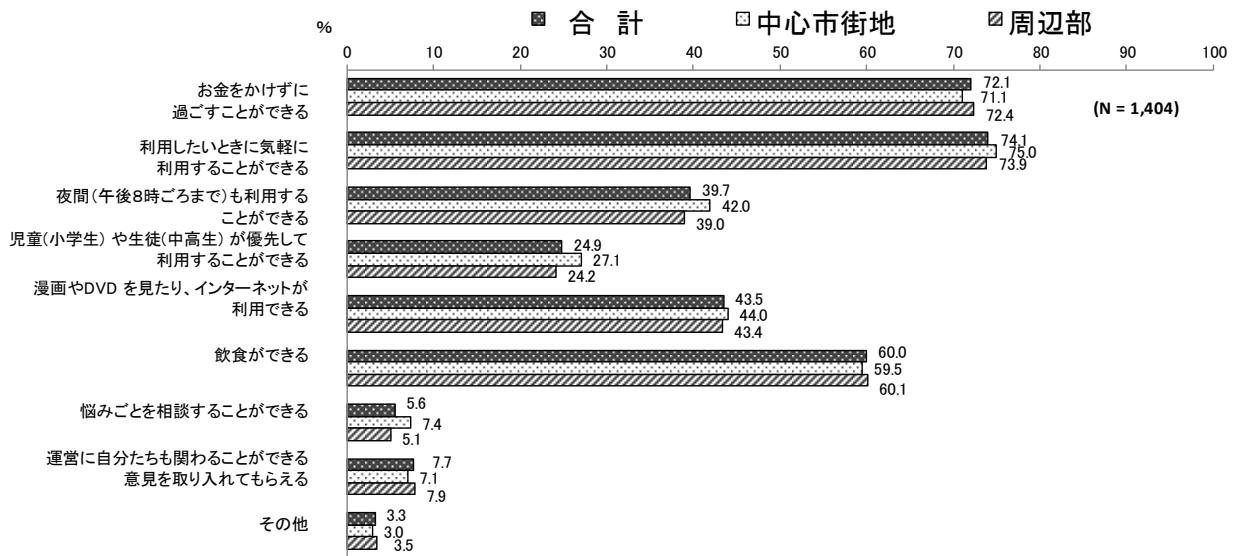
14. 【居場所にあるとよい機能・サービス】 平日の放課後

「利用したいときに気軽に利用することができる」が 74.2%と最も高く、次いで「お金をかけずに過ごすことができる」が 71.9%、「飲食ができる」が 60.0%となっている。

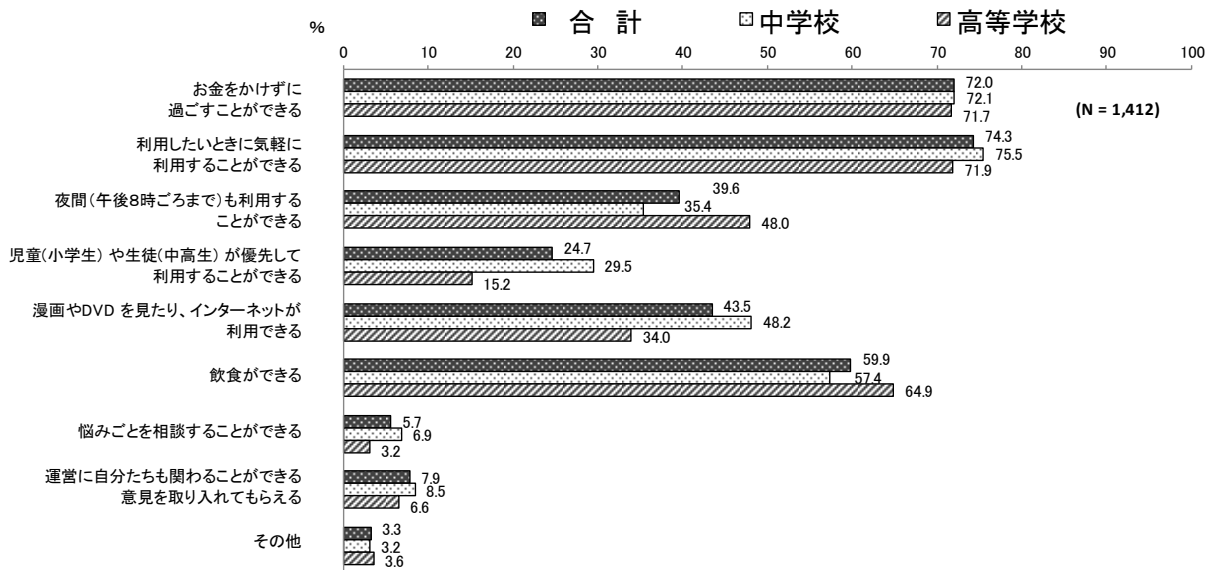
学校別にみたとき、「夜間（夜 8 時ごろまで）も利用することができる」と回答した割合が、高等学校では 5 割近くを占めているのに対し、中学校では 3 割台となっている。また、「漫画や DVD を見たり、インターネットが利用できる」は中学校では 5 割近くとなったのに対し、高等学校では 3 割半ばとなった。



【地区別】



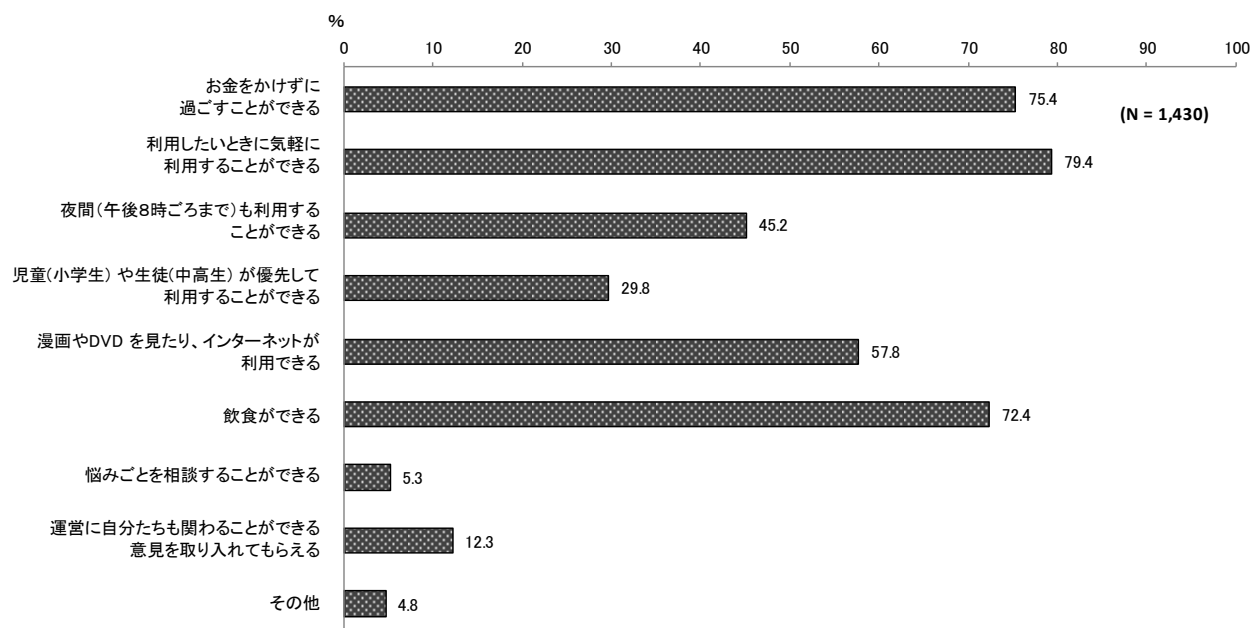
【学校別】



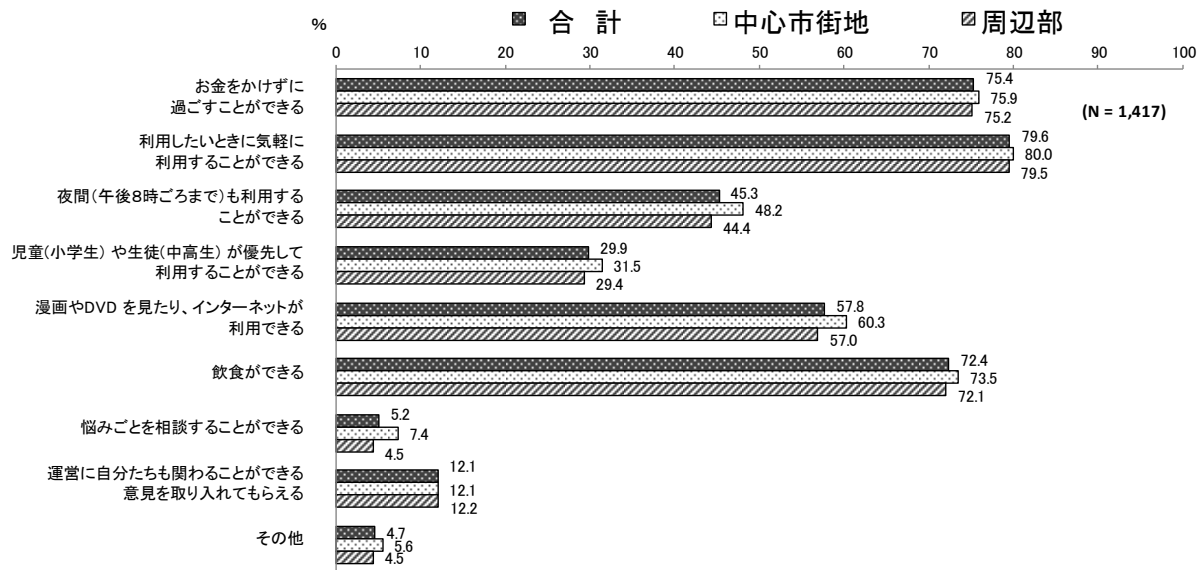
15. 【居場所にあるとよい機能・サービス】学校が休みの日

「利用したいときに気軽に利用することができる」が 79.4%と最も高く、次いで「お金をかけずに過ごすことができる」が 75.4%、「飲食ができる」が 72.4%となっている。

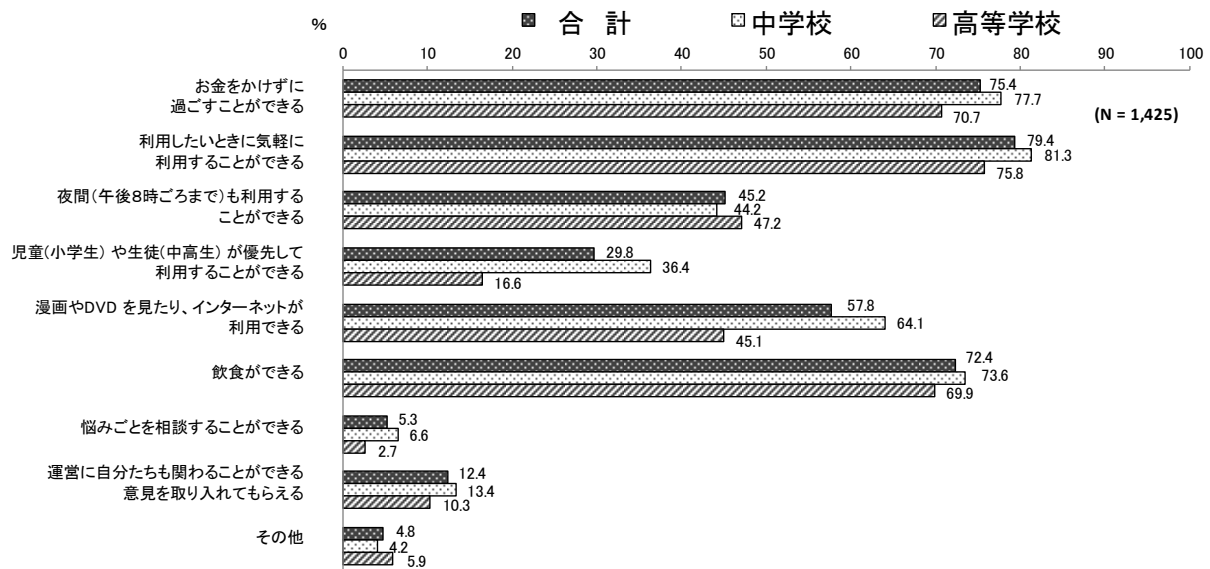
学校別にみたとき、中学校において、「児童(小学生)や生徒(中高生)が優先して利用することができる」「漫画やDVDを見たり、インターネットが利用できる」がともに高等学校の回答を20ポイント程度上回っている。



【地区別】



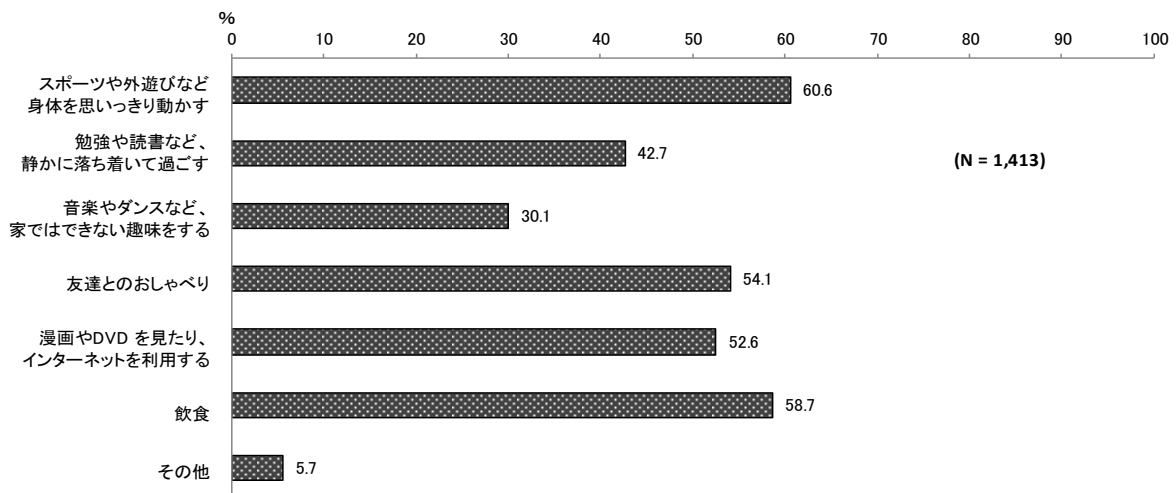
【学校別】



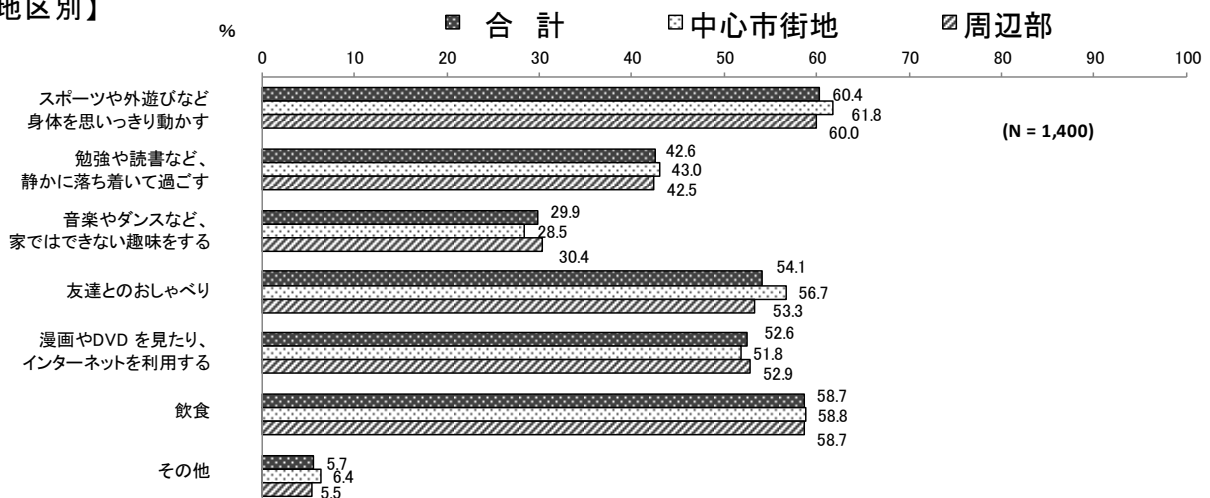
16. 自分の周りがあるとよい場所での過ごし方

「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かす」が 60.6%と最も高く、次いで「飲食」が 58.7%、「友達とおしゃべり」が 54.1%となっている。

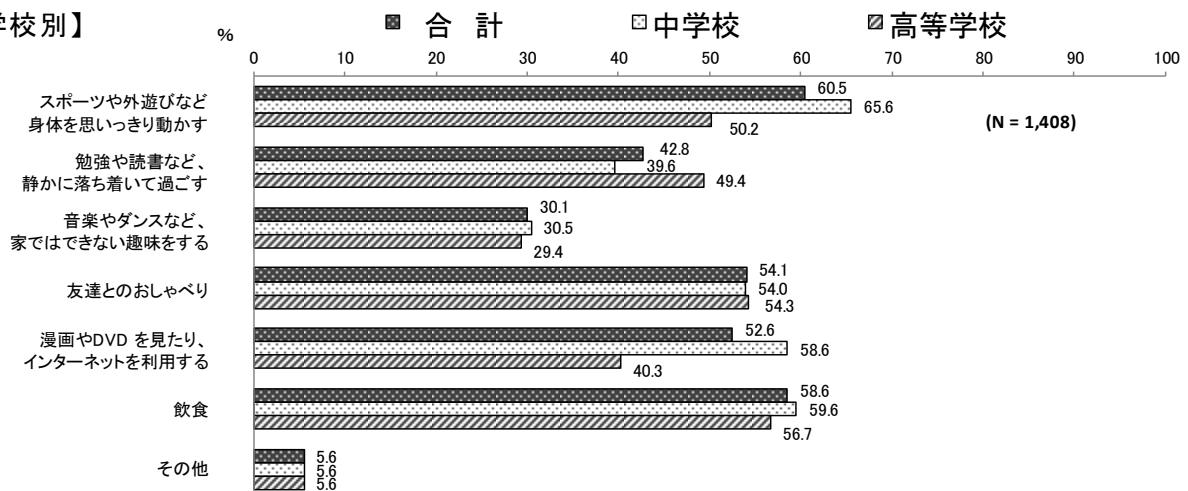
学校別にみたとき、高等学校において「飲食」が 56.7%と最も高く、「スポーツや外遊びなど身体を思いっきり動かす」と「勉強や読書など、静かに落ち着いて過ごす」はどちらも 5 割近くとなっている。



【地区別】



【学校別】



17. 平日の放課後や学校が休みの日の居場所づくりへの意見（一部抜粋）

【学校生活（勉強・部活動）について】

- ・学校が休みの日に、室内で中学生だけが使えて、広くて快適な場所を作ってほしい。
- ・部活やりすぎで無理。やりたいことも何もできない。
- ・部活の時間を減らしてほしい。一部の人たちだけでなく、全体みんなが休めるようにしてほしい。
- ・部活が土日両方にあるのを片方にし、平日にも休みがほしい。
- ・水泳の時間は小学校と同じプールなので、中学校優先で使えるプールがほしい。
- ・夏にエアコンがほしい。
- ・部活をする時間を増やしてほしい。放課後の時間と休日の土日の活動数を増やしてほしい。部活としての夜練、朝練を増やしてほしい。顧問以外の先生の外部コーチがほしい。顧問の先生が部活に来られないときにコーチの人がいたらよい。学校の体育館を広くしてほしい。使わない学校の体育館の開放をしてほしい。学校の階段を少なくしてほしい。

【デパート・ショッピングモールについて】

- ・ラウンドワンみたいな体を動かせたりゲームしたりリフレッシュしたい。大きなショッピングモールを造って親がちょっとでも楽が出来るように。
- ・会津にも映画館やイオンができたらうれしい。
- ・買い物できるところを増やしてほしい。ショッピングモールとか駅の周りがさびしい気がするのでもっと発展してほしい。スタバほしい。
- ・ほぼ部活があるので、新しい建物が建ってもなかなか行けないと思う。けど、デパート等のにぎやかな所が増えてほしい。
- ・会津若松市にイオンモールやイオンシネマを誘致してほしい。

【飲食店（カフェ・レストランなど）について】

- ・安いネットカフェがあったら、休めるのでいいと思う。
- ・現在、神明通りのドトールを勉強するときなどに利用している。あのような場所がもう一つあればいいと思う。
- ・駅周辺に、郡山みたいな買い物（服）ができるところや、塾に行く前に友達と立ち寄れるような、イトインスペースなどがほしい。

【運動・ダンスなどが出来る場所について】

- ・ボールが使える場所があるとよい。
- ・自分のやりたいスポーツが冬でも夏でもできる「室内スポーツ場」が家の近くにあればいいなと思う。
- ・中学生だけでも借りられるダンスホールがほしい。